

(令和4年度決算認定附属資料)

令和4年度
主要施策の成果に関する報告書

目 次

1. 一般会計に関する報告	… 9
一 般 会 計	… 10
2. 特別会計に関する報告	… 359
国民健康保険特別会計	… 360
後期高齢者医療特別会計	… 365
介護保険特別会計	… 367
小規模下水道特別会計	… 383
浄化槽整備事業特別会計	… 386
温泉事業等特別会計	… 391
旅客船特別会計	… 394
公共用地先行取得事業特別会計	… 398

所 属 別 目 次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会事務局 議会運営事業 …… 12 ・ 総務課 地域振興費交付事業 …… 13 行政一般庶務事務 …… 14 職員福利厚生事務 …… 15 会計年度任用職員等管理運営事業 …… 16 広報あいなん事業 …… 17 ホームページ運用管理事業 …… 18 町有管理地活用管理事業 …… 20 庁舎管理事業 …… 21 交通安全対策事業 …… 33 交通安全推進協議会補助事業 …… 34 南宇和交通安全協会補助事業 …… 35 カーブミラー等整備事業 …… 36 防犯灯設置等補助事業 …… 38 防犯関係団体各種補助事業 …… 39 防災行政無線管理運営事業 …… 51 コミュニティ助成事業 …… 53 情報電算システム等整備改修事業 …… 54 情報電算システム等運用管理事務 …… 55 情報電算システム関係各種負担金 …… 56 地域公共交通対策事業 …… 57 コミュニティバス運営事業 …… 58 生活バス路線維持対策事業 …… 59 地域情報通信基盤整備事業 …… 60 地域情報通信基盤設備管理事業 …… 61 ・ 企画財政課 入札執行管理事務 …… 19 結婚活動支援事業 …… 22 結婚新生活支援事業 …… 23 地域支援事業 …… 25 大学生等生活応援ふるさと小包事業 …… 26 行政評価推進事業 …… 27 移住促進事業 …… 28 ・ 税務課 住民税賦課収納事務 …… 62 固定資産税賦課収納事務 …… 63 軽自動車税賦課収納事務 …… 64 徴収管理事務 …… 65 国民健康保険税賦課収納事務 …… 363 ・ 町民課 個人番号カード交付事業 …… 66 更生保護事業 …… 69 出産子育て支援金交付事業 …… 101 ひとり親家庭医療給付事業 …… 110 子ども医療給付事業（乳幼児） …… 121 子ども医療給付事業（児童・高校生等） …… 122 後期高齢者保健事業 …… 137 特定健康診査事業 …… 364 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林課 農業支援センター運営事業 …… 158 青果市場運営事業 …… 159 農業次世代人材投資事業 …… 160 担い手協議会補助事業 …… 161 担い手総合支援事業 …… 162 野菜産地化推進補助事業 …… 163 JAえひめ南南宇和部会活動補助事業 …… 164 農業経営セーフティネット加入促進補助事業 …… 165 肥料高騰対策支援事業 …… 166 農作物鳥獣害防止対策推進事業 …… 167 中山間地域等直接支払推進事業 …… 168 鳥獣被害防止総合対策事業 …… 169 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業 …… 176 多面的機能支払交付金事業 …… 177 土地改良区助成事業 …… 178 水利組合助成事業 …… 179 農道維持補修事業（単独） …… 180 水路維持修繕事業（単独） …… 181 広域農道維持管理事業 …… 182 農地等工事材料費支給事業 …… 183 大久保山土地改良事業 …… 184 県営土地改良事業負担金 …… 185 林道維持管理事業 …… 186 林道整備事業 …… 187 有害鳥獣駆除補助事業 …… 188 町有林除間伐事業 …… 189 森林整備担い手確保育成対策事業 …… 190 地域材利用木造住宅建築促進事業 …… 191 愛南町木育推進事業 …… 192 森林環境整備事業 …… 193 ・ 水産課 種子島周辺漁業対策事業 …… 194 水産業振興補助事業 …… 195 漁業収入安定化支援事業 …… 196 燃油及び配合飼料高騰対策事業 …… 197 水産物販売促進事業 …… 198 ぎょしょく普及事業 …… 199 漁場環境保全事業 …… 200 水産業活性化推進事業 …… 201 魚病診断事業 …… 202 海洋資源開発センター施設管理運営事業 …… 203 優良アコヤガイ作出事業 …… 204 新養殖魚種導入支援事業 …… 205 水産業ICT利活用事業 …… 206 赤潮・漁場環境調査事業 …… 207 地域産業研究・普及センター施設維持管理事業 …… 208 漁港施設維持管理事業 …… 209 水産物供給基盤機能保全事業（国庫） …… 210 海岸メンテナンス事業 …… 211 漁港機能増進事業（国庫） …… 212 内海漁港公園維持管理事業 …… 213 魚神山漁港海岸保全施設整備事業 …… 214
--	---

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工観光課 ふるさと寄附金事業 …… 24 商工会補助事業 …… 215 商工事業者利子補給事業 …… 216 中小企業者等経営支援事業 …… 217 <small>地域経済活性化2023新春プレミアム商品券事業</small> …… 218 特産品販売促進事業 …… 219 夏祭り補助事業 …… 220 営業戦略推進事業 …… 221 企業立地・誘致活動事業 …… 222 中小企業緊急雇用安定助成事業 …… 223 商工業者創業・事業承継支援事業 …… 224 ぎゅぎゅつと愛南！夏の陣事業 …… 225 愛南町観光振興等イベント補助事業 …… 227 愛南町観光協会活動事業 …… 228 四国の道管理事業 …… 229 旅客船特別会計繰出金 …… 230 温泉事業等特別会計繰出金 …… 231 愛南町観光振興推進事業 …… 232 観光関係各種負担金 …… 233 スポーツ合宿等補助事業 …… 234 ご当地キャラクター活用事業 …… 235 <small>新型コロナウイルス感染症対策愛南泊まって得旅キャンペーン事業</small> …… 236 石垣の里だんだん館維持管理事業 …… 238 観光施設維持管理事業 …… 239 山出憩いの里温泉維持管理事業 …… 240 ゆらり内海維持管理事業 …… 241 宇和海海域公園サンゴ保護対策事業 …… 243 公園遊具維持管理事業 …… 254 南予レクリエーション都市公園維持管理事業 …… 268 ・ 建設課 交通安全施設整備事業 …… 37 緊急避難道整備事業 …… 48 地域コミュニティ活性化対策事業 …… 52 高速道路整備促進事業 …… 255 住宅新築・リフォーム補助事業 …… 256 老朽危険空家等対策補助事業 …… 257 道路台帳補正事業 …… 258 道路維持整備事業（国庫） …… 259 道路維持整備事業（単独） …… 260 道路新設改良事業（国庫） …… 261 道路新設改良事業（単独） …… 262 橋梁新設改良事業（国庫） …… 263 橋梁新設改良事業（単独） …… 264 河川維持整備事業 …… 265 砂防事業（県補助） …… 266 砂防事業（単独） …… 267 住宅改修事業（国庫） …… 269 住宅改修事業（単独） …… 270 公営住宅維持管理事業 …… 271 特定公共賃貸住宅維持管理事業 …… 272 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健福祉課 重層的支援体制整備事業 …… 68 ボランティア連絡会活動補助事業 …… 70 社会福祉協議会運営補助事業 …… 71 遺族会活動補助事業 …… 72 おれんじくらぶ管理・運営事業 …… 92 児童通所支援給付事業 …… 93 障害者自立支援医療費給付事業 …… 94 障害者自立支援介護等給付事業 …… 95 障害者地域生活支援事業 …… 96 障害者自立支援補装具給付事業 …… 97 人工透析患者交通費助成事業 …… 98 特別支援学校寄宿舎生徒送迎事業 …… 99 乳幼児用紙おむつ券交付事業 …… 102 放課後児童クラブ事業 …… 103 保育環境改善支援事業 …… 104 病児保育事業 …… 105 放課後図書クラブ事業 …… 106 地域子育て支援拠点事業 …… 107 児童保育委託事業 …… 108 母子寡婦福祉会助成事業 …… 109 保育所庶務事務 …… 118 休園保育所維持管理事業 …… 119 御荘夢創造館管理運営事業 …… 120 在宅当番・救急医療委託事業 …… 123 医師確保関連事業 …… 124 災害時保健対策事業 …… 125 城辺保健福祉センター管理運営事業 …… 126 不妊治療費助成事業 …… 129 妊婦健診・母子健康手帳交付事業 …… 130 乳幼児健診事業 …… 131 出産・子育て応援交付金事業 …… 132 骨粗しょう症予防事業 …… 133 健康診査事業 …… 134 がん対策事業 …… 135 <small>新型コロナウイルス感染症検査関連事業</small> …… 136 子ども定期予防接種事業 …… 138 高齢者定期予防接種事業 …… 139 風しん対策事業 …… 140 任意インフルエンザ予防接種事業 …… 141 <small>新型コロナウイルスワクチン接種事業</small> …… 142 病院事業会計補助金 …… 156 ・ 各保育所 柏保育所管理運営事業 …… 111 家串保育所管理運営事業 …… 112 御荘保育所管理運営事業 …… 113 城辺保育所管理運営事業 …… 114 緑保育所管理運営事業 …… 115 緑保育所一時保育事業 …… 116 一本松保育所管理運営事業 …… 117
--	--

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・高齡者支援課 <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター補助事業 …… 67 城辺高齡者共同住宅管理運営事業 …… 75 成年後見制度利用促進事業 …… 79 介護予防サービス計画作成事務 …… 80 敬老会助成事業 …… 81 老人クラブ活動助成事業 …… 82 全国健康福祉祭（ねんりんピック）事業 …… 83 緊急通報システム整備事業 …… 84 福祉タクシー助成事業 …… 85 在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業 …… 86 鍼灸マッサージ等施術費助成事業 …… 87 独居高齡者見守り推進事業 …… 88 介護慰労金支給事業 …… 89 高齡者運転免許証自主返納支援事業 …… 90 介護タクシー助成事業 …… 91 介護認定審査会事務 …… 371 介護サービス給付費 …… 372 介護予防サービス給付費 …… 373 高齡者総合相談事業 …… 374 介護用品支給事業 …… 375 高齡者共同住宅生活支援事業 …… 376 認知症地域支援・ケア向上事業 …… 377 生活支援体制整備事業 …… 378 訪問介護相当サービス事業 …… 379 訪問介護基準緩和サービス事業 …… 380 通所介護相当サービス事業 …… 381 総合事業介護予防ケアマネジメント事業 …… 382 ・南楽荘 <ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホーム南楽荘管理運営事業 …… 78 ・環境衛生課 <ul style="list-style-type: none"> 生活環境施設等整備補助事業 …… 143 再生可能エネルギー推進事業 …… 144 新エネルギー等導入促進補助事業 …… 145 浄化槽整備事業特別会計繰出金 …… 146 不法投棄解消事業 …… 149 塵芥処理管理事業 …… 150 し尿処理補助事業 …… 151 海岸漂着物等地域対策推進事業 …… 152 小規模下水道特別会計繰出金 …… 157 小規模下水道維持管理事業 …… 385 浄化槽整備事業 …… 389 浄化槽維持管理事業 …… 390 ・環境衛生センター <ul style="list-style-type: none"> 御荘霊苑管理運営事業 …… 148 機密書類等回収事業 …… 153 環境衛生センター管理運営事業 …… 154 ・水道課 <ul style="list-style-type: none"> 上水道事業会計補助金 …… 155 	<ul style="list-style-type: none"> ・内海支所 <ul style="list-style-type: none"> 内海支所維持管理事業 …… 29 内海高齡者生活福祉センター管理運営事業 …… 73 須ノ川公園管理事業 …… 246 グリーンパークすのか管理運営事業 …… 247 ・御荘支所 <ul style="list-style-type: none"> 御荘支所維持管理事業 …… 30 御荘老人福祉センター管理運営事業 …… 74 僧都川河川敷公園維持管理事業 …… 249 花と緑のピクニック公園維持管理事業 …… 250 中浦テレビ塔公園維持管理事業 …… 251 御荘文化センター管理運営事業 …… 341 ・一本松支所 <ul style="list-style-type: none"> 一本松支所維持管理事業 …… 31 一本松保健センター維持管理事業 …… 127 一本松ふるさと生活館管理運営事業 …… 171 県境夏まつり「一本松」事業 …… 226 篠山森林公園管理運営事業 …… 245 一本松地区広場維持管理事業 …… 252 あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業 …… 253 あけぼの荘管理運営事業 …… 393 ・西海支所 <ul style="list-style-type: none"> 西海支所維持管理事業 …… 32 西海高齡者生活福祉センター管理運営事業 …… 76 西海保健福祉センター管理運営事業 …… 128 西海地域公衆便所管理事業 …… 147 石垣の里管理運営事業 …… 237 鹿島観光施設運営事業 …… 242 鹿島・高茂岬自然公園維持管理事業 …… 244 西海ふれあい公園維持管理事業 …… 248 旅客船維持管理事業 …… 395 瀬ノ浜施設維持管理事業 …… 396 旅客船修繕事業 …… 397 ・学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会運営事務 …… 281 外国人英語指導助手設置事業 …… 282 学校 I C T 管理事業 …… 283 学校施設防災機能強化事業 …… 284 南宇和高等学校魅力化推進事業 …… 285 奨学金返済支援事業 …… 286 閉校施設等管理事業 …… 287 学校活動支援事業 …… 288 南宇和高等学校教育振興協議会補助事業 …… 289 心の教育推進事業 …… 290 教員住宅管理運営事業 …… 291 要保護及び準要保護児童就学援助事業 …… 294 要保護及び準要保護生徒就学援助事業 …… 296 児童生徒教職員健康管理事業 …… 342 学校保健・体育会支援事業 …… 343 要保護及び準要保護児童生徒給食援助事業 …… 357
--	---

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・ あいなん幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> 預かり保育事業 …… 298 あいなん幼稚園管理運営事業 …… 299 ・ 学校給食センター <ul style="list-style-type: none"> 学校給食センター管理運営事業 …… 358 ・ 小・中学校 <ul style="list-style-type: none"> 小学校維持管理事業 …… 292 小学校振興事業 …… 293 中学校維持管理事業 …… 295 中学校振興事業 …… 297 ・ 生涯学習課 <ul style="list-style-type: none"> 一本松郷土資料館管理運営事業 …… 172 一本松交流促進センター管理運営事業 …… 173 一本松プール管理運営事業 …… 174 あけぼのグラウンド管理運営事業 …… 175 花づくり推進事業 …… 300 女性教育推進事業 …… 301 わが里づくり事業補助金事業 …… 302 文化協会活動支援事業 …… 303 放課後子ども教室事業 …… 304 子どもセンター運営事業 …… 305 成人式開催事業 …… 306 中央公民館生涯学習事業 …… 316 文化財保護啓発事業 …… 337 文化財等調査事業 …… 338 御荘文化センター図書室運営事業 …… 339 御荘文化センター自主開催事業 …… 340 スポーツ少年団事業 …… 344 スポーツ推進委員事業 …… 345 スポーツ協会補助事業 …… 346 スポーツ競技大会出場助成事業 …… 347 中学校社会体育等活動事業 …… 348 愛南サッカーフェスティバル補助事業 …… 349 愛南町いやしの郷トリアスロン大会実行委員会補助事業 …… 350 内海運動公園管理運営事業 …… 351 一本松体育館管理運営事業 …… 352 西海体育館管理運営事業 …… 353 学校開放施設管理運営事業 …… 354 ・ 人権啓発室 <ul style="list-style-type: none"> 大森文化会館管理運営事業 …… 100 人権啓発作品集作成事業 …… 307 人権教育協議会補助事業 …… 308 ・ 各公民館 <ul style="list-style-type: none"> 魚神山老人福祉センター管理運営事業 …… 77 菊川農村研修センター管理運営事業 …… 170 須ノ川公園まつり事業 …… 309 内海公民館生涯学習事業 …… 310 平城公民館生涯学習事業 …… 311 城辺公民館生涯学習事業 …… 312 	<ul style="list-style-type: none"> 一本松公民館生涯学習事業 …… 313 西海公民館生涯学習事業 …… 314 福浦公民館生涯学習事業 …… 315 内海公民館管理運営事業 …… 317 家串公民館管理運営事業 …… 318 魚神山公民館管理運営事業 …… 319 菊川公民館管理運営事業 …… 320 平城公民館管理運営事業 …… 321 長月公民館管理運営事業 …… 322 赤水公民館管理運営事業 …… 323 中浦公民館管理運営事業 …… 324 城辺公民館管理運営事業 …… 325 僧都公民館管理運営事業 …… 326 東海公民館管理運営事業 …… 327 久良公民館管理運営事業 …… 328 緑公民館管理運営事業 …… 329 深浦公民館管理運営事業 …… 330 一本松公民館管理運営事業 …… 331 上大道公民館管理運営事業 …… 332 西海公民館管理運営事業 …… 333 福浦公民館管理運営事業 …… 334 西浦公民館管理運営事業 …… 335 トレッキング・ザ・空海開催事業 …… 336 ・ 御荘B&G海洋センター <ul style="list-style-type: none"> 水泳・エアロビクス教室運営事業 …… 355 御荘海洋センター管理運営事業 …… 356 ・ 防災対策課 <ul style="list-style-type: none"> 民間建築物耐震診断・改修補助事業 …… 40 自主防災組織活動支援事業 …… 41 防災士養成事業 …… 42 津波一時避難場所防災倉庫等整備事業 …… 43 防災教育推進事業 …… 44 防災情報通信設備維持管理事業 …… 45 指定避難所資機材整備事業 …… 46 災害時備蓄食糧・物資整備事業 …… 47 ハザードマップ作成事業 …… 49 B & G 財団災害時相互支援体制整備助成事業 …… 50 ・ 消防本部 <ul style="list-style-type: none"> 消防職員教育研修事業 …… 273 通信指令システム運用管理事業 …… 274 救急救命士等教育訓練事業 …… 275 救急業務運用事業 …… 276 消防団運営事業 …… 277 消防団設備維持管理事業 …… 278 消防施設整備事業 …… 279 消防団設備整備事業 …… 280
--	--

一 般 会 計

1 一般会計に関する報告

(1) 総括

令和4年度の一般会計決算収支は、歳入総額 16,777,105 千円、歳出総額 15,977,203 千円で、歳入歳出差引額は 799,902 千円となりました。

町有管理地活用管理事業等 24 事業、総額 474,858 千円を令和5年度へ繰越し、繰越事業に充当する一般財源 105,245 千円を控除した実質収支は、前年度比 68,266 千円減の 694,657 千円、財政調整基金への積立額 7,843 千円を考慮した実質単年度収支は、60,423 千円の赤字となりました。

地方債現在高は、前年度比 1,435,092 千円減の 15,479,751 千円、積立金現在高は、前年度比 25,762 千円増の 11,163,291 千円となっています。

(2) 歳入

令和4年度の歳入決算額 16,777,105 千円の内訳は、次のとおりです。

一般会計（歳入）

(単位：千円、%)

	令和3年度決算額		令和4年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 町税	1,787,679	10.3%	1,824,959	10.9%	37,280	2.1
2 地方譲与税	144,949	0.8%	148,192	0.9%	3,243	2.2
3 利子割交付金	2,384	0.0%	1,612	0.0%	△ 772	△ 32.4
4 配当割交付金	10,779	0.1%	9,654	0.1%	△ 1,125	△ 10.4
5 株式等譲渡所得割交付金	13,405	0.1%	7,926	0.0%	△ 5,479	△ 40.9
6 法人事業税交付金	20,612	0.1%	28,193	0.2%	7,581	36.8
7 地方消費税交付金	476,666	2.7%	470,418	2.8%	△ 6,248	△ 1.3
8 自動車税環境性能割交付金	9,419	0.1%	10,660	0.1%	1,241	13.2
9 地方特例交付金	24,977	0.1%	6,431	0.0%	△ 18,546	△ 74.3
10 地方交付税	7,794,675	44.8%	7,617,128	45.4%	△ 177,547	△ 2.3
11 交通安全対策特別交付金	1,966	0.0%	1,632	0.0%	△ 334	△ 17.0
12 分担金及び負担金	149,641	0.9%	135,012	0.8%	△ 14,629	△ 9.8
13 使用料及び手数料	171,289	1.0%	177,199	1.1%	5,910	3.5
14 国庫支出金	2,226,131	12.8%	1,738,756	10.4%	△ 487,375	△ 21.9
15 県支出金	1,132,268	6.5%	1,033,824	6.2%	△ 98,444	△ 8.7
16 財産収入	159,592	0.9%	159,782	1.0%	190	0.1
17 寄附金	692,681	4.0%	989,078	5.9%	296,397	42.8
18 繰入金	323,363	1.9%	438,936	2.6%	115,573	35.7
19 繰越金	774,347	4.5%	869,992	5.2%	95,645	12.4
20 諸収入	206,000	1.2%	220,202	1.3%	14,202	6.9
21 町債	1,276,821	7.3%	887,519	5.3%	△ 389,302	△ 30.5
計	17,399,644	100.0%	16,777,105	100.0%	△ 622,539	△ 3.6

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

(3) 歳 出

令和4年度の歳出決算額 15,977,203 千円の目的別及び性質別の内訳は、次のとおりです。

歳出（目的別）

(単位：千円、%)

	令和3年度決算額		令和4年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 議会費	82,254	0.5%	87,386	0.5%	5,132	6.2
2 総務費	2,979,962	18.0%	3,545,273	22.2%	565,311	19.0
3 民生費	4,067,977	24.6%	3,799,215	23.8%	△ 268,762	△ 6.6
4 衛生費	1,394,206	8.4%	1,447,945	9.1%	53,739	3.9
6 農林水産業費	1,824,887	11.0%	1,421,741	8.9%	△ 403,146	△ 22.1
7 商工費	636,261	3.8%	477,652	3.0%	△ 158,609	△ 24.9
8 土木費	787,058	4.8%	735,004	4.6%	△ 52,054	△ 6.6
9 消防費	481,029	2.9%	456,834	2.9%	△ 24,195	△ 5.0
10 教育費	1,097,239	6.6%	1,073,792	6.7%	△ 23,447	△ 2.1
11 災害復旧費	156,850	0.9%	126,379	0.8%	△ 30,471	△ 19.4
12 公債費	2,445,633	14.8%	2,381,568	14.9%	△ 64,065	△ 2.6
13 諸支出金	576,296	3.5%	424,414	2.7%	△ 151,882	△ 26.4
計	16,529,652	100.0%	15,977,203	100.0%	△ 552,449	△ 3.3

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

歳出（性質別）

(単位：千円、%)

	令和3年度決算額		令和4年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 人件費	3,313,366	20.0%	3,398,441	21.3%	85,075	2.6
2 物件費	2,274,633	13.8%	2,729,867	17.1%	455,234	20.0
3 維持補修費	90,127	0.5%	83,577	0.5%	△ 6,550	△ 7.3
4 扶助費	1,621,288	9.8%	1,611,188	10.1%	△ 10,100	△ 0.6
5 補助費等	2,341,287	14.2%	2,121,189	13.3%	△ 220,098	△ 9.4
6 公債費	2,445,633	14.8%	2,381,568	14.9%	△ 64,065	△ 2.6
7 積立金	576,296	3.5%	424,414	2.7%	△ 151,882	△ 26.4
8 投資及び出資金	68,678	0.4%	71,341	0.4%	2,663	3.9
9 貸付金	307	0.0%	429	0.0%	122	39.7
10 繰出金	1,533,909	9.3%	1,545,155	9.7%	11,246	0.7
11 普通建設事業費	2,107,278	12.7%	1,483,655	9.3%	△ 623,623	△ 29.6
12 災害復旧事業費	156,850	0.9%	126,379	0.8%	△ 30,471	△ 19.4
計	16,529,652	100.0%	15,977,203	100.0%	△ 552,449	△ 3.3

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

主要な施策の成果については、次のとおりです。

議会運営事業

議会事務局 議会事務局

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	01 議会費	決算書 ページ	71
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 議会費		
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	01 議会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町議会では、議員研修の充実強化に努めており、法政大学教授を講師に招いて、議会報告会で建設的な意見が出やすい雰囲気づくり、実りある意見交換の場にするための研修の実施のほか各種研修に参加し令和4年度は8回延べ83名が出席しました。
議会報告会においては、大学教授に「町民と議員で議会を語るミニフォーラム」開催やコーディネーターを務めていただき意見交換会を実施し、59名の参加者から57件の意見をいただきました。
令和4年度は、定例会、臨時会、各委員会等を延べ73日開催しました。
定例会11日、臨時会1日、議員全員協議会19日、議会運営委員会14日、総務文教常任委員会7日、産業厚生常任委員会8日、議会活性化特別委員会9日、議員派遣4日

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	定例会、臨時会、各常任委員会等の活動日数(日)	54	73	73
	活動				
	成果	議会運営 委員会運営に支障をきたす事務トラブル件数(件)	0	1	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	19,904	18,310	20,665
		カ 事業費(ア～オ合計)	19,904	18,310	20,665

成果実績 評価	成果状況	(状況)議会・委員会運営に支障をきたす事務トラブルとなる機器の故障等はありませんでした。 (原因)機器の故障等もなく、本会議前の音響テスト、毎週機器点検等を行い、使用手順や操作も正確に行われています。 (余地)上記原因から、成果向上余地は少ないと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域振興費交付事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	73
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	01 一般管理費		

手段 (R04年度の取り組み)

行政区ごとに、地区に加入する世帯数に6,000円を乗じた金額を交付しました。
令和4年度の地区に加入する世帯数は7,014世帯、地区加入の割合は72.71% (7,014世帯/
9,647世帯) です。

令和4年度地域振興費の地域ごとの交付状況等は、次のとおりです。

・内海地域 : 8地区 交付額 3,066千円 地区加入世帯数 511世帯(加入率78.74%)
 ・御荘地域 : 35地区 交付額 13,548千円 地区加入世帯数 2,258世帯(加入率68.14%)
 ・城辺地域 : 59地区 交付額 14,235千円 地区加入世帯数 2,422世帯(加入率73.37%)
 ・一本松地域 : 8地区 交付額 5,886千円 地区加入世帯数 981世帯(加入率68.79%)
 ・西海地域 : 16地区 交付額 5,052千円 地区加入世帯数 842世帯(加入率87.98%)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		交付行政区数(区)	127	127
活動		地域振興費交付額(円)	42,466,112	42,149,107	41,787,002
成果		返還行政区割合(%)	17.32	10.23	2.38
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	42,466	42,149	41,787
		カ 事業費(ア~オ合計)	42,466	42,149	41,787

成果 実績 評価	成果状況	(状況)令和4年度に地域振興費の一部を返還した行政区の割合は2.38%で、令和3年度と比較し7.85%向上しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各行政区が予定していた行事の多くが中止となった令和3年度と比べ、多くの行政区の決算額が地域振興費の交付限度額を上回ったことが大きな要因であると考えます。 (余地)引き続き、地域活動の活発化を促進できるよう働きかけます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

行政一般庶務事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	73
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費		

手段 (R04年度の取り組み)

町政を推進するために必要な事務用品、電話通話料、諸手数料、及び総務一般的な委託料、使用料等を計上し執行します。

令和4年度は、経常業務のほか、職員の新型コロナウイルス感染症対策として、コロナウイルス抗原検査キットとN95マスクを新型コロナ臨時交付金を活用して購入しました。

令和4年度新型コロナ臨時交付金 676千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動				
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	1,545	676
		イ 県	79	24	17
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	43,379	47,862	42,901
		カ 事業費(ア～オ合計)	43,458	49,431	43,594

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) コロナ臨時交付金を活用して、職員用のコロナ抗原検査キット458個、N95マスク125枚を購入し、職員の感染者蔓延防止に努めました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

職員福利厚生事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費		

手段 (R04年度の取り組み)

職員の健康保持・増進及び生活福祉の向上を図り、安心して業務に取り組むことが出来るよう、職員の健康管理や職場の労働安全に関する業務及び勤務能率の発揮・増進のために職場(内・外)研修に取り組み、職員の福利厚生の上向上に努めました。
【事業内容】職員研修(メンタルヘルスケア、アサーティブコミュニケーション等)の実施、職員ミニドック(定期健診)の実施、弔慰金保険料の支払い、出向職員の旅費・住宅借上料等の精算

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		研修事業等メニュー実施数(種)	6	8
成果		研修事業等受講延べ人数(人)	539	665	621
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	433	577	854
		オ 一般	8,981	9,029	11,511
		カ 事業費(ア~オ合計)	9,414	9,606	12,365

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)職員の健康保持・増進を目的とした職員健診を5日間に分けて実施し、今年度の健診受診率は100%でした。また、業務に関する知識の増進と業務能率の向上を目的とした各種研修に、年間を通して多数の職員に参加してもらうことができました。 (原因)健康保持・増進の重要性や、研修を受講することによるメリットなどを説明して、受診や受講を呼びかけることができました。 (余地)引き続き、積極的に呼びかけを行います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

7]

会計年度任用職員等管理運営事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
会計年度任用職員に給与、報酬及び各種手当を支払いました。	
令和4年度末 (R5.3.31) 会計年度任用職員数	
フルタイム	199人
パートタイム	61人
・給料	378,849千円
・職員手当等	104,297千円
・旅費	1,888千円
・報酬	72,516千円
・共済費	100,607千円
令和4年度新型コロナ臨時交付金充当事業の内「保育対策総合支援事業費補助金」から270千円が充当されました。	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動				
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	569	12,788	29,332
		イ 県	0	0	10,191
		ウ 地方債	20,900	17,200	19,300
		エ その他	9,235	621	10,017
		オ 一般	487,169	514,285	589,317
		カ 事業費 (ア～オ合計)	517,873	544,894	658,157

成果実績評価	成果状況	(状況) 新型コロナ臨時交付金を活用して、感染拡大防止のため保育所室内の除菌消毒を実施しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

1085

広報あいなん事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R04年度の取り組み)

【普遍的及び令和4年度の手段】

毎月1回、広報紙を発行（10,400冊、規格等：A4版、右綴じ・ステープラー2か所中綴じ、2穴、全頁4色フルカラー、頁数：28～32頁×12回）し、町内全世帯（地区加入世帯）、町内外関係機関等へ配布しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		広報紙発行部数 (冊)	132,000	129,600
活動					
成果		広報紙配布率 (%)	86.7	86.9	88.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,261	4,949	4,947
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,261	4,949	4,947

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 町内全世帯(地区加入世帯)及び事業所等を含めた配布部数はほぼ横ばいとなっています。</p> <p>(原因) 世帯数は減少していますが、町の出来事を多く取り上げるなど、共感を得られる紙面づくりを心掛けたことで、地区加入世帯以外の方にも手に取っていただくことにより配布部数が横ばいになったと思われます。</p> <p>(余地) 掲載情報を整理して、読みやすい、伝わりやすい紙面づくりを行うことで、町の魅力や行事の周知することにより、配布数の向上が図れます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ホームページ運用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	77
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R04年度の取り組み)

【普遍的及び令和4年度の手段】
 愛南町公式ホームページ運用ガイドラインに基づき、アクセシビリティに配慮された魅力あるページが作成されるよう、情報発信（ページ作成）を行う各所属への支援や、ホームページ全体の運用管理を行いました。また、情報セキュリティの確保に努めました。
 ・高齢者や身体に障がいや不自由のある方でも容易に情報を入手できるホームページとなるよう適切な運用管理を行いました。
 ・町民をはじめ、本町の情報を得ようとする方に対して周知すべき情報をホームページから積極的に発信するよう促しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	ホームページの新規情報発信件数 (件)	322	354
成果	成果	ホームページのアクセス件数 (年間) (件)	503,028	497,857	624,671
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,381	1,381	1,381
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,381	1,381	1,381	

成果実績 評価	成果状況	(状況) サイトへのアクセス数は前年度より25%増と向上しました。 (原因) 前年度に引き続き庁内各課にホームページでの情報発信を呼びかけることで、これまで掲載していなかった情報を発信するようになりました。また、新規イベントの開催や既存イベントの再開など、コロナ対策情報以外の閲覧数が大幅に向上したことがアクセス数増加の要因と考えられます。 (余地) 新規情報等をより多く発信することで、サイトへのアクセス数を増加させることが期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

入札執行管理事務

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	77
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	03 財政管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>町が発注する建設工事等（130万円を超える工事、80万円を超える物品、50万円を超える業務委託等）の適正な入札を執行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事：99件 ・物品：56件 ・業務委託等：66件 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	入札執行件数 (件)	235	302
成果	成果	談合等、不適切な入札件数の発生割合 (%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,456	2,505	3,112
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,456	2,505	3,112

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 談合等の不適切な入札は発生しておらず、順調に推移しています。 (原因) 独占禁止法及び官製談合防止法等の法令や、愛南町建設工事等入札参加資格停止措置要綱等により、談合等の不正行為に対しては厳しい措置が取られており、このことが、不正行為の抑止につながっていると考えられます。 (余地) 今後もこの状態を維持できるよう、より良い制度づくりに取り組んでいきます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

町有管理地活用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	77
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	05 財産管理費		

手段 (R04年度の取り組み)

- ・公有財産（普通財産）について、近隣に迷惑がかからないように、随時、対象の土地を巡回し、必要箇所の草刈等を実施しました。
（実施件数：町有地 7件）
- ・借受者が使用できるように、施設設備の保守点検等を実施しました。
（電気保安管理業務・消防用設備保守点検業務・浄化槽保守点検業務・施設清掃業務）
- ・借受者が使用できるように、施設の補修、修繕等を実施しました。
（実施件数：6施設等 16件 旧馬場集会所1階トイレ改修工事等）
（繰越件数：1施設等 2件 城辺商工会総合事務所耐震補強工事等）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		施設の修繕件数 (件)	5	10
活動		保守点検、検査実施回数 (回)	3	4	4
成果		修繕が必要な箇所が原因で施設利用に支障が発生した件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	128	844	2,758
		オ 一般	2,054	7,117	6,847
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,182	7,961	9,605

成果実績 評価	成果状況	(状況) 修繕件数は前年度と比較して6件増加していますが、施設利用に支障はなく、順調に利用できています。 (原因) 老朽化施設の施設環境を整備したことが要因と考えます。 (余地) 今後も経年劣化等による修繕が予想されるため余地は小さいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

庁舎管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	05 財産管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

本庁舎の維持管理のため、施設修繕、工事及び保守管理を実施しました。
 検査：浄化槽法定検査、受水槽（簡易専用水道）検査
 保守点検等
 ・施設清掃業務・急速充電器保守業務・電気工作物保守管理業務・消防用設備保守点検業務・デマンド監視業務・非常用発電機保守点検業務・自動扉保守点検業務・監視カメラシステム保守点検業務・エレベーター保守点検業務・植木管理委託業務・浄化槽保守点検業務・空調設備保守点検業務・新庁舎入退室管理等委託業務・特定建築物環境衛生管理業務・浄化槽清掃業務・植栽植替え委託業務
 ○修繕実施件数：15件 ○工事実施件数：1件
 令和4年度臨時コロナ交付金：10,409千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕及び工事件数 (件)	11	18
活動		保守点検委託件数 (件)	14	14	16
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	648	0	10,409
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12,620	12,611	13,833
		オ 一般	8,580	8,912	14,204
		カ 事業費 (ア～オ合計)	21,848	21,523	38,446

成果 実績 評価	成果状況	(状況) Web会議用PC30台、モニター13台を購入し、オンライン会議に対応しました。 (原因) オンライン会議が増加する中、会議用端末が不足することがない体制を構築・確率できました。 (余地) 今後もオンライン会議に備えてまいります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

結婚活動支援事業

町長部局 企画財政課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 総務管理費		
基本事業	05 家族形成意識醸成の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

独身男女へ出会いの場を提供しました。

【実施事業】

- 1 婚活イベント：えひめ結婚支援センターに委託し、1回開催しました。
- 2 愛結び：えひめ結婚支援センターに委託し、12回(月1回)開催しました。
- 3 新婚旅行支援事業補助金：申請1件 交付決定1件
- 4 宇和島圏域出会いの場創出事業：2回開催されました。(1回目松野町 2回目宇和島市)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	町主催の婚活イベント開催数(回)	0	0
成果	成果	婚活イベントでのカップル成立数(組)	0	0	4
	成果	婚活イベントの参加者数(人)	0	0	15
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	131	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	132	334	1,484
		カ 事業費(ア～オ合計)	263	334	1,484

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)新型コロナウイルス感染症の影響によりR1、2年度中止していた町主催の婚活イベントを1回実施しました。また、宇和島圏域の婚活イベントは2回開催されました。愛結び事業は延べ利用人数16人と昨年度と比べて1人増加しています。</p> <p>(原因)無事イベントを開催できたことが原因です。</p> <p>(余地)引き続き婚活イベントの周知をすることで成果の向上が見込めます。また、愛結びについても、えひめ結婚支援センターが安心して相談できる機関であること、愛結びをオンラインでも利用できることを周知することで利用者の増加も見込めると考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

結婚新生活支援事業

町長部局 企画財政課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 家族形成意識醸成の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

対象者に対し、婚姻に伴う費用の補助を行いました。

- 1 対象：夫婦ともに39歳以下、世帯所得400万円未満の新婚世帯
- 2 1世帯当たりの交付額(上限)：29歳以下60万円、39歳以下30万円(国2/3 町1/3)
- 3 対象経費：(1)婚姻に伴う新規の住宅取得費用又は住宅貸借費用
(2)婚姻に伴い行う引越費用

【R4年度実績】

- ・相談 11件
- ・申請 10件
- ・交付決定 7件(2,003千円)
- ・R04年度新型コロナウイルス臨時交付金 668千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金交付件数(件)		6	1
成果	交付見込件数に対する補助金交付率(%)		120	20	140
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	633	171	668
		イ 県	0	0	1,335
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	633	86	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,266	257	2,003

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)補助金交付件数は7件で昨年度より2件増加しています。 (原因)所得要件の緩和及びチラシの地区回覧による事業周知を行ったことが一因 であると考えられます。 (余地)広報誌への掲載方法を見直し、より目を引く効果的な記事を掲載すること や、相談時に連絡先を聞き、申請までフォローを行うことが必要だと考えられま す。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

088]

ふるさと寄附金事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	04 観光 物産の振興	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

ふるさと納税の申込み受付事務を行い、年間5千円以上のふるさと寄附金をいただいた方へ、お礼の品として愛南町の特産品を贈呈し、愛南町の魅力をPRしました。なお、寄附金は「ふるさとづくり基金」に積立て、寄附者が指定した用途の事業に充当しました。

(寄附実績) R01年度 7,147件 112,881,000円
R02年度 16,336件 203,300,638円
R03年度 90,251件 692,540,700円
R04年度 128,868件 984,978,066円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	お礼の特産品数 (品)	320	665
成果	成果	寄附金額 (千円)	203,300	692,500	984,978
	成果	寄附件数 (件)	16,336	90,251	128,868
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	370,926	598,264
		オ 一般	104,226	26,474	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	104,226	397,400	598,264

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 寄附実績は、前年度と比べ約292,478千円(前年比約1.4倍)増加しました。 (原因) 返礼品の増加及び積極的なPRによるものと考えられます。 (余地) 地場産品返礼品の発掘に加え、体験型返礼品や既存返礼品のセット販売といった新規返礼品の開発や、リピーター確保のための方策、効果的なPR手法を行うことで寄附実績の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[34]

地域支援事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>「地域協力活動」を行いながら、町への定住を図るため、地域おこし協力隊制度を積極的に活用しています。本年度は新たに5名の隊員を採用しました。</p> <p>【令和4年度活動中の隊員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興（2名）・観光振興（1名）・水産振興（1名）・教育振興（3名）

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・成果状況	活動 地域おこし協力隊員数 (人)	3	2	7	
	活動				
	成果 地域おこし協力隊員定住人数 (人)	1	2	2	
	成果 地域おこし協力隊員起業件数 (件)	1	1	1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	500	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,345	3,428	6,965
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,845	3,428	6,965

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 今年度は、任期満了の隊員が居なかったため、成果指標に増減はありませんが、活動指標になっている協力隊員数は、過去最大の7名となっています。</p> <p>(余地) 地域おこし協力隊員が取り組む地域資源を活かした活動等が円滑に行えるよう、町及び受入地域や関係団体が継続的なサポート体制を充実することで起業・定住に繋がると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

大学生等生活応援ふるさと小包事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	06 企画費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和05年度

手段 (R04年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活の制限を受けた学生等に対して、地元商品を届けることで生活支援やリフレッシュの一助となるよう応援しました。

【R04年度実績】

年2回の発送を行いました。

第1便 225件

第2便 235件

・R04年度新型コロナウイルス臨時交付金額 2,300千円

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	ふるさと小包発送件数 (件)		235	
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	2,300
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1
	カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	2,301	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)新型コロナウイルス感染症の影響を受け、アルバイトができず生活に困窮している学生やリモート授業などにより外出機会が減ってストレスを感じている学生等に対して、地元商品を届けることで生活支援やリフレッシュの一助となるよう応援しました。なお、事業にかかる費用は、コロナ臨時交付金を充当しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

0141)

行政評価推進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 成果重視の行政経営の推進	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 内部評価	
(1) 事務事業評価	事務事業の目的、成果、効率性を検証し、次年度からの改善を図ります。
(2) 施策・基本事業評価	まちづくり住民アンケート並びに課独自アンケート及び業務取得した数値等を分析し、総合計画に掲げられた達成度を測る指標により施策・基本事業を評価しました。評価結果を「まちづくり報告書/愛南町総合計画の進行管理」として公表しました。
2 外部評価	評価依頼をした事務事業について、行政評価委員会が担当課へのヒアリング等を行い、客観的な検証を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		内部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1
活動		外部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1	1
成果		事務事業の成果向上割合 (%)	-	-	20.9
成果		事務事業の見直し割合 (%)	-	-	13.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,009	4,913	4,093
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,009	4,913	4,093

成果実績 評価	成果状況	(状況) 第3次総合計画の初年度の成果指標です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(余地) PDCAサイクルによる事業評価を確実に実行することにより、成果は向上すると考えます。
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

移住促進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	06 シティプロモーションと移住定住の促進	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 移住定住促進を図るため、次の事務を行いました。
- 1 愛南町空き家・遊休農地情報バンクを運用し、移住検討者へ情報提供を行いました。
 - 2 移住相談フェアに参加し、町をPRしました。
 - 3 移住相談者からの問い合わせに対応しました。
 - 4 移住相談業務等を移住コーディネーターに委託しました。

【R04実績】

- ・利用がなかった赤水教員住宅を体験住宅に改修しました。
全1棟 2戸 工事費7,172千円
- ・工事費に対し県補助金3,769千円を充当しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		移住相談件数 (件)	43	65
活動		移住者住宅改修の件数 (件)	1	1	0
成果		移住世帯数 (世帯)	6	60	55
成果		移住者数 (人)	13	80	71
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,089	2,100	3,769
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	60
		オ 一般	2,190	2,911	6,204
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,279	5,011	10,033

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)前年度と比較すると、移住相談件数は9件増加しましたが、移住世帯数は5世帯、移住者数は9人減少しています。</p> <p>(原因)相談件数が増加したことについては、コロナ禍において、地方への移住の関心が高まっていることが影響していると考えられます。移住者の減少については南予の小規模の自治体は全体的に減少傾向であり、暮らしやすさを求められたことが要因の一つだと思われます。</p> <p>(余地)移住コーディネーターの増員による空き家バンクの掘り起こしや、移住定住業務への地域おこし協力隊の採用などにより、移住者を増やすことは可能と考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海支所維持管理事業

内海支所 内海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	87
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

庁舎内の各機器（消防設備、空調、エレベーター設備等）について、専門性を有する業者に保守点検業務を委託するとともに、施設機器等の修繕が必要になった場合は、早急に修繕を行い良好な環境を保ちました。

【令和4年度】

- ・内海支所庁舎の維持管理及び修繕等 計13,800千円を実施しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	17	15
成果	成果	内海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	115	128	175
		オ 一般	12,055	13,202	13,625
		カ 事業費 (ア~オ合計)	12,170	13,330	13,800

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)内海支所は、内海公民館との合同庁舎となっており、施設内にはエントランスホール・児童コーナー・研修室・多目的ホール等あり、コミュニティーの場としても住民に広く活用されています。そのため、職員や利用者が安全に利用できるよう適切に維持管理していますが、施設の老朽化に伴う修繕が多くなっています。 (原因)経年劣化によるものと考えます。(平成6年5月竣工) (余地)良好な状態を維持するため、不具合が生じる前に適切な時期に必要な修繕を行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘支所維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>支所事務所及び関連周辺建物等の維持管理及び修繕を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に伴う光熱水費の支出を行いました。 ・業務に係る事務用品・消耗品の管理を行いました。 ・公用車および事務機械類の管理を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	3	1
成果	成果	御荘支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	1	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	18,030	0	0
		オ 一般	1,810	2,411	1,624
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,840	2,411	1,624

成果実績評価	成果状況	(状況)基本的な事業として、御荘支所の維持管理を継続して行っています。問題の発生に対しては随時対応しています。 (原因)支所機能を維持していく必要があるため、現状を維持していく必要があります。 (余地)現状を維持していく必要があるため成果の向上の余地はあまりありません。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松支所維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>施設の維持管理のため、設備を含む支所庁舎及び周辺施設の修繕・保守点検等を実施します。</p> <p>・清掃、電気保安、消防設備保守、樹木管理、非常用発電設備保守、宿直業務等の委託を実施。</p> <p>【R4】一本松支所庁舎は建築後55年が経過し、老朽化や耐震性の不備等の問題があり、来庁者や職員の安全確保を最優先として、窓口業務等の支所機能を令和5年3月27日に一本松保健センターへ移転しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	6	8
成果	成果	一本松支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	134	134	134
		オ 一般	8,709	5,679	12,578
		カ 事業費 (ア～オ合計)	8,843	5,813	12,712

成果実績 評価	成果状況	(状況)大規模な修繕もなく、順調です。 (原因)施設の適正管理によるものです。 (余地)今後、支所庁舎のあり方について、各種の検討が必要な状況となっています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

西海支所維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

庁舎の維持管理のため、各種点検業務及び修繕工事等を実施します。

令和4年度においては、消耗品費、光熱水費、各種点検業務及び修繕工事等、合計14,940千円を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	9	12
成果	成果	西海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,882	2,195	2,751
		オ 一般	14,525	24,962	12,189
		カ 事業費 (ア～オ合計)	16,407	27,157	14,940

成果実績評価	成果状況	(状況) 前年度と比較し修繕が3件、事業費も12,217千円低下しました。 (原因) 令和3年度、1階空調設備改修工事を実施したことが要因です。 (余地) 施設を良好な状態で保つため、適切な時期の修繕が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

交通安全対策事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
町交通安全指導員等による交通安全指導をはじめ、自転車ヘルメットの着用を推進する等、交通死亡事故防止対策を実施しました。

【令和4年度実績】

- ・町交通安全指導員による街頭指導実施回数：646回
- ・交通災害共済加入申込受付：2,538人、交通災害共済見舞金請求手続き：4人
- ・安全運転管理者等の選任、職員の安全運転に関する意識啓発
- ・自転車利用者の交通死亡事故防止を目的としたヘルメット購入費補助件数：16件

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		交通安全街頭指導実施回数(回)	619	715
活動		交通災害加入者数(人)	2,790	2,678	2,538
成果		交通安全指導事業参加者数(人)	20	20	20
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	279	228	0
		オ 一般	1,062	1,222	1,442
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,341	1,450	1,442

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和4年の町内の交通人身事故の発生状況は、発生件数・負傷者数ともに前年から大幅に増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。</p> <p>(原因)コロナ禍による外出自粛が緩和され、外出頻度や社会参加の機会が増加したことが一因ではないかと考えられます。</p> <p>(余地)対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全推進協議会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
愛南町交通安全推進協議会が実施する春、秋、年末の交通安全啓発活動に対し、補助金を交付します。

【令和4年度実績】
愛南町交通安全推進協議会が実施する、子どもと高齢者の交通事故防止対策の推進、自転車の安全利用の推進や全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底の呼びかけ、交差点の交通事故防止対策の推進、夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策の推進、飲酒運転の根絶の取り組み等を行う経費について、補助金を交付しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		900	900
活動					
成果	交通安全推進協議会事業参加者数 (人)		8	17	18
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	900	900	900
		カ 事業費 (ア～オ合計)	900	900	900

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和4年の町内の交通人身事故の発生状況は、発生件数・負傷者数ともに前年から大幅に増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。</p> <p>(原因) コロナ禍による外出自粛が緩和され、外出頻度や社会参加の機会が増加したことが一因ではないかと考えられます。</p> <p>(余地) 対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和交通安全協会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
南宇和交通安全協会が実施する春、秋、年末をはじめ、交通死亡事故緊急事態宣言発令時等における交通事故防止を目的とした啓発活動、運転免許証自主返納に係る運転経歴証明書の交付申請事務手数料等に対し、補助金を交付します。

【令和4年度実績】
南宇和交通安全協会に補助金を交付し、協会により次の事業が実施されました。
(1)交通安全運動期間中や交通安全の日において、のぼり旗等の設置、広報車による広報等を実施。(2)交通茶屋やシートベルト着用指導を実施し、ドライバーに対して反射材等の啓発グッズを配布。(3)広報誌「みなみうわ」16,620枚、交通白書350部を作成し配布。(4)登下校時や交通安全運動期間中、交通安全の日に交通要所・交差点等で街頭活動を実施。(5)運転免許証早期自主返納に伴う運転経歴証明書申請手数料等助成の実施。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		3,440	4,040
活動					
成果	南宇和交通安全協会実施事業参加者数 (人)		28	87	97
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,440	4,040	4,440
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,440	4,040	4,440

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年の町内の交通人身事故の発生状況は、発生件数・負傷者数ともに前年から大幅に増加しています。また、高齢者による交通事故の発生件数は全体の半数以上を占め、依然として高い割合になっています。 (原因)コロナ禍による外出自粛が緩和され、外出頻度や社会参加の機会が増加したことが一因ではないかと考えられます。 (余地)対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

カーブミラー等整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
見通しの悪い交差点や屈曲部へのカーブミラーの新設、老朽化や災害により破損したカーブミラーの修繕を行います。
【令和4年度実績】
地区等から要望のあった見通しの悪い交差点や屈曲部へのカーブミラーの新設、経年劣化や災害による破損や視認性の悪くなった既存のカーブミラーの修繕を行いました。また、台風第14号（令和4年9月）により想定を上回る件数のカーブミラーが被害を受けたため、工事費を増額補正して対応しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		整備数 (新設) (基)	24	15
成果		交通安全施設の整備 改修箇所数 (総計開始時からの累計) (箇所)	235	275	317
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,835	2,691	3,536
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,835	2,691	3,536

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）経年劣化や災害による建替え等が増加してきています。 （原因）設置からかなりの年数が経ち、ミラー部や支柱の腐食が進んだためと思われます。 （余地）破損する前に緊急性のあるものや需要の高いものから建替え等を行う必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全施設整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町道等の安全・安心かつ円滑な交通確保のため、地区要望等により整備箇所を把握し、維持管理及び修繕を行います。

令和4年度の事業については、次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分 1件 1,490,000円
- ・令和4年度分 8件 3,356,800円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	交通安全施設設置数(単年度)(件)	8	7	9
	活動				
	成果	交通安全施設設置数(総計開始時からの累計)(件)	55	62	71
	成果	交通安全施設維持管理不具合が原因の交通事故件数(損害賠償件数)(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,596	3,089	4,847
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,596	3,089	4,847

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)地区要望等により通行に危険のある箇所を把握し、計画的に工事を行っているため現状を維持しています。 (原因)経年劣化によるものと考えられます。 (余地)関係各課及び地域と連携することで、通行に危険のある箇所が把握でき、必要に応じ新たに交通安全対策を講ずることができると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

62]

防犯灯設置等補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>【当該事務事業の普遍的な手段】 地区が行う防犯灯の設置及び修繕事業に対し、費用の3分の2以内（上限額5万円）で補助金を交付します。 【令和4年度実績】 63地区に対して193件の補助金を支出しました。</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数 (件)		179	234
活動	補助金額 (円)		3,663,500	4,889,200	4,501,900
成果	地区が設置した防犯灯設置基数 (累計) (件)		1,256	1,490	1,683
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,664	4,889	4,502
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,664	4,889	4,502

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 修繕件数は近年増加傾向にあります。令和4年度は前年に比べると減少しました。 (原因) 経年劣化による修繕に加え、LED照明への更新が増加しているためです。 (余地) LED照明への更新により、長寿命化と電気代の節減が図れます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

防犯関係団体各種補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>【当該事務事業の普遍的な手段】 愛南地区防犯協会、愛南警察署駐在所連絡協議会が実施する住民と一体となった防犯活動に対し、補助金を交付します。</p> <p>【令和4年度実績】 愛南地区防犯協会と愛南警察署駐在所連絡協議会に補助金を交付し、両会により次の事業が実施されました。</p> <p>(1)防犯の日や各種地域安全運動等での犯罪防止の呼びかけ、愛南地区青パト子ども見守り隊出発式の実施、(2)犯罪抑止対策としてポスターや懸垂幕の掲示、商業施設での啓発物資の配布、(3)通学時における児童生徒の見守り活動、各種スポーツ大会の開催による非行防止ヤング3S運動の推進、(4)振り込め詐欺等の身近な知能犯罪の被害防止活動、高齢者対象防犯訓練、講話や寸劇の開催</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		5,350,000	5,350,000
活動					
成果	防犯関係団体の実施事業数 (件)		2	2	2
成果	防犯カメラの設置数 (台)		7	5	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,350	5,350	5,350
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,350	5,350	5,350

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和4年の町内の刑法犯は、認知件数・検挙人員・検挙件数ともに前年から大幅に増加しています。</p> <p>(原因) コロナ禍による外出自粛が緩和され、外出頻度が増加したことが一因ではないかと考えられます。</p> <p>(余地) 現状の活動が適切です。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

民間建築物耐震診断 改修補助事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 家庭の防災力の向上	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

耐震診断については、住宅の所有者が建築士に依頼し耐震診断を行う補助方式または町が業務委託を行う愛媛県建築士会から派遣された建築士が耐震診断を行う派遣方式により実施しました。補助方式については耐震診断費用の3分の2かつ上限2万円を補助します。診断結果により住宅を改修する場合は、次の補助を行いました。

改修設計 補助対象経費以内の額で上限30万円
改修工事監理 補助対象経費以内の額で上限4万円
改修工事 補助対象経費以内の額で上限120万円
ブロック塀安全対策工事について、工事費用の3分の2かつ上限30万円を補助しました。

耐震診断は派遣方式により11棟の診断を行いました。
耐震改修設計は3棟、改修工事及び工事監理は2棟の補助を行いました。
ブロック塀安全対策工事は7件の補助を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	啓発人数(戸別訪問件数 + 講座受講人数)(単年度) (人)	153	160
成果	成果	補助により耐震化された民間建築物数(累計) (戸)	11	14	16
成果	成果	耐震診断申請件数(単年度) (件)	5	5	11
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,276	1,177	2,228
		イ 県	634	585	1,094
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,083	1,473	2,515
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,993	3,235	5,837

成果実績評価	成果状況	(状況)耐震診断の申請件数は11件あり、改修設計を3件、改修工事を2件行いました。ブロック塀安全対策事業を7件行いました。 (原因)耐震診断の申請数、改修工事の件数とともに前年より増加しており、各種制度の周知による成果と思われます。 (余地)制度周知により、申請件数の増加につながると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

自主防災組織活動支援事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

自主防災組織の育成、防災訓練の指導や防災活動のため各種防災資機材を整備しました。
 ・自主防災リーダー育成研修会等を開催しました。
 ・各種訓練（地震津波避難・救護・消火・避難所運営）と防災講習会等を実施しました。
 ・防災資機材格納庫を地区要望により1基整備しました。

・自主防災会の訓練・防災学習では、テント設営訓練や災害図上訓練、家具転倒防止等に関する学習について実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		防災訓練の実施回数(回)	33	14
活動		防災資機材格納庫の設置数(基)	0	0	1
成果		自主防災組織活動への参加者数(人)	1,096	818	1,591
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	304	259	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	501	430	1,461
		カ 事業費(ア～オ合計)	805	689	1,461

成果 実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度に比べ訓練実施回数は24回、参加人数は773人増加しています。 (原因)コロナウイルス感染症が落ち着きを見せ、徐々に活動を行う自主防災会が増えてきたことによるものです。 (余地)全ての自主防災会での訓練等の活動ができていないため、今後も自主防災会会長等と協力し、ぼうさい出前講座等を通じて、町民の防災意識の向上や防災訓練の必要性を周知していくことで、成果が向上し地域の防災力が強化されます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

防災士養成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度
基本 事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費		

手段 (R04年度の取り組み)

防災士養成講座を受講するための経費を負担しました。

- ・ 自主防災組織等から推薦された受講者に対し、旅費、教本代、手数料を支出しました。
- ・ 令和4年度は、30名が防災士として認定されました。
- ・ 町内の防災士数は277人（うち女性70人 割合25.27%）になりました。
- ・ 防災士がいる自主防災組織の割合は88.37%（76/86組織）となりました。

【ふるさとづくり基金充当 200千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		防災士養成人数(人)	30	22
活動					
成果		防災士のいない自主防災組織数(団体)	9	9	10
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,000	200
		オ 一般	564	316	322
		カ 事業費(ア～オ合計)	564	1,316	522

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)令和4年度は、30人が防災士の資格を取得し、町内防災士の数は277人となりましたが、防災士のいない自主防災組織数は令和3年度9組織に対し、10組織となりました。</p> <p>(原因)防災士の転出等により防災士の数が減少した為です。</p> <p>(余地)今後も防災士のいない自主防災組織に受講者の推薦をしてもらい防災士を増やしていく必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

津波一時避難場所防災倉庫等整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 地域の防災力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

津波からの避難の際、津波警報等が解除されるまでの間、津波一時避難場所での滞在が予想されるため、自主防災組織の避難活動支援及び避難者の生活支援を目的に防災倉庫を設置しました。
・地区要望のあった防災倉庫4基（柏崎1基、馬瀬2基、節崎1基）の設置及び1基（網代）の修繕を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		防災倉庫設置数(基)	108	111
成果		防災倉庫設置割合(%)	72	74	77
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	206	1,854	2,443
		カ 事業費(ア～オ合計)	206	1,854	2,443

成果実績 評価	成果状況	(状況)新たに4基防災倉庫を設置し防災倉庫設置割合が3ポイント増加しました。 (原因)防災訓練等の増加により、地域内で防災倉庫の必要性が高まり、設置の要望が上がってきたものと思われます。 (余地)今後も、防災倉庫未設置地区へ倉庫の必要性を説明する必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

防災教育推進事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町・愛南町教育委員会・国立大学法人愛媛大学防災情報研究センター及び国土交通省
 四国地方整備局大洲河川国道事務所の四者協定に基づき防災教育を推進しました。
 ・愛南町防災教育連携協力協議会並びに協議会の目的を具現化するための愛南町防災教育
 推進懇談会を2月28日に開催しました。
 ・防災教育研究指定校の城辺地区小中学校に対して、防災教育活動費65万円を交付し、防
 災学習の推進を図りました。
 ・町内小中学生を対象に四国防災八十八話及び愛南町の災害体験談を基に感想文コンク
 ールを実施しました。
 ・地震体験車を活用した防災学習会を小学校7校、中学校3校で実施しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		(協議会 懇談会開催回数 (回))	1	1
活動		補助金額 (円)	650,000	650,000	650,000
成果		防災教育事業計画 (実施) 案件数 (件)	4	4	4
成果		防災意識が向上したと感じた児童・生徒の割合 (%)	96	95	98
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	875	788	816
		カ 事業費 (ア～オ合計)	875	788	816

成果実 績評 価	成果状況	(状況) 防災教育事業は計画どおり実施することができ、防災意識が向上したと感じた児童生徒の割合は98%であり、昨年度までと同様、児童生徒の防災意識は高い状況です。 (原因) 防災教育連携協力協議会により、各機関が実施する事業が承認され、適切な事業運営が図られています。 (余地) 現在行っている事業に工夫を加えることで、成果を向上させることができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

防災情報通信設備維持管理事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 災害対応力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

災害時での多様な通信手段を確保するため、災害時でもつながりやすい衛星携帯電話を本庁・支所(5台)、孤立する可能性がある地区等(31台)、防災対策課(2台)計38台を配備し、毎月の通信試験による操作・通信訓練、機器の維持管理を行いました。
 災害等の緊急情報を防災行政無線、音声告知端末を通じて住民へ伝達する全国瞬時警報システムの維持管理を行いました。
 愛媛県防災通信システム(地上系、衛星系)に係る維持管理負担金、回線通信料の支払いをしました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	衛星携帯電話通信試験実施回数 + 全国瞬時警報システム保守点検回数 + 愛媛県防災通信システム点検回数(回)	15	15
成果	成果	維持管理上の不具合により災害時に通信できなかった件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	900	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,853	3,767	3,692
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,753	3,767	3,692

成果実績評価	成果状況	(状況) 全国瞬時警報システム、衛星携帯電話、愛媛県防災通信システムにおいて適切な維持管理を行っています。 (原因) 全国瞬時警報システムは委託業者による2回の保守点検、衛星携帯電話は毎月通信試験を行ったこと、愛媛県防災通信システムの適切な維持管理に因ります。 (余地) 継続的な管理を行い、不具合の発生を抑えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

指定避難所資機材整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 災害対応力の強化	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>大規模災害時に避難所運営に必要な資機材を整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設に必要な資機材（文房具等）を10箇所整備しました。 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		避難所開設・運営資機材の整備箇所数 (箇所)	2	2
活動					
成果		避難所開設・運営資機材の整備済み避難所の累計 (箇所)	4	6	16
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	28,368	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,730	180	916
		カ 事業費 (ア～オ合計)	32,098	180	916

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 避難所開設に必要な資機材（文房具等）を10箇所整備し累計で16箇所の整備をしました。</p> <p>(原因) 整備が必要な施設を選定し、整備可能な施設から順次整備を行ったためです。</p> <p>(余地) 今後も必要な施設に順次整備を行っていきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

災害時備蓄食糧 物資整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	
基本 事業	04 災害対応力の強化	目	10 防災対策費		

手段 (R04年度の取り組み)	
備蓄計画に基づき食糧・物資を購入し、適切に保管・管理を行いました。	
備蓄計画 (R4からR8) に基づき食糧・物資を購入しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ・食糧/食糧(主食) 10,700食、保存水5,400リットル、食料(副食) 7,488食 粉ミルク24缶、液体ミルク216缶 ・備蓄物資/毛布1,000枚、小児用おむつ492枚、大人用おむつ234枚、 トイレ処理剤9,000回分、生理用品430枚、使い捨て哺乳瓶46セット ブルーシート100枚 	
災害対応職員用の備蓄食糧を購入しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ・食糧624食、保存水360リットル 	
【ふるさとづくり基金充当 12,000千円】	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		備蓄食糧(主食)の購入数(食)	3,940	3,940
活動		備蓄物資(毛布)の購入数(枚)	1,500	1,500	1,000
成果		食糧(主食)の備蓄計画の進捗状況(%)	20.6	41.1	51.4
成果		物資(毛布)の備蓄計画の進捗状況(%)	81.1	87.6	66.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	12,000
		オ 一般	5,035	0	113
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,035	0	12,113

成果実績 評価	成果状況	(状況)食糧の進捗状況が10.3p向上、物資の進捗状況が21.6p低下しました。 (原因)備蓄食料、物資とも目標とする総数量及び年間購入量が昨年度より増加した為です。 (余地)令和4年度は新たな備蓄5箇年計画の1年目となり、計画に基づき備蓄の整備を進めていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

緊急避難道整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

大地震による津波から沿岸部住民の生命を守るため、地区要望等により整備箇所を把握し、避難場所への避難するための道の整備（路面舗装及び手摺の設置等）を行います。

令和4年度の事業については、次のとおりです。
・令和4年度分 工事8件 4,047,080円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	高台等への避難路の整備延長(単年度)(m)	99	189
成果	成果	高台等への避難路の整備延長(総計開始時からの累計)(m)	1,110	1,299	1,445
	成果	高台への避難路整備全体計画進捗率(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,028	3,691	4,047
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,028	3,691	4,047

成果実績 評価	成果状況	(状況)地区要望により一時避難場所への避難路の整備を実施しています。 (原因)南海トラフ地震の発生で大津波が予想されており、地域住民の避難路整備 が必要です。 (余地)防災対策課及び地域との連携を強化することで、効果的に避難路の整備を 図ることができると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

ハザードマップ作成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

南海トラフ地震による津波浸水想定区域や土砂災害（特別）警戒区域等の災害リスク、住民の災害時の避難行動に資する指定緊急避難場所・指定避難所等の防災情報について、住民に分かりやすく提供し、防災意識の向上を図り、被害の軽減を図ることをめざし、各種ハザードマップの作成、改定を行いました。
・複数の災害リスクと避難所などの防災情報などを地図上に重ね合わせて閲覧することができるWeb版ハザードマップを構築し、愛南町ホームページにて公開しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	事業進捗率 (%)			100
活動					
成果	ハザードマップ配布数 (部)			9,000	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	3,000	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	3,089	2,757
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	6,089	2,757

成果実績評価	成果状況	(状況) Web版ハザードマップを構築し、町ホームページ上に公開しました。 (原因) 計画どおりに事業を実施することができました。 (余地) 防災学習会等で活用し、住民一人ひとりの防災意識の向上を図っていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B & G財団災害時相互支援体制整備助成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和05年度

手段 (R04年度の取り組み)

B&G財団助成による、防災対応資機材の整備と、自治体や消防と連携した支援事業を推進するためのもので、防災資機材の整備・人材育成・災害時相互支援体制の構築を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		資格講習実施回数(回)		4
活動		資機材整備進捗率(%)		100	100
成果		資格取得者数(人)		40	30
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	19,899	3,000
		オ 一般	0	58	34
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	19,957	3,034

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)防災資機材の整備は進捗率100%、人材育成については職員20人がバックホウの免許を取得、10人がチェーンソー使用の特別教育を修了しました。 (原因)B & G財団と連絡、調整をしながら各事業を進めることができました。 (余地)継続的に研修会や資格取得の支援を行うことで、整備した各種機材を活用することのできる人材を確保することができます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防災行政無線管理運営事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
 確実な災害情報及び行政情報の伝達を行うため、防災行政無線設備の維持管理を実施します。

【令和4年度実績】

- ・町防災行政無線（同報系）設備の点検及び保守
- ・屋外拡声子局等の電気代の支払
- ・無線局電波利用料の支払及び無線免許の5年毎の更新
- ・機器の修繕及び不具合等の申し出への対応 年8件

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	3	7
成果	成果	不具合等の申出件数 (件)	3	10	4
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,999	18,597	9,704
		カ 事業費 (ア～オ合計)	10,999	18,597	9,704

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 機器の故障による修繕等は、前年に比べると減少しましたが、近年増加傾向にあります。 (原因) 平成29年度に防災行政無線設備を更改し、機器更新から時間が経過したためです。 (余地) 緊急時に放送設備が機能しないことがないよう、適切な維持管理が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域コミュニティ活性化対策事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町集会施設条例に基づき、管理委託先である地区から修繕、増改築及び新築の要望があれば現場確認のうえ実施します。
また、地区が集会所での活動に必要な備品の購入に対し、予算の範囲内で補助金を交付します。

令和4年度においては、修繕・工事等29件5,328,136円、備品補助11件1,207,000円を実施しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	集会所の修繕及び備品整備補助件数 (件)	31	24	35
	活動	集会所の改修件数 (件)	5	0	5
	成果	機能改善した箇所数 (箇所)	36	24	40
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	576	229	1,702
		オ 一般	10,374	2,300	4,833
	カ 事業費 (ア～オ合計)	10,950	2,529	6,535	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 機能改善箇所数が前年度から66.7%向上しており、着実に集会所の機能改善を実施しています。また、地区からの申出により施設の集約化を図るため、集会所を1箇所解体し、廃止しました。 (原因) 前年度より大幅に機能改善を実施した原因の一つにコロナ禍で使用を控えていた施設の使用が再開、地域コミュニティ活動が活発化したことによるものと考えられます。 (余地) 耐用年数が経過した施設が半数以上占め、修繕と改修件数は増加傾向にあります。今後、経年劣化が顕著な施設は耐震性が懸念されることから建替えとともに、町財政負担に配慮し統廃合が望ましいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コミュニティ助成事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費		

手段 (R04年度の取り組み)

地域コミュニティ組織（行政区等）の活性化を支援するため、コミュニティ活動に必要な備品購入に対し、申請内容に応じて費用を助成します。

1. 一般コミュニティ助成事業

1件あたり2,500千円を上限に自治総合センターが決定した団体に対して交付します。

2. 町単独コミュニティ助成事業

1件あたり1,000千円を上限に審査会で意見を聞き決定した団体へ交付します。

【令和4年度実績】

1. 一般コミュニティ助成事業は、家串地区自治会を採択し2,500千円の助成をしまし

た。

2. 町単独コミュニティ助成事業は、5月までに申請はありませんでした。しかし、年度内で2件の申請があり助成するように決定しました。助成金総額は990千円です。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		一般コミュニティ助成金額(円)	4,200,000	2,300,000
活動		町単コミュニティ助成金額(円)	5,840,000	1,600,000	990,000
成果		一般コミュニティ助成件数(件)	2	1	1
成果		町単コミュニティ助成件数(件)	8	5	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,040	3,900	3,490
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	10,040	3,900	3,490

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)一般については、1件の申請を行い、1件採択されました。町単独については、2団体の申請があり、2件助成金を交付しましたが、助成する金額が少なく、予定していた申請件数も満たないことにより成果は低下・悪化しました。 (原因)町単独について、伝統行事がコロナ禍の影響で中止になり、伝統行事で使用する用具の新規購入や修繕をする必要がなかったことが考えられます。 (余地)一般の採択は、(一財)自治総合センターが行うため、向上の余地はありません。町単独は、コロナ禍により中止となっていた伝統行事が今後再開されることが予想されますので、申請希望も増えると考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

情報電算システム等整備改修事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>【普遍的な手段】 社会保障・税番号制度対応をはじめ、各種法制度改正等に対応するためのシステム改修やシステムの更新・整備を行いました。</p> <p>【R4】 地方公務員共済組合法の改正に伴うシステム改修を行いました。(対象事務：人事給与)</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		新規業務システム整備件数 (件)	0	0
活動		既存業務システム改修件数 (件)	11	13	2
成果		改修されず不具合・利便性が悪い業務システム数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,717	2,159	4,648
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	879	940	865
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,596	3,099	5,513

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)国が示すスケジュールに遅れることなくシステム改修を行うことができました。</p> <p>(原因)システム保守ベンダーや業務システム担当者と連携を図ったことが要因と考えられます。</p> <p>(余地)国の制度設計・仕様提示等の遅れもあり、短期間での対応を余儀なくされている状況であり、今後も国の動向に注意する必要があります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

情報電算システム等運用管理事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

行政事務の情報化を推進し行政サービスの高度化、効率化、経費削減等を推進します。各種業務システム及び各種情報機器の維持管理や効率的な運用を図り、正確で安定した住民サービス基盤を提供しました。

不正アクセス、ウィルス感染、盗難などによる情報資産の漏えい、破壊、改ざん、消去などの脅威から、行政サービスの基盤となる情報資産を守るため、情報セキュリティ対策を実施しました。

【6月補正】国の推進する住民の利便性の向上及び行政運営の効率化を目的としたオンライン手続を実施するために、基幹システムとの連携を行うサーバ機器等を整備しました。

【9月補正】一本松支所の電算機器等の移設に伴う予算を計上しました。

【12月補正】パソコンやプリンタの修繕料及びトナー等の消耗品費を計上しました。

【3月補正】入札減により諸手数料等を減額計上(2,375千円)しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕 改修件数 (件)	40	44	58	
	活動 システムの稼働日数 (日)	365	365	365	
	成果 システム障害件数 (件)	2	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,000	5,729
		オ 一般	127,695	140,116	157,366
	カ 事業費 (ア～オ合計)	127,695	141,116	163,095	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) システム障害件数は0件となっています。 (原因) システムの保守管理が適正にできていたため。 (余地) 今後、保守期限を迎える機器もあることから、計画的に機器更新を実施し、また、システムのバージョンアップ、設定手順の確認等、運用管理体制を強化し、システムの安定稼働に努めるとともに、機器の集約化等により運用コスト削減を図る必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

情報電算システム関係各種負担金

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【普遍的及び令和4年度の手段】

地方公共団体に提供する情報システム関係支援に係る経費等を負担金として地方公共団体システム機構へ支出しました。 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に伴って整備した自治体中間サーバー・プラットフォームの運用及びシステム更改に係る交付金を地方公共団体システム機構へ支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動				
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	3,267	1,064	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,967	3,144	3,146
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,234	4,208	3,146

成果 実績 評価	成果状況	(状況) (原因) (余地)
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域公共交通対策事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	03 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 町による生活交通の確保	目	15 地域交通対策費		

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
地域の公共交通のあり方を検討する場として愛南町地域公共交通会議を開催するほか、バスの乗り方教室や公共交通を題材としたフォトコンテストなどを実施します。
【令和4年度実績】
愛南町地域公共交通会議を5回開催(書面会議を含む。)したほか、愛南町地域公共交通計画の策定に係る費用として計画策定主体である愛南町地域公共交通協議会に負担金を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	開催回数(回)		2	3
活動					
成果	愛南町地域公共交通会議で合意形成した取組数(件)		1	3	7
成果	愛南町地域公共交通会議で決定した取組み事項で順調に進んでいる項目割合(%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	29	68	4,513
		カ 事業費(ア~オ合計)	29	68	4,513

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)町内を運行する公共交通機関の在り方を議論しています。 (原因)自家用車の保有率が高く公共交通への利用意識が低く、また、人口減少により潜在的な利用者も減少しています。 (余地)公共交通機関の利便性向上につながる取組みを推進し、利用促進を図る必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コミュニティバス運営事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書ページ	99
施策	03 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本事業	01 町による生活交通の確保	目	15 地域交通対策費		

手段 (R04年度の取り組み)

【当該事務事業の普遍的な手段】
公共交通空白地域において、コミュニティバス（8路線）を運行します。
・あいなんバス（車両）の維持管理 ・運行業務委託
【令和4年度実績】
車両の適正管理に努め、コミュニティバスを町内8路線で運行し、年間延べ59,296人の方に利用していただきました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・成果状況	活動	運行回数(回)	7,734	7,578	10,315
	活動				
	成果	コミュニティバス年間利用者数(人)	36,725	32,830	59,296
	成果	コミュニティバス運行上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	583	0
		イ 県	1,926	1,961	2,532
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,357	2,956	4,995
		オ 一般	38,917	56,412	72,366
		カ 事業費(ア～オ合計)	44,200	61,912	79,893

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)令和4年度は8路線を運行し、路線数の増加に伴い全体の利用者数は増加しましたが、既存6路線のうち4路線は前年度の利用者数を下回りました。 (原因)自家用車の保有率が高く公共交通への利用意識が低く、また、人口減少により潜在的な利用者も減少しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きいと考えられます。 (余地)既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改定、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図り、路線の維持を図ります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

生活バス路線維持対策事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書ページ	101
施策	03 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画年度	
基本事業	02 公共交通機関の利用促進	目	15 地域交通対策費		

手段 (R04年度の取り組み)
<p>【当該事務事業の普遍的な手段】 町民の交通手段の確保・維持のため、路線維持対策費として乗合バス事業者へ補助金を交付します。</p> <p>【令和4年度実績】 生活バス路線維持のため、乗合バス事業者に補助金を支出しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助対象路線数 (路線)		5	5
成果	民間バス年間利用者数 (人)		209,447	185,288	192,544
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	54,044	63,040	47,632
		カ 事業費 (ア～オ合計)	54,044	63,040	47,632

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 利用者は近年減少傾向にありますが、令和4年度は前年度に比べて増加しました。</p> <p>(原因) 自家用車の保有率が高く、公共交通の利用頻度が低い状況です。また、人口減少により潜在的な利用者也減少しています。近年はコロナ禍の影響を大きく受けていましたが、外出自粛が緩和されたことから利用が増えつつあります。</p> <p>(余地) 既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改正、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図り、路線の維持を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

875]

地域情報通信基盤整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	101
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>工事申込みによる一般世帯及び事業所等への機器等設備設置工事、死亡や転出等により不要となった機器等設備の撤去工事等を実施しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数 (件)	117	105
成果	成果	光ファイバー利用世帯割合 (%)	91.1	91.4	92.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,141	1,213	1,788
		オ 一般	18,113	17,582	38,502
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,254	18,795	40,290

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 昨年度に比べ光ファイバー利用世帯割合が若干増加しました。 (原因) 死亡や転出等によるサービス解約が少なかったことなどが増加した要因と考えられます。 (余地) 引き続き工事申込受付を実施することで向上の余地はあると思われます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

地域情報通信基盤設備管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	101
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 ICTによる情報の適切な管理と利活用	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
安定した「告知サービス」「電話サービス」「インターネットサービス」「CATVサービス」が提供できるよう適正な情報通信基盤設備の運用・維持管理を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	設備故障対応件数 (件)	912	988
成果	成果	設備等の平均不具合期間 (日)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	95,138	83,384	83,456
		オ 一般	55,468	63,170	73,863
		カ 事業費 (ア～オ合計)	150,606	146,554	157,319

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 設備等の不具合発生時にも迅速に対応できています。 (原因) 故障・不具合発生時に通信専門業者との保守・連携体制が構築・確立されています。 (余地) 今後も保守体制を継続することにより、安定したサービスの提供に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

住民税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	103
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・申告書等の課税資料を基に、住民税の賦課徴収事務を行いました。
 (5月・7月・10月)未申告者への呼出しを行いました。
 (5月中旬)特別徴収税額決定通知書を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。
 (6月中旬)普通徴収納税通知書(第1期)を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。
 (8月・10月・1月)期別納付書(第2期~第4期)を発送しました。
 (1月~2月上旬)給与支払報告書を收受し、システム入力を行いました。
 (2月~3月)住民税の申告受付を行いました。
 (毎月)納期到来未納者へ督促状を発送しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		納税通知書発送数(件)	4,368	4,352
活動		未納者への督促状発送数(件)	611	562	517
成果		行政に責のある住民税課税誤り件数(件)	0	0	0
成果		個人住民税収納率(現年度)(%)	99.64	99.64	99.40
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	10,539	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	7,228	7,130
	カ 事業費(ア~オ合計)	10,539	7,228	7,130	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)課税誤りの件数は、ここ数年0件で、個人住民税の収納率(現年度)は、昨年度と比較して0.24ポイント低下の99.40%となっていますが、成果としては順調でした。 (原因)課税誤り件数0件維持の要因としては、事務処理チェックの強化や税務署との連携・情報共有等が挙げられます。また、収納率の低下についてはコロナ禍による外国人労働者の出国手続きが長期化したことにより、賦課期日直後に出国したことが要因と考えられます。 (余地)引き続き滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はあると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

固定資産税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・法務局からの登記異動通知書を收受し、異動処理を行いました。
 ・土地、家屋の現況調査及び新增築家屋の調査を行いました。
 ・賦課期日における土地情報等を地籍システムに反映させる異動更新業務を行いました。
 ・償却資産の所有者に申告書を送付し、それを受領の上、課税客体を把握しました。
 以上の作業による算定基礎資料をもとに税額を決定し、納税通知書及び納付書を送付しました。また、未納者に対し、督促状を送付しました。
 ・国有資産等所在市町村交付金法に規定する国及び地方公共団体が所有する固定資産に係る交付金を請求し、収納しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		納税通知書発送数 (件)	10,788	10,958
活動		未納者への督促状発送数 (件)	2,499	2,253	2,388
成果		行政に責のある固定資産税課税誤り件数 (件)	3	1	1
成果		固定資産税収納率 (現年度) (%)	98.66	98.74	98.95
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,576	5,898	21,587
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,576	5,898	21,587

成果実績評価	成果状況	(状況) 収納率 (現年度) は、98.95% となっており、前年度と比較して0.21ポイント上昇し、同水準を維持しています。また、課税誤り件数は、前年度と同じ1件であり、成果としては横ばいです。 (原因) 課税誤りの内容については、資産異動による登録誤りであり、事務処理におけるチェック不足に起因するものです。また、収納率が微増した要因は、対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分の強化等が挙げられます。 (余地) 更なる事務処理チェックの強化及び滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで向上の余地はあると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[01]

軽自動車税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・4月1日を賦課期日とし、軽自動車（原動機付自転車、軽二輪、軽三輪、軽四輪、二輪小型自動車、小型特殊自動車）の納税義務者に対して、納税通知書及び納付書を発送しました。また、未納者に対して督促状を発送しました。

・口座引落しをされた納税義務者に対して、「納税済通知書」を発送しました。（口座不納の場合は「口座振替不納通知書」と納付書を送付しました）。

・軽自動車協会から送付される軽二輪、軽三輪、軽四輪、二輪小型自動車の軽自動車税申告書や転出車両情報等に基づき、登録・抹消・修正をしました。

・税務課窓口で直接申請する原動機付自転車、小型特殊自動車の軽自動車税申告書等に基づき、登録・抹消・修正をしました。また、申請された軽自動車税申告書に基づき、税務課窓口で証明書・標識の発行、標識の回収をしました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		納税通知書及び納付書発送数 (件)	10,061	9,899
活動		未納者への督促状発送数 (件)	659	743	626
成果		行政に責のある軽自動車税課税誤り件数 (件)	0	0	0
成果		軽自動車税 (種別割) 収納率 (現年度) (%)	99.12	98.91	99.17
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	318	326	2,373
	カ 事業費 (ア～オ合計)	318	326	2,373	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 課税誤り件数は0件で、収納率(現年度)は、昨年度と比較して0.26ポイント上昇した99.17%となっており、成果としては順調でした。</p> <p>(原因) 収納率の上昇については、滞納処分を含めた徴収強化の実施が考えられます。</p> <p>(余地) 引き続き滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はありと考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

徴収管理事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	105
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税费		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

滞納者に対し、財産調査を実施し差押を行いました。

- ・財産調査件数 1,354件
- ・差押の種類及び実施件数 42件

【内訳】

保険	3件
預貯金	20件
給与	12件
年金	1件
その他	6件

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	催告書発送数 (件)	694	772
活動	活動	滞納処分実施数 (件)	121	69	42
成果	成果	年度末時点滞納者数 (件)	329	335	319
成果	成果	収納率 (%)	97.58	97.70	97.88
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	37	1,735	4,852
		カ 事業費 (ア～オ合計)	37	1,735	4,852

成果 実績 評価	成果状況	(状況)滞納者数は前年度実績に比べ16人減少し、収納率は0.18ポイント向上しました。 (原因)現年滞納者への早期着手及び財産調査等を基に粛々と滞納処分を行ったことだと考えられます。 (余地)引き続き滞納処分を含めた各収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はあると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[103]

個人番号カード交付事業

町長部局 町民課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	107
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	03 戸籍住民基本台帳費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 戸籍住民基本台帳費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

窓口でマイナンバーカードを交付しました。申請時来庁方式による交付、公民館申請サポート窓口、出張申請・休日交付窓口の開設なども実施しました。交付事務費補助金を活用した県市町連携による「交付促進事業」（負担金：1,059,000円）実施しました。

交付率の向上と新型コロナウイルスにより売上げが減少している地元事業者の活性化に寄与するため、マイナンバーカード交付者を対象に「プレミアム商品券（1名あたり：1万円）」を交付しました。（配布人数：14,157人）
【令和4年度新型コロナ臨時交付金】：146,642千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		通知カード送付件数 (件)	11	0
活動		個人番号カード発行件数 (件)	2,248	2,643	7,889
成果		個人番号カード交付率 (%)	24.99	38.47	78.66
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	9,251	7,007	150,836
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5	2	0
		オ 一般	4	1,176	607
		カ 事業費 (ア～オ合計)	9,260	8,185	151,443

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 前年度と比べ、個人番号カード発行件数が5246件増加しています。 (原因) マイナンバーカード交付者を対象に交付する地元商店で使用できる「プレミアム商品券」事業により交付率が大幅に向上しました。 (余地) 個人番号カードの交付申請については、個人でのカードの取得に課題がある福祉施設入所者やひとり世帯の方への申請サポートの実施により発行件数の増加が見込まれます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

[108]

シルバー人材センター補助事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	111
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

シルバー人材センターの適正な運営と事業の促進を目的として、運営費補助金を交付しました。シルバー人材センターでは、退職者（60才以上）など高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、相談、就業機会の提供を組織的に実施しています。

【R04年度】

会員数 R4年4月1日現在68名、会費1人年2,000円

町から事業を支援するために運営費1,200千円を補助しました。
賛助会員会費、20千円の負担金を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,200,000	1,200,000
活動					
成果	60歳以上のシルバー人材センター会員加入率 (%)		0.5	0.6	0.6
成果	事業収入額 (円)		31,718,335	39,198,911	38,770,816
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,220	1,220	1,220
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,220	1,220	1,220

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 会員数は、ほぼ横ばいです。 (原因) シルバー人材センターへの作業依頼は年々増加しています。 (余地) 会員募集をし会員を増やすことにより、さらに事業実績を上げることができ ます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

重層的支援体制整備事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 総合相談窓口による支援	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>重層的支援体制構築に向けて次の事業に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業 ・地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援の取組 (モデル地区) <ul style="list-style-type: none"> ・柏地域 ・長月地域 ・参加支援事業 <p>上記事業の一部を愛南町社会福祉協議会に委託して実施しました。 (財源)国3/4 町1/4 ・生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 (国3/4) 11,743,000円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
	活動		複合的な相談件数 (件)		47	42
活動		地域での活動件数 (件)		0	93	
成果		終了した相談割合 (%)		93	30	
成果		地域づくり事業で整備された地域資源の件数 (件)		0	10	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	7,508	11,743
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	0	0	0
			オ 一般	0	1,772	3,566
			カ 事業費 (ア~オ合計)	0	9,280	15,309

成果 実績 評価	成果状況	(状況)福祉の総合相談窓口への42件の相談がありました。そのうち複雑化・複合化したケースは3件であり関係機関と連携し継続して支援を行っています。 (原因)既存の制度につなぐことで終結となるケースが多く、終了した相談割合が高くなっています。 (余地)相談に行くことができないケースや、相談・支援につながないケースについて掘り起こせるように、総合相談窓口の周知や庁内各課との連携により迅速に支援につながる体制づくりが必要であると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

更生保護事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・更生保護活動を行う団体に対して、負担金・補助金を交付しました。
- ・保護司の活動では、罪を犯した者の改善及び更生を助けるため、保護司相互の連絡調整及び資質の向上と犯罪予防のための世論の啓発並びに地域社会の浄化に努めました。
- ・更生保護女性会の活動では、保護司会と連携して、青少年の健全なる育成・向上を図るとともに、問題少年の保護更生を助け、広く犯罪の予防を行い、明るい地域社会づくりを目指しました。
- ・南宇和地区更生保護サポートセンターの旧東海小学校別棟への移転に伴い、更生保護活動を行うための拠点機能を確保するため施設改修工事を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	会議 研修会出席数 (人)		195	175
活動	負担金及び補助金額 (円)		720,000	665,300	2,140,328
成果	保護司会等活動参加人数 (人)		692	531	526
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	720	665	2,140
		カ 事業費 (ア～オ合計)	720	665	2,140

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 学校訪問や社会を明るくする運動等の縮小・中止により、例年通りの活動ができませんでしたが、サポートセンターの活動は可能な範囲で実施しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止・縮小があったことから、参加人数は減少しました。 (余地) 更生事業の継続のため、引き続き活動補助を行います。向上の余地は少ないです。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[130]

ボランティア連絡会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町ボランティア連絡会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域交流センター「プラザじょうへん」を拠点としたボランティア連絡会の活動に対して補助金を交付しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,800,000	1,800,000
活動	所属団体数 (件)		13	13	13
成果	ボランティア連絡会による事業数 (支援事業含む) (件)		9	12	17
成果	団体行事への参加者数 (人)		617	548	3,267
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,800	1,800	1,800
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,800	1,800	1,800

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 団体行事の参加者数がR04年度は3,267人で、R03年度より2,719人増加しています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染防止に努めながら、R04年度は地域交流イベント「ほりだしもん市」を開催することができました。また新たな拠点では十分に駐車スペースを確保することができたことが要因と考えます。</p> <p>(余地) 地域交流センターを軸とした、地域福祉交流事業を実施するとともに、ボランティア団体の支援や活動ネットワークの拡充を図ることで今後は参加人数の増加が見込めると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

社会福祉協議会運営補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域福祉活動への参画推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町社会福祉協議会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域社会の福祉活動に対して補助金を交付しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助金額 (円)	23,000,000	22,300,000
活動		補助対象事業数 (件)	14	14	14
成果		社会福祉協議会実施サービスの年間利用者数 (人)	7,077	7,750	8,547
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	23,000	22,300	23,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	23,000	22,300	23,000

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 利用者数は797人増加しています。 (原因) 地域福祉活性化事業の利用者は、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小はありましたが、増加傾向であります。ボランティア活動振興事業では、講座の開催等を行ったことから、利用者の増加に繋がりました。困窮者の支援、介護者の負担軽減を図る等、町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行ったことから、一定の成果を挙げています。 (余地) 多様化する地域の課題解決に向けて、住民・社会福祉協議会・行政が今後も連携して共に考えていくことで利用者の増加が見込めると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

遺族会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 社会福祉制度の円滑運営	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町遺族会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行い、補助金を交付しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,500,000	1,500,000
活動	会員数 (人)		356	336	311
成果	催しへの参加者数 (人)		59	61	78
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,500	1,500	1,500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,500	1,500	1,500

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 催しへの参加者数がR04年度は78人で、隔年開催の戦没者追悼式を実施したR01年度より157人減少しています。 (原因) R04年度は町主催の戦没者追悼式は実施していません。またコロナウイルス感染拡大懸念のため、遺族会の活動を中止しています。 (余地) 遺族会主催行事への参加者数の減少に歯止めをかけるため、次世代の孫や甥姪に参加を呼びかけるなど、今後の活動内容を検討することで歯止めをかけることができると考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海高齢者生活福祉センター管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・施設機器の保守業務を適正に実施し、円滑な維持管理を行いました。また、施設設備等の修繕が必要となった場合は早急に修繕を行い入居者が安心して生活が送れるよう良好な環境を保ちました。

・休日、夜間も入居者が安心して過ごせるよう宿日直者を配置しました。

【令和4年度】

・施設の維持管理及び修繕等 計4,422千円を実施しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 保守点検、検査実施回数(回)	30	30	30	
	活動 修繕件数(件)	6	8	8	
	成果 内海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
	成果 内海高齢者生活福祉センター年間利用者数(人)	765	699	503	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	104	120	166
		オ 一般	5,251	4,630	4,256
	カ 事業費(ア～オ合計)	5,355	4,750	4,422	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)現在2名の入居者が自立した生活環境の中で豊かで安心できる生活をして いますが、施設老朽化に伴う修繕が多くなっています。 (原因)経年劣化によるものと考えます。 (余地)今後も施設及び設備を良好な状態で維持し利用しやすい施設の維持管理に 努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[142]

御荘老人福祉センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	115
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

施設の管理及び使用に関する業務を行いました。
 ・施設の維持管理に伴う、燃料費・光熱水費を支出しました。
 ・各種保守点検の実施しました。
 ・清掃・樹木管理を委託しました。
 ・必要な小修繕等を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	2	1
活動	活動	保守点検回数 (回)	33	33	33
成果	成果	御荘老人福祉センター施設 設備の不具合件数 (件)	0	0	0
成果	成果	御荘老人福祉センター年間利用者数 (名)	824	927	1,049
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,519	2,514	2,681
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,519	2,514	2,681

成果実績 評価	成果状況	(状況)以前は指定管理制度により愛南町社旗福祉協議会に委託していましたが、令和元年度から、施設の維持管理及び施設の使用に関する業務を直接町が行っています。 (原因)施設が建設後30年以上経過しているため、施設の経年劣化により修繕が必要になってきています。 (余地)利用・管理に支障の発生しないように施設の状態の把握と事前の対応も必要となって来ると思われますが、現在の状況であれば随時の対処で足りると思われ ますので、継続としています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺高齢者共同住宅管理運営事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町の管理用務は、入退所、使用料と電気料の徴収、食費・共益費の管理、施設の維持管理を行いました。
生活支援業務をH27年度から社会福祉協議会へ委託し、入所者の食材の買い物・調理、住宅共有部分の清掃支援や入居者の健康及び悩みごと等の相談を行っていましたが、R02年度より支援員を町での直接雇用することとなりました。
R04年度は、開設後19年が経過し、老朽化による施設備品等の修繕等を必要に応じて行いました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	保守点検 検査実施回数 (回)	12	12	12
	活動	修繕件数 (件)	2	2	4
	成果	入居者の相談件数 (件)	0	0	0
	成果	城辺高齢者共同住宅稼働率 (%)	84.7	100	87.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,132	1,221	1,236
		オ 一般	404	5,421	470
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,536	6,642	1,706	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和4年度の高齢者住宅の稼働率は87.6%でした。入居者は自立した生活のなかで、生活支援を受けながら生活ができました。 (原因)南楽荘の順番が来て退所された方や入院が長くなり退所された方がいました。 (余地)退居者が出た場合は、退居後の居室の修繕等を行い、速やかに公募により入居者を決定し、より多くの入居希望者に利用してもらうようにします。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海高齢者生活福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>入居者の食事提供及び体調管理のため業務を委託します。</p> <p>令和4年度については、運営委託料及び生活支援員委託料、合計15,218千円を支出しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		保守点検、検査実施回数 (回)	44	44
活動		修繕件数 (件)	8	15	6
成果		西海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果		西海高齢者生活福祉センター年間利用者数 (人)	7,843	7,706	7,164
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,000	4,478	3,978
		オ 一般	7,623	8,341	11,240
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,623	12,819	15,218

成果実績評価	成果状況	(状況) 前年度と比較し年間利用者数が542名低下しました。 (原因) 居室4部屋、入退去があったことが主な要因と考えます。 (余地) 高齢者入居施設であることから、引続き新型コロナウイルス感染対策は必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山老人福祉センター管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。
- 2 運営 (1)毎週月、木曜日に勤務しました。
- 3 共通 (1)年末年始を除く日を閉館しました。
(2)新型コロナウイルス感染拡大防止策として4月1日から同月24日までの24日間、貸館及び事業を中止しました。
- ・ガス調整器を修繕しました。5,700円
 - ・ガス漏れ警報器を修繕しました。3,750円
 - ・屋根の雨漏りを修繕しました。228,800円

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 内海公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7	
	活動 内海公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3	
	成果 魚神山老人福祉センター管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 魚神山老人福祉センター運営上の満足度(%)	96.4	96.4	92.5	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	657	580	695
	カ 事業費(ア~オ合計)	657	580	695	

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合・トラブルはありませんでした。 (原因)週2回(月、木)の勤務により対応しました。 保守点検や利用時に発見された不具合カ所は修繕により対応しました。 (余地)施設自体が老朽化していますが、修繕等により対応しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
成果向上 余地	大	
	中	
	小	
	なし	

養護老人ホーム南楽荘管理運営事業

町長部局 南楽荘

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	03 養護老人ホーム南楽荘費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

65歳以上の者であって環境上の理由及び経済的理由(政令で定めるものに限る。)により居宅において養護を受けることが困難なものを入所させ、養護します。
 入所者の処遇計画に基づき社会復帰の促進及び自立のために必要な指導及び訓練その他の援助を行います。
 入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って処遇を行います。
 施設は明るく家庭的な雰囲気や安らげる環境を作るとともに地域や家庭との結び付きを重視した運営や各種行事の開催、レクリエーション等を行います。
 入所者の健康管理を行います。 教養娯楽設備の提供を行います。 施設の維持管理を行います。
 【コロナ対策】新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、施設運営を行いました。燃料価格高騰による電気代の増加や施設の修繕箇所が多くなりましたが、補正予算で迅速に対応し、経費削減に努めました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	年間入所者数(月初め入所者延べ人数)(人)		960	960
成果	養護老人ホーム南楽荘施設の稼働率(年間入所者数÷年間定員数×100)(%)		98.3	94.6	91.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,960	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	34,819	37,387	39,198
		オ 一般	23,513	20,281	20,817
		カ 事業費(ア~オ合計)	61,292	57,668	60,015

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和4年度の施設稼働率は91.5%となり前年度比3.1%となりましたが、引き続き高い稼働率を維持しました。 (原因) 令和4年度は死亡等の退所者が15名に対し、新規入所者が14名であったためと考えられます。 (余地) 今後も死亡等により南楽荘を退所となった場合においては、高齢者支援課の担当者との連絡をとり、入所待機者の置かれている環境等にも配慮しながら面接等を行い、速やかに入所に繋げていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

成年後見制度利用促進事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>宇和島圏域（宇和島市、愛南町、鬼北町、松野町）の高齢者や障害のある方が、地域社会に参画しながら、その人らしい生活を継続できるよう権利擁護支援と意思決定を支援するために成年後見制度利用促進に係る中核機関を設置し、住民や各関係機関等への広報活動（ポスター、チラシの配布、広報誌掲載等）、相談会等を協力して行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談 9回開催 ・法律の専門家による相談会 2回開催 ・地域連携ネットワーク愛南町会議 1回開催 ・地域連携ネットワーク協議会 1回開催 ・中核機関運営会議 1回開催 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	委託料 (円)			
活動					
成果	中核機関への相談件数 (件)				0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	676
		イ 県	0	0	337
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,850
		カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	3,863

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 中核機関や成年後見制度についての周知・啓発として、チラシの全戸配布や公共施設等へのポスターの掲示等を行いました。また、年2回弁護士による成年後見制度に関する相談会が開催され、5名の方が利用されました。愛南町から相談した件数は0件でしたが、巡回相談等で意見交換や情報交換を行いました。</p> <p>(原因) 中核機関と連携・協力しながら適宜進めることができました。</p> <p>(余地) 中核機関や成年後見制度について地域に周知することにより、成年後見制度を必要としている方の利用につながると思います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護予防サービス計画作成事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 介護予防「健康づくり生きがいづくり」の推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>介護支援専門員更新研修などを定期的を受講し、質の向上を図りながら適切なケアマネジメント業務を行います。町内4事業所に介護予防マネジメント業務を委託し、1件当たり4,380円、初回加算3,000円、委託連携加算3,000円を支払いました。委託の可否については、運営協議会の議を経て委託契約を行いました。また、介護予防サービス計画作成するにあたり必要な研修を受講しました。</p> <p>介護予防支援：実施件数 2,617件 初回加算 59件 委託連携加算 13件 (うち委託分 実施件数 852件 初回加算 14件 委託連携加算 13件) 更新研修等受講：介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程】 2名 介護支援専門員再研修 1名 主任介護支援専門員更新研修 1名</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	委託料(円)		3,877,350	4,021,930
成果	作成された介護予防計画に対する目標達成率(%)		76.0	81.0	90.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	348	10	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,127	4,108	4,505
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,475	4,118	4,505

成果実績評価	成果状況	(状況)目標達成率は今年度は約90%であり、昨年度の約81%から約9ポイント増えて、目標値を達成しました。作成件数は昨年度は2,638件、今年度は2,617件と同等数でした。委託率は減っており、地域包括支援センターの担当件数割合は増えています。 (原因)高齢者の自立支援に向けたアセスメントや計画作成ができたと思われま す。 (余地)アセスメント等ケアマネジメントの質の向上のため、担当者の指導や教育を行うことにより、成果向上の余地はあると思われま す。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

敬老会助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1. 行政区が実施する敬老会事業(91地区)に対して、1人1,500円を限度に補助しました。
2. 特養4か所、南楽荘、ケアハウス、グループホーム、なんぐん館等へジュースを配布しました。

【ふるさとづくり基金充当 5,000千円】

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	補助対象人数(人)	6,908	6,930	6,708
	活動	補助金額(千円)	9,874	9,880	9,901
	成果	敬老会事業を行った地区数(地区)	91	90	91
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	5,000	5,000
		オ 一般	9,874	4,911	4,973
		カ 事業費(ア~オ合計)	9,874	9,911	9,973

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)町内全地区で、敬老会又は記念品配布が行われました。 (原因)行政協力員や地区の役員の活動として、各地区の実施方法で、できる範囲の実施に対し、補助金を出すという形が定着しています。 (余地)継続実施できるよう、引き続き補助を行い、地域の繋がりも深めてもらいます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

老人クラブ活動助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 介護予防・健康づくり生きがいきいきの推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

55クラブ、会員2,896名の社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、スポーツ振興事業等の活動を通して、地域社会の発展と福祉の増進を図ることを目的に、活動事業に要する費用のうち、運営費と事業費に対して助成しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業があったため、助成金を20万円減額しました。令和3年度より助成金配分方法を、町老連は定額、各支部は均等割額100,000円+クラブ数×2,000円、残りを会員数割にして配分し、各支部から各单位クラブへ配分することとしています。また、各支部内で活動実績に応じた対応ができるようにしています。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	老人クラブ活動助成金(円)	4,800,000	4,800,000	5,000,000
	活動				
	成果	老人クラブ加入率(高齢者の社会参加促進率)(%)	28.6	27.9	27.3
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	821	818	815
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,979	3,982	4,205
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,800	4,800	5,020

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)加入率は、減少傾向です。 (原因)老人クラブ加入対象年齢になっても新規加入する人ばかりではない現状です。 (余地)新規加入を増やすために、入っていて楽しい、やりがいのある会となるよう支援する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

全国健康福祉祭(ねんりんピック)事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和05年度

手段 (R04年度の取り組み)

全国健康福祉祭は健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する事を目的とした全国大会です。
令和5年度に愛媛県で開催され、愛南町では将棋交流大会を開催します。将棋交流大会参加者210人を全国から募集します。併せて、選手、一般観覧者対象に健康関連イベント、特産品販売、観光PRも行います。

【R04年度】
町実行委員会を設立、リハーサル大会の開催、先催地視察（神奈川県愛川町）を行いました。将棋交流大会開催に向け準備を進めました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 大会の周知、啓発回数(県+町)(回)	0	3	8	
	活動				
	成果 町内行事(将棋)への町民参加人数(人)	0	0	32	
	成果 町内行事(将棋)への参加人数(人)	0	0	98	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	1	668
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	3	859
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	4	1,527

成果実績 評価	成果状況	(状況)町実行委員会設立、リハーサル大会の開催、先催地視察(神奈川県愛川町)を行いました。リハーサル大会、神奈川大会とも新型コロナウイルス感染症対策をしながらの開催でした。 (原因)リハーサル大会、神奈川大会とも新型コロナウイルス感染症対策をしながら、制限のある中での開催でした。 (余地)令和5年度の大会は、感染症対策の制限等がほぼ無くなることが考えられるため、コロナ禍前の大会開催情報を収集して準備を進めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

緊急通報システム整備事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与し、緊急事態発生時における迅速かつ正確な救援体制をとることにより、独居高齢者等の日常生活の不安の解消を図ることを目的としました。

- ・愛媛総合警備保障と令和2年4月1日～5年3月31日までの長期継続契約締結しています。
- ・緊急通報時に警備員が自宅へ連絡又は現場へ駆けつけ、状況処理や救急車の出動要請等を行いました。
- ・申請により高齢者の実態把握後、設置決定された高齢者に緊急通報装置を設置しました。

【R04年度】新規設置数 12基（令和4年度末設置者数 65名）

- ・申請により、見守りの必要な高齢者に設置しました。
- ・愛媛総合警備保障(株)と令和5年度から3年間の長期継続契約を締結しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		新規緊急通報システム設置数(基)	5	4
活動					
成果		緊急情報システムで見守られている高齢者数(人)	83	65	65
成果		緊急情報システムを活用した高齢者ご自身による通報件数(件)	27	24	34
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	2,700	2,000	1,900
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	171	5,715	189
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,871	7,715	2,089

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 緊急通報システムで見守られている高齢者は65名で増減はありません。</p> <p>(原因) 新規設置者が12名ありましたが、施設入所や入院等により解約をした方が12名あったため増減はありません。</p> <p>(余地) 緊急事態に対応できる事で、日常生活の不安解消を図ることができるため、申請は継続的に出てくると考えられます。より多くの方が設置できるように令和4年度から要綱の利用対象条件を一部改正しました。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

福祉タクシー助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

公共交通機関乗降地点から300m以上自宅が離れている70歳以上の高齢者、又は満65歳以上で身体障害者手帳2級以上若しくは療育手帳の交付を受けている方を対象に、タクシー補助券を交付しました。

<申請・交付>

申請書(縦横2cmの写真添付)の受理・審査後、登録証と補助券50枚を交付します。

(1)1,500円券(脇本、中玉) (2)1,000円券(猿鳴)
(3)800円券(左右水、大浜、長月4) (4)500円券(その他の地区)

・補助券は毎年度更新が必要です。

・補助券相当額を超えるタクシー料金は利用者が負担します。

【R4年度】500円券496人、800円券12人、1,000円券8人、1,500円券5人

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		タクシー券交付者数(人)	389	456
活動					
成果		タクシー券使用率(%)	53.9	70.7	66.9
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	5,400	7,300	8,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	327	1,331	1,288
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,727	8,631	9,288

成果 実績 評価	成果状況	(状況)昨年度比べると利用実績は増加しています。 (原因)R3年度から使用枚数の制限を撤廃し、他タクシー券との重複申請を可能としたことで、利用者の使用率が上がったことが要因と考えます。 (余地)今後も交通の不便な地域の高齢者の移動支援として継続的に申請者は増加すると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

申請書を提出してもらい、審査をして決定（却下）通知を交付しました。
決定者を業者へ報告し、業者が受注から配布までを行いました。
業者から毎月の実績を報告してもらい、支払いをしました。
【R04年度】申請件数は138件でした。支給件数は月平均約80件でした。

区分	指標名称		R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動・ 成果 状況	活動	紙おむつ支給申請者数（人）	163	161
	活動				
	成果	年間紙おむつ支給件数（件）	1,263	1,034	952
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,994	2,998	2,782
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,994	2,998	2,782

成果 実績 評価	成果状況	（状況）支給件数は例年に比べると減少していますが、全体のおむつの配布枚数はほぼ横ばいです。 （原因）高齢者人口の増加に伴い寝たきり状態の方は微増していますが、施設入所や死亡により不支給になる方がいるためです。 （余地）制度のより一層の浸透を図るため、広報を通じての周知活動が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

鍼灸マッサージ等施術費助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町民の健康保持増進と福祉の向上のため、はり、きゅう、マッサージなどの施術を受ける場合において、その費用の一部を助成しました。

【助成方法】

・対象者が規則で定める施術機関（愛南町、宇和島市、宿毛市）において、はり、きゅう、マッサージ等の施術を受けた場合に、1回につき、利用費用の一部1,000円を助成します。ただし、1人につき1日1回とし、1箇月に2回を超えないものとします。なお、手続きに関しては毎年度更新が必要です。
・申請により、はり、きゅう、マッサージ券を交付します。施術後、請求により1回1,000円の助成金を支払います。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・成果状況	活動	はり きゅう マッサージ券の交付者数 (人)	276	309	278
	活動				
	成果	はり きゅう マッサージ券の使用率 (%)	43.4	44	45.6
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	354	384	331
		オ 一般	1,183	1,415	1,407
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,537	1,799	1,738

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 昨年度と比べると申請者は減少しましたが、使用率はやや上がっています。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルスの影響等により施術に行く利用者の減少等が考えられますが、高齢者の健康保持増進への関心は高く、自己管理のため本事業を活用しているものと思われます。</p> <p>(余地) 今後も広報等で制度を周知していくことで、申請者の増加が見込まれます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

独居高齢者見守り推進事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町、協力事業所及び見守り協力が連携し、高齢者のみの世帯を訪問又は見守りし、徘徊、安否確認、不測の事態の早期発見及び孤独感の不安の解消を図ることを目的としました。

- ・高齢者地域見守りネットワークへ登録届のあった者及び緊急通報システムを設置している高齢者世帯等への見守りを、民生委員及び老人クラブ会員へ依頼しました。
- 【R04年度】
- ・見守り協力員（民生委員、老人クラブ）と連携し、高齢者が安心して生活できるよう見守りを行いました。
- ・この事業活動に対し、1人1か月1,000円(限度額)の謝礼を支払いました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	見守り対象高齢者宅数(件)	110	96
成果	成果	独居高齢者見守り訪問地区数(地区)	51	50	49
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	911	844	827
		カ 事業費(ア～オ合計)	911	844	827

成果実績 評価	成果状況	(状況)見守り訪問地区数は横ばいです。 (原因)独居高齢者等は、体調の急変時の連絡等に不安があり、離れて暮らす親族等は見守りの希望がある状況です。 (余地)今後も見守りを依頼する高齢者は継続的に出てくる見込みです。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

介護慰労金支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

ねたきり老人及び認知症の老人等と要介護老人を抱える介護者の労をねぎらうとともに、積極的に支援することを目的として支給しました。
在宅で3か月以上継続して介護をしている同居者で、生計を同じくする者の申請により、申請月の翌月から支給しました。

- ・慰労金 月額7,500円（住民税非課税世帯で、介護サービス利用なし）
- 月額5,000円（住民税非課税世帯で、介護保険適用の通所介護及び訪問介護等の利用者）
- 月額3,000円（住民税課税世帯）

【R04年度】

受給者数42名（内、新規申請者数11名）に介護慰労金を支払いしました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	申請者数 (件)	44	42
成果	成果	(代替)受給者数 (件)	44	42	42
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,756	1,372	1,401
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,756	1,372	1,401

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和4年度の新規申請11件で、受給者数は42件でした。 年度途中で施設入所や死亡等で減少はありましたが、非課税世帯29件、課税世帯13件に支給しました。 (原因) 生計を同じくする者という支給条件なので、世帯分離している世帯は非該当となります。 (余地) 担当ケアマネや、町の広報等で周知し、該当者の申請を促します。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

高齢者運転免許証自主返納支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

高齢者の運転による交通事故の防止を図るために、高齢者の運転免許証の自主返納を支援しました。

- ・運転経歴証明書の写し又は、せん孔処理した運転免許証の写しを添えて申請します。
- ・補助券は交付した日の属する年度から3か年申請できます。
- ・申請により、タクシー利用補助券を対象者1人につき500円券50枚を限度として交付します。

【R04年度】

- ・補助券交付件数 262件
- 令和3年度から、他のタクシー券との同時申請も可能としています。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助券交付件数 (50枚1綴) (件)	245	239
活動					
成果		タクシー補助券使用率 (%)	37.9	65.1	71
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,372	3,940	4,742
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,372	3,940	4,742

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 令和4年度は262件の交付がありました。補助券使用率は増加しました。 (原因) 高齢者自身の免許返納の意識が高まっている状況です。令和3年度から、1日1往復の利用制限を撤廃したため、使用率が増加しています。 (余地) 申請できる期間は3年間です。今後も継続的に申請があると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

介護タクシー助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成30年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>公共交通機関を利用することが困難な高齢者又は身体障がい者が、通院又は入退院若しくは転院の為に利用する介護タクシーに要する料金の一部を助成する事により、経済的な負担の軽減及び健康状態の安定に寄与することを目的としました。</p> <p>申請・交付 ・申請書(常時車いす使用又は寝たきり等これらと同等の状態であることが確認できる書類の写し添付)を受理・審査後、対象者に介護タクシー助成券を交付しました。 ・愛南町内の医療機関の通院又は入退院をする場合、48枚綴タクシー券が利用できます。 ・愛媛県、高知県内の医療機関への利用についても、利用制限を設け請求により助成金を支払いました。</p> <p>【R04年度】 助成券交付者数 114人、町外の利用は25回でした。</p>	

活動・成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		介護タクシー助成券交付者数 (人)	99	119
活動		うち、町外医療機関利用者数 (人)	0	14	9
成果		介護タクシー助成券利用率 (%)	79	82	75
成果		延利用件数 (枚数) (件)	990	1,039	1,056
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,200	1,200	1,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	138	251	244
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,338	1,451	1,444

成果実績 評価	成果状況	(状況) 令和4年度は、114件の助成券交付がありました。 (原因) 令和3年度から利用制限を設け町外医療機関への利用を拡充、町内月4回の利用制限を撤廃したことから、利用率が増加しました。 (余地) 介護タクシー料金の一部を助成する事で、経済的な負担の軽減と健康状態の安定を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

おれんじくらぶ管理 運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 児童発達支援の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

障がい児が日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適應することができるように当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導並び訓練等を提供しました。

・事業所の名称：通園（デイサービス）事業おれんじくらぶ ・実施主体：愛南町
 ・業務委託先：（社）御荘福祉施設協会 ・開所日：週5日（午前9時～午後5時）
 ・利用定員：各10名 ・職員数：常勤数4名 ・利用料：応能負担
 【6月補正】福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の対象となる事業を実施している（社）御荘福祉施設協会に補助金を交付しました。（国10/10）
 補助金：141,482円
 【R04実績】19,141,482円(委託料：19,000,000円 処遇改善臨時交付金141,482円)
 (給付費11,468,298円 保護者負担金316,261円 補助率10/10 141,482円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開所日数(年間)(日)	244	245
成果	活動	利用申請受付件数(年間)(件)	52	64	59
	成果	おれんじくらぶ利用者数(年間実人員)(人)	52	64	59
事業費 (千円)	成果	おれんじくらぶの施設年間稼働率(%)	100.0	100	100
	財源内訳	ア 国	580	0	141
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,682	12,575	11,784
		オ 一般	7,118	5,425	7,216
	カ 事業費(ア～オ合計)	18,380	18,000	19,141	

成果実績 評価	成果状況	(状況)利用者数は前年度に比べ、5人減少しています。 (原因)全体数では5人の減少となりましたが、支援体制の確立や相談支援体制の充実により新規の児童発達支援事業の利用希望者は増加傾向にあります。 (余地)現在の施設規模と人員配置を考えると今以上の受入れは難しいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

児童通所支援給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 児童発達支援の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

利用希望者から相談・申請を受けて、障がい児の日常生活の自立を促すために、障害児通所支援給付（児童発達支援、放課後等デイサービス）を実施しました。

【当初】利用者の増加により増額しました。
 児童発達支援 12,369千円（延べ396人）
 放課後等デイサービス 44,155千円（延べ624人）
 補助率：国1/2 県1/4

【3月補正】
 歳出：利用人数・利用日数の増加及びコロナウイルス感染症の発生に伴いベースアップ等支援加算が追加されたため増額しました。 7,000千円
 歳入：補助金額確定のため増額しました。 国 6,006千円 県 2,489千円

【R04実績】児童発達支援 72,636,918円

活動・成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	申請件数 (件)		89	86
活動	給付金額 (円)		49,413,034	56,869,518	72,636,918
成果	児童通所支援施設年間延べ利用者数 (人)		898	1,043	1,142
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	24,648	28,629	36,091
		イ 県	12,353	14,210	18,159
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	12,412	14,031	18,387
		カ 事業費 (ア～オ合計)	49,413	56,870	72,637

成果実績 評価	成果状況	(状況) 申請件数は7件増加。年間延べ利用者数は99人増えています。 (原因) 要支援者の早期発見のための支援体制の確立や相談支援体制の充実により新規の利用希望者は増加傾向にあります。一方で、利用定員等の問題により一人当たりの利用回数等の調整が必要な状況もあり、また、家庭の事情により利用を終了する方もいます。 (余地) 利用者数を増加させる方策としては、事業所の利用定員を増やすなど受け入れ態勢を強化することが考えられますが、各事業所における資金調達や人材確保等の課題があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

障害者自立支援医療費給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

身体に障がいをもたらしている一定の症状（放置すればその身体障がいの状態が永続する）に対し医学的処置を行うことによって、日常生活活動を回復又は向上する可能性の認められる場合に、その医療費の一部を公費で負担しました。
利用者負担：原則として応能負担（最大で医療費の1割）とします。
対象となる医療：人工透析、心臓バイパス術、人工関節置換術、肝臓移植など

補助率：国1/2 県1/4 町1/4

【12月】生保受給者の透析2件、心臓機能障害2件が公費負担のため、6,720千円の増額補正をしました。

【R04実績】扶助費 育成医療：9,292円、更生医療：21,543,735円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	申請者数(件)		113	102
活動	給付金額(円)		16,367,298	19,230,437	21,553,027
成果	適格者で障害者自立支援医療費給付を受けている割合(%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8,183	9,615	9,288
		イ 県	4,091	4,807	5,388
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,184	4,878	6,964
		カ 事業費(ア～オ合計)	16,458	19,300	21,640

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)令和4年度は決定件数114件で、適格者全てに医療給付することができました。医療費の給付により、適格者が積極的に治療を受けたことで職業能力の増進、又は日常生活を安易にすることができました。 (原因)制度の周知を図り、適格者の申請漏れがなく適正に行いました。 (余地)現状の制度を今まで通り適格者に周知を行い、適正に運用することが求められます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[174]

障害者自立支援介護等給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

利用希望者から相談・申請を受けて、日常生活の負担の軽減、自立した日常生活等を送れるように介護給付費及び訓練等給付費を支給しました。

【当初】利用者の増加により増額しました。

介護サービス給付費 437,448千円(居宅介護、生活介護、短期入所等)

訓練等サービス給付費 241,429千円(就労継続支援B型、共同生活援助等)

補助率：国1/2 県1/4

【3月】システム改修業務について、入札及び改修業務内容変更により減額しました。

1,467千円

【R04実績】消耗品費 136,400円、審査支払手数料 1,338,087円、システム改修 1,282,600円、システムリース料 528,000円、サービス給付費 683,294,094円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	申請件数(件)		477	464
活動	給付金額(円)		674,443,429	713,067,453	686,579,181
成果	障害者自立支援介護等給付利用のべ人数(人)		4,605	5,065	4,659
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	328,563	364,137	344,761
		イ 県	167,003	177,218	170,778
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	183,196	173,578	171,040
		カ 事業費(ア～オ合計)	678,762	714,933	686,579

成果実績評価	成果状況	(状況)申請件数は昨年度と比較して17人、年間延べ利用者数は406人減少しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)利用者の高齢化による介護保険サービスへの移行や利用者の死亡、転出等が大きな要因となっています。
	成果向上余地	(余地)相談支援制度の普及により事業の認知度は高まっているため、今後も必要なサービス提供に努めます。
	大 中 小 なし	

障害者地域生活支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

国が示した必須事業と地域の実情に応じて実施できる任意事業があります。愛南町では、障がいのある人が地域で安心して生活できるよう必須の7事業と任意の5事業を実施しました。＜必須事業＞成年後見制度利用支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域生活支援センター機能強化事業・相談支援事業(いちごの里、いろり、愛南社協、ままと、南愛媛療育センター、柿の木)
＜任意事業＞日中一時支援事業、重度障害者自動車改造費助成、障害者自動車運転免許取得助成、訪問入浴サービス＜促進事業＞発達障がい児者及び家族支援事業、成年後見制度普及啓発事業

【3月補正】歳出：利用回数の減少により減額しました。 3,201千円
歳入：補助金確定により減額しました。国 4,212千円 県 1,827千円

【R04実績】事業費：35,095,382円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		事業委託料 補助金額 (円)	33,424,465	37,329,289
活動		申請者数 (人)	519	354	317
成果		障害者地域生活支援事業年間利用回数 (回)	2,382	3,526	2,913
成果		障害者地域生活支援事業利用実人数 (人)	519	354	317
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,318	6,084	6,556
		イ 県	3,159	3,021	2,956
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	40	0	11
		オ 一般	23,907	28,224	25,572
		カ 事業費 (ア～オ合計)	33,424	37,329	35,095

成果実績 評価	成果状況	(状況) 利用実人数、利用回数ともに減少しています。 (原因) 日中一時支援事業で受け入れの制限(コロナウィルス感染対策により)があり人数、回数ともに減少しましたが、施設の受入れが再開すると利用回数等も増加すると考えます。 (余地) 制度の周知を行い、障がい者(児)が地域で自立した生活及び社会生活が送れるように支援していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[176]

障害者自立支援補装具給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

身体上の障がいを補うための補装具の交付、修理に係る費用を支給しました。

【補装具の主な種類】

視覚障がい...盲人安全杖、義眼、眼鏡

聴覚障がい...補聴器

肢体不自由...義肢、装具、車椅子など

【自己負担】原則1割負担（非課税世帯は負担なし）

【負担割合】国1/2 県1/4 町1/4

【当初】

扶助費 4,800千円

【R04実績】補装具給付金 2,723,613円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	申請者数 (件)		25	32
活動	補装具購入・修理件数 (件)		25	32	21
成果	適格者で障害者自立支援補装具給付を受けている割合 (%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,312	1,749	1,427
		イ 県	1,346	874	680
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,814	874	617
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,472	3,497	2,724

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)補装具の給付及び修理件数はR3年度と比較すると減少していますが、必要な方への給付は100%できています。</p> <p>(原因)相談・申請に対し、適正な事務処理を行えたことで、受給者は自立した生活及び社会生活を送ることができていると考えます。</p> <p>(余地)補装具制作業者及び県の判定機関との連携を密にし、受給者に不利益とならないよう、更なる迅速な事務の実施に努めます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

人工透析患者交通費助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 自立支援及び地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>人工透析療法を受けるため医療機関への通院に要したタクシーの利用料金の一部を助成しました。</p> <p>医療機関までの片道の移動距離に応じて次に定める金額を助成しました。</p> <p>4キロメートル未満：対象距離に基づいて算定したタクシー料金の5分の1の額</p> <p>4キロメートル以上：対象距離に基づいて算定したタクシー料金の2分の1の額</p> <p>当該年度において利用者の自己負担額が30万円を超えたときは、それ以後の末日まで全額補助</p> <p>【3月補正】 利用者数の減少により減額しました。 633千円</p> <p>【R04実績】 扶助費：1,174,240円 利用者数：17名（新規6名、死亡者7名、転出者1名）</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	登録者数 (件)		17	17
活動	給付金額 (円)		832,360	1,608,250	1,174,240
成果	適格者で人工透析患者交通費助成を受けている割合 (%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	832	1,608	1,174
		カ 事業費 (ア～オ合計)	832	1,608	1,174

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)登録者数に増減はありませんが、給付金額は前年度と比べて大きく減少しています。</p> <p>(原因)今年度、新規登録者数が6名ありましたが、死亡、転出者が8人あり利用回数が減少したのが要因だと考えます。</p> <p>(余地)今度も対象者に対して、制度の周知を行います。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

特別支援学校寄宿舎生徒送迎事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町の登録運転手が宇和特別支援学校寄宿舎利用生徒の送迎を行いました。また、体調面等の配慮が必要になる生徒もいるため、保護者会等が付添として同乗しました。送迎は公用車を使用して、休日及び祝祭日後の登校時及び休日及び祝祭日前の下校時に実施しました。

【12月】送迎車両購入費を入札減により減額補正しました。 807千円

【3月】修繕料を減額補正しました。 155千円

【R04実績】事業に係る以下の経費を支出しました。

事業謝礼(運転手、付添) 740,400円 需用費(燃料費) 179,916円

備品購入費 2,843,670円

事業期間 送迎回数 87回 送迎延人数 304人

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	利用生徒数(人)		3
成果	成果	身体的、精神的負担が軽減された保護者の割合(%)		100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	641	3,764
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	641	3,764

成果実績 評価	成果状況	(状況)5人の生徒が事業を利用して保護者の身体的、精神的な負担の軽減を図ることができました。 (原因)事業を利用することで週末等の保護者の不安がなくなったことによるものです。 (余地)年度毎に保護者への周知を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

大森文化会館管理運営事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	129
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 人権・同和教育の推進	目	09 隣保館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

地域に密着したコミュニティーセンターとして、人権・同和問題を解決する隣保館としての役割りを果たすための管理運営を行いました。

- ・相談事業.....生活上の相談、人権に関する相談、職業相談等
- ・啓発・広報活動...人権に関する理解を深めるための広報・啓発活動
- ・各種研修会、研究大会への参加
- ・施設の維持管理

令和4年度は、施設の外壁、屋根、空調、電気を改修しました。
会館利用及び事業参加は人数制限をしました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	2	1
活動	活動	開館日数 (日)	246	242	246
成果	成果	大森文化会館年間利用者数 (人)	300	229	251
成果	成果	大森文化会館年間事業参加者数 (人)	272	210	263
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,429	2,020	13,006
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	514
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,429	2,020	13,520

成果実績評価	成果状況	(状況) 利用者数860人、参加者数710人を見込んでいましたが、利用者数251人、参加者数263人と大幅に低下しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用及び参加を制限したためです。 (余地) より多くの人に利用してもらえるよう、館だよりによるPRや、事業の充実を図る必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

出産子育て支援金交付事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 子どもの健やかな成長	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・新生児の出生から1年後、交付対象予定者に申請書等を送付しました。
- ・交付対象者は、申請書に必要書類を添えて期限内に申請しました。
- ・町民課にて申請内容を審査後、交付の適否を通知し、支援金の交付を行いました。

第1子 100,000円 (26件)
 第2子 200,000円 (23件)
 第3子以降 300,000円 (19件)

令和4年度交付件数 68件

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交付金額 (千円)	11,800	10,600	12,900	
	活動				
	成果 交付率 (%)	100	96.4	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	11,800	10,100	12,900
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	500	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,800	10,600	12,900	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 対象件数68件に対して68件に交付し、交付率は100%でした。 (原因) その理由としては、制度について十分周知されていること、対象者へ申請書を送付しても申請がない場合は、申請期限前での再通知を実施したことが考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 今後も制度の周知の徹底に努めます。

032]

乳幼児用紙おむつ券交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>申請及び審査により1,000券×50枚綴りの紙おむつ券を第1子に対して29件、第2子以降に対しては39件交付しました。また、紙おむつ券の利用のあった町内登録店舗に対して、第1子分1,466,000円、第2子以降分2,319,000円の支払いを行いました。 第1子分は町単独事業、第2子以降分は県補助対象（登録店舗支払い実績等に対し、2分の1補助）</p> <p>【愛顔の子育て応援事業費補助金（県1/2）】（第2子以降分のみ対象）</p>

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 紙おむつ券交付人数 (人)	60	75	68	
	活動				
	成果 町内登録店舗への支払額 (千円)	3,540	3,170	3,785	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,240	1,083	1,237
		ウ 地方債	1,800	1,400	2,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	580	764	626
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,620	3,247	3,863	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)登録店舗への支払額は、見込み額をわずかに超えました。 (原因)出生数は減少しているものの、見込み数に近い出生があったためです。 (余地)R04年度交付分については、次年度も使用期限内にあるため引き続き利用が見込まれます。見込みの精査を行い、また、併せて県と連携した当事業のPRを行い、保護者への周知を推進し、更なる子育て支援につなげます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

放課後児童クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

一本松小学校、平城小学校、城辺小学校のそれぞれの学校の余裕教室1室を放課後児童クラブの教室として使用し、支援員の監督のもとで保育を行いました。

【利用児童数】令和5年3月末時点

平城小学校42名、城辺小学校31名、一本松小学校21名

【支援員数】令和5年3月末時点

平城小学校7名、城辺小学校4名、一本松小学校4名

定員を超える申し込みがありました弾力的な受入を行い、年度当初から待機児童なく放課後児童クラブ事業が実施できました。

【子ども子育て支援交付金事業 国・県・町1/3】総務課人件費に充当

【その他 保護者負担金】 総務課人件費及び事業費に充当

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		放課後児童クラブの設置数(箇所)	3	3
活動					
成果		放課後児童クラブ待機者数(人)	7	0	0
成果		放課後児童クラブ入会決定児童数(人)	126	119	105
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,440	7,636	0
		イ 県	6,740	7,438	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,752	5,679	2,553
		オ 一般	13,546	11,911	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	32,478	32,664	2,553

成果実績 評価	成果状況	(状況)年度当初から待機児童は0名となりました。 (原因)年度当初の申込者は前年度に比べ14名減り101名、年度途中の申込者は4名で計105名の実績でした。定員を超える申込ではありましたが、受入可能な範囲であったため待機児童はでいていません。 (余地)必要に応じて状況を確認し関係各課と連携して事業などの検討を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

877]

保育環境改善支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>私立保育施設の施設・設備の改修・導入等に対して町補助を行います。補助の要望に対して発生するため毎年発生するものではありません。</p> <p>R04年度は保育士等処遇改善臨時特例交付金事業を実施する私立保育所に補助金を交付しました。</p> <p>保育士等処遇改善臨時特例交付金事業（国10/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はまゆう乳幼児保育所 1,553,520円 ・船越保育園 510,180円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数 (件)		2	2
成果	補助執行率 (%)		100.0	100.0	100.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,000	549	2,064
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)		1,000	549	2,064

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は町内の私立保育所2施設に補助金を交付しました。</p> <p>(原因) 低水準にある保育士等の所得向上に向けた保育士等処遇改善事業(国庫補助)ができ、私立保育施設が費用負担をすることなく、保育士の処遇改善を行うことが可能になりました。</p> <p>(余地) 保育士等処遇改善臨時特例交付金事業は令和4年9月までの継続事業となっていますが、毎年度行う事業ではありません。保育環境改善については、事案ごとに協議が必要なため、改善の余地は少ない状態です。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

病児保育事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
病児保育を実施している医療機関と委託契約を結び、病児の受け入れを行いました。	
【実施内容】	
・実施施設	岡沢クリニック テレサルーム (平成29年5月1日事業開始)
・対象児童	生後3か月から小学6年生までの病気の急性期でない児童
・実施日	月～土曜日 (第1・3土曜日、日祝日、お盆、年末年始は休み)
・時間	8:30～17:30
・利用料金	一日 2,000円 半日 1,000円 (生活保護世帯は無料、非課税世帯は半額)
本事業は子ども・子育て支援交付金事業です。 (国1/3:4,040千円、県1/3:3,344千円)	
岡沢クリニック(テレサルーム)に病児保育事業を委託しました。 12,131千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		病児保育実施日数(日)	269	265
活動		委託料(千円)	11,627	12,131	12,131
成果		病児保育利用登録人数(人)	256	226	221
成果		病児保育利用延べ人数(人)	293	392	295
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,388	4,043	4,040
		イ 県	3,854	3,686	3,344
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,888	4,403	4,751
		カ 事業費(ア～オ合計)	12,130	12,132	12,135

成果実績 評価	成果状況	(状況)登録児童数は5人減少し、延べ利用人数は97人減少しています。 (原因)今年度も、コロナ感染症予防対策の影響などにより、登録者数は若干減少 しています。利用者数も昨年度より減少しています。 (余地)病気の流行等により、利用人数の増減は考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

放課後図書クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>開設校区の小学校の図書室等に放課後図書クラブを設置し、支援員の監督のもとで保育を行いました。</p> <p>【開所時間】 学校登校日の放課後から午後5時まで</p> <p>【利用児童数】令和5年3月末現在 2名</p> <p>【支援員数】令和5年3月末現在 5名</p> <p>R04年度から、地域子ども見守り事業費補助金を受けて事業を実施することになりました。(県1/2：500千円)</p>

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開所日数(日)		106	187
	活動				
	成果	放課後図書クラブ待機者数(人)		0	0
	成果	放課後図書クラブ入会決定児童数(人)		3	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	500
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	22	33
		オ 一般	0	681	499
	カ 事業費(ア~オ合計)		0	703	1,032

成果実績 評価	成果状況	(状況)定員は10名ですが、利用児童は2名と定員を大きく割れています。 (原因)平城児童クラブの入会申込児童が減り、希望通りに入会できる状態にあることが原因と考えられます。 (余地)放課後の児童の居場所の選択肢の一つとして、事業内容の検討を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域子育て支援拠点事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	03 地域における子育て支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>地域子育て支援拠点事業を実施する保育所、任意団体に事業を委託し委託料を支出しました。常設の地域子育て支援拠点を開設し、下記事業を実施しました。</p> <p>子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育て等に関する相談、援助の実施 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施等</p> <p>委託事業者 1. はまゆう乳幼児保育所(月～金曜日の8:00～17:00 祝日、年末年始は休み) 2. こぶたたんぼポケットとんぼ(月～金曜日10:00～16:00、第1土曜日の10:00～12:00 祝日、お盆、年末年始は休み) 【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町 1/3】 はまゆう乳幼児保育所・こぶたたんぼポケットとんぼに子育て支援拠点事業を委託しました。(各8,398千円)</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		地域子育て支援事業実施箇所数(箇所)	2	2
活動		地域子育て支援拠点事業実施日数(日)	210	174	213
成果		登録親子数(人)	333	200	229
成果		地域子育て支援拠点事業利用延べ人数(人)	3,306	2,686	3,827
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,013	5,598	5,598
		イ 県	5,513	5,598	5,598
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,514	5,600	5,600
		カ 事業費(ア～オ合計)	17,040	16,796	16,796

成果実績 評価	成果状況	(状況)登録親子数が29人、利用延べ人数が1,141人増加しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症のため事業に影響がありました。感染対策などを実施しながら工夫して事業を行えたことが考えられます。 (余地)事業が予定通り実施できれば、利用延べ人数の若干の増加は見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

児童保育委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	02 児童措置費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>私立保育所に対し、公定価格（保育単価）及び入所人数に基づいた委託料を支払いました。</p> <p>船越保育園に対し3歳以上の完全給食を実施するための主食（米）代を支払いました。</p> <p>保育の広域利用については、他市町への委託が5名（公立5名、私立0名）、他市町からの受託が5名（公立5名、私立0名）あり、円滑な利用ができるように市町間で調整を行いました。</p> <p>本事業は、子どものための教育・保育給付交付金事業です。</p> <p>（補助率） 3歳以上：国1/2、県1/4 3歳未満：国58.16/100、県20.92/100</p> <p>（補助金額） 国：56,424千円 県：21,121千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		委託児童数（人）	69	66
活動		委託金額（円）	127,131,302	124,478,462	117,524,796
成果		保育サービス満足度（%）	91.49	91.80	91.04
成果		苦情件数（件）	0	0	0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	61,888	61,873	56,424
		イ 県	24,073	23,772	21,121
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,712	8,341	6,486
		オ 一般	30,458	30,492	33,494
		カ 事業費（ア～オ合計）	127,131	124,478	117,525

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）入所者アンケートからは前年度91.80%から0.76%低下し、91.04%となりましたが、依然高い満足度を維持しています。</p> <p>（原因）質の高い保育サービスが提供され満足度に現れたと考えられます。</p> <p>（余地）毎年の指導監査等によって、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

母子寡婦福祉会助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	03 地域における子育て支援	目	03 母子父子福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
母子寡婦福祉会の運営についての助言、指導、補助金の交付を行いました。
主な活動内容 定期理事会の開催 町内の美化活動 ボランティア活動の実施 料理教室の実施 ひとり親家庭学習支援の現場管理

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		350,000	100,000
活動	会員数 (人)		53	52	51
成果	母子寡婦福祉会の催しへの参加者数 (人)		236	212	313
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	350	100	500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	350	100	500

成果実績評価	成果状況	(状況) 会員が高齢化し、新型コロナウイルス感染拡大前に比べて、活動参加者が減少しています。 (原因) 若年母子家庭向けのイベントが少ないことや、活動内容の周知不足が原因と考えます。 (余地) 事業の周知による認知度の向上及び若年層の会員を増やすことが必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ひとり親家庭医療給付事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	04 健康・医療体制の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	03 母子父子福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・対象者からの申請に基づき、ひとり親家庭医療費受給者証を交付しました。
- ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を、現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。
- ・6月に更新案内通知を受給者に送付し、更新手続き後新しい受給者証を交付しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	受給者数(人)	464	418
活動	活動	医療費助成額(千円)	13,310	13,184	12,173
成果	成果	受給者1人当たり助成額(円)	28,685	31,540	34,484
成果	成果				0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	7,525	7,131	6,278
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,981	6,250	6,070
		カ 事業費(ア～オ合計)	13,506	13,381	12,348

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比べ対象者が65人減少していることから、助成額も1,011千円減少しています。 (原因)人口の減少や少子化が原因として考えられます。 (余地)今後もひとり親家庭の経済的負担を軽減し、安定した事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[209]

柏保育所管理運営事業

町長部局 柏保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>R04年度は児童17人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>○国補助 【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】 ・保育環境改善等事業 31千円 【R04年度新型コロナ臨時交付金】 ・保育環境改善等事業 45千円</p> <p>○その他 保育料・副食費 983千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	294	294
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	8,232	6,468	4,981
成果	成果	柏保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	70.78	81.25	88.10
成果	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	265	1,362	76
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,430	1,130	983
		オ 一般	4,848	7,997	4,013
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,543	10,489	5,072

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は17人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度81.25%から6.85ポイント向上し、88.10%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

家串保育所管理運営事業

町長部局 家串保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>R04年度は児童13人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>○国補助 【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】 ・保育環境改善等事業 36千円 【R04年度新型コロナ臨時交付金】 ・保育環境改善等事業 50千円</p> <p>○その他 保育料・副食費 331千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	294	294
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	5,586	4,704	3,809
成果	成果	家串保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	76.94	84.28	85.81
成果	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	244	668	86
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	790	582	331
		オ 一般	3,792	5,138	3,497
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,826	6,388	3,914

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は13人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度84.28%から1.53ポイント向上し、85.81%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

Q21]

御荘保育所管理運営事業

町長部局 御荘保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	139
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>R04年度は児童95人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>○国補助 【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】 ・保育環境改善等事業 250千円 総務課人件費に充当 【R04年度新型コロナ臨時交付金】 ・保育環境改善等事業 270千円 総務課人件費に充当</p> <p>○その他 保育料・副食費 5,453千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	293	293
活動	活動	利用述延べ児童数 (人)	32,523	32,230	27,835
成果	成果	御荘保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	77.71	81.63	84.62
成果	成果	御荘保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	500	975	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,103	4,710	5,453
		オ 一般	18,623	15,844	16,818
		カ 事業費 (ア～オ合計)	24,226	21,529	22,271

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は95人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度81.63%から2.99ポイント向上し、84.62%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺保育所管理運営事業

町長部局 城辺保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	141
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>R04年度は児童98人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>○国補助 【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】 ・保育環境改善等事業 41千円 【R04年度新型コロナ臨時交付金】 ・保育環境改善等事業 120千円</p> <p>○その他 保育料・副食費 7,814千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	293	289
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	35,453	31,212	28,714
成果	成果	城辺保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	81.42	85.41	86.50
成果	成果	城辺保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	500	1,044	161
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	6,354	5,359	4,829
		オ 一般	16,058	17,813	17,240
		カ 事業費 (ア～オ合計)	22,912	24,216	22,230

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は98人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度85.41%から1.09ポイント向上し、86.50%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

Q25]

緑保育所管理運営事業

町長部局 緑保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	141
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>R04年度は児童17人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>○国補助 【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】 ・保育環境改善等事業 61千円 【R04年度新型コロナ臨時交付金】 ・保育環境改善等事業 75千円</p> <p>○その他 保育料・副食費 855千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	293	293
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	4,688	4,981	4,981
成果	成果	緑保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	75.57	82.07	84.09
成果	成果	緑保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	300	2,042	136
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	777	1,315	855
		オ 一般	3,425	3,770	5,629
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,502	7,127	6,620

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は17人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度82.07%から2.02ポイント向上し、84.09%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

Q26]

緑保育所一時保育事業

町長部局 緑保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	143
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>保護者の就労、疾病、冠婚葬祭等により一時的に保育が必要な場合や保護者のリフレッシュに必要な場合に保育所で保育サービスを提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者 21名 (R04年度) ・実施日 保育所の開所日 ・実施時間 8:30~16:30 ・利用可能日数 1か月につき15日まで ・利用料金 4時間未満 900円 4時間以上 1,500円 延長追加料金 1時間につき 100円 ただし、給食を食べなかった場合は、250円減額 <p>【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町1/3】総務課人件費に充当 【その他 保護者負担金】総務課人件費及び事業費に充当</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	295	293
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	781	565	531
成果	成果	一時保育を受けられなかった件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	428	501	504
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア~オ合計)	428	501	504	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 昨年度に比べ登録人数は横ばいですが、延べ利用者数は34名減少しています。</p> <p>(原因) 全体の児童数の減少や保育所への入所、また、新型コロナウイルス感染症の影響などによる利用自粛などが原因として考えられます。</p> <p>(余地) 児童数の減少等により成果向上の余地は少ないと考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

一本松保育所管理運営事業

町長部局 一本松保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	143
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
R04年度は児童60人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。	
○国補助	
【R04年度保育対策総合支援事業費補助金】	
・保育環境改善等事業 50千円	
【R04年度新型コロナ臨時交付金】	
・保育環境改善等事業 80千円	
・トイレ洋式化事業 1,341千円	
○その他	
保育料・副食費 3,067千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	293	293
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	19,045	18,166	17,580
成果	成果	一本松保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	77.98	82.77	84.49
成果	成果	一本松保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	500	1,032	1,471
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,522	4,134	3,067
		オ 一般	11,564	8,354	11,051
		カ 事業費 (ア～オ合計)	14,586	13,520	15,589

成果実績 評価	成果状況	(状況) R04年度は60人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度82.77%から1.72ポイント向上し、84.49%の満足度を得ています。新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が十分な量配備されております。トイレ洋式化により飛沫防止が図られております。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

Q27]

保育所庶務事務

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	145
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>現在の保育体制の包括的な維持経費について支払いをしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育業務協力者謝礼、保育所関係書籍、窓あき封筒の購入、保育所無線LAN環境整備工事、保育士研修に係る参加負担金等経費、保育料の口座振替手数料、保育所入所児童の共済制度掛金、保育協議会負担金、栄養士会負担金 ・遠距離通所補助(10km以上対象 1万円/月 R04年度5人) <p>【国補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育対策総合支援事業費補助金 3,171千円 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,525千円 <p>保育所等における業務のICT化を行うためのシステムを導入しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な室内等の除菌、消毒に必要な消耗品や抗原検査キット、感染予防マスクを購入しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動				
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	4,696
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	82	74	68
		オ 一般	1,629	1,627	-467
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,711	1,701	4,297

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)新型コロナウイルス感染症に対して安全な保育サービスの提供ができる体制が整っております。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品が全保育所に十分な量配備されております。</p> <p>(余地)新型コロナウイルス感染症に対する備えが十分にできており今後の成果指標値向上可能性は低いものと見込まれます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

休園保育所維持管理事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	145
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>休園保育所を保守点検や業務委託等により維持管理を行いました。 正木保育所（愛南町正木1223番地） ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検 等 久良保育所（愛南町久良824番地） ・草刈委託 長月保育所（愛南町御荘長月645番地） ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検 等 長崎保育所（愛南町御荘平城360番地） ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検、草刈委託 等 令和5年度より正木保育所は生涯学習課へ、久良、長月保育所は総務課へ所管換えを行いました。長崎保育所は障がい福祉施設へ用途変更を行いました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		保守点検回数 (回)	16	24
活動		委託業務件数 (件)	6	9	8
成果		休園保育所の維持管理上の苦情・事故・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果					0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	507	1,182	622
		カ 事業費 (ア～オ合計)	507	1,182	622

成果実績 評価	成果状況	(状況)維持管理について順調に実施できています。 (原因)大きな改修等が必要な個所が特にないためと考えられます。 (余地)引き続き適切な維持管理が必要だと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘夢創造館管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	147
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	03 地域における子育て支援	目	05 児童館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

開館時間：9時～17時；休館日：毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日
 ○小学生対象の活動教室として、パソコン・将棋・油絵・工作・百人一首・合唱団・版画の7教室と、保護者対象のヨガ教室を行いました。毎月の行事として、おはなし会・作って遊ぶ・子供映画会を行いました。季節のイベント等として、卓球大会・クリスマス会・春のおたのしみ会・グラウンドゴルフ大会を行いました。
 コロナ感染拡大防止による臨時休館となった際、テイクアウト児童館として、幼児・小学生を対象に自宅で楽しめる工作キットを配布しました。(臨時休館日数 22日)
 ○旧児童館の樹木剪定委託業務を行いました。 189,200円
 ○特殊建築物定期調査の委託業務を行いました。 99,000円
 ○Wi-Fi整備工事を行いました。 70,400円
 ○排煙窓オペレーター取替工事を行いました。 1,049,400円
 ○防犯カメラデジタルレコーダーを購入しました。 156,200円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	利用人数(人)		5,310	5,259
活動	参加人数(人)		1,686	1,563	2,161
成果	御荘夢創造館年間延べ利用者数(人)		6,996	6,822	6,930
成果	御荘夢創造館施設管理上の不具合で利用に支障をきたした件数(件)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	9,300	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,512	3,677	4,164
		カ 事業費(ア～オ合計)	13,812	3,677	4,164

成果実績 評価	成果状況	(状況)年間延べ利用人数は6,930人とR03年度と比べ、108人増加しています。 (原因)出生数、乳幼児・児童・生徒数の減により来館者は減少しましたが、コロナ禍からの制限緩和により活動教室やイベント等が、概ね予定通り開催できたことが要因と考えられます。 (余地)利用者の増加・満足度向上のために、活動内容の充実、施設設備の充実、環境美化、安全管理が必要だと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

子ども医療給付事業（乳幼児）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段（R04年度の取り組み）

- ・就学前の乳幼児の保護者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。
- ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を、現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	受給者数（人）	570	543
活動	活動	医療費助成額（千円）	21,679	18,071	17,788
成果	成果	受給者1人当たり助成額（円）	38,033	33,279	35,576
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	8,802	7,127	7,224
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	13,212	11,271	10,856
		カ 事業費（ア～オ合計）	22,014	18,398	18,080

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）前年度と比べ受給者数が43人減少しているため、助成額も283千円減少しています。 （原因）少子化により受給者が減少していることが原因として考えられます。 （余地）今後も乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[244]

子ども医療給付事業（児童・高校生等）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	06 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段（R04年度の取り組み）

- ・対象者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。
- ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を、現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	受給者数（人）	972	1,352
活動	活動	医療費助成額（千円）	23,069	25,879	34,956
成果	成果	受給者1人当たり助成額（円）	23,733	19,141	26,806
成果	成果			0	0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	23,400	26,100	34,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	13	847	1,232
		カ 事業費（ア～オ合計）	23,413	26,947	35,432

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）前年度と比べ助成額が9,077千円、受給者1人当たり助成額も7,665円増加しています。 （原因）昨年度の1月診療分から高校生等への助成を開始し、今年度は高校生等への助成を年間を通して行ったことが原因として考えられます。 （余地）今後も子育て世帯の経済的負担を軽減し、安定した事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[245]

在宅当番・救急医療委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>町民のニーズに応えるため、日曜、祝祭日に当番医による診療業務を委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に内科系診療（外科については県立南宇和病院） ・委託医療機関数9カ所 ・年間合計70日間 ・診療時間9：00～16：00 ・1日60,000円の報償費 ・事務費等 <p>委託料 5,200千円</p> <p>【ふるさとづくり基金充当 4,000千円】</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	委託料(円)		5,200,000	5,200,000
活動					
成果	開設日数(日)		70	70	70
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4,000	4,000
		オ 一般	5,200	1,200	1,200
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,200	5,200	5,200

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 開設日数は横ばいです。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 日・祝祭日に診療を行える体制が整っていることが考えられます。
	成果向上余地	(余地) 日・祝祭日においても安心して医療を受けられる体制を常に整えておくことが必要だと考えます。
	大 中 小 なし	

医師確保関連事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

医療体制の維持を目的に医師の確保・定着に係る事業を実施しました。
 愛媛大学医学部等関連：愛媛大学医学部の学生とのつながりを深めるための取組を行いました。
 内容：愛南町の医療にふれる会(1回 オンラインで開催)107千円
 ふれる会についてYouTubeで限定配信する動画制作
 県立南宇和病院での地域医療学講座学生の受入れ支援(29回)
 社会医学実習の受入れ(1回)
 医師確保・医療提供体制整備：赴任した医師の定着を図るための取組を行いました。
 内容：赴任医師応援事業 3年未満(7人)1,536千円
 医師確保奨学金事業：R04年度の新規申請はありませんでした。
 【ふるさとづくり基金充当 1,500千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		事業の実施回数(回)	14	22
活動		奨学金申請者数(人)	0	0	0
成果		事業に参加した学生の人数(人)	87	117	154
成果		研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数(人)	11	15	16
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,250	1,500
		オ 一般	79	1,176	143
		カ 事業費(ア～オ合計)	79	2,426	1,643

成果実績評価	成果状況	(状況)事業に参加した学生は154名で増加しています。研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数は16名で増加しています。 (原因)事業に参加した学生の増加は、医療にふれる会の参加者増加によるものです。研修先や勤務先として町内医療機関を選択した医師の増加は、自治医大より派遣されている医師の交代や、研修先として県立南宇和病院を選択した研修医の増加によるものです。 (余地)医療にふれる会については大学との打ち合わせを行い、早い時期から学生へPRをすることが考えられます。医師に対しては、招聘のためのPR活動を継続することが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

災害時保健対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 災害対応力の強化	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

災害時及び防疫対策に必要な医薬品や感染防止対策物品の備蓄を行いました。

1. 災害時医薬品備蓄事業：200千円
災害時のための医薬品の備蓄及び管理を町内の協力薬局(10店舗)に委託
2. 災害時防疫対策事業：1,112千円
災害時の防疫対策及び感染症対策を実施
床上浸水した家屋の住民に対し薬剤の配布 1件
新型コロナウイルス感染症に備え、感染防止対策物品の備蓄を行いました。

R04年度新型コロナ臨時交付金：1,078千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		備蓄協力薬局数 (箇所)	10	10
活動		災害時の衛生指導件数 (回)	0	0	0
成果		廃棄医薬品の金額 (円)	0	0	0
成果		避難所の感染症発症率 (%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,040	700	1,078
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	881	888	234
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,921	1,588	1,312

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 町内10か所に災害時医薬品の備蓄をしています。廃棄医薬品もなく事業の成果は順調です。また、感染防止対策物品の備蓄を行うことで、感染症予防及び拡大防止を図りました。</p> <p>(原因) 町内全薬局の協力を得ることができており、医薬品の期限やメーカー変更を適切に行うことができたことが要因と考えられます。また、感染防止対策を備蓄しておくことで、感染症発生の初期対策がスムーズに行えたことが要因と考えられます。</p> <p>(余地) 医薬品備蓄品及び感染防止対策物品の点検の必要があると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺保健福祉センター管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町保健福祉センター条例に基づき、町民に対して健康相談、保健指導及び健康診査その他、地域保健に関する必要な事業を行うことを目的として、利用者が快適に利用できるように、施設の管理を行い、36件の設備保守点検及び6件の施設修繕を実施しました。

- ・施設における消耗品費、燃料費、光熱水費の支出。
- ・施設を維持するための、清掃、電気保安業務、消防設備点検、浄化槽点検、ボイラー点検、植木管理、警備等の業務を委託し、施設及び設備・備品等の小破修理、修繕及び保守点検を実施しました。

令和4年度新型コロナ臨時交付金 5,500千円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修理・修繕件数(件)	10	15	6
	活動	保守点検件数(件)	36	35	36
	成果	城辺保健福祉センター管理運営上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
	成果	城辺保健福祉センター年間利用者数(人)	14,803	15,233	15,066
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	5,500
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	17	102	121
		オ 一般	7,811	10,543	9,291
	カ 事業費(ア～オ合計)	7,828	10,645	14,912	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)施設の利用者数は15,066人と前年度に比べ167人減少しています。施設に係る修繕は6件と前年度に比べ9件減少しています。不具合による支障は0件でした。業務に支障をきたすことなく施設を管理できたことから、成果としては維持・横ばいと考えます。</p> <p>(原因)施設経年のため、不測の修繕料が必要となりコストが増加しました。</p> <p>(余地)今後は施設設備が老朽化していくことを考えて、コストがかかりますが事前に補修を検討すべきと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[249]

一本松保健センター維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>主に施設の維持管理のため、設備を含む保健センター等の修繕・保守点検等を実施します。 ・清掃、消防設備保守業務等の委託</p> <p>【R4】外壁塗装が必要な状況となっており、その一部、まく板にシロアリが見られるため調査を実施しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	4	2
成果	成果	一本松保健センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	27	29	24
		オ 一般	1,185	919	1,374
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,212	948	1,398

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 大規模な修繕もなく、順調です。 (原因) 施設の適正管理によるものです。 (余地) 今後、修繕箇所の把握等、適正な管理に努める必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海保健福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	153
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
施設の維持管理のため、各種点検業務及び修繕工事等を実施します。 令和4年度については、消耗品、光熱水費、修繕、各種点検業務等、合計11,569千円を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	15	11
成果	成果	西海保健福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果	成果	西海保健福祉センター年間利用者数 (人)	4,805	4,560	4,252
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	572	600	647
		オ 一般	9,037	10,404	10,922
		カ 事業費 (ア～オ合計)	9,609	11,004	11,569

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し年間利用者数が308名低下しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、デイサービスの一時中断及びトレーニングルームを利用中止としたことが要因です。 (余地) トレーニングルームは高齢者入居施設と併設しており、感染対策のため引き続き使用中止とすることは妥当と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

不妊治療費助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>医師が認めた、不妊治療及び不育症治療（検査を含む）に要した費用に対して、一般不妊治療10万円、特定不妊治療20万円、不育症5万円を限度に助成しました。</p> <p><交付要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夫婦のいずれかが愛南町に住所を有している夫婦であること。 ・医療保険に加入していること。 ・治療開始時の妻の年齢が43歳未満 <p><助成回数></p> <p>一般不妊治療：年度内1回、通算2回 特定不妊治療：1子ごとに6回まで（ただし、妻の初回治療が40～43歳未満の場合3回まで） 不育症治療：年度内1回、回数制限なし</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	交付申請件数 (件)	16	13
成果	成果	不妊治療により妊娠した人 (人)	3	6	1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,725	1,398	1,049
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,725	1,398	1,049

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 不妊治療費助成の申請は9件で減少しています。不妊治療により妊娠、出産した人は1人です。</p> <p>(原因) 継続して不妊治療を行う人は増えていますが、保険適用後の助成について周知不足もあり、申請者が減少していると考えられます。</p> <p>(余地) 保険適用後の不妊治療費助成について周知を行い、治療費の経済的負担を軽減していきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

1061

妊婦健診・母子健康手帳交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・妊娠届出時に母子健康手帳と妊産婦健康診査受診票を発行し、委託医療機関で健診を行いました。【種類】妊婦一般健康診査(14回)、妊婦歯科健診(1回)、産婦健康診査(2回)
- ・委託外医療機関で受診した場合は、償還払いを行いました(歯科健診を除く)。
- ・妊産婦健診の通院費助成を行いました。1回：1,500円健診回数1人16回分まで)
- ・産後4か月未満の母親や乳児の心身のケアや育児サポートのため、宿泊型や日帰りの産後ケア事業を委託医療機関で行いました。【回数】[宿泊型][日帰り型]それぞれ7回まで

母子保健衛生費国庫補助(1/2)：555千円
(妊娠・出産包括支援事業、産婦健康診査事業)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		妊婦健診受診者数(回)	684	765
活動		母子健康手帳交付数(件)	66	68	59
成果		妊婦健診受診率(%)	71.8	83.9	77.3
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	481	406	555
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,078	7,508	7,724
		カ 事業費(ア～オ合計)	6,559	7,914	8,279

成果実績 評価	成果状況	(状況)母子健康手帳交付数は9件減少しています。また受診率は6.6ポイント低下しています。 (原因)年度集計のため受診票交付者と受診者が異なることが受診率の変動の原因と考えられます。妊婦健診の受診状況をみると、適切な時期に受診ができています。 (余地)医療機関と連携し、適切な時期に健診が受けられるよう支援していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[128]

乳幼児健診事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	01 次世代につなぐ子ども子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・妊娠届出時に新生児聴覚検査受診票を交付し、出生後に委託医療機関で聴覚検査を実施しました。【対象】1か月未満の乳児【回数】初回検査1回、確認検査1回(経過観察児のみ)
- ・赤ちゃん訪問時に乳児一般健康診査受診票を交付し、乳児期に2回委託医療機関で健診を実施しました。
- ・乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、5歳児健診を集団健診で年4回実施しました。
【内容】問診、身体計測、内科診察、歯科診察、歯科指導、心理相談、生活・栄養相談
- ・3歳児視聴覚精密者については、健診後受診票を発行しました。
- ・5歳児健診でむし歯が0本児には歯科表彰を行いました。

母子保健衛生費国庫補助(1/2)：715千円(母子保健対策強化事業)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		集団健診受診者数(人)	348	275
活動		乳幼児健康診査受診票交付数(件)	100	125	128
成果		集団健診平均受診率(%)	98.9	97.5	98.3
成果		適切にフォローされた子どもの割合(%)	90.0	81.6	82.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	715
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,766	2,653	3,538
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,766	2,653	4,253

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)健診平均受診率、適切にフォローされた子どもの割合は横ばいです。 (原因)健診未受診者に対して、受診勧奨を行うことで、高い受診率が維持できています。 (余地)適切な時期に健診を受診できるよう受診勧奨します。医療機関とも連携し、要フォロー児に対して早期に対応できるよう支援していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

出産・子育て応援交付金事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 子どもの健やかな成長	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>妊娠届出時に妊婦への面談を行い、出産応援交付金を支給しました。 妊娠8か月頃にアンケートを郵送し、希望者に面談を行いました。 出産後、赤ちゃん訪問を行い、面談を行った保護者に子育て応援交付金を支給しました。 【補助率】国2/3、県1/6、町1/6</p> <p>(交付額) 出産応援交付金：5万円 子育て応援交付金：5万円</p> <p>R04年度出産・子育て応援交付金：5,273千円 R04年度愛媛県出産・子育て応援事業費補助金：1,318千円 R04年度新型コロナウイルス臨時交付金：1,269千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	申請件数(出産・子育て)(件)		
成果	成果	助成額(千円)			7,900
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	6,542
		イ 県	0	0	1,318
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	52
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	0	7,912

成果実績評価	成果状況	(状況) R05.1月から実施要綱に基づき、交付金を支給しました。 (原因) 対象者に対して個別通知を行い、申請手続きを行うことができました。 (余地) 引き続き、対象者に周知していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

骨粗しょう症予防事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>・骨粗しょう症の早期発見・早期治療のため、骨粗しょう症検診・健康教育を実施しました。</p> <p>会場：公民館、集会所、城辺保健福祉センター等 内容：骨粗しょう症検診は年25回実施 骨粗しょう症予防の普及・啓発を実施 周知方法：広報、防災無線、生活カレンダー（新聞折込広告）で周知</p> <p>健康増進事業費補助金：267千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	実施回数(回)		24	25
成果	骨粗しょう症検診受診率(%)		14.7	20.2	16.7
成果	骨粗しょう症と診断された数(人)		31	36	57
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	304	292	267
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,427	2,635	2,367
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,731	2,927	2,634

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)骨粗しょう症検診受診率は16.7%で減少しました。骨粗しょう症と診断された人は57人で増加しました。</p> <p>(原因)骨粗しょう症検診受診率が減少したのは、新型コロナウイルス感染症の影響により前半に受診控えが増加したことが要因と考えられます。</p> <p>(余地)検診会場での感染症対策を行い、検診の周知を強化することにより受診率が向上すると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

健康診査事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・疾病疑いのある者や危険因子を持つ者の早期発見と早期治療のため、健康診査を実施しました。
会場：公民館・集会所・城辺保健福祉センター等
回数：集団は年46回実施
内容：身体計測、問診、血圧測定、尿検査、血液検査、眼底検査、心電図、医師による診察
周知方法：広報、防災無線、生活カレンダー（新聞折込広告）で周知
健康増進事業費補助金：203千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	実施回数(回)	46	50
成果	成果	健康診査受診者数(人)	77	97	89
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	147	207	203
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	601	764	784
		カ 事業費(ア～オ合計)	748	971	987

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)受診者数は89名で減少しましたが、生活保護受給者は4名増加しました。 (原因)県地域福祉課の被保護者健康管理事業と連携した保健指導の実施により、生活保護受給者の受診は増加したものと考えられます。若い世代は感染拡大時期と健診実施時期が重なり、受診を控えたものと考えられます。 (余地)健診会場での感染症対と若い世代が受診しやすい環境を整えることで受診率が向上すると考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

がん対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

がんを予防・早期発見するために、検診や健康教育を実施しました。若年がん患者が在宅で療養する際の居宅サービスや福祉用具貸与等に要する費用の一部を助成しますが、R4年度の申請はありませんでした。

- ・がん検診
内容：胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸、会場：公民館・集会所・保健センター等
- ・健康教育
がん検診の普及啓発のため、成人式等でチラシを配布しました。
- ・若年がん患者在宅療養支援事業
対象サービス：訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入
助成の上限額：一人当たり54,000円/月

【ふるさとづくり基金充当 30,270千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		がん検診実施回数 (回)	226	244
活動		若年がん患者在宅療養支援事業申請件数 (件)	0	0	0
成果		がん検診受診率 (%)	15.1	15.6	17.0
成果		がん発見数 (人)	22	15	12
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	28,236	30,270
		オ 一般	35,730	10,039	6,497
		カ 事業費 (ア～オ合計)	35,730	38,275	36,767

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)がん検診受診率は横ばいです。 (原因)新規受診者を獲得できていないため、受診率が増加しないものと考えられます。 (余地)検診会場での感染対策を実施し、検診の周知を強化することにより受診率が向上すると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[108]

新型コロナウイルス感染症検査関連事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 感染症予防対策の推進	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
【障がい】	法人が行った自主検査費用から愛媛県が実施する新型コロナウイルス感染症検査費用補助金額を除いた額(1件あたり上限18,150円)を法人に対して助成します。
【高齢者】	町が指定する検査機関又は高齢者施設等により行うPCR検査費用に対し、対象者の区分ごとに定める上限額の範囲内で検査費用を助成しました。
【当初】	補助金：4,129千円(高齢者：3,797千円 障がい者：332千円)
【6月/高齢者】	事業費12,611千円増額【12月/高齢者】県補助要件の拡充により、事業費を4,379千円増額します。【3月/高齢者】検査の実施見込みにより3,838千円減額します。【3月/障がい者】補助金請求がないため241千円減額します。
【R04実績】	交付数4,234件 補助額20,392,459円 (国庫補助 7,168千円:内新型コロナ臨時交付金7,000千円 県補助12,775千円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	(障) 補助金の交付者数(人)			0
活動	(高齢) 補助金の交付者数(人)			1,100	4,233
成果	(障) 障がい者施設でのクラスターの発生数(件)			0	1
成果	(高齢) 高齢者施設でのクラスターの発生数(件)			0	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	86	7,168
		イ 県	0	4,170	12,775
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	2,459	449
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	6,715	20,392

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 高齢者施設への補助金交付件数は、当初を大幅に上回りましたが5件がクラスターとして認定されました。障がい者施設への補助金交付件数は当初を下回り、1件がクラスターとして認定されました。</p> <p>(原因) 県の補助要件が緩和され補助金の交付件数は増加しましたが、施設等は職員数も多く同居家族も含めると感染リスクが高くなることが要因として考えられます。</p> <p>(余地) 高齢者施設等でのクラスターの発生を防止するために現状の方法が適切であると考えます。施設において適切に利用できるよう周知に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[116]

後期高齢者保健事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 早期発見・早期治療の推進	目	04 後期高齢者保健事業費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

疾病疑いのある者や危険因子を持つ者の早期発見と早期治療のため、特定健診を実施しました。また、フレイル等の心身の多様な課題に対したきめ細やかな保健事業を行うため、保健事業と介護予防を一体的に実施しました。

< 特定検診 >

集団検診は公民館、集会所、保健センター等で実施、個別検診は委託医療機関で実施しました。

内容：身体計測、問診、血圧測定、尿検査、血液検査、医師による診察を行いました。

< 保健事業と介護予防の一体的実施 >

個別支援：低栄養防止、糖尿病性腎症等重症化予防に取り組みました。

通いの場等への積極的な関与：フレイル予防の普及啓発や健康教育、健康相談を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		健診実施回数(回)	46	50
活動		重症化予防指導人数(人)	0	6	10
成果		後期高齢者特定健診受診率(%)	18.5	18.9	19.6
成果		重症化予防該当者の割合(%)	0	7.3	8.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7,661	7,914	8,479
		オ 一般	118	83	71
		カ 事業費(ア～オ合計)	7,779	7,997	8,550

成果実績評価	成果状況	(状況) 受診率は、19.6%で前年度に比べて0.7ポイント増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による、被保険者の受診控え等が少しずつ落ち着いてきたことで、平年並みの受診率に徐々に戻りつつあると考えられます。 (余地) 広域連合からの勧奨ハガキに加え、ポスターの掲示やCATVを活用し、住民に周知します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[285]

子ども定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
疾病の流行及び重症化を予防するため、予防接種法に基づく定期予防接種対象者に対し予防接種を実施しました。	
内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・出生時または転入時に予防接種手帳を発行 ・児童・生徒の定期予防接種は個別通知 ・委託医療機関において、個別接種を実施 ・里帰りや療養等で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを実施 	
種類：BCG、B型肝炎、Hib感染症、肺炎球菌感染症、ジフテリア、破傷風 ポリオ、百日咳、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、ロタウイルス	
医薬材料費：13,783,088円 委託料：10,293,694円	
償還払い：523,299円 消耗品等：235,299円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	接種者数(人)		2,078	1,908
活動					
成果		麻しん風しん予防接種(1期)接種率(%)	96.2	105.7	100
成果		麻しん風しん予防接種(2期)接種率(%)	92.1	98.0	89.7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	19,932	19,910	24,836
		カ 事業費(ア～オ合計)	19,932	19,910	24,836

成果実績評価	成果状況	(状況)麻しん・風しん予防接種の接種率は1期が100%と維持、2期が89.7%と横ばいです。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)麻しん・風しん予防接種の接種率は国の報告に準じて算出しております。年度内に2回、未接種者への接種勧奨を行ったことにより、接種率が維持できたと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)乳幼児健診の際の接種勧奨と時期毎の個別通知を実施することで、接種率の維持、向上に努めます。

287]

高齢者定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>疾病の流行及び重症化を予防するため、高齢者に対して予防接種を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者に接種券及び予診票を発行し、県内委託医療機関において、高齢者インフルエンザ及び、高齢者の肺炎球菌感染症の予防接種を個別に実施 ・療養等の理由で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを実施 <p>自己負担：インフルエンザ 無料 肺炎球菌 4,000円 実施期間：インフルエンザ 10/15～1/31 肺炎球菌 通年</p> <p>高齢者インフルエンザ：32,294,890円 高齢者肺炎球菌：264,246円 地方債：31,300千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		高齢者インフルエンザ予防接種接種者数(人)	6,557	6,411
活動		高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種者数(人)	207	88	54
成果		高齢者インフルエンザ予防接種接種率(%)	71.2	70.2	69.9
成果		高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種率(%)	15.8	7.4	4.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	31,200	29,800	31,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,659	2,212	1,247
		カ 事業費(ア～オ合計)	32,859	32,012	32,547

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)インフルエンザの接種率は横ばいです。高齢者肺炎球菌の接種率は4.1%と低下しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)新型コロナウイルス感染症との同時感染を予防するため、接種を呼びかけたことにより、接種率が維持したと考えられます。高齢者肺炎球菌の接種率が低下している要因は、5歳刻みの対象者が一巡したことと考えられます。 (余地)疾病の流行及び重症化の予防のため、継続した周知を行っていきます。

風しん対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和06年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に対して特定健診や事業所健診、又は医療機関において風しん抗体検査を実施しました。 ・風しん抗体検査で抗体価が低い人に対してMR(麻しん・風しん)予防接種を実施しました。 ・R04年度積極的勧奨対象者 風しん抗体検査未実施者：1,390人 麻しん風しん予防接種未実施者：45人 <p>感染症予防事業費国庫補助金1/2：風しん抗体検査に係る費用</p> <p>風しん抗体検査に係る費用：329,307円 麻しん風しん予防接種に係る費用：272,090円 R04年度感染症予防事業費国庫補助金：164千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		抗体検査の対象者数(人)	1,814	1,518
活動		予防接種の対象者数(人)	110	94	71
成果		風しん抗体検査率(%)	22.7	9.0	3.1
成果		MR(麻しん・風しん)予防接種率(%)	80.9	33.0	36.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,247	508	164
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,411	856	437
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,658	1,364	601

成果実績評価	成果状況	(状況)抗体検査率は3.1%と低下しています。予防接種率は36.6%と横ばいです。 (原因)令和元年度から令和3年度の未受診者を対象としたため、検査希望者が少ないことが一因だと考えられます。抗体検査の結果で抗体価が低い方が医療機関に予約をして予防接種をするという手間がかかることが一因となっていると考えられます。 (余地)風しん抗体検査の必要性について継続して周知し、実施率の向上を目指します。風しんの抗体価が低く予防接種対象となった者についても接種勧奨を行い、接種率の向上を目指します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

任意インフルエンザ予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p><子ども無償化> ・町が指定する予診票を本人、学校、町内委託医療機関等に配布 ・町内に住所を有する者がやむを得ず委託外医療機関で接種した場合は償還払 実施期間：10月1日～1月31日 接種回数：6か月～12歳 2回 13歳～18歳 1回 委託金額：4,100円（償還払：上限は委託料に準ずる） <千円補助> 対象：19歳～64歳、無料接種に該当しなかった者 補助金額：1回 1,000円（6か月～12歳は2回補助） 子ども無償化事業：6,184,996円 千円補助事業：863,380円 地方債：5,900千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		無償化接種者数 (人)		1,141
活動		1,000円補助金額 (円)		1,008,000	824,000
成果		無償化接種率 (%)		54.7	46.8
成果		集団感染件数 (件)		0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	6,800	5,900
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	1,630	1,148
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	8,430	7,048

成果実績 評価	成果状況	(状況) こどもの無償化接種率は、46.8%と横ばいです。集団感染件数は、0件です。 (原因) 無償化を開始して3年目となり、子どものインフルエンザ接種が定着してきたと考えられます。感染症対策を行っていることにより、インフルエンザの集団感染が発生していません。 (余地) 個別通知と保育所や学校を通じた周知により、接種率が向上すると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新型コロナウイルスワクチン接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 感染症予防対策の推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
対象者に対して、接種券と予診票を発行しワクチンを接種しました。 ワクチン、注射用シリンジ、注射針等は国から無償で支給されました。	
<ul style="list-style-type: none"> 対象者：6か月～4歳：1～3回（初回接種） <ul style="list-style-type: none"> 、5歳～11歳：1～4回 、12～64歳：1～4回 65歳以上：1～5回 委託料：国の統一単価 2,070円（税抜） 	
国庫負担金：53,551,077円 国庫補助金：38,998,000円（うち人件費：13,315千円） その他：24,640円（集団接種に係る町外接種者委託料）	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	接種者数（人）	291	40,539
成果	成果	接種率（%）	1.54	83.5	69.1
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	857	147,126	79,234
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	50	24
		オ 一般	0	1,610	773
		カ 事業費（ア～オ合計）	857	148,786	80,031

成果 実績 評価	成果状況	（状況）ワクチン接種は延べ22,757件、接種率は4回目が69.1%、5回目が68.9%、全体の平均は69.1%と減少しています。 （原因）回数を重ねるにつれて、接種率が低下しています。回数毎に対象年齢やワクチンが変わり、若い世代が積極的勧奨から任意接種となったことにより接種率が下がったと考えられます。 （余地）個別通知、広報、ホームページ、ケーブルテレビ等で随時ワクチン接種の情報を周知し、接種率向上を目指します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

〔107〕

生活環境施設等整備補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
町内各地区より提出された補助金交付申請書により、補助対象となる設備に対し補助率1/2、限度額(2万円～7万円)の範囲内で補助金を交付しました。また、申請が多くあったため、12月補正予算で500,000円を計上して、対応しました。	
【令和4年度実績】	
ごみ集積箱購入	10件 542千円
ストックハウス購入	3件 210千円
草刈機購入	2件 44千円
その他(プロワ)	7件 138千円
ごみ集積箱修繕	20件 430千円
ストックハウス修繕	1件 4千円
啓発用看板	10件 46千円
合計	53件 1,414千円
【ふるさとづくり基金充当 1,200千円】	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助申請件数(件)		33	48
成果	ごみ集積箱、ストックハウスを設置、運営している自治会割合(%)		100	100	100
成果	苦情件数(件)		7	8	6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,000	1,200
		オ 一般	823	659	214
		カ 事業費(ア～オ合計)	823	1,659	1,414

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の補助申請件数は53件で、令和3年度と比較して5ポイント増加しています。 (原因)行政協力員総会などでの周知によって、行政協力員に制度が認知されているためと考えられます。 (余地)行政協力員は短い期間で交代するため、適宜補助制度の周知を図り、生活環境設備の設置・購入を促します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

再生可能エネルギー推進事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	161
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費	計画年度	
基本事業	02 再生可能エネルギーの推進	目	06 環境衛生総務費		開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

農山漁村再生可能エネルギー協議会において、事業者から申請のあった風力発電事業に係る設備整備計画の認定協議を行いました。また、再生可能エネルギー学習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

再生可能エネルギー発電事業届出が4件あり、審査を行いました。

風力発電施設に関する控訴事件は2審での審議が始まり、口頭弁論、進行協議を行いました。太陽光発電損害賠償事件については、相手側が松山地裁に訴状を提出したため、弁護士を委任し、訴訟事務を行いました。

【令和4年度事業費】
環境審議会委員謝礼42千円 職員旅費2千円 弁護士実費弁償168千円
訴訟事務委託料374千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		再生可能エネルギー発電施設整備に関する問い合わせ件数 (件)	28	28
活動					
成果		再生可能エネルギー発電事業届出件数 (件)	16	19	4
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	1,381	585
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	1,381	585

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)届出件数は4件で、前年度より15件減少しました。</p> <p>(原因)売電価格の低下、固定価格買取制度の改正により自家消費型の地域活用要件が課された影響で新規の申請件数が減少したと考えられます。</p> <p>(余地)固定価格買取制度での申請は減少するものと思われませんが、電気料金が上昇する中、事業所や店舗においては自家消費型発電設備の導入、PPA事業による再生可能エネルギー由来の電力購入が徐々に増えてくると考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新エネルギー等導入促進補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	02 再生可能エネルギーの推進	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

新エネルギー等導入促進補助の実施については「愛南町新エネルギー等導入促進補助金交付要綱」に沿って審査手続き、確認作業等を行いました。
 交付申請書(書類審査) 交付決定通知書(額確定) 設置工事開始 設置工事完了
 実績報告書 書類審査、補助金交付

R 4年度実績 33件 5,351,000円
 太陽光発電システム 12件 1,401,000円
 リチウムイオン蓄電池 11件 1,100,000円
 燃料電池 1件 100,000円
 クリーンエネルギー自動車 9件 2,750,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助件数(件)	13	31
活動		補助金額(円)	1,818,000	3,630,000	5,351,000
成果		新エネルギー等導入住宅数(補助事業開始からの累計)(件)	127	158	191
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	200	299	849
		ウ 地方債	1,500	3,300	4,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	118	31	2
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,818	3,630	5,351

成果実績評価	成果状況	(状況)補助件数は33件で、前年度に比べ件数が2件増加しました。特にクリーンエネルギー自動車の導入が増えました。 (原因)化石燃料の価格高騰、電気料金の上昇により、電力を自給自足する世帯が一定程度増加しています。また、クリーンエネルギー自動車導入に対する国の支援策が拡充されたこともあり、導入増加に繋がりました。 (余地)電気料金の上昇が続く中、今後も再生可能エネルギー由来の発電設備の導入が進むと考えられます。また、ZEH住宅の導入を検討する世帯も増えているほか、クリーンエネルギー自動車への転換が加速しており、電気自動車の導入増加が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

浄化槽整備事業特別会計繰出金

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

浄化槽整備事業特別会計における地方債償還金、排水設備設置工事費補助金及び単独処理浄化槽・くみ取り槽撤去費補助金に対する財源として一般会計から繰出金を支出しました。

【繰出金】

令和2年度実績 52,600千円

令和3年度実績 51,900千円

令和4年度実績 54,300千円

【ふるさとづくり基金充当 20,000千円】

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 繰出金額 (円)	52,600,000	51,900,000	54,300,000	
	活動				
	成果 管理している浄化槽数 (槽)	954	1,017	1,075	
	成果 浄化槽特別会計の歳入における繰出金割合 (%)	34.0	32.9	33.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	20,000
		オ 一般	52,600	51,900	34,300
		カ 事業費 (ア～オ合計)	52,600	51,900	54,300

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度の町営浄化槽数は1,075基で、令和3年度の1,017基から58基の増加となりました。また、繰出金割合は、33.1%と前年度より0.2ポイント増加しました。</p> <p>(原因)繰出金割合の増加の主な要因として、事業開始から平成29年度までに行った浄化槽整備事業により借入した地方債の償還がピークを迎えたことによる償還額の増加が原因として考えられます。</p> <p>(余地)今後、浄化槽設置基数の増加による維持管理費が増加することが予測され、一定の繰入金への依存は必要と考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

800]

西海地域公衆便所管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	04 観光 物産の振興	項	01 保健衛生費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>公衆トイレ（小成川、福浦、武者泊及び中泊）の適切な維持管理を行います。</p> <p>令和4年度においては、修繕及び浄化槽保守点検等、合計799千円を支出しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕件数 (件)	1	1
活動		浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 浄化槽清掃件数 (件)	10	10	12
成果		西海地域公衆トイレの維持管理上の不具合により業務に支障をきたした 件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,277	784	799
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,277	784	799

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 前年度と比較し修繕が2件増加となっておりますが、事業費はほぼ同額 となっております。</p> <p>(原因) 地区及び渡船組合による適切な管理が要因と考えます。</p> <p>(余地) 公衆トイレを引続き地区及び渡船組合へ管理委託することが適切な管理に 繋がると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	

御荘霊苑管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	01 循環型社会の形成	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	07 環境衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>火葬業務、施設清掃、火葬設備の保守管理等を業務委託し良好な状態で維持し、施設に不具合があるときは、業務に支障をきたすことがないように速やかに修繕を実施しました。火葬業務委託者、葬儀業者等と連携し適切な施設管理運営を行いました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕料5,731千円(5件)、施設清掃、770千円(1回/月)、各設備保守点検1,382千円、火葬業務等委託料13,728千円、測量設計委託料1,485千円(水路測量設計) など

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持修繕件数(件)	7	5
成果		御荘霊苑の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	17,521	17,136	20,972
		オ 一般	9,362	11,142	11,602
		カ 事業費(ア~オ合計)	26,883	28,278	32,574

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の修繕件数は5件で、令和3年度と同じで、業務に支障をきたした件数は0件と順調です。 (原因)火葬炉設備保守点検委託、施設管理委託等により常に施設の状況を把握することにより突発的な故障が防げたためと考えられます。 (余地)定期的に点検等を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことにより、計画的に施設の長寿命化を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

不法投棄解消事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	04 4Rの推進	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町が所有又は管理する場所へ不法投棄された廃棄物の回収処分を行いました。
不法投棄巡視員2名がそれぞれ月5回町内をくまなく巡視し、不法投棄の防止に努め、月末に日誌と共に現況写真で報告を受け、状況確認を行いました。
備品として移動式の監視カメラを購入、設置し、不法投棄の監視・抑制に努めました。
【令和4年度実績】
不法投棄巡視員謝礼 1,080,000円 消耗品費 80,166円 燃料費 1,900円
不法投棄監視カメラメンテナンス・不法投棄回収廃家電リサイクル手数料 357,640円
不法投棄ごみ処理委託料 412,500円 車借上料 19,008円 重機借上料 15,840円
備品購入費(移動式監視カメラ3台) 95,700円
合計 2,062,754円
【ふるさとづくり基金充当 1,800千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		巡視パトロール回数(回)	120	95
活動		不法投棄を撤去した現場数(箇所)	4	7	2
成果		パトロールによる新規の不法投棄現場の発見数(箇所)	9	6	12
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,600	1,800
		オ 一般	2,891	308	263
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,891	1,908	2,063

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度のパトロールによる新規の不法投棄現場の発見数は12箇所、令和3年度の6箇所と比べ、6ポイント増加しています。 (原因)巡視員による巡視活動で、新規の不法投棄が前年度より多く発見されており、啓発不足や意識やモラルの低下が原因と思われます。 (余地)防災行政無線やかんきょうかわら版等で町民に啓発するほか、移動式監視カメラによる監視体制の強化が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

607]

塵芥処理管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	04 4Rの推進	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

各家庭から町が指定するごみステーションに排出された一般廃棄物を分別状況の確認を行いながら、収集及び宇和島広域環境センターまでの運搬を行いました。

【令和4年度実績】

ごみ収集等委託料：99,000千円

年間収集運搬回数：可燃ごみ1,813回、びん缶176回、ペットボトル163回、不燃物84回、
合計2,236回

年間収集運搬日数：310日

【ふるさとづくり基金充当 93,420千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	年間ごみ収集日数(日)		307	310
成果	年間ごみ収集量(t)		4,611	4,582	4,501
成果	ごみ収集ができなかった日数(日)		3	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	44	35,032	93,464
		オ 一般	106,956	64,127	5,735
		カ 事業費(ア～オ合計)	107,000	99,159	99,199

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和4年度の年間ごみ収集日は310日、年間ごみ収集量は4,501tで、ごみ収集量は令和3年度と比較して81t減少しています。 (原因)人口減少に伴い年々減少傾向ではありますが、マイバックやマイボトルの利用等に見られる住民の意識変化による減少も考えられます。 (余地)ごみ減量化及び再資源化の推進により、循環型ライフスタイルへの展開が図られます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

し尿処理補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町内で発生するし尿及び浄化槽汚泥については宇和島市の汚泥再生処理センターにて処理しており、同施設への運搬に係る経費について事業者に補助を行いました。

【令和4年度実績】
補助金額：33,558千円
年間搬入日数：304日
年間搬入回数：1,601回
年間し尿搬入量：9,085kl、年間汚泥搬入量：6,042kl、合計：15,127kl

【ふるさとづくり基金充当 30,000千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		し尿及び浄化槽汚泥収集運搬回数(回)	1,562	1,629
活動		補助金額(円)	29,406,864	32,026,874	33,558,181
成果		浄化槽汚泥及びし尿の汲み取り単価(税抜・18リットル当たり)(円)	150	150	150
成果		し尿及び浄化槽汚泥収集運搬量(t)	15,237	15,160	15,127
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	22,961	30,000
		オ 一般	29,407	9,066	3,558
		カ 事業費(ア～オ合計)	29,407	32,027	33,558

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和4年度の補助金額は33,558千円であり、令和3年度と比較して1,531千円増加しています。 (原因)原油価格、物価高騰に伴う経費増加によるものと考えられます。 (余地)今後は、ほぼ横ばい状態が続きますが、施設や設備の経年劣化や耐用年数等により運搬車輛購入時や貯留槽設備改修時に補助金が増加すると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[08]

海岸漂着物等地域対策推進事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
住民や漁業関係者によって集められた海洋ごみの収集運搬、処理を行いました。	
【令和4年度実績】	
事業費内訳	
消耗品費397千円、廃棄物処理手数料7,230千円、廃棄物処理委託料935千円、漂着フロート処理委託料1,749千円、車借上料969千円、重機借上料230千円、合計11,509千円	
処理実績	
木くず20.2t、廃プラスチック10.5t、混合ごみ132.9t、フロート6.4t、合計170.0t	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		海洋ごみ回収回数 (回数)	45	48
活動					
成果		海洋ごみ収集量 (t)	62.7	305.5	170.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,332	5,373	7,244
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	687	5,128	4,265
		カ 事業費 (ア~オ合計)	3,019	10,501	11,509

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の年間処理量実績は170.0tで、令和3年度と比較して135.5t減少しています。 (原因)令和3年度の実績は豪雨による影響で海洋ごみが大量発生したものです が、令和4年度は立入困難地域の漂着ごみの処理を初めて行ったことと、2度の台風の影響により例年の2倍近くの処理実績になったものと考えられます。 (余地)気象状況の影響はありますが、暫くの間は現状が続くと考えられます。海岸漂着物等地域対策推進事業補助金を活用し、水産課の立入困難地域漂着ごみ対策等と連携していくことで減少傾向に転じていくと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

機密書類等回収事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町内の役場関係事業所及び民間事業所から排出される個人情報を含む機密書類等を適切に溶解処理し個人情報漏えい防止と、リサイクルの推進を図りました。
有害物質が混在する廃乾電池や廃蛍光管の適正な処理をするとともに併せて新聞・雑誌・段ボール等をリサイクルし環境保全に努めました。

【令和4年度実績】

機密書類溶解処理委託料264千円 (年2回)
廃乾電池・廃蛍光管運搬処理委託料583千円 (年1回)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		機密書類搬出数量 (t)	32	22
活動		乾電池、蛍光管、再生紙等予定回収日数 (日)	120	120	120
成果		機密書類漏えい事故件数 (件)	0	0	0
成果		乾電池、蛍光管、新聞、雑誌等回収 (t)	256	247	223
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,517	819	847
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,517	819	847

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の廃乾電池・廃蛍光管・新聞雑誌運搬処理は合計223tであり、令和3年度より24t、10%減少しました。 (原因)人口減少により新聞雑誌等の回収量が減少傾向にある状態になったと考えられます。 (余地)廃蛍光管運搬処理及び機密書類運搬処理での事故の無いように事業所と契約しているため、現状が適切だと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

環境衛生センター管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	167
施策	01 循環型社会の形成	項	02 清掃費		
基本事業	05 ごみ処理体制の適正化	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

環境衛生センターの健全な運営及び維持管理を図るため、施設の修繕をはじめ、各設備の保守点検、広域搬出ごみ処理手数料や各施設維持管理委託を実施することにより、町民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図りました。

【令和4年度実績】
・修繕料13,899千円(24件)、広域搬出ごみ処理手数料4,288千円(595台)、浸出水処理施設維持管理業務委託料9,900千円、一般廃棄物最終処分場整備業務委託料209千円 など

【ふるさとづくり基金充当 4,000千円】

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 水質検査地点(地点)	3	3	3	
	活動 運搬ごみ量(t)	409	405	429	
	成果 法定基準を超えた項目数(全75項目)(項目)	0	0	0	
	成果 施設運搬車両の不具合件数(件)	1	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	18,108	23,850	22,858
		オ 一般	24,898	27,916	26,488
		カ 事業費(ア~オ合計)	43,006	51,766	49,346

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和4年度の運搬ごみ量は429トンであり、令和3年度より24トン、6%増加しております。 (原因)人口は減少しておりますが、空家片付け等、粗大ごみ持込量が増加傾向にある状態になったと考えられます。 (余地)リサイクル法による、ごみ減量化の啓発や推進活動を積極的に取り組んでいく必要があります。令和4年度作成のごみ分別詳細パンフレットを全戸に配布が完了したことにより、リサイクル化が推進されることが考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

上水道事業会計補助金

町長部局 水道課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	169
施策	04 安定的な水道水の供給	項	03 上水道費		
基本事業	02 経営の安定化	目	01 上水道費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>「地方公営企業繰出金」の基本的な考え方（繰出基準）に沿った繰出のほか、収益的収支不足補填財源としても繰出を行いました。また、内海地域（柏、柏崎地区を除く）住民の水道料金と愛南町上水道事業水道料金の差額に対し、補助金を交付しました。</p> <p>【R04年度実績】 （充当財源：新型コロナ臨時交付金5,686千円、ふるさとづくり基金10,000千円） （上水道事業会計に対する繰出基準内の繰出金 17,554千円） ・消火栓に要する経費として8,312千円、統合前簡易水道事業の建設改良費に係る企業債償還利息に対して8,331千円、児童手当に要する経費として911千円の繰出を行いました。 （上水道事業会計に対する繰出基準外の繰出金 214,753千円） ・上水道事業会計に係る収益的収支不足の補填として214,753千円を繰出しました。 （愛南町水道料金差額補助金 4,606千円） ・愛南町水道料金差額補助金として4,606千円を支出しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		154,788	185,735
成果	上水道事業の総収益における基準外繰出金割合 (%)		20.1	23.2	29.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	5,686
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	13,400	10,000
		オ 一般	154,788	172,335	221,227
		カ 事業費 (ア～オ合計)	154,788	185,735	236,913

成果実績評価	成果状況	<p>（状況）基準外繰出金割合は29.4%であり、前年度23.2%に比べ、6.2ポイント増加しました。電力価格高騰により、浄水施設及び配水施設の動力費負担を支援するため、令和4年度新型コロナ臨時交付金5,686千円を充当しています。</p> <p>（原因）給水人口の減少が進む中、水道料金収入が前年度と比較して13,753千円減少したことが原因です。</p> <p>（余地）公営企業の持続的な経営の確保のため、原則として5年に1度、料金改定を実施することとしています。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B17]

病院事業会計補助金

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	169
施策	04 健康・医療体制の充実	項	04 病院費		
基本事業	07 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 病院費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

病院事業会計への事業運営（収益的収支）・建設改良費（資本的収支）に要する経費にかかる繰出金を支出しました。

一本松病院：209,700千円
内海診療所：35,300千円 合計245,000千円

【ふるさとづくり基金充当 20,000千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		245,519	257,400
成果	病院事業会計事業収益対事業費用率 (%)		101.8	103.5	100.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,296	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	13,400	20,000
		オ 一般	244,223	244,000	225,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	245,519	257,400	245,000

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 病院事業会計に対する繰出額はR03年度257,400千円からR04年度245,000千円へと12,400千円の減額となりました。</p> <p>(原因) 入院患者の減少の影響もあり、収益的収支への繰出金は18,000千円増加したものの、本年度大型工事が無かったため、資本的収支への繰出金は30,400千円減少し、合計として12,400千円の減少となりました。</p> <p>(余地) 病床利用率の向上に努めることによって、医業収益の増収が見込まれます。(R04年度病床利用率70.8%、1日平均入院患者数42.5人)</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

小規模下水道特別会計繰出金

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書ページ	171
施策	01 循環型社会の形成	項	01 農業費	計画年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	02 農業総務費		

手段 (R04年度の取り組み)

小規模下水道特別会計における地方債償還金及び小規模下水道管理費に対する運営費用の不足を補う財源として、一般会計から繰出金を支出しました。

【繰出金】

令和2年度実績 120,700千円
令和3年度実績 107,620千円
令和4年度実績 95,500千円

【ふるさとづくり基金充当 20,000千円】

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・成果状況	活動 繰出金額 (千円)	120,700	107,620	95,500	
	活動				
	成果 集落排水接続率 (%)	82.7	82.7	83.1	
	成果 下水道特別会計の歳入における繰出金割合 (%)	78.5	54.8	69.3	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	20,000
		オ 一般	120,700	107,620	75,500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	120,700	107,620	95,500

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 集落排水処理施設への接続世帯数は921戸中765戸となり、接続率は83.1%で前年度とほぼ変わりません。繰出金支出においては、小規模下水道費の町単独事業工事請負費の減少に伴い、前年度に比べ12,120千円減少しています。</p> <p>(原因) 住宅新築数の減少や少子高齢化が進み、接続率は頭打ち状態となっています。事業収支の不足分について、一般会計からの繰出金により補填しました。</p> <p>(余地) 人口減少や高齢化が進んでいることから、大幅な向上は見込めません。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

農業支援センター運営事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度
基本 事業	06 農業地域資源を活用した農作物の高付加 価値化	目	02 農業総務費		

手段 (R04年度の取り組み)

農業支援センター運営のため負担金を支出し、持続可能な本町農業の維持発展を目的として、経営資金や農業簿記等の相談会及び講習会、産地化に向けた栽培技術等の研修会、農家所得の向上を目指した販路の確保等、農業者に対する総合的な支援を行いました。令和4年度は、「柑橘加工場」の将来的な建設を視野に入れ、愛南ゴールドのPR活動と販路拡大、高付加価値商品の開発や新たな商流網の構築について地方創生推進交付金事業を活用して取り組みました。また、令和3年度に引き続き、委託搾汁による河内晩柑の果汁及び果皮について販路開拓を展開しました。【ふるさとづくり基金充当 7,000千円】
【当初】農業支援センター負担金 23,350,000円
(市場開発事業費(委託搾汁事業、海外輸出事業含む)：21,766,000円ほか)
【3月補正】 10,000,000円
当初計画していた委託搾汁事業(新規搾汁分)について、令和3年度搾汁の在庫果汁で令和4年度の年間受注量を賄える目処がたち、当該事業費を執行しなかったことによる減額

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		愛南ゴールド等サンプル提供数(回)	20	56
活動		資金相談件数(件)	18	7	15
成果		愛南ゴールド等販売額(農業支援センター仲介)(円)	1,525,953	4,051,303	5,563,026
成果		新規就農者数(人)	4	2	3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,618	2,938	1,411
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	6,000	7,000
		オ 一般	5,682	9,762	4,939
		カ 事業費(ア~オ合計)	8,300	18,700	13,350

成果実績 評価	成果状況	(状況) 河内晩柑生果に加えて果汁も販促用アイテムとして保有して認知度向上・消費拡大活動を展開したところ、相乗効果で生果及び果汁ともに売上げが前年対比で増加しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 河内晩柑の認知度向上や消費拡大を目的として、積極的にサンプル配布を行ったことが奏功し、少しずつ成果として表れていると考えます。
成果向上余地	大 中 小 なし	(余地) 愛南ゴールドという柑橘を知らなかったという声をいまだに耳にするため販促イベント等を積極的かつ地道に行い、認知度を向上させることで販売量拡大に繋げる余地は大いにあると考えます。

627]

青果市場運営事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	06 農業地域資源を活用した農作物の高付加 価値化	目	02 農業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町とえひめ南農協が出資した組合として、市場運営のための事業費を負担しました。地域住民に新鮮で良質な地元の農産物を提供しました。本町の農産物の市場取引や生産加工、貯蔵販売の指導、斡旋を促しました。

修繕料 429千円
負担金 2,700千円

【ふるさとづくり基金充当 2,700千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	負担金額 (千円)	1,817	1,159
成果	成果	作物の取扱量 (t)	122	125	115
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,700
		オ 一般	1,817	1,159	429
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,817	1,159	3,129

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 果実の取扱量が63t、野菜の取扱量が52tと、総取扱数量は前年比8.0%減少しましたが、取扱手数料収入は前年比16.8%向上しました。</p> <p>(原因) 取扱数量の減少は、果実の5月から10月までの出荷数量が少なかったことによるものです。</p> <p>(余地) 関係者(生産者・仲買人・従業員)が一丸となり経営改善に向け取り組みを開始することとしています。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

②28]

農業次世代人材投資事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

新規就農者に対し、就農初期の定着化を図るため資金等の支援を行いました。また、県農業指導班等と連携し、経営農地の確認や新規就農の課題をともに考え、就農計画策定に向けた支援も行いました。就農後は、県、町、JA等で構成するサポートチームにより、経営・技術、営農資金、農地の指導等を通して地域農業に貢献する担い手の育成や定着を図りました。

事業費12,357千円

経営開始型：継続対象者4名

経営開始資金：新規対象者3名

経営発展支援事業：対象者2名

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数 (件)		8	5
活動	補助金額 (円)		10,642,360	6,750,000	12,357,000
成果	補助を受け営農している青年就農者数 (単年度)(人)		8	8	7
成果	補助後も就農している割合 (%)		93	87	88
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	10,642	6,750	12,357
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	10,642	6,750	12,357

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は3名の新規採択者がいました。これまで39名(うち夫婦2件)が交付金を受けており、4名が離農しましたが、順調に成果を維持しています。</p> <p>(原因) H29年度に事業名が青年就農給付金事業から農業次世代人材投資事業に、R04年度には新規就農者育成総合対策に変更となり、事業要件も年々厳しくなっています。そのため、新規就農の本格化を保留している者も数名おり、新規採択者の増加が限定的でした。</p> <p>(余地) 継続的に新規就農を促すとともに、R01年度からJAえひめ南による研修制度が実施されたため計画的な新規採択者の増加が期待できます。また、高齢化による遊休、リタイア農地の継承にも貢献できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

担い手協議会補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>本町の農業の向上及び活性化を図るため、関係する各組織に補助金を交付しました。各組織との連携を深め、農業経営や社会参画活動の推進を図りました。</p> <p>事業費 700千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	組織数 (組織)		4	4
活動					
成果	各組織の会員数 (人)		139	140	137
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,000	300	700
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,000	300	700

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) R04年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部活動が限定的でした。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現地研修やセミナー等の活動を控えました。</p> <p>(余地) 各関係団体が密に連携することにより愛南農業の維持発展のため、他産地での先進事例なども共有し諸問題の解決に向けた取組を主体的に実施していく必要があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

B44]

担い手総合支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和07年度

手段 (R04年度の取り組み)

多様な担い手を確保・育成していく方策として、支援事業を 研修、 経営定着・発展、
経営継承に区分化した上で事業の一元化を図り、取組を支援しました。
補助率：県1/3以内、町1/3以内。

支援事業 1,078千円
認定農業者機械施設整備事業 2,318千円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	就農予定者(研修生)数【、 事業関係】(人)		3	3
	活動	補助件数【、 、 事業関係】(件)		1	1
	成果	研修後の就農率(%)		100	100
	成果	補助対象農家等の経営規模拡大面積(累計)④		196	221
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	2,014	1,698
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	2,014	1,698
	カ 事業費(ア~オ合計)	0	4,028	3,396	

成果実績 評価	成果状況	(状況)支援事業に関しては、就農候補者3名(新規2名)を受け入れ、就農候補者技術研修や定着実践研修を行いました。また、機械施設整備事業に関しては、認定農業者1名が農業機械を導入しました。 (原因)農業次世代人材投資事業との連携により研修への支援体制が確立していること及び認定農業者等へ機械等の導入意向の調査を行ったことが原因として挙げられます。 (余地)募集体制の構築を始め、研修後の就農に不可欠な圃地情報のリスト化など研修から就農まで一貫した支援ができるよう、更なる研修体制の充実化が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

{117}

野菜産地化推進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>野菜の産地化を推進するため、JAえひめ南が振興している5品目（ブロッコリー、ナス、スイートコーン、サトイモ、オクラ）の出荷を前提として、町内在住農家（町内農地に限る）が購入した種苗代に対し助成を行い、野菜の産地化を推進しました。</p> <p>事業費 7,934千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成要件 原則農協で購入した種苗であること。 農協等に出荷をしていること。 ・補助率 1/2以内 <p>【ふるさとづくり基金充当 7,500千円】</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数 (件)		94	100
活動	補助金額 (千円)		6,837	7,696	7,934
成果	振興作物作付面積 (a)		3,626	4,155	4,135
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	6,252	7,500
		オ 一般	6,837	1,444	434
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,837	7,696	7,934

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 振興作物の作付面積は前年度から20a減少しました。 (原因) 台風の影響や、高齢化による離農等によって、ブロッコリーの作付面積が減少したことが主な原因です。 (余地) 引き続き当事業の周知をえひめ南農協と協働で行い、振興作物の作付面積拡大に努めたいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

B35]

JAえひめ南南宇和部会活動補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

研修や講習会のほか、先進技術等の導入等により品質向上や生産拡大を図り産地の強化に繋げるため、稲作部会、野菜部会、果樹部会、肉用牛部会に補助金を交付しました。

- ・稲作部会補助金額 200千円
- ・野菜部会補助金額 320千円
- ・果樹部会補助金額 230千円
- ・肉用牛部会補助金額 120千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		870,000	0
活動					
成果	水稻 振興作物の作付面積、柑橘栽培面積 (ha)		874	866	878
成果	飼養頭数 (頭)		153	156	153
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	870	0	870
		カ 事業費 (ア～オ合計)	870	0	870

成果実績 評価	成果状況	(状況) R04年度はいずれの部会も一部実施できない活動があり、限定的でした。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いずれの部会も視察研修等の活動ができませんでした。 (余地) 実施できなかった視察研修及び販売促進活動を始め、新規技術等の実証にも取り組み、振興品目等の産地競争力を強化し、部会活動の発展に貢献します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[1087]

農業経営セーフティネット加入促進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や今後起こり得る自然災害による農業収入の減少等に備えるため、農業共済組合が実施する農業保険法（S22年法律第185号）97条に規定する農業共済事業（農作物共済・家畜共済・果樹共済・畑作物共済・園芸施設共済等）及び175条第2項に規定する農業経営収入保険事業（農業経営収入保険事業のみ）に加入する農業者に対して保険料の一部を補助しました。

補助率：保険料（掛け捨て部分のみ）の1/2（上限20万円）

交付申請者数 121名
 交付決定額 3,599千円（令和4年度新型コロナ臨時交付金：3,599千円）
 内訳 共済事業：861千円、収入保険：2,738千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	セーフティネット加入者数（人）		397
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	2,722	3,599
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	898	0
		カ 事業費（ア～オ合計）	0	3,620	3,599

成果 実績 評価	成果状況	（状況）収入保険事業は新規加入者が1名増加し、農業共済事業は加入者数が28名が増加しました。 （原因）農業共済事業、収入保険事業ともに、災害やコロナ感染症等の影響による収入減少等の経営リスクへ備える制度として周知が図られたことが要因と思われます。 （余地）継続的に支援を行うことで、セーフティネットへの加入促進が図られます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

0114}

肥料高騰対策支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 経営安定と産地化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

国の肥料価格高騰対策として、化学肥料の2割低減の取組を行う農業者に対して、R4年6月からR5年5月までに注文する肥料価格の前年からの上昇分の7割を支援する事業に町も2割の追加支援を行います。

事業費(秋肥1次) 991千円 (令和4年度新型コロナ臨時交付金：991千円)
秋肥2次及び春肥の支援については、国、県の対応に併せ、繰越対応となります。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		交付申請件数 (件)		
活動		認定農業者数 (人)			154
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	991
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	991

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 国の肥料価格高騰対策事業の秋肥一次募集分の採択を受けた139名分の町補助金申請が肥料販売店等を通じてありました。 (原因) 広報等による周知の効果があり、コロナ禍により影響を受けた販売農家及び申請を行う肥料販売店等への制度の浸透が図れたものと思われます。 (余地) 春肥についても、愛媛県ホームページでの周知に併せ、町ホームページでも制度の周知を行っており、引き続き適切な事務を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[146]

農作物鳥獣害防止対策推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

野生鳥獣類による農作物被害防止施設(電気柵、ワイヤーメッシュ柵等)の整備に補助を行いました。(個人等事業主体) 上限50,000円、1/2以内補助(町単独事業)
本人申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払
また、サルによる農業被害、人的被害及び生活環境被害を防ぐため設置した大型の囲いワナの監理を南宇和猟友会に委託しました。また、鳥獣害に強い地域づくり事業補助金を交付し、野生鳥獣に対する地区による追い払いを支援しました。

【令和4年度実績】

・電気柵8件 補助額 197,500円 ・金網柵9件 補助額 330,900円
・囲いワナ監理委託料 528,000円 ・鳥獣害に強い地域づくり事業費補助金 21,000円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助件数(件)	15	9
活動		補助金額(千円)	534	265	528
成果		被害面積(ha)	11.97	11.53	10.43
成果		被害金額(千円)	19,179	19,258	17,106
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	924	1,552	1,077
		カ 事業費(ア~オ合計)	924	1,552	1,077

成果 実績 評価	成果状況	(状況)今年度の被害面積は10.43haで昨年度から1.0ha減少、被害金額は17,106千円で昨年度から2,152千円減少しており、昨年比の成果状況は向上となっております。 (原因)継続的に事業を行うことによる効果発現であると考えられます。 (余地)有害鳥獣が増加傾向にあるため、本事業を積極的に活用するよう周知します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

中山間地域等直接支払推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

生産条件が不利な中山間地域の集落に対し、協定を結び交付金を交付することにより、中山間地域の有する水源かん養機能等の多面的機能の発揮の維持・促進を図りました。
 協定集落 40集落(10割：27集落、8割：13集落、急傾斜加算：6集落)
 対象面積 田：1,037,378㎡畑：2,214,966㎡合計3,252,344㎡加算面積：346,096㎡
 補助率 本体交付金(国1/2、県1/4、町1/4)、推進交付金(国100/100以内)

本体交付金 48,018,287円(国24,009,132円、県12,004,552円)
 推進交付金 251,000円(国 186,000円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	集落数(集落)	40	40
活動	活動	交付金額(千円)	46,561	47,225	48,019
成果	成果	農業生産活動等の実施面積(㎡)	3,201,637	3,252,661	3,349,413
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	35,089	35,609	36,200
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	106
		オ 一般	11,724	11,871	12,033
		カ 事業費(ア～オ合計)	46,813	47,480	48,339

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 農業生産活動等の実施面積は約9ha増加しています。 (原因) R04年度から緩傾斜地が交付対象農用地となったことが要因です。 (余地) 協定参加者を増加させる、農地の集積を行うことなどで、対象農地を増やすことが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B37]

鳥獣被害防止総合対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>農作物被害の軽減を図るため、愛南町鳥獣被害防止対策協議会に対して補助金を交付しました。また、同協議会において野生鳥獣類の侵入防止柵の資材を購入し、地元施工による設置、住民向け追払い講習会の開催及び南宇和猟友会及び愛南わなの会による有害鳥獣の駆除を行いました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>駆除頭数 イノシシ(成獣) 777頭 (幼獣) 163頭 シカ (成獣)1,671頭 (幼獣) 81頭 サル (成獣) 56頭 (幼獣) 3頭</p> <p>侵入防止柵 8地区 15,404m サル追払い講習会 1式</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		45,491	38,947
活動					
成果	農作物被害面積 (ha)		11.97	11.53	10.43
成果	農作物被害金額 (千円)		19,179	19,258	17,106
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	34,762	26,853	40,467
		ウ 地方債	0	1,000	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,729	12,146	3,449
		カ 事業費 (ア～オ合計)	45,491	39,999	43,916

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 侵入防止柵を設置した区域の被害は減少していますが周辺の未設置区域に被害が出ています。</p> <p>(原因) 猟友会、わなの会による捕獲頭数は増加していますが、侵入防止柵の設置していない場所に鳥獣が移動していると思われます。</p> <p>(余地) 電気柵や鉄柵で囲っていない場所には捕獲檻を設置するなどの対策を取ることによって被害の軽減を図ることができると考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

菊川農村研修センター管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
管理	防火対象物点検業務、消防用設備保守点検業務、浄化槽法定検査業務、浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、施設清掃業務を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		菊川公民館管理運営関係者数 (人)	9	10
活動		菊川公民館運営審議会開催回数 (回)	2	2	3
成果		菊川農村研修センター管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果		菊川農村研修センター運営上の満足度 (%)	100	97.1	98
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	970	956	938
		カ 事業費 (ア～オ合計)	970	956	938

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 施設管理上のトラブルもなく運営できています。満足度は98%で0.9ポイント向上しました。 (原因) 定められた頻度での保守点検及び業者による清掃と普段からの管理が適切であったと思われます。 (余地) 住民が安全で快適に利用できるよう、長期的観点での維持管理が必要です。経費削減を考慮した施設の改修等の検討も必要と思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松ふるさと生活館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 農業振興施設費		

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>一本松ふるさと生活館の運営及び施設の維持管理を行います。 施設及び設備の維持管理 ボイラー保守点検委託業務 食品営業賠償保険 使用料 1回5時間まで 農産加工室 1,300円 その他 400円</p> <p>【R4】ルームエアコン設置工事(468千円)及び洋式トイレ等改修工事(1,056千円)を実施しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開館日数(件)	32	35
活動	活動	修繕件数(件)	1	1	2
成果	成果	一本松ふるさと生活館利用者数(人)	93	194	186
成果	成果	農産加工品の商品化率(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	26	25	38
		オ 一般	469	1,674	1,916
	カ 事業費(ア～オ合計)	495	1,699	1,954	

成果実績 評価	成果状況	<p>【状況】修繕件数は、当初予算内で対応できた軽微なものでした。昨年度と比較して、利用日数は4日多く、利用者数は8名減少しました。</p> <p>【原因】施設の維持管理については、適正な管理によるものです。また、利用日数・利用人数の増減については、コロナウイルス感染症防止のため閉館した期間が減少したことや、参加者が再活動したことが要因と思われます。</p> <p>【余地】本施設の機能維持のため、計画的な設備の修繕が必要と考えられます。また、食品衛生法に係る営業許可(惣菜製造業、みそ製造業、菓子製造業)を公共施設では唯一取得していることから、利用者数等の増加が考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B47]

一本松郷土資料館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 生涯学習の充実	項	01 農業費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

郷土資料（歴史・民俗）の適切な維持管理に努め、展示公開することで、町の歴史と文化を町内外そして後世に伝えます。
文化財の保護の必要性の周知、町内在住者への学びの機会と場の提供及び町の文化の向上に寄与します。
【R04年度実績】
・館の屋根にかかっていた桜の枝を伐採しました。
・小学校3学年社会科における館の見学に、展示解説として対応しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 郷土資料の収集件数 (件)	0	0	0	
	活動 収蔵資料件数 (件)	4,195	4,195	4,195	
	成果 一本松郷土資料館年間来館者集 (人)	102	55	103	
	成果 一本松郷土資料館の維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	1	0	1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	500	529	545
	カ 事業費 (ア～オ合計)	500	529	545	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度実績から年間来館者数が87.3%向上しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用中止や移動制限等が元の水準に戻らなかった原因と思われませんが、施設利用の緩和が図られた昨秋からコンスタントに入館者が見られます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) コロナ禍で町内小学校3年生全てが見学に訪れることが難しくなったことから足が遠のいている学校があります。館での学習サービスについて校長会等で周知を図り、入館者の増加に繋がります。

一本松交流促進センター管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
施設を利用する一本松中学校生徒及び一般利用者の利便性向上や安全性確保のために適切な維持管理を行いました。 開館時間：8時30分から22時まで 休館日：なし 予約：一本松公民館	
【R04年度実績】	
・年間利用人数 2,240人 ・照明設備(LED)改修工事を実施しました。 ・修繕4件(天井、空調設備、トイレ漏水、シート防水) ・外壁等改修工事のため実施設計を実施しました。	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	4	5
成果	成果	一本松交流促進センター年間利用者数(人)	2,299	1,737	2,240
	成果	一本松交流促進センターの維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	73	99	5,283
		オ 一般	3,942	4,034	10,835
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,015	4,133	16,118

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比較して年間利用者数が29.0%向上しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用制限緩和による利用の増加が要因だと考えます。 (余地)今後の利用については、新型コロナウイルスの5類感染症移行により通常 に施設が使用できれば更なる利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松プール管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費		

手段 (R04年度の取り組み)

一本松小学校児童の安全性確保のために適切な維持管理を行いました。

【R04年度実績】

- ・開放期間：6月から8月上旬
- ・開放内容：授業（水泳）及び夏休みプール開放
- ・委託業者によるプールの過機の保守点検を実施しました。
- ・修繕1件（次亜滅菌ポンプ）
- ・放課後児童クラブにプール開放を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	0	0
活動	活動	一本松プール年間利用者数(全児童数) (人)	104	117	153
成果	成果	一本松プールの維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果	成果			0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	837	853	1,033
		カ 事業費 (ア～オ合計)	837	853	1,033

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者からの不具合やトラブルの申し出がなく、事業の成果としては順調でした。 (原因) 適切な施設管理及び点検等を実施していることが要因であると考えます。 (余地) 現在学校利用のみとなっており、開放日を増やしたとしても成果向上の余地は少ないと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

あけぼのグラウンド管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 農業振興施設費		

手段 (R04年度の取り組み)

必要な管理を行い、利用者の利便性向上と安全性確保に努めました。
スポーツ合宿等町外者の利用を推進するため、誘致活動を行いました。

- ・利用時間 7時から22時
- ・休業日 なし
- ・予約 生涯学習課

【R04年度実績】

- ・年間利用人数 10,877人（合宿利用3件）
- ・照明設備改修（LED改修）のため概算設計を実施しました。
- ・修繕8件（浄化槽プロア、発電機、休憩所照明、防球ネット外）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	2	4
成果	活動			0	
	成果	あけぼのグラウンド年間利用者数(人)	7,225	8,803	10,877
成果	成果	あけぼのグラウンドの維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	222	240	330
		オ 一般	2,967	3,476	3,843
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,189	3,716	4,173

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度から年間利用者数が23.6%増加しました。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の使用制限緩和による利用の増加が要因であると考えます。 (余地)今後のグラウンド利用については、新型コロナウイルスの5類感染症移行により通常に施設が利用できれば更に利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

畜産配合飼料価格高騰対策支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	05 畜産業費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

<p>手段 (R04年度の取り組み)</p> <p>愛媛県の配合飼料価格高騰対策として、配合飼料価格安定制度加入者等の要件を満たす畜産農家に対し、飼料コスト低減や生産性向上など収益確保等に係る取組推進経費を補助する事業に町も上乘せ支援を行いました。</p> <p>補助金積算式：R4.4月～9月の配合飼料購入数量×3,700円（プラス3,700円を町上乘せ） 単価設定：3,700円/t（価格高騰前後の実質負担差額の1/3）</p> <p>【令和4年度実績】 補助農家件数 5件 補助対象数量 225.86 t 補助金額 1,671,364円（うち、県補助835,682円） （令和4年度新型コロナ臨時交付金 835千円）</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		畜産農家補助件数 (件)		
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	835
		イ 県	0	0	835
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	1,671

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 補助金交付対象農家の5軒全てに対して167千円の補助を行い、順調に成果が出ました。 (原因) 飼料価格高騰による経済負担の影響が大きく、畜産農家、町及び県で連携し迅速な対応ができたことが要因と思われます。 (余地) 今後の配合飼料の価格高騰の状況を注視しながら畜産農家の経営継続の支援を検討する必要があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

多面的機能支払交付金事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

多面的機能支払交付金事業を実施する活動組織及び推進組織へ地域資源（田・畑等）の多面的機能の増進を図るため、農村環境保全向上活動支援事業補助金を交付し、組織による活動を支援しました。

農地維持支払	9,805千円
資源向上支払（共同活動）	3,634千円
資源向上支払（長寿命化等）	9,763千円
推進組織推進事業	716千円
市町推進事業	240千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	交付金額（千円）	23,799	21,454
成果	成果	多面的機能を維持管理している面積（a）	38,680	38,649	38,649
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	17,713	16,690	18,059
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3	0	0
		オ 一般	6,083	5,761	6,228
		カ 事業費（ア～オ合計）	23,799	22,451	24,287

成果実績 評価	成果状況	（状況）R04年度は前年度と比べ対象農用地面積に増減はありませんでした。 （原因）活動組織内における転用等の影響がなかったためです。 （余地）補助金制度の周知や事務説明等を行うことにより、対象農用地の拡大を検討する組織の増加が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

土地改良区助成事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>一本松土地改良区、緑僧都土地改良区、城辺土地改良区に対して、運営費等に関する補助金を支出しました。</p> <p>【令和4年度】</p> <p>一本松土地改良区助成 337,500円 緑僧都土地改良区助成 170,000円 城辺土地改良区助成 21,000円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	助成金額 (千円)	414	450
成果	活動				
	成果	土地改良区施設の機能不全件数 (件)	2	4	6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	414	450	529
		カ 事業費 (ア～オ合計)	414	450	529

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度は前年度と比べ、機能不全件数が2件増加したものの、概ね適正な維持管理ができています。</p> <p>(原因)定期的な点検及び経年劣化等による修繕の実施により、トラブル件数の発生抑制に寄与したためと考えられます。</p> <p>(余地)今後も組合員が積極的に、こまめに点検等を実施することが、修繕箇所 の減少につながると考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水利組合助成事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>農業用揚水ポンプを管理している水利組合等へ揚水機・可動堰の年間電気料の1/2以内の助成金を支出しました。 【令和4年度】 水利組合補助金（19件） 2,716,500円</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	助成金額 (千円)	2,207	2,177
成果	活動				
	成果	水利組合管理施設の機能不全件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,207	2,177	2,717
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,207	2,177	2,717

成果実 績評 価	成果状況	(状況) 令和4年度は前年度同様、0件を維持しており順調となっています。 (原因) 各水利組合が適正に施設の維持管理を実施していると考えられます。 (余地) 現況の維持管理状態の取り組みを継続することが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

農道維持補修事業 (単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
農道の健全な利用促進のため、地区からの要望により農道新設、路側改修、農道舗装等が必要な箇所に対して、工事の実施、併せて土地の買収を実施しました。 【令和3年度繰越】 町単独工事（御荘平山地区農道新設事業排水路設置工事） 2,799千円 【令和4年度】 町単独工事（御荘平山地区農道新設事業舗装工事） 4,774千円 町単独工事（地区要望等対応20件） 25,795千円 用地買収費（1件） 160千円	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持補修件数 (件)	13	20
活動					
成果		農道施設における維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	13	20	20
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	14,733	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	9	9	12
		オ 一般	47,443	76,623	33,516
		カ 事業費 (ア～オ合計)	62,185	76,632	33,528

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度は前年度に対し、維持補修件数横ばいですが、事業費は減少しています。 (原因)事業費の減少については、地区要望における農道新設事業が令和3年度に完了したためと考えられます。 (余地)今後も継続事業の実施及び施設の老朽化(舗装、路側)をはじめ、支障木等の突発的な案件が生じると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水路維持修繕事業 (単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)											
<p>老朽化等が原因による水利施設の機能を維持・改善するため、地区要望等で維持補修が必要な水路等の施設について、測量設計や修繕・補修工事等を実施しました。</p> <p>【令和4年度】</p> <table border="0"> <tr> <td>修繕料</td> <td>198千円</td> </tr> <tr> <td>登記業務委託料(2件)</td> <td>845千円</td> </tr> <tr> <td>測量設計委託料(2件)</td> <td>8,182千円</td> </tr> <tr> <td>愛南町ため池ハザードマップ作成業務(N=14箇所)</td> <td>11,000千円</td> </tr> <tr> <td>町単独工事(地区要望等対応43件)</td> <td>26,673千円</td> </tr> </table>		修繕料	198千円	登記業務委託料(2件)	845千円	測量設計委託料(2件)	8,182千円	愛南町ため池ハザードマップ作成業務(N=14箇所)	11,000千円	町単独工事(地区要望等対応43件)	26,673千円
修繕料	198千円										
登記業務委託料(2件)	845千円										
測量設計委託料(2件)	8,182千円										
愛南町ため池ハザードマップ作成業務(N=14箇所)	11,000千円										
町単独工事(地区要望等対応43件)	26,673千円										

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	維持修繕の件数(件)	37	50
成果	成果	農業排水路における持管理上の不具合・トラブル件数(件)	37	50	43
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	13,400	0	0
		ウ 地方債	0	12,200	11,000
		エ その他	1	1	1
		オ 一般	49,626	34,975	35,897
		カ 事業費(ア~オ合計)	63,027	47,176	46,898

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度は前年度に対し、維持修繕件数は減少しました。 (原因)定期的な見回りや地区要望により、維持補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。 (余地)今後も施設の老朽化による修繕等、突発的な案件が生じると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

広域農道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

広域農道にある道路照明灯、平城トンネル照明灯の電気料について支払しました。平城トンネル照明灯の点灯不良箇所の修繕を実施しました。広域農道の草刈等（御荘～城辺地域）（城辺～一本松地域）を実施しました。

【令和4年度】

電気料 339千円
修繕料 952千円
農道維持管理委託料（3件） 2,761千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	1	1
活動	活動	作業回数 (回)	4	4	4
成果	成果	広域農道利用者からの要望・苦情件数 (年間) (件)	0	0	0
成果	成果	広域農道での事故件数 (年間) (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,339	4,031	4,052
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,339	4,031	4,052

成果実績評価	成果状況	（状況）令和4年度は前年度に比べ、ほぼ横ばい状態です。 （原因）適切な維持管理の実施により、利用者の安全性・利便性が確保できたものと考えられます。 （余地）こまめな道路排水路等の維持管理や法面の立木の枝打ち、また、今後、既存照明灯の廃盤による平城トンネルにおけるLED化等が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

農地等工事材料費支給事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

原材料支給の地区要望等があった農業用施設について、砕石や、生コン、防草シート等の工事材料を支給しました。支給を受けた工事材料は、地元受益者の自主施工により実施しました。

【令和4年度】

原材料支給（14件） 3,881千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	支払金額 (千円)	4,941	5,185
成果	成果	農家による環境整備件数 (件)	8	13	14
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,941	5,185	3,881
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,941	5,185	3,881

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和4年度は前年度と比べ、要望件数はほぼ横ばいですが、事業費については減少傾向となっております。</p> <p>(原因) 継続的な事業実施により、施設の改善が図られてきていると考えられます。</p> <p>(余地) 多面的事業の新規活動組織の検討や認定及び今後の対応完了による要望件数の減少等により、原材料支給の減額が考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

大久保山土地改良事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>大久保山土地改良区の健全な運営等のため、運営費や償還金に関する負担金及び補助金を交付し、組織による施設の維持管理活動を支援しました。</p> <p>【令和4年度】</p> <p>運営費負担金 1,025千円 償還金負担金 1,299千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	負担金額 (千円)	4,299	2,324
成果	成果	施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	3	9	4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,299	2,324	2,324
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,299	2,324	2,324

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和4年度は前年度と比べトラブル対応件数は減少しました。</p> <p>(原因) 定期的な見回り等により補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。</p> <p>(余地) 今後も事業を実施している小水力発電事業が軌道に乗れば、その収益を維持管理費に充当できるため補助金の減額が考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

県営土地改良事業負担金

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

地域の特性に応じた農業振興を推進するために、基盤整備事業を実施する愛媛県に対して負担金を支出しました。

【令和4年度】

県営土地改良事業負担金 72,975千円

(内訳)

・農業水路等長寿命化・防災減災事業 37,200千円

(ダム取水施設ゲート据付等一式)

・地域ため池総合整備事業 14,000千円(【山の神池】堤体工等一式)

・水利施設等保全高度化事業(担い手支援型) 21,775千円(測量設計等一式)

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	負担金額(千円)	42,340	39,500
成果	成果	事業進捗率(%)	93.5	100	19.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	4,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	42,340	39,500	68,975
		カ 事業費(ア～オ合計)	42,340	39,500	72,975

成果実 績評 価	成果状況	(状況)令和4年度については、前年度と同様に近年の財政の厳しい中、事業完了に向けて順調に進んでいます。 (原因)地方財政法第27条及び土地改良法第91条第6項の規定により納入しています。 (余地)事業負担金の支出のみならず、県と地元の地域間調整を行うことにより、事業が円滑に施行でき、事業の進捗率が向上します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

林道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

森林施業を目的として、既存林道の機能維持、向上を図るため安全に利用できるよう維持管理委託料や修繕及び水路改良工事等を実施しました。

- ・僧都二本松地区水路改良工事27,500千円
- ・林道維持管理委託料(2路線)766千円
- ・林道長月線維持補修(長洲)136千円
- ・林道フキアゲ線維持管理(地区要望)80千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	作業回数(回)	6	4
成果	成果	林道維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	2	1	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	3,000	0	27,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,225	2,020	982
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,225	2,020	28,482

成果実 績評 価	成果状況	(状況)地区要望等に対応し、清掃作業箇所2路線、修繕、水路改良工事を実施し、適切に維持管理を遂行しました。 (原因)地区要望や職員の見回り及び利用者に情報提供していただき、林道の状況を把握しました。 (余地)南宇和森林組合等の林道使用者と積極的に協力しながら維持管理をすることが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

667]

林道整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛媛県森林土木工事関係規程に基づき、森林整備を効率的に実施することを目的に林道工事を実施しました。

農山村地域整備交付金事業（国庫補助事業・継続）林道松尾光野線道路舗装工事

計画期間：令和2年度～令和7年度

全体計画：事業費97,000千円、事業量 舗装工L=4,000m

令和3年度からの繰越事業費8,950千円、舗装工L=637.5m

令和4年度の事業費（前払5,000千円のみ）13,950千円、舗装工L=500.0m

県単独林道整備事業（県費補助事業・新規）林道太田八人組線道路開設工事

計画期間：令和3年度・令和4年度・令和6年度

全体計画：事業費48,600千円、事業量 道路開設L=421.6m

令和4年度の事業費17,500千円、道路開設L=185.4m

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開設、改修における林道延長 (m)	0	900
成果	成果	間伐実施面積 (ha)	0	5	5
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,750	25,083	16,422
		ウ 地方債	0	20,200	12,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,250	2,369	2,628
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,000	47,652	31,450

成果実績評価	成果状況	(状況) 両事業ともに、長期計画に基づいて適正に工事を実施しています。 (原因) 事業完了途中につき、現在のところ森林整備面積の向上には繋がっておりません。 (余地) 工事を延伸し事業が完了することにより、森林整備の成果向上に繋がるものと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

有害鳥獣駆除補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	04 農地の保全・農村環境の整備	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

南宇和猟友会、愛南わなの会による有害駆除事業に対して奨励金を交付しました。
 イノシシ 猟期外、猟期10,000円/頭
 シカ 猟期外15,000円/頭、猟期10,000円/頭
 サル 猟期外、猟期15,000円/頭
 うち県補助金で基準額10,000円/頭×1/2以内で補われました。

【令和4年度実績】

南宇和猟友会
 イノシシ 694頭、シカ 1,432頭、サル 58頭
 愛南わなの会
 イノシシ 246頭、シカ 320頭、サル 1頭

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		27,060	35,784
活動					
成果	被害面積 (ha)		11.97	11.53	10.43
成果	被害金額 (千円)		19,179	19,258	17,106
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	7,541	10,049	11,228
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	14	14	10
		オ 一般	19,505	25,721	21,231
		カ 事業費 (ア～オ合計)	27,060	35,784	32,469

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 捕獲頭数が前年度比6.6%の減少、被害面積及び被害額も減少しており、 昨年と比較して成果は向上しています。 (原因) 南宇和猟友会、わなの会による継続的な捕獲活動及び侵入防止柵の設置等 によるものと思われます。 (余地) 有害鳥獣数が増加傾向にあるため更なる成果向上を目指し、南宇和猟友 会、愛南わなの会と連携し入会者の獲得を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

町有林除間伐事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
町内森林の整備を目的とし、南宇和森林組合が行う森林整備事業の補助を行いました。 ○間伐事業30,000円×25ha(国、県事業の補助残の3万円以内/haを補助) ○再造林事業等に要する経費(県再造林事業費の20%以内)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額(千円)		635	0
活動					
成果	町有林の間伐面積(ha)		21.22	0	8.2
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	901
		オ 一般	635	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	635	0	901

成果実績 評価	成果状況	(状況) 間伐面積5.38ha及び造林面積2.82haを実施しました。 (原因) 個人からの要望により森林組合が間伐及び造林等を行っていますが、自己所有山林の関心不足が問題とされています。 (余地) 木材価格の低下等により森林所有者の経営意欲が低下しているため、補助事業の周知を行うことによって森林施業の意欲回復を促し、森林整備の増加を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

877]

森林整備担い手確保育成対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>○林業従事者の労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図るとともに高性能機械の導入により労働安全の確保と事業の効率化を図りました。 県1/3以内補助、町1/3補助、森林組合1/3 森林組合申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払 【令和4年度実績】1,109,530円</p> <p>○森林環境整備事業補助金 林業担い手育成・確保・雇用環境整備事業 【令和4年度実績】701,000円</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		3,196	3,303
活動					
成果	労働災害数 (件)		0	0	0
成果	林業従事者数 (人)		52	47	30
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	606	674	555
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	701
		オ 一般	2,590	2,629	555
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,196	3,303	1,811

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 森林組合への補助により労働安全の確保と事業の効率化を図ることができました。</p> <p>(原因) 本事業により労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図ることができたためと思われます。</p> <p>(余地) 森林組合が行っている事業に対し、補助金を交付しています。森林組合と連携を図ることで迅速に事業を進めることができると考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

878]

地域材利用木造住宅建築促進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

定住及び木造住宅の建築を促進し、南予地域材の需要を喚起するとともに、関連する木材産業、建築産業等の振興、林業の活性化及び森の健全化を図りました。

本人申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払

補助対象：地域材を主要部材の60%以上使用かつ住宅部分の床面積が66㎡以上の住宅で、

町内に事務所を有する工務店により建築された住宅

補助内容：使用地域材の体積1立法メートル当たり25,000円を乗じた額(上限50,000円)

【令和4年度実績】

令和3年度繰越分 3件 1,500,000円

令和4年度 10件 4,511,000円(うち繰越明許 4件 2,000,000円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数(件)		9	15
活動					
成果	建築件数(件)		9	15	9
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,695
		オ 一般	3,409	6,715	1,500
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,409	6,715	4,195

成果 実績 評価	成果状況	(状況)申請件数は昨年度と比較し5件減少しました。年度によって増減はありますが地域材消費促進に繋がっています。 (原因)住宅の建築件数の増減は、住宅需要や景気の影響による経済状況等複数の要因に左右されると思われます。 (余地)事業についての周知を行い補助申請者の増加を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

879]

愛南町木育推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
町が実施する乳児健康診査を受診した者に対し、県内等の地域材により製作した木製玩具を誕生祝品として贈呈しました。	
【令和4年度贈呈実績】 木製玩具（積み木）：乳幼児72名	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		木製玩具贈呈回数 (回)	4	5
活動		木製玩具贈呈人数 (人)	66	61	72
成果		贈呈した玩具を活用している1歳6か月乳幼児割合 (%)	-	97	95
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,372	1,206	528
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,372	1,206	528

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和4年度の成果は95%が活用しているとのアンケート回答となりました。木製玩具(積み木)を対象乳児72名に贈呈しました。</p> <p>(原因) 対象となる乳児の発育段階に適切で安全な木製玩具を贈呈できていることが要因と考えられます。</p> <p>(余地) より木製玩具に親しめるように、木製玩具を使用した方の意見等を参考にします。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[1076]

森林環境整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	05 新たな森林管理システムの推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>○森林経営管理制度の推進 町内人工林の所有者に対し林業経営に関する意向調査を行い、所有者の意向に応じて経営管理の委託契約を結び、林業経営に適さない人工林について町が管理を行いました。(広見地区をモデル地区として森林経営計画を実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林計測業務委託料 3,300千円 ・環境林整備事業(間伐委託業務)7,000千円(翌年度繰越) ・林道維持補修整備工事998千円 <p>○森林環境の整備 森林組合等(意欲と能力のある事業者)へコスト削減を図るため高性能林業機械の借上料経費等及び山土場から木材市場までの木材輸送費用の補助を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材生産支援(林業機械導入)補助事業7,208千円 ・素材販売支援(木材運搬)補助事業7,675千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	契約面積 (ha)	0	126
成果	成果	間伐実施割合 (%)	0	60	75
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	25	1,848	19,181
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	25	1,848	19,181

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度は、面積19haの経営管理集積計画を立案後、その一部の面積9haの森林整備(切捨て間伐)を発注しましたが、翌年度繰越事業により令和5年度に実施する予定です。</p> <p>(原因)発注時期の遅れから繰越事業になりましたが、残りの集積計画とあわせて、面積19haの森林整備(切捨て間伐)を令和5年度に実施予定であります。</p> <p>(余地)広見地区の残りの経営管理業務につきましては、今後も林業経営に適さない森林を中心に集積計画を立案して、森林整備(切捨て間伐)を実施してしていきたいと考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

種子島周辺漁業対策事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
愛南漁協が行う共同利用施設設置事業における業務を支援しました。	
水揚げ荷さばき施設設置事業 総事業費 37,300千円 県補助額 26,110千円 町補助額 3,730千円 漁協負担 7,460千円	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		事業区分数 (設計・監理・工事)(件)	0	3
活動					
成果		事業進捗率 (%)	0	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	41,230	26,110
		ウ 地方債	0	5,800	3,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	90	730
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	47,120	29,840

成果実 績評 価	成果状況	(状況)令和4年度は、荷捌所新設第二期工事として、水槽やシャッターの設備設置を行いました。 (原因)工事は、当初工程表のとおり完成しました。 (余地)令和7年度以降、本事業の計画を更新し検討します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

水産業振興補助事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南漁協及び久良漁協が実施する水産業の振興を目的とした事業に対して、愛南町補助金交付規則により、事業費を補助し水産業の振興を支援しました。

水産業振興事業費補助金

愛南漁協 16,433千円
久良漁協 881千円

新規漁業就業者育成強化事業費補助金

愛南漁協 1,200千円
久良漁協 1,400千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		27,286	14,569
活動					
成果	愛南・久良漁協の漁獲量 (t)		20,816	15,003	9,896
成果	愛南・久良漁協の生産額 (千円)		1,646,809	1,647,303	1,526,542
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	4,098	3,187	1,300
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	23,188	11,382	18,614
		カ 事業費 (ア～オ合計)	27,286	14,569	19,914

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 両漁協の漁獲量は前年度から約5,500 t 減少し、生産額もやや減少状態です。 (原因) 漁獲量が減少し、生産額もやや減少しているが、コロナ禍で低迷していた魚価が回復傾向にあるものと考えられます。また、補助金については輸出に向けた取り組みとして、パップ(BAP)やコーシャ(KOSHER)といった国際認証の取得を支援したことにより増加しました。 (余地) コロナ終息後に向けたの販売促進及び新規漁業者確保の取り組みを行うことで漁獲量、生産額の向上が考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

688]

漁業収入安定化支援事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>漁協が実施する漁業共済制度のうち養殖共済及び漁獲共済を対象とし、保証契約割合が60%以上で、共済掛金の10%の額を上限150万円で支援しました。</p> <p>[新型コロナ臨時交付金：17,500千円]</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		16,397	18,670
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	17,640	4,000	17,500
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,283	14,670	253
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,923	18,670	17,753

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響の受けた漁業経営者の経営安定化を図ることができました。</p> <p>(原因)共済掛金の10%を補助することで、漁業経営者の負担を軽減できました。</p> <p>(余地)令和4年度同様、令和5年度も保証契約割合を60%以上に設定し、漁業共済への加入促進に取り組みます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1090]

燃油及び配合飼料高騰対策事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が長期化する中、ロシアによるウクライナ侵略などの影響により原油価格が高騰し、魚類養殖の主原料である魚粉輸入価格の上昇による配合飼料価格も高騰しており、漁業経営に多大な影響を与えています。そこで、国の漁業経営セーフティーネット構築事業に加入している漁業者(R5新規加入予定者含む)に対して、漁業用燃油及び養殖用配合飼料の価格高騰に対応するため、漁業経営の支援を行いました。

愛南漁協 漁業用燃料48件6,293,017円、養殖用配合飼料21件19,243,345円
久良漁協 漁業用燃料 3件6,305,982円、養殖用配合飼料 7件 908,660円

[新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金：23,666千円]

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		交付申請件数 (件)		
活動		漁業経営体数 (人)			375
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	23,666
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	9,085
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	32,751

成果実績評価	成果状況	(状況) 漁業用燃油及び養殖用配合飼料の高騰を受け、漁業経営に多大な影響を与えていました。 (原因) 国の漁業経営セーフティーネット構築事業に加入している漁業者に対して補助を行い、漁業の安定化と事業継続支援を図りました。 (余地) 通年事業ではないため、令和5年度は状況を見て検討します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産物販売促進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町の水産物の知名度向上を図りながら販売促進を推進するため、首都圏の百貨店や居酒屋等での営業活動とコロナ禍における輸出及び国内キャンペーンを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏居酒屋やデパート及びモスフードサービス等への営業活動を実施しました。 ・首都圏百貨店、居酒屋等において水産物と農産物を併せた愛南町フェアを開催しました。 ・輸出にかかる国内関係各社に営業活動を実施しました。 ・漁協の創意工夫による有効なプロモーションや直売所やスーパーマーケットなどでの販売キャンペーンの際の食材費を支援しました。 ・委託料（愛南町水産物等販売促進支援業務） 5,652,900円 ・旅費（販売促進活動） 347,010円 ・消耗品費（販売促進魚代） 99,435円 <p>[地方創生推進交付金：2,826千円]</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	商談会出席回数 (回)	1	2
成果	成果	漁協の直接販売額 (千円)	1,385,792	1,157,418	955,515
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	96,729	2,879	2,826
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	16,715	3,211	3,273
		カ 事業費 (ア～オ合計)	113,444	6,090	6,099

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和4年度の漁協の直接販売額については、昨年より18.5ポイント減少しました。</p> <p>(原因) コロナ禍の状況が縮小傾向にありますが、引き続き販路拡大の取り組みとして、両漁協がオンラインショップのほか、大手百貨店やチェーン店での販売を行ってきました。</p> <p>(余地) コロナ終息後に向けた、販売先との関係強化などを実施することにより更なる成果向上の余地は大いにあると考えます。今後も両漁協と連携し販売につながる取り組みを実施します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

687]

ぎょしょく普及事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

園児、児童生徒、一般を対象に、愛南町で水揚げされる水産物や水産業への理解を深めるため、施設見学、座学、調理実習等を実施しました。
 未就学児 愛南町で水揚げされる魚を触り、水産物を昼食やおやつで味わいました。
 小学生 授業で水産現場の見学、座学、調理実習等を実施しました。
 中、高、大学 家庭科授業で、魚をさばきおいしく調理できることを学びました。
 一般 愛南町で水揚げされる水産物を知り、地元水産物の消費拡大を図りました。
 学校給食食材 町外の小中学校出前授業を通じて、給食食材の利用拡大を図りました。
 伝道師育成事業 事業謝礼20,000円 実費弁償182,220円 燃料費1,355円
 保険料18,000円 車借上料16,500円 備品購入費(ぎょレンジャー衣装)1,169,300円
 ぎょしょく普及事業 旅費109,000円 消耗品費1,855,132円 商標登録委託料84,600円
 船借上料20,000円
 [えひめの未来チャレンジ支援事業：751千円]

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	普及事業の実施回数 (回)		35	36
成果	町内の普及事業の参加者数 (人)		688	723	2,510
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,520	0	0
		イ 県	0	1,838	751
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1	14
		オ 一般	785	3,744	2,711
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,305	5,583	3,476

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の本事業への参加者数は2,510人となり、前年度に比べ610人の増加となりました。 (原因)新型コロナウイルス感染予防対策からの事業中止によって、減少していた実施回数が徐々に回復してきました。 (余地)人口が減少している状況ですが、新型コロナウイルスの感染予防対策として遠隔での漁場見学やオンライン調理実習等、事業内容や実施方法の見直しにより、参加者の拡大が図られると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

漁場環境保全事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	06 持続可能な漁業の推進	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>・藻食性生物の除去等による藻場造成を実施し、藻場調査や生物相調査等を愛媛大学に委託しました。</p> <p>・海洋環境を学べる場を設け、海洋ごみ、ブルーカーボン、カーボンニュートラル等の知識を深めました。</p> <p>[令和4年度地方創生交付金：200千円]</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	調査回数 (回)		
成果	成果	藻場造成を実施した沿岸域面積 (㎡)			2,670
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	200
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,545
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	2,745

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)概ね順調に推移しています。</p> <p>(原因)例年の養殖ヒロメの生育調査に加え、ブルーカーボンの創出に向けた海藻類調査や、大学の委託事業によるウニ駆除、モニタリング調査を積極的に実施したことにより、調査回数や実施面積は当初計画より増加しています。</p> <p>(余地)上記の活動の他、愛南の藻場を守る会での藻場造成活動も積極的に実施することにより、実施面積の拡大が可能と思われます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産業活性化推進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>水産業の活性化を図るために、漁業者や水産業関係者に水産業関連の支援策や補助事業について、情報提供の機会を設けるとともに、イベントを開催することで水産業の知名度を向上させました。</p> <p>水産フォーラム 水産セミナー 水産業振興懇話会 大学祭 eスポーツイベント 大学連携事業</p> <p>講師謝礼17,400円 委員謝礼49,000円 旅費84,300円 消耗品費1,288,935円 振込手数料313円 検査手数料3,575円 撃鯛杯運営委託料3,245,000円 委託料(水産物販売促進PR業務)1,900,000円 備品購入費(フリーズドライヤー)770,000円 負担金6,000円 [新型コロナ臨時交付金：4,015千円] [えひめの未来チャレンジ支援事業：950千円]</p>	

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
		活動・成果状況	活動 実施回数(イベント会議)(回)	8	16
成果	水産業フォーラム 懇話会及び現地イベント参加者数(人)	850	5,481	851	
成果	SNS情報発信 閲覧数(回)	7,396	180,375	1,415,163	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,872	3,300	4,015
		イ 県	0	579	950
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	822	2,004	2,400
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,694	5,883	7,365	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)水産業振興懇話会を7月に水産フォーラムを3月に開催しました。また、昨年度に続いてeスポーツを活用した販売促進イベントを行い、本町特産品のPRを行いました。</p> <p>(原因)令和3年度に実施したeスポーツイベント「住鯛杯」及び「鯛カツバーガー」のイベントは令和4年度実施しなかったため、イベント参加者数が減少しました。SNS閲覧数は「撃鯛杯」での告知、拡散イベント及びeスポーツプレイヤーによる旅行動画などの新しい取組みがSNS上で話題となり大幅に増加しました。</p> <p>(余地)フォーラムやセミナーは回を重ねるごとに内容(テーマ)の重複等が起こると想定されるため、隔年開催も考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

魚病診断事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・町内の養殖漁場で斃死した養殖魚の鰓や内臓等を顕鏡して寄生虫・細菌・ウイルスなどの有無を検査することで、斃死の原因となった病気を特定しました。
- ・細菌性疾患であれば薬剤の感受性を調べました。
- ・病原体の確認が困難なウイルス病については、遺伝子検査をすることでより正確な検査を行いました。
- ・海外由来の種苗が町内に導入された際にはモニタリング検査を行い、町内で未発生の魚病等に感染していないかを調べました。

旅費（養殖衛生管理技術者養成本科実習）180,500円
 消耗品費594,906円 燃料費54,935円 通信運搬費27,126円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		魚病診断件数 (件)	1,137	1,430
成果		魚病診断件数 (件)	1,137	1,430	1,038
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	82	130	0
		オ 一般	229	112	857
	カ 事業費 (ア～オ合計)		311	242	857

成果実績評価	成果状況	(状況) 魚病診断件数は減少しました。 (原因) 令和3年度は一部の魚種でウイルス性疾患が大流行したために診断件数が増加しましたが、令和4年度はウイルス性疾患が蔓延しなかったため診断件数が減少しています。 (余地) 現状では具体的な対策方法のない病気もありますが、対策方法のある病気については、本事業により引き続き早期判断、対策を行うことで、さらに魚病の感染を抑制することができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

海洋資源開発センター施設管理運営事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>施設の維持管理や機器類の保守点検、修繕や施設整備を適時行いました。</p> <p>消耗品費207,277円 光熱水費8,070,752円 修繕料2,052,600円 通信運搬費122,873円 保険料28,147円 委託料2,620,218円 受信料18,205円 リース料6,966円 回線専用料220,640円 工事請負費（新養殖等屋根等改修工事、高圧機器改修工事）21,153,340円</p> <p>修繕：8/8箇所実施 保守：5/5事業実施 工事：3/3事業実施 施設メンテナンス：8月、12月実施</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		設備修繕件数 (件)	6	5
活動		保守点検委託件数 (件)	4	5	5
成果		海洋資源開発センター施設機能不全、不具合数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	9,080	0	0
		ウ 地方債	10,500	0	18,200
		エ その他	3,702	3,909	5,432
		オ 一般	7,698	10,467	10,869
		カ 事業費 (ア～オ合計)	30,980	14,376	34,501

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 設備も問題なく稼働し種苗生産や試験研究は計画通り実施できています。 (原因) 修繕は、保守の結果や過去の履歴から予測し、計画的に実施できています。 (余地) アコヤガイの種苗生産周年化に対応する施設として、新たな運用方法についても検討します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[04]

優良アコヤガイ作出事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町の基幹産業の一つである真珠母貝養殖業の安定経営に向けて、優良アコヤガイの開発により真珠母貝の品質を高めるとともに、「耐性貝」「耐性交雑貝」の安定供給のため、愛南漁協への技術支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良アコヤガイの開発 種貝種苗生産24種類生産、31班(100件)に配布 ・耐性交雑貝の安定供給 漁協大量生産：2770万貝、注文数に対し10割生産達成 (4月出荷：1093万貝、3月出荷1667万貝) ・旅費45千円 ・消耗品費2,056千円 ・燃料費191千円 ・委託料(アコヤガイ遺伝子解析業務)488千円 ・備品購入費(水温計、ディープフリーザー)1,439千円 ・真珠母貝養殖継続支援事業補助金：21,121千円(98/100件) ・真珠養殖継続支援事業補助金：1,860千円(16/17件) <p>[地方創生交付金：244千円]</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		種苗生産回数(回)	5	5
成果		種苗生産割合(割)	9.7	10	10
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	251	245	244
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	22,474	23,367	26,956
		カ 事業費(ア~オ合計)	22,725	23,612	27,200

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度も稚貝の大量死が発生し、稚貝の需要が高まりましたが、愛南漁協の種苗生産においては、2770万貝の生産に成功し、生産者の需要を満たすことができました。</p> <p>(原因)令和4年度の施設改修により、親貝の飼育を別棟にある新養殖棟に移しました。その結果、種苗生産における親貝から稚貝へのウイルス感染リスクの低減と、種苗生産効率の向上を果たすことができ、昨年度より約700万貝多い過去最大の生産量を達成できました。</p> <p>(余地)ビルナウイルスに対する耐性を獲得することができれば、稚貝の需要も正常な状態に戻ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新養殖魚種導入支援事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携 強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町の新養殖品種として期待されるスマやサツキマス等の養殖技術を確立させるための支援を行いました。

- ・伊予の媛貴海養殖実証試験に協力する生産者等に対して、餌代の補助を実施しました。
- ・新養殖魚種生産の早期実用化に向け、研究開発委託事業を実施しました。
- ・サツキマス養殖の早期実用化に向け試験用消耗品を支援しました。

・実績 消耗品費128千円 委託料（新規養殖魚等研究開発）2,000千円
補助金（愛南町伊予の媛貴海生産支援事業費）9,116千円
[令和4年度地方創生交付金：5,621千円]
[令和4年度伊予の媛貴海養殖生産支援事業費県補助金：4,557千円]

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		新養殖魚種の導入数 (種)	1	3
成果		新養殖魚導入数 (尾)	26,000	36,800	25,300
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,892	4,038	5,621
		イ 県	11,658	5,967	4,557
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,979	4,061	1,066
		カ 事業費 (ア～オ合計)	25,529	14,066	11,244

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 成果指標である種苗導入尾数は増加しました。 (原因) 令和4年度はマサバの導入がなかったためです。 (余地) 生残率の低さなどの問題があることから、海面導入時での生残率や疾病対策などの課題を克服することにより、さらなる普及が図られるものと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産業ICT利活用事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

水産業の現場にICT技術を導入し、作業の効率化及びデータを活用した戦略的な漁業を実現しました。

消耗品費110千円 通信運搬費307千円
委託料(次世代型水産業ネットワークシステム保守管理)132千円
負担金(宇和海水温情報運営管理協議会)200千円
補助金(スマート水産業推進事業)24,272千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	魚病診断情報登録数(件)	1,137	1,430
活動	活動	赤潮情報発信数(件)	52	74	56
成果	成果	ICT技術を活用している(登録している)漁業経営体(従事者)数(人)	311	323	329
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	24,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	809	789	821
		カ 事業費(ア~オ合計)	809	789	25,021

成果実績評価	成果状況	(状況)ICT活用漁業経営体数が6人増加しました。 (原因)システムがより周知され登録希望者が増加したためです。 (余地)漁業関係者に定期的に周知をしてシステム登録を促すことで、さらにシステム利用者を増加させることができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[400]

赤潮 漁場環境調査事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	06 持続可能な漁業の推進	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内で赤潮が発生した際は現場に赴き採水をし、増殖したプランクトンの同定と養殖業者への結果の通知を行いました。 ・3か月おき(年に4回)に町内漁場の環境調査をして動向を把握し、さらに町内の養殖業場が良好に保たれているかを調べました。また、海水だけでなく底泥についても調査を実施しました。 ・定期的に海水中の有害プランクトン及び病原体の濃度をリアルタイムPCR法で測定することで、広く町民に周知できました。 <p>事業謝礼27千円 消耗品費92千円 修繕料91千円 検査手数料94千円 委託料(沿岸海域の環境調査・赤潮早期検出とモニタリングに係る研究開発)2,350千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		環境調査実施回数(回)	4	4
活動		赤潮調査の実施回数(回)	52	74	56
成果		赤潮等発生件数(件)	0	2	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,227	2,736	2,654
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,227	2,736	2,654

成果実績評価	成果状況	(状況)2件の赤潮が発生しましたが、赤潮による漁業被害は発生しませんでした。 (原因)大規模な赤潮が発生しなかったためです。 (余地)赤潮が発生した際は調査を行い養殖業者に注意喚起して早期対応を促すことで、漁業被害の発生を未然に防ぐことが可能となります。さらに詳細な遺伝子モニタリングを継続して行いデータを集めることで赤潮予測につながり、赤潮被害の低減が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域産業研究・普及センター施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛媛大学南予水産研究センターや漁協、地域の企業の協力のもと、技術革新の創出、環境重視型産業の構築、ぎょしょく教育・人材育成を推進しました。なお、愛媛大学、滞在者等が使用する光熱水費、浄化槽管理委託料、滞在室使用料等は、使用者が負担しました。

- ・水産振興、ぎょしょく普及、各種研究などのための施設の維持管理を行いました。
- ・施設の修繕や保守点検等の実施しました。
- ・臨時用務員雇用による、日常的な清掃、施設備品の維持管理を行いました。

労働保険料2千円 事業謝礼605千円 消耗品費110千円 燃料費228千円 光熱水費6,099千円 修繕料552千円 通信運搬費91千円 手数料125千円 委託料(改修工事設計委託料等)1,445千円 放送受信料21千円 工事費(施設改修工事)9,108千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		設備修繕件数(件)	11	2
活動		保守点検委託件数(件)	4	4	4
成果		地域産業研究・普及センター施設機能不全、不具合数(件)	0	0	0
成果				0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,919	5,464	13,253
		オ 一般	1,724	2,231	5,133
		カ 事業費(ア～オ合計)	6,643	7,695	18,386

成果実績 評価	成果状況	(状況)修繕数については、昨年度より6件増加しました。 (原因)施設の老朽化や台風被害による緊急修繕等により、修繕件数は増加しています。 (余地)保守委託件数、修繕件数とも、施設の老朽化に伴い、増加する可能性はあるものの、適切な管理・使用方法などにより減らすように努めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[05]

漁港施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

<p>手段 (R04年度の取り組み)</p> <p>漁港関連施設の維持補修工事をはじめ、修繕補修や台帳補正等を実施し、漁港・漁港海岸業務の適正な管理を行いました。</p> <p>【令和4年度実績】 普通旅費 50,730円 消耗品費 868,028円 修繕料 1,678,700円 払込手数料 313円 講習会等受講手数料 20,150円 廃棄物処理委託料 165,000円 漁港台帳補正業務委託料 477,000円 漁港・海岸保全区域内業務委託料 1,573,000円 測量設計委託料12,500,000円 (内繰越分12,500,000円) 改良・改修工事費 18,000,000円 維持補修工事費 69,119,270円 (内繰越分22,815,000円) 工事材料費 284,350円</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持補修工事件数 (件)	35	45
活動		機能改善箇所数 (箇所)	35	45	44
成果		漁港施設の不具合・破損件数のうち機能を改善した施設の割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	59,600	86,900	56,800
		エ その他	261	261	261
		オ 一般	54,714	52,708	47,676
		カ 事業費 (ア～オ合計)	114,575	139,869	104,737

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	(状況) 令和4年度に行いました各施設における機能改善の割合は100%で、順調となっています。 (原因) 定期的に点検を実施し状況を把握するとともに、計画や設計等を行い事業を順次執行したことで、適切に改善できたことが要因です。 (余地) 定期的に点検を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことで、随時計画的に施設の長寿命化を図ります。
--------	--	---

水産物供給基盤機能保全事業 (国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	195
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>漁港施設の長寿命化を図るため計画書の作成及び機能保全工事を実施しました。(対象漁港：深浦・中浦・赤水・油袋・船越・柏崎・西浦・福浦・高畑・網代・家串・平簗・御荘)</p> <p>【全体事業13漁港 事業費696,214,000円 水産物供給基盤機能保全事業費補助金 県1/2】</p> <p>【R4年度実績】 歳入 8,365,000円 (うち令和3年度からの繰越分 8,365,000円) 歳出 16,730,000円 (うち令和3年度からの繰越分16,730,000円) 機能保全工事 1 漁港</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		機能保全計画書作成漁港数 (漁港)	5	2
活動		保全工事実施漁港施設数 (施設)	13	5	0
成果		水産物供給基盤機能保全事業進捗率(ハード)(対策済施設数/対策予定施設数)(%)	89.7	95.4	95.4
成果		水産物供給基盤機能保全事業進捗率(ソフト)(更新済漁港数/更新予定漁港数)(%)			-
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	57,506	38,204	8,365
		ウ 地方債	57,400	38,200	8,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	106	4	65
		カ 事業費 (ア～オ合計)	115,012	76,408	16,730

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度の事業進捗率は95.4%で、令和3年度と同様横ばいとなり、事業計画どおり順調となっています。</p> <p>(原因)今後の経費縮減のため、積極的に施設の長寿命化を推進するため、事業費の確保に努めたことが考えられます。</p> <p>(余地)国からの補助金額の増加により、事業進捗の向上が期待できます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

海岸メンテナンス事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	195
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和08年度

手段 (R04年度の取り組み)

海岸保全施設の長寿命化を図るため計画的に施設の維持補修対策を行い、測量設計及び、対策工事を実施しました。なお、令和4年度より海岸堤防等老朽化対策事業から海岸メンテナンス事業に名称が変更となっています。

【全体計画 6漁港 19施設、全体事業費 C = 351,700千円、海岸保全施設整備事業補助金 国1/2、県1.5/10】

【令和4年度実績】
歳入 11,700,000円
歳出 18,000,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		老朽化対策事業実施海岸施設数 (箇所)	0	3
成果		老朽化対策事業実施海岸施設割合 (%)	0	15.8	15.8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	60,000	9,000
		イ 県	0	18,000	2,700
		ウ 地方債	0	37,800	5,670
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	4,200	630
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	120,000	18,000

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和4年度の事業進捗率は15.8%で事業計画どおり順調です。 (原因) 積極的に長寿命化を推進し事業費確保に努めたことが考えられます。 (余地) 国からの補助金額の増額より、事業進捗の向上が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[1097]

漁港機能増進事業(国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	195
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段(R04年度の取り組み)

漁港施設の強靱化を図るため機能保全計画の見直し及び保全に伴う測量設計や工事を実施します。(対象漁港：町内全19漁港)
【R4全体事業 対象漁港数：6漁港、事業費：72,818千円(うちR3年度からの繰越分59,468千円 R4年度分13,350千円)漁港機能増進事業費補助金 県1/2 事業実施期間 原則1年】
【R4年度実績】
歳入 36,409,000円(うち令和3年度からの繰越分 29,734,000円)
歳出 72,818,000円(うち令和3年度からの繰越分 59,468,000円)
漁港機能増進事業 6漁港

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	年度実施漁港数(漁港)		4
成果	成果	年度事業進捗率(%)		44.4	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	12,250	36,409
		ウ 地方債	0	17,700	23,600
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	40	12,809
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	29,990	72,818

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和4年度の成果指標における事業進捗率は100%となりました。 (原因)地区からの要望をもとに、積極的に施設の長寿命化を推進するため、事業費の確保に努めたことが要因と考えます。 (余地)今後も積極的に地区からの要望を確認し、必要な施設には補助事業予算を確保することで管理施設の長寿命化を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

内海漁港公園維持管理事業

町長部局 水産課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	197
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	03 水産業費		
基本事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

背後集落に潤いのある生活環境の場を形成することを目的として、地域住民の憩い、生活活動の場となる漁港公園の維持管理を行いました。また、漁港施設用地に設置してある照明の電気料の支払いを行いました。
 内海漁港公園：5地区8箇所、年12回（1回/月）の職員による遊具点検を行いました。
 光熱費及び水道料の支出を行いました。

【令和4年度実績】
 電気料201,391円、水道料207,504円、剪定等業務委託484,000千円 備品（遊具）購入770,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	保守点検回数 (回)	12	12
活動	活動	修繕件数 (件)	0	0	0
成果	成果	内海漁港公園維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,995	1,074	1,663
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,995	1,074	1,663

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和4年度に支障をきたした件数は0件で、順調となっています。 (原因) 毎月公園の器具等点検業務を行うなか、常に現状を把握している為だと考えます。 (余地) 地域住民の憩いの場として、地域と連携しながら維持管理を継続する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山漁港海岸保全施設整備事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	197
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	06 漁港建設費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和06年度

手段 (R04年度の取り組み)

既存の離岸堤の天端高の不足により、近年の台風の大型化に伴う高波浪より背後地への浸水被害等が頻繁に生じていることから、本事業により高潮による被害から防護並びに国土の保全を図るため、離岸堤の高上げ工事を実施しました。【全体事業費1,560,000千円、全体事業量 離岸堤(高上) L=244.5m 農山漁村地域整備交付金事業L=138.5m(高潮対策)国1/2、県1.5/10 海岸保全施設整備連携事業L=106m(連携)国1/2、県1.5/10】

【令和4年度実績】

歳入126,345,000円(うち繰越分101,645,000円)

歳出194,378,000円(うち繰越分156,378,000円) 離岸堤 L=37m

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事延長(m)	31.5	100
成果	成果	新規海岸保全施設整備事業進捗率(%)	40.0	66.0	78.5
	成果	豊後水道東沿岸海岸保全計画進捗率(%)	31.7	33.2	33.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	230,513	202,515	97,189
		イ 県	69,153	60,754	29,156
		ウ 地方債	123,100	127,500	61,100
		エ その他	28,600	0	0
		オ 一般	9,660	14,261	6,933
		カ 事業費(ア~オ合計)	461,026	405,030	194,378

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の事業進捗率は78.5%で、令和3年度より増加しました。 (原因)国からの補助金が計画どおりつき、事業が進捗しました。 (余地)国からの補助金の額により事業の進捗に影響があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[21]

商工会補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
愛南町商工会が行う中小企業に対する指導事業、商工業振興事業に対して助成を行いました。	
事業内容 ・経営指導員による相談及び指導 ・講習会等の開催による経営指導 ・金融指導 等	
【令和4年度の事業費】 ・商工業振興事業補助金：13,000千円	
【ふるさとづくり基金充当 13,000千円】	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		13,000	13,000
活動					
成果	本補助による商工会での経営指導実施件数 (件)		1,749	1,675	1,459
成果	商工会会員数 (件)		698	690	681
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	13,000	13,000
		オ 一般	13,000	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	13,000	13,000	13,000

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 商工会会員数はほぼ横ばい、経営指導実施件数は若干減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大による事業者の経営状況が依然として悪化しているため、高い水準の指導件数になったと思われます。 (余地) 事業者の積極的な相談も増えており、会員数及び経営指導実施件数の増加の余地が認められます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[429]

商工事業者利子補給事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

融資を受ける商工業者に対し資金の融通を円滑に進め、経営の安定を図るため借入利息の一部を助成しました。また、令和2年度から新たに「愛媛県新型コロナウイルス感染症対策資金」の県独自枠部分について、3年間、県と市町で0.5%ずつ利子を補給しています。

< 中小企業制度資金利子補給 >

・融資限度 1人500万円 対象期間3年 利子補給率1%

< 中小企業特別融資利子補給 >

・融資限度 1人300万円 対象期間5年 利子補給率2%

【令和4年度の利子補給等金額】

・中小企業制度資金利子補給：464千円

・中小企業振興特別資金保証料・利子補給：2,650千円

・県新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給：503千円

令和4年度新型コロナ臨時交付金充当額：502千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		中小企業制度資金利子補給金額(円)	1,130,335	602,074
活動		中小企業特別融資利子補給金額(円)	1,739,585	2,358,099	2,649,746
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	288	600	502
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,979	3,032	3,150
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,267	3,632	3,652

成果実績 評価	成果状況	事業者に対し、事業の運転資金及び設備資金の借入利息の一部を助成することにより、その経営の安定化を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新型コロナウイルス感染症対策中小企業者経営支援事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、事業者に対し各種補助金を交付しました。

【令和4年度の事業費】

- ・中小企業者等経営強化補助金：1,338千円
令和4年度新型コロナ臨時交付金充当額：1,337千円
- ・愛南版応援金：33,300千円 消耗品費：100千円
令和4年度新型コロナ臨時交付金充当額：33,400千円
- ・燃油価格高騰対策交通・運輸事業者給付金...10,280千円
令和4年度新型コロナ臨時交付金充当額：10,280千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	申請件数(件)		809	444
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	210,807	103,809	45,017
		イ 県	0	36,228	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	25,623	18,085	1
		カ 事業費(ア~オ合計)	236,430	158,122	45,018

成果実績 評価	成果状況	新型コロナウイルス感染症の拡大状況により売上げが減少した事業者に対して、手段欄に記載した給付金等をその都度交付し、事業者の経営の安定化及び事業継続を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1094]

地域経済活性化2023新春プレミアム商品券事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	199
施策	03 商工業の振興	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 経営面の支援強化	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和04年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>低迷する地元消費を下支えし、地域経済の活性化を図るため、国が支援する「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」の対象世帯（住民税非課税世帯）を除く課税世帯に対し、令和4年度えひめ消費活性化支援事業費補助金を活用して、愛南町の店舗で使用できる「地域経済活性化2023新春プレミアム商品券」を配布しました。</p> <p>配布数：1世帯あたり500円×40枚×6,300世帯(252,000枚) 使用実績：120,503千円(500円×241,006枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度新型コロナウイルス臨時交付金充当額：82,600千円 令和4年度えひめ消費活性化支援事業費補助金：43,500千円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		商品券利用セット数 (セット)		
活動		補助金額 委託料 (千円)			123,311
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	82,600
		イ 県	0	0	43,500
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	22
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	126,122

成果実績評価	成果状況	令和4年度えひめ消費活性化支援事業費補助金を活用して、対象世帯に愛南町の店舗で使用できる「地域経済活性化2023新春プレミアム商品券」を配布し、低迷する地元消費の下支え・地域経済の活性化を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

特産品販売促進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費		

手段 (R04年度の取り組み)
<p>県内外で開催する特産品等販売イベントに参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や民間主催イベントにおける販売ブースでの特産品等 P R。 ・都市圏での県事務所スペースを借用した特産品等 P R。 ・特産品販売事業者出店の支援。 <p>・令和4年度地方創生交付金：26千円</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	イベント開催回数 (回)	2	9
成果	成果	イベント売上金額 (千円)	165	597	1,862
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	26
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	617	2,354	2,426
		カ 事業費 (ア～オ合計)	617	2,354	2,452

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 新型コロナウイルス感染は減少傾向で、人の往来も増加し売上金額は増加したが、イベント開催は不透明な状況にあります。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によります。</p> <p>(余地) コロナが第5類へ変わったこと、アフターコロナを見据えて、今後、新規出展及び精査を行います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[27]

夏祭り補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

城辺夏まつり実行委員会及び御荘夏まつり実行委員会から申請された補助金額を審査・確定し交付しました。
城辺夏まつり実行委員会は71千円、御荘夏まつり実行委員会は1,950千円の補助金の要望が出されました。

【事業費総額】2,021千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		0	0
活動					
成果	イベント参加者数 (人)		0	0	1,500
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	500	2,021
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	500	2,021

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 城辺、御荘ともに夏祭り実行委員会独自での資金調達が困難となっており、町が交付する補助金によって祭りの開催が可能となっています。令和3年度は中止となりました。 (原因) 景気の低迷により、祭り開催にかかる寄付金などの資金調達が困難となっていることが原因です。 (余地) 内容を見直し経費を抑制しても住民が参加したいと思える祭りとなるような企画立案を図る必要があると思われます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

[31]

営業戦略推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費	計画 年度	
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	02 商工業振興費		開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町の地域資源である特産品等のブランド力を向上させ、それらを愛南町の魅力として発信するために、以下の事業を実施しました。

- ・愛南町営業戦略推進懇話会開催
- ・営業戦略推進事業
- ・ロゴマーク等活用支援補助金

【ふるさとづくり基金充当 9,080千円】

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	イベントスペースでの物産観光 PRイベント回数 (回)	0	8	2
	活動				
	成果	物産観光 PRイベントにおける売上額 (円)	0	547,260	812,180
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,131	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	9,080
		オ 一般	10,862	14,926	2,575
	カ 事業費 (ア～オ合計)	12,993	14,926	11,655	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)作成した統一的なロゴマーク等を活用することにより、本町の特産品のブランド力が向上され、それらを本町の魅力として、町民、行政および各種関係団体が一丸となって積極的にプロモーションを図ることができました。</p> <p>(原因)ロゴマーク等活用支援事業補助金を継続し、活用することでロゴマークの普及を図りました。</p> <p>(余地)今後も、ロゴマーク等活用推進をしていくため、町内事業者向けの補助金を継続することにより、愛南町の統一的なブランドイメージの構築と知名度向上を図ることができます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1073]

企業立地 誘致活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 企業誘致・留置の推進	目	03 雇用対策費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

企業立地の促進を図り、雇用促進奨励措置を講ずることにより、雇用の推進及び産業の活性化を図りました。

- ・愛媛県が主催する「産業立地フェア」(大阪)に参加しました。
- ・愛南町企業誘致戦略書を策定しました。
- ・立地企業に対して、雇用促進奨励措置を実施しました。

(新規雇用の1年継続雇用者1名につき、50万円。ただし、短時間雇用者については2名で1名分)

【令和4年度の主な事業費】

- ・企業誘致支援業務委託料：2,200千円
- 令和4年度新型コロナウイルス臨時交付金充当額：2,200千円
- ・雇用促進奨励措置：500千円
- 過疎債(ソフト)充当額：500千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		雇用促進奨励措置金額(千円)	4,448	3,000
活動					
成果		新規雇用者数(人)	10	8	2
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	2,200
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	4,000	3,000	500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	589	201	524
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,589	3,201	3,224

成果 実績 評価	成果状況	(状況)新規の企業立地はありませんでした。雇用奨励措置については、昨年度から6名減の2名の新規雇用にとどまりました。 (原因)愛南町の立地から企業立地に繋がりにくいためと考えられます。新規雇用が減少した原因として人材不足が挙げられます。 (余地)情報通信関連事業等の輸送コストの影響を受けにくい企業の誘致を中心に、地道な活動を行う必要があると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

中小企業緊急雇用安定助成事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	05 雇用・人材確保の推進	項	01 商工費		
基本 事業	01 雇用の促進	目	03 雇用対策費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和04年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>国助成金の受給者に対し、上乗せ助成を行いました。</p> <p>【令和4年度の事業費】 中小企業緊急雇用安定助成金 688千円</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	助成件数 (件)		
活動	活動	助成金額 (千円)			688
成果	成果	休業等対象従業員数 (人)			84
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	688
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	688

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 交付団体は4団体で、交付金額は688,000円となりました。 (原因) コロナ禍で休業せざるを得ない状況が続いたことが原因と考えられます。 (余地) 県の上乗せ助成の終了に伴い、今年度で交付を終了します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

商工業者創業・事業承継支援事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	05 雇用・人材確保の推進	項	01 商工費		
基本 事業	02 労働人材の確保	目	03 雇用対策費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

本町の農林水産物や良質な自然資源を活かして創業する者（従前から事業を営んでいない者）に対して補助金を交付しました。

<対象経費>

設備費、建物の改装費、賃借料、登記費等で、創業又は事業承継に必要な初期の経費が対象です。

<補助限度額>

補助対象経費の3分の2以内（上限50万円）

【令和4年度の事業費】

・商工業者創業・事業承継支援事業補助金：1,000千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		助成件数 (件)		
活動		助成金額 (千円)			1,000
成果		累計創業者・事業継承者件数 (件)			2
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	1,000

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 助成件数6件の目標に対し、2件にとどまりました。</p> <p>(原因) 地域資源を活用する創業が少ないことと、事業承継事業で活用されなかったことが原因です。</p> <p>(余地) 新たなビジネスの創出と事業承継問題は、本町の喫緊の課題であるため、制度が活用されるよう引き続き取り組んでいきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[138]

ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
カツオや愛南ゴールドをはじめとする魅力ある初夏の水産物、農産物を県内外に広くPRすることを目的に開催する「ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣」の主催団体である「食のイベント実行委員会」に対して負担金を負担します。	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントの中止が決定したため、代替事業として、愛南マラニックを開催しました。	
【事業概要】 負担金 2,700千円 愛南町をピクニック感覚で巡るランニングイベントを開催することにより、愛南町の自然、食、文化等の地域資源を活かしたスポーツツーリズムを推進し、観光振興及び地域活性化を図りました。	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	負担金額 (円)	0	3,487,000
活動	活動	情報発信に係る金額 (円)	0	3,487,000	300,000
成果	成果	イベント参加者数 (人)	0	0	313
成果	成果	イベント売上 (円)	0	0	3,182,020
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	3,487	2,700
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	3,487	2,700

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)カツオの販売をメインとする本事業は愛南町を代表するイベントであり、例年大勢の来場者がありますが、令和4年度は中止となりました。</p> <p>(原因)新鮮なカツオが味わえるなど、愛南町を代表する食のイベントとしての認知度が向上してきました。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となりました。</p> <p>(余地)来場者増による駐車場の混雑や会場周辺道路(国道56号)の渋滞の緩和策を講じることで、リピーターを増やすことができます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

県境夏まつり「一本松」事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>境夏まつり「一本松」実行委員会が実施するイベント、県境夏まつり「一本松」に対する補助金を交付しました。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元特産品の販売、出店 ・ステージイベント ・花火大会 	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	周知広報活動回数 (回)	0	0
成果	成果	一本松夏祭り来場者数 (人)	0	0	3,000
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	1,500

成果実 績評 価	成果状況	(状況) 来場者数は前年度から3,000人増加しています。 (原因) 前年度は新型コロナウイルス感染症により中止となっていたため。 (余地) 今後も感染症等の対策を講じながら、安全性を確保した上でイベント内容を検討する必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

愛南町観光振興等イベント補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

本町の魅力ある観光資源や農林水産物などの地域資源を県内外に広くPRする観光振興等イベントを実施する団体に対し補助金を交付しました。

【事業実績】

事業実施団体 5 団体
愛南町観光振興等イベント補助金 8,177千円
イベント等参加人数 9,481人

【ふるさとづくり基金充当 8,000千円】

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助件数 (件)		
活動		補助金額 (千円)			8,177
成果		補助団体が実施するイベント開催日数 (日)			18
成果		イベントにおける参加者数 (人)			9,481
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	8,000
		オ 一般	0	0	308
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	8,308

成果実績 評価	成果状況	(状況)本年度の申請団体は、5団体となりました。 (原因)観光関係各団体へ周知し、事業募集をすることができました。 (余地)観光関係団体のほか事業実施可能な民間団体への周知を行い、より多くの観光振興等イベントを実施してもらい観光振興を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[137]

愛南町観光協会活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町観光協会が実施する観光振興及び観光客誘致に向けた取組を支援するため、補助金を交付しました。
観光協会の活動内容：観光客誘致活動、観光情報の発信等
具体的には、各イベントへの協賛及び出店、サイクリングイベント、観自在寺でのお接待、観光パンフレットや昼食マップの制作、旅行者への旅行商品の紹介、ホームページの更新、窓口環境の整備、県・町・近隣観光協会や町観光施設との連携等を実施しました。

令和4年度観光協会活動事業補助金 6,650千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (円)		4,040,000	6,660,000
活動					
成果	観光協会主体イベント実施件数 (件)		10	24	17
成果	イベントの参加人数 (人)		595	2,192	6,480
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,040	6,660	6,650
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,040	6,660	6,650

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 会員と連携し、町内外のイベント等で特産品やなーしくんグッズの販売を行いながら町のPRを行いました。イベント等の参加人数が2,192人から6,480人に増加しました。 (原因) 新型コロナウイルスの影響も緩和され従来どおりのイベントも実施できるようになり、屋外イベントの実施や新たに近隣の道の駅へ出店するなどして町のPRの機会を増やしたことによるものです。 (余地) 法人化することで、旅行商品の開発・販売など独自に収益事業を展開できる体制を整え、観光客の増加につながる仕組みづくりを行います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

四国の道管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛媛県から委託された四国のみちの維持管理を商工観光課と3支所で行いました。

- ・商工観光課 上大道～平城大橋付近までを町内業者に依頼し管理しました。
- ・内海支所 坂口～つわな奥展望台までを「柏を育てる会」に委託し管理しました。
- ・御荘支所 平城大橋付近～八幡神社付近までを維持管理しました。
- ・一本松支所 松尾峠～上大道までの維持管理を行いました。松尾峠等の一部を「小友会」に委託しました。

【事業費総額】610千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	パトロール回数 (回)	45	45
活動	活動	清掃作業回数 (回)	37	39	36
成果	成果	四国の道維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	55	105	105
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	524	517	505
		カ 事業費 (ア～オ合計)	579	622	610

成果実績評価	成果状況	(状況)各地区月に1～2度パトロールし、維持管理に努めました。 (原因)自然歩道であるため定期的に草刈りや倒木の撤去の必要があります。 (余地)これまで通り維持管理し利用者にとって安全、快適な歩道となるよう心掛けていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[46]

旅客船特別会計繰出金

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町の優れた観光資源である西海地域鹿島周辺の海域を町内外に広く発信するため、一般会計から愛南町旅客船事業に繰出金を拠出することで同事業の安定的運営を図りました。</p> <p>令和4年度繰出金 21,794千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	総繰出金額 (円)	27,233,000	30,697,000
成果	成果	旅客船特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	72.9	70.7	68.2
成果	成果	年間旅客船利用者数 (人)	2,604	2,928	6,380
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	5,998	0
		オ 一般	27,233	24,699	21,794
		カ 事業費 (ア～オ合計)	27,233	30,697	21,794

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 昨年度と比較して、利用者数が3,452人増加しました。 (原因) 昨年度との比較では増となっています。これについては新型コロナウイルスの影響が緩和されたことが大きいと考えます。 (余地) メディアを活用した周知やリピーター獲得を目指すことにより、利用者増が見込まれ、繰出金の減額に繋がりますので、成果向上余地は中くらいと考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

温泉事業等特別会計繰出金

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町の有する観光資源「一本松温泉あけぼの荘」を有効的に利用して集客につなげるため、一般会計から温泉事業特別会計に繰出金を拠出することで同事業の安定的運営を図りました。</p> <p>令和4年度繰出金 27,800千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	総繰出金額 (円)	80,020,000	41,767,000
成果	成果	温泉事業等特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	70.9	44.9	31.6
成果	成果	年間あけぼの荘利用者数 (人)	44,631	42,166	76,898
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	80,020	41,767	27,800
		カ 事業費 (ア～オ合計)	80,020	41,767	27,800

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 昨年度と比較して、利用者数が約35,000人増加しました。 (原因) 新型コロナの影響による休業等が減少し、来客者数が増加しました。 (余地) 新型コロナが5類へ移行されたことにより、利用者の増加が見込めるため、施設の適正な維持管理に努めることで、利用者の増加につなげていければと考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

[450]

愛南町観光振興推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>町の観光振興を推進するため、戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化を目指しました。</p> <p>【事業費総額】9,108千円 令和4年度コロナ臨時交付金充当額：6,039千円</p>

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		観光振興計画推進事業個別事業実施数(累計)(事業)	5	6
活動					
成果		観光振興計画推進事業個別事業進捗率(%)	100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	6,039
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,339	1,949	3,069
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,339	1,949	9,108

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)計画された事業は全て終わりました。 (原因)コロナ禍においても実施できるよう内容を見直して事業を実施したことによるものです。 (余地)効果的な事業については、時代や状況に沿った内容で今後も継続して実施し、観光振興を促進します。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

{000}

観光関係各種負担金

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

下記負担金を支出しました。
 愛媛県観光物産協会負担金（105,000円）／四国西南地域観光連絡協議会負担金（30,000円）／四国観光立県推進協議会負担金（53,000円）／和と南の活性化全体協議会負担金（60,000円）／南予広域連携観光交流推進協議会負担金（992,358円）／全国「道の駅」連絡会会費（20,000円）／四国地区「道の駅」連絡会会費（50,000円）／自転車活用まちづくり推進全国市区町村長の会負担金（10,000円）／えひめ南予きずな博事業負担金（10,309,056円）

・令和4年度新型コロナウイルス臨時交付金充当額：6,039千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動				
	活動				
	成果				
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	6,039
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,000
		オ 一般	3,870	6,951	3,590
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,870	6,951	11,629

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和4年度に実施された「えひめ南予きずな博」において活用いたしました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[47]

スポーツ合宿等補助事業

町長部局 商工観光課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	03 スポーツの充実	項	01 商工費		
基本 事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>【補助金】 町内の宿泊施設を利用し合宿を実施する団体に対して補助金を交付しました。 ・ 1団体、1回の宿泊数延べ30泊以上で1泊あたり1,000円、20万円を上限に補助します。春季(2~3月)と夏季(7月~9月)については、1回の宿泊数延べ20泊以上で1泊あたり2,000円、40万円を上限に補助しました。</p> <p>【令和4年度実績】 合宿団体 9団体 合宿人数 243人 補助金額 1,354千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額(円)		266,000	159,000
活動					
成果	補助金申請団体数(件)		3	1	9
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	266	387	2,173
		カ 事業費(ア~オ合計)	266	387	2,173

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和4年度の合宿団体の数は9件で、前年度より8件多い結果となりました。 (原因)新型コロナウイルスの規制緩和、合宿補助金を増額したことにより、以前より合宿に来やすくなったことが主な原因です。 (余地)合宿団体について、実績件数がコロナ禍以前の水準まで戻ってきましたが、新規の合宿団体は少ないように感じられます。来ていただいた事がない団体に対して営業を行うことで、合宿団体の増加が図れるのではないかと思います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ご当地キャラクター活用事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	05 観光振興費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」の様々な活動をととして愛南町のPRを行い、愛南町の知名度向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加回数：年60回 ・参加場所：町内外の各種イベント ・活動日時：通年 <p>【事業費総額】1,741千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	情報発信件数 (件)	5	3
成果	成果	ご当地キャラクターイベント参加回数 (回)	13	32	60
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,166	644	1,741
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,166	644	1,741

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 出演依頼があったイベントへの参加が主な活動で、イベントに参加した状況を「なーしくんニュース」として町ホームページで発信しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント出演依頼が減少したため、活動数が減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント参加回数は減少しました。</p> <p>(余地) 県内外を問わず積極的にイベント等に参加することで、愛南町の観光PRにつながると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	

新型コロナウイルス感染症対策愛南泊まって得旅キャンペーン事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	05 観光振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和04年度

手段 (R04年度の取り組み)

対象者が、登録した宿泊施設に宿泊したことの証明を受け、宿泊当日とその翌日（連泊の場合は宿泊最終日の翌日まで）に町内の店舗等で10,000円以上飲食やお買い物などをしていただいた場合に、5,000円をキャッシュバックしました。

【キャンペーン期間】8月10日～11月30日

【対象者】期間中、町内の登録施設に宿泊した方

【登録宿泊施設】21件

【交付実績】4,667件 20,630千円

・令和4年度新型コロナ臨時交付金充当額：25,290千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助金の交付件数 (件)	186	
活動		補助金額 (円)	3,073,000		20,630,000
成果		宿泊施設における宿泊者の人数 (人)	622		6,447
成果		キャンペーン期間における宿泊施設の宿泊者数増減率 (%)	0		936
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	3,168	0	25,290
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	372	0	9
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,540	0	25,299

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) コロナ過により打撃を受けた町内宿泊施設の利用促進と町内の消費拡大のため事業を実施したところ、約57,100千円(補助額20,630千円)の利用があり、期間中の宿泊者も大幅に増加しました。</p> <p>(原因) 町内の対象宿泊施設に宿泊し、町内の店舗等で10,000円以上の飲食や購入をした場合、5,000円をキャッシュバックしたことが原因と考えられます。</p> <p>(余地) キャンペーン期間中、多数の宿泊者が訪れています。このキャンペーンをきっかけに、今後の宿泊者の増加と消費拡大が見込まれます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

1101

石垣の里管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>石垣の里周辺の休憩所しおかぜ及び宇和海自然ふれあい館の適切な維持管理を行います。</p> <p>令和4年度においては、清掃謝礼、消耗品費、光熱水費、浄化槽保守点検及び修繕等、合計960千円を支出しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕件数 (件)	5	3
活動		公衆便所法定点検件数・公衆便所保守点検委託件数・公衆便所清掃件数 (件)	6	6	6
成果		石垣の里における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果		石垣の里利用観光客数 (人)	1,650	582	1,193
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,000	644	960
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,000	644	960

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 前年度と比較し観光客数が611人向上しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止の規制が緩和されたことが主な要因と考えます。</p> <p>(余地) 新型コロナウイルス感染拡大防止の規制が緩和されており、観光客数は徐々に増加するものと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

石垣の里だんだん館維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町が有する観光施設「石垣の里だんだん館」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。
施設概要：木造平屋建床面積74.11㎡
令和4年度の来館者：998人
指定管理者：外泊地区

令和4年度指定管理委託料 1,930千円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	施設維持修繕件数 (件)	0	0	0
	活動	開館日数 (日)	264	212	300
	成果	石垣の里だんだん館年間利用者数 (人)	1,548	490	998
	成果	石垣の里だんだん館の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	2	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,500	0
		オ 一般	1,849	669	1,930
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,849	2,169	1,930	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)施設の維持管理や利用者の快適な利用を目的として、指定管理者による営業を行いました。来客数は、前年対比204%の増加となりました。 (原因)各メディアにも取り上げられ、注目度の高い観光地ではありますが、利用者増加に繋がっていません。本年度は新型コロナウイルスの影響緩和により、来客者数が増加しました。 (余地)注目の高い観光地の一つであるため、安定した利用者数を残しており、メディアを利用したPRを行うことで、より多くの利用者増が見込めると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[457]

観光施設維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町内の観光施設について、適正に維持管理することで利用者の安全・満足を確保するとともに施設の機能維持を図るため、補修や改修工事を実施しました。

令和4年度主な修繕・工事等

・山出憩いの里温泉大浴場脱衣場床張替工事	1,118千円
・ゆらり内海マイクロバブル湯系統配管改修工事	891千円
・南レク御荘児童公園トイレ大便器改修工事	1,287千円 (コロナ交付金充当)
・南レク5号公園テニスコートフェンス修繕工事	825千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		施設維持修繕件数 (件)	10	13
活動		施設稼働日数 (日)	365	365	365
成果		観光施設年間利用者数 (人)	692,621	740,621	946,654
成果		観光施設の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	43	41	55
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	986	55,585	1,287
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	18,900	10,399	0
		エ その他	0	876	0
		オ 一般	9,045	20,390	10,125
		カ 事業費 (ア～オ合計)	28,931	87,250	11,412

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 観光施設の利用者数は昨年と比較して約20万人の増となりました。不具合件数は、前年度と比べ14件増えています。</p> <p>(原因) 利用者数の増は、新型コロナウイルスの流行の影響が少しやわらいだものと考えられます。また、不具合件数については、施設の利用が多くなったため、増加したと思われます。</p> <p>(余地) 利用者の満足度向上のため、メンテナンスが重要なので、成果向上の余地はあります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

山出憩いの里温泉維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町が有する観光施設「山出憩いの里温泉」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。
 施設概要：やすらぎ交流館、浴室（大浴場、家族風呂）、体験創造館、ログハウス、キャンプ場、屋外便所
 令和4年度の利用者：22,820人
 指定管理者：特定非営利活動法人 ハートinハートなんぐん市場
 令和4年度指定管理委託料 8,382千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	施設維持修繕件数 (件)		5	2
活動	開館日数 (日)		260	199	275
成果	山出憩いの里温泉年間利用者数 (人)		25,552	18,755	22,820
成果	山出憩いの里温泉の維持管理上の事故・不具合件数 (件)		4	3	10
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	6,000	0
		オ 一般	10,317	2,749	8,382
		カ 事業費 (ア～オ合計)	10,317	8,749	8,382

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設の利用者数は、前年比の121.7%となり大幅な増加となっています。また、施設の修繕が6件、管理上の事故・不具合が10件となっており、施設の不具合等が7件増加しました。 (原因)新型コロナウイルスによる影響が緩和され、来客数が増加したため施設の不具合、修繕件数が増加したと考えられます。 (余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地は中くらいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ゆらり内海維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町が有する観光施設「ゆらり内海」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。 施設概要：本体建物（レストラン・浴室・休憩室・多目的室）、倉庫等の附属建物 令和4年度の利用者：73,079人 指定管理者：株式会社グリーンエンタープライズ</p> <p>令和4年度指定管理委託料 3,000千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	施設維持修繕件数 (件)		18	3
活動	開館日数 (日)		273	280	275
成果	ゆらり内海年間利用者数 (人)		56,515	43,245	73,079
成果	ゆらり内海の維持管理上の事故・不具合件数 (件)		25	22	28
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2,000	0
		オ 一般	7,008	9,632	3,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	7,008	11,632	3,000

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)施設の適正管理や利用者の快適な利用を目的として、指定管理者による営業を行いました。年間利用者数は昨年比較で29,834人の増、不具合件数は6件の増となっています。 (原因)新型コロナウイルスの影響が緩和されたことが大きいと考えられます。不具合件数の増については、来客者数の増加があり、施設の利用が多くなったためと考えます。 (余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地はあると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

鹿島観光施設運営事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>7月中旬から8月末頃まで船越から鹿島への一般旅客船定期航路運行期間、鹿島での観光施設の運営を行います。</p> <p>令和4年度においては、鹿島夏季運営謝礼、消耗品費、遊泳区域表示設置等業務等、合計654千円を支出しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	1	0
活動	活動	営業日数 (日)	20	20	37
成果	成果	鹿島観光施設の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果	成果	鹿島観光施設年間利用者数 (人)	817	708	1,535
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	41	18	101
		オ 一般	638	415	553
		カ 事業費 (ア～オ合計)	679	433	654

成果実績評価	成果状況	(状況) 前年度と比較し鹿島観光利用者数が827人向上しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止の規制緩和が主要要因と考えます。 (余地) 観光客が安全かつ快適に自然公園を利用できるよう、ボランティア清掃団体と連携し環境美化に努めたいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

宇和海海域公園サンゴ保護対策事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
宇和海海域公園及び周辺海域のサンゴ類に害を与える食害生物を駆除しサンゴの保全を図るため、町観光協会、町県職員、自然保護関係団体、ダイバーで構成される宇和海海中資源保護対策協議会が1年に10回、宇和海海域公園内の塩子島周辺海域を中心とした駆除活動を実施しました。	
【令和4年実績】	
期間	令和4年8月3日～9月28日
作業人数	ダイバー 55人
作業回数	10回
駆除数	オニヒトデ 175個
【令和4年度の事業費内訳】	
町補助金	70千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		駆除作業実施回数(回)	10	10
成果		サンゴ食巻貝駆除数(個)	46	43	0
成果		オニヒトデ駆除数(匹)	534	334	175
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	700	700	700
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	700	700	700

成果実績評価	成果状況	(状況)サンゴ食巻貝、オニヒトデ共に駆除数は減少傾向にあります。 (原因)サンゴ食巻貝の駆除数が減少した原因は事業継続の成果により、生息数が減少したことによります。オニヒトデの駆除数が減少した原因は、昨年度に多数のオニヒトデが確認された海域でも数が少なかったため、大量発生が収まりつつある可能性があります。 (余地)現在の酢酸注射による駆除方法より、効果的で効率が良い方法が見つければ、駆除数を増やすことができる可能性があります。また、依然としてオニヒトデの数が多いため、場所を絞り、数が多い部分を重点的に行うことでより費用対効果が得られるのではと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

鹿島 高茂岬自然公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>鹿島町有施設及び高茂岬自然公園の適切な維持管理を実施します。</p> <p>令和4年度においては、水運搬謝礼、除草業務、浄化槽保守点検及び修繕等、合計2,667千円を支出しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	5	2
活動	活動	浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	7	7	7
成果	成果	鹿島 高茂岬自然公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4	0
		オ 一般	4,005	2,924	2,667
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,005	2,928	2,667

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 前年度と比較し修繕件数が1件増加となっておりますが、事業費は261千円低下しました。</p> <p>(原因) 経年劣化が顕著な建物を除去したことが要因と考えます。</p> <p>(余地) 今後も鹿島園地清掃員との情報共有による施設の維持保全が必要と考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

篠山森林公園管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>篠山森林公園の運営及び篠山学習館、篠山荘、各駐車場屋外トイレ等の施設及び設備の維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の誘導、駐車整理等の篠山パトロールの実施 ・施設の清掃、修繕 ・篠山荘宿泊者の対応 ・篠山荘宿泊料金 620円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	1	2
成果	成果	篠山森林公園の各施設の維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	1	0	0
成果	成果	篠山森林公園年間入込客数 (人)	581	558	422
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,615	1,904	1,604
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,615	1,904	1,604

成果実績評価	成果状況	(状況) 篠山森林公園の年間登山者数は去年度同様低迷しています。 (原因) 雨風の影響でアケボノツツジの開花期間が短かったことが原因とされます。 (余地) 近隣市町、県との連携を密に行うことで、適切な保全ができると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

須ノ川公園管理事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	09 須ノ川公園・グリーンパークすのかわ費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>愛媛県と県有財産の管理委託契約を結んでいます。(須ノ川公園は、県有財産) 須ノ川公園施設の維持管理、キャンプ、マリノレンタル受付、売店業務を行いました。 ○管理施設等 ・園地・駐車場・休憩棟(3箇所)・管理棟・シャワー室・炊事棟 須ノ川公園の倒木や危険な樹木の剪定を実施しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	7	7
活動	活動	保守点検回数(回)	26	26	26
成果	成果	須ノ川公園施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数(件)	0	0	0
成果	成果	須ノ川公園利用者数(キャンプ、マリノレンタル等)(人)	66,986	65,280	70,200
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,730	3,120	3,701
		オ 一般	4,178	5,810	4,863
		カ 事業費(ア~オ合計)	7,908	8,930	8,564

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)須ノ川公園の散策者やキャンプ客、マリノレンタル客に安全に利用出来るよう維持管理をします。 (原因)アウトドア・キャンプブームにより、キャンプ客など須ノ川公園利用者数は増加しています。 (余地)いつ須ノ川公園に来園しても、安全に安心して利用できるよう施設の維持管理を実施します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

グリーンパークすのかわ管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	211
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	09 須川公園・グリーンパークすのかわ 費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

グリーンパークすのかわ内の各施設の施設維持管理、キャンプ利用者の受付業務を行いました。

○管理施設等

園地・駐車場・休憩棟(2箇所)・便所棟・オートキャンプ場・炊事棟

・期 間：4月1日～10月31日

・料 金：3,500円(1サイト)

・サイト数：10サイト

新型コロナウイルス感染症対策として、グリーンパークすのかわのトイレを非接触対応の設備へ改修を行いました。

令和4年度新型コロナ臨時交付金 4,950千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	6	6
活動	活動	保守点検回数(回)	26	26	26
成果	成果	グリーンパークすのかわ施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数(件)	0	0	0
成果	成果	グリーンパークすのかわ年間利用者数(オートキャンプ等)(人)	1,824	1,524	2,028
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	4,950
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	637	536	868
		オ 一般	3,024	2,801	4,119
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,661	3,337	9,937

成果 実績 評価	成果状況	(状況)グリーンパークすのかわの散策者やキャンプ客が安全に利用できるよう維持管理をします。 新型コロナ臨時交付金事業で、新型コロナウイルス感染症対策として、トイレを非接触対応の設備へ改修しました。 (原因)アウトドア・キャンプブームにより、キャンプ客など利用者数は増加しています。 (余地)いつグリーンパークすのかわに来園しても、安全に安心して公園を利用できるよう維持管理を実施します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[468]

西海ふれあい公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	211
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>西海ふれあい公園の適切な維持管理を行います。</p> <p>令和4年度においては、修繕、施設管理委託業務、浄化槽保守点検業務及び樹木剪定等委託業務等、合計1,656千円を支出しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕件数 (件)	3	3
活動		浄化槽法定点検件数 浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	28	28	28
成果		西海ふれあい公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	75	83	91
		オ 一般	1,746	1,650	1,565
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,821	1,733	1,656

成果実績評価	成果状況	(状況) 修繕件数は前年度から横ばいです。 (原因) 管理人による適切な維持管理が要因と考えます。 (余地) 管理人による定期的な維持管理により、利用者が安全及び快適に利用できていることから当該手段を継続したいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[470]

僧都川河川敷公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	211
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
河川敷公園の維持管理のため、以下の業務を委託しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の芝生蒔込 ・年2回防除消毒 ・年1回施肥 ・年1回親水池土砂取除き

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持管理作業回数(回)	8	8
活動		修繕件数(件)	0	0	0
成果		僧都川河川敷公園利用において補修の必要な不具合等の発生した件数(件)	0	0	0
成果				0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,410	3,410	3,410
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,410	3,410	3,410

成果実績評価	成果状況	(状況)利用者からの苦情もなく、整備された状態で利用できているため事業は順調に行われています。 (原因)委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。 (余地)現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[71]

花と緑のピクニック公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	213
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

公園の維持管理のため、外灯電気代と水道料の支払を行いました。
公園の維持管理のため、以下の業務を委託しました。

- ・年3回芝生刈込
- ・年2回除草
- ・年2回施肥
- ・年2回防除消毒
- ・年1回低木剪定

公園内水栓修理を行いました。修繕料32千円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	維持管理作業回数(回)	10	10	10
	活動	修繕件数(件)	1	0	1
	成果	花と緑のピクニック公園利用における公園の遊具・景観などの不具合件数(件)	1	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	585	991	542
	カ 事業費(ア~オ合計)	585	991	542	

成果実績 評価	成果状況	(状況)利用者からの苦情もなく、整備された状態で利用できているため事業は順調に行われています。 (原因)委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。 (余地)現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[472]

中浦テレビ塔公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	213
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

公園を維持管理するため、電気料、水道料、公衆トイレ汲取り料の支払を行いました。
公園樹木管理を行うため、以下の業務を委託しました。
・年2回芝生刈込・年2回施肥
・年2回防除消毒・年2回樹木剪定

公衆トイレの修繕を行いました。修繕料 583千円
配管凍結による破損のため男子トイレの修繕を行いました。修繕料 34千円
腐食している樹木の伐採を実施しました。樹木伐採手数料 308千円

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 維持管理作業回数(回)	8	8	8	
	活動 修繕件数(件)	0	0	2	
	成果 中浦テレビ塔公園利用における安全設備・トイレ等の不具合件数(件)	0	0	1	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	300	301	1,235
	カ 事業費(ア~オ合計)	300	301	1,235	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)利用者からの苦情もなく、委託業者を適切に整備しているため事業は順調に行われています。 (原因)委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。 (余地)現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[73]

一本松地区広場維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	213
施策	01 循環型社会の形成	項	01 商工費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>一本松地区広場及び周辺の除草等によって適正な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川コミュニティ広場樹木管理業務 ・西部住宅敷地内法面等支障木伐採等業務 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持管理業務委託等件数 (件)	3	4
活動		修繕件数 (件)	0	0	0
成果		一本松地区広場の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,551	2,520	998
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,551	2,520	998

成果実績評価	成果状況	(状況) 要望に対処し、適切な維持管理を行うことができました。 (原因) 樹木管理業務及びゲートボール場の整地を実施し、施設内の良好な環境整備に努めました。 (余地) 池や竹林に囲まれていることから、今後も樹木管理の継続が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

1063

あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	213
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
あけぼのリフレッシュゾーン・桜公園の運営及び設備等の維持管理を行いました。	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の清掃、修繕 ・芝生、植木の管理 ・植栽管理委託業務 ・支障木伐採業務 ・あけぼのテニスコートの管理 ・公園遊具の修繕及び更新 	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持管理業務委託等件数 (件)	6	6
活動		修繕件数 (件)	8	10	9
成果		あけぼのリフレッシュゾーン年間利用者数 (人)	388	658	1,530
成果		あけぼのリフレッシュゾーンの維持管理上の不具合トラブル件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13	31	62
		オ 一般	6,433	8,948	22,120
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,446	8,979	22,182

成果実績 評価	成果状況	(状況)あけぼのリフレッシュゾーンの利用者は232.5%増加しています。 (原因)遠足等での利用があったことが原因と考えられます。 (余地)今後、通常の植栽管理とともに、支障木伐採等の委託業務及び遊具の修繕等を実施することで、利用客の安全性、利便性を確保できると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

公園遊具維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	215
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>町内の保育所、漁港公園及び団地等に設置されている点検対象の遊具を、毎年5月から12月にかけて、専門業者に委託実施し事故の発生を未然に防ぎ、利用者の安全を図りました。</p> <p>【事業費総額】1,287千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		点検遊具件数 (件)	112	101
活動					
成果		町内27施設の遊具の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	1	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,705	1,287	1,287
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,705	1,287	1,287

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 25施設101アイテムの点検業務を行ったところ、ただちに使用不可となる遊具が1件見つかりました。</p> <p>(原因) 使用不可となる遊具も発見されましたが、毎年の点検により、概ね適切な管理ができていると考えられます。</p> <p>(余地) 長年使用している遊具もあるため、専門的知識を有した者による点検を定期的に実施することにより重大な事故等の発生件数を減らすことが期待されます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[478]

高速道路整備促進事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	215
施策	02 道路環境の充実	項	01 土木管理費		
基本事業	01 愛南町への高速道路の早期延伸	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

津島道路「津島岩松IC～内海IC」10.3kmの進捗状況は、新内海トンネルの掘削に着手しています。
 宿毛内海道路においては、「宿毛～一本松」及び「御荘～内海」が事業化していますが、事業中区間の整備促進と未事業化区間の新規事業化に向けた要望を実施します。

令和4年度においては要望書を作成の上、国土交通省等への要望活動を10回実施し、印刷製本費及び普通旅費542,780円を支出しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 関係機関への要望活動回数(回)	10	9	10	
	活動				
	成果 事業化決定の有無(有1/無0)	0	1	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,052	298	543
	カ 事業費(ア～オ合計)	1,052	298	543	

成果実績 評価	成果状況	(状況) 国土交通省が実施中の四国8の字ネットワークを形成する「津島道路」及び「宿毛内海道路」の整備が順調に進んでいると考えます。 (原因) 愛媛県選出国会議員や愛媛県の協力をいただきながら、国土交通省へ津島道路及び宿毛内海道路の必要性を訴えてきた要望活動の成果がでてい ます。 (余地) 今後、事業中区間の整備促進や未事業化区間の早期事業化に向けて継続して要望活動を行います。また、国土交通省が実施する事業中区間への事業への協力を積極的に実施し、事業の更なる促進を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

住宅新築・リフォーム補助事業

町長部局 建設課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	215
施策	03 商工業の振興	項	01 土木管理費		
基本事業	01 経営面の支援強化	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

建築主がその建築物に対し1回限り申請ができ、延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供し、かつ、居住以外の部分が50㎡を超えない一戸建て住宅又は居住に供する共同住宅を町内の建築業者等が施工する50万円以上の工事費用の10分の1に相当する額、上限20万円を助成します。

令和4年度においては、住宅新築・リフォーム補助事業78件、14,000千円を支出しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金交付申請件数 (件)	64	77	78	
	活動 補助金額 (千円)	11,509	13,434	14,000	
	成果 補助金交付件数 (件)	64	77	78	
	成果 施工業者数 (件)	25	30	36	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	11,300	12,000	14,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	209	1,434	0
	カ 事業費 (ア~オ合計)	11,509	13,434	14,000	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和4年度の交付件数は78件と、前年度と横ばいですが、町民のニーズは依然として高いと考えます。 (原因) 年度始めにホームページに掲載し、住民に制度の周知を行うことは町民のニーズを高めている要因の一つと考えます。 (余地) 交付件数増加の方策は、補助金額の増額が考えられますが、財政負担が課題と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

老朽危険空家等対策補助事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 土木管理費		
基本事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

管理不全な状態となった空き家で、町が示す基準による不良度が100以上と判定され、倒壊することにより建物が立ち並んでいる道に支障を来す恐れがある老朽危険空家の除却に係る経費の消費税抜きの額の10分の8を補助します。(補助上限80万円)
(国：2/4 県：1/4 町：1/4)

また、平成30年に策定した「空家等対策計画」が令和4年度で5年が経過し中間見直し時期を迎えることに伴い、空家実態調査を実施し「後期空家等対策計画」を策定します。
(実態調査に係る経費について国：1/2)

令和4年度においては、除却補助を30件22,928,000円実施しました。また、空家等対策計画の見直しに係る空家実態調査委託料及び空家等対策協会の開催経費を7,679,500円支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	当初予定件数 (件)	26	27
活動	活動	除去補助金額 (千円)	18,672	19,351	22,928
成果	成果	実施件数 (件)	26	27	30
成果	成果	実施件数割合 (%)	100	93	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	9,335	8,875	15,293
		イ 県	4,666	4,437	5,731
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,671	6,039	9,584
		カ 事業費 (ア~オ合計)	18,672	19,351	30,608

成果実績評価	成果状況	(状況) 除却件数は前年に比べ増加しましたが、ほぼ横ばい状態です。 (原因) 除却希望者は年々増加しているものの除却を実施する業者の手持ち工事がいっぱいであり、除却件数を増やせないことが原因です。 (余地) 補助金を確保し、申請待ちの不良住宅を減少するため、引き続き国や県に要望を行うとともに工事の実施可能業者への働きかけや年度当初からの申請勧奨により、除却工事の集中を防ぎ、事業の円滑化を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

道路台帳補正事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	01 道路橋梁総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

道路改良事業や補修等により、町道の新規認定や区域変更があった場合、道路台帳補正委託業務の実施により適正な道路台帳の整備を実施します。

令和4年度は令和3年度より繰り越していた業務委託料12,320,000円を支出しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 更新路線件数 (件)	0	0	48	
	活動 台帳更新延長 (m)	0	0	8,190	
	成果 道路台帳補正進捗率 (%)	0	0	100	
	成果		0		
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	12,320
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	12,320	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和4年度は令和3年度より繰り越していた業務委託料を支出しました。 (原因) 道路台帳補正事業について適正に実施できたと考えます。 (余地) 道路台帳を適正に調製、保管する義務がありますが、今後も、財政的負担を考慮しながら当該事業を実施していく必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路維持整備事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本 事業	03 町道等の整備と維持管理	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町舗装長寿命化修繕計画に基づき、町道舗装補修工事を実施します。

令和4年度の事業の実施については次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分
日土小屋ノ浦線外町道舗装補修事業(城辺地区日土小屋ノ浦線) 1件 8,446,000円
- ・令和4年度分
日土小屋ノ浦線外町道舗装補修事業(城辺地区日土小屋ノ浦線) 1件 3,500,000円(前払金)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	舗装延長(m)		771	403
活動	補助金額(千円)		11,128	8,663	11,946
成果	道路維持補修完了割合(%)		100	100	100
成果	道路欠陥による事故件数(件)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,537	4,025	7,530
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	5,500	4,500	4,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	91	138	16
		カ 事業費(ア~オ合計)	11,128	8,663	11,946

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)維持補修が必要な箇所については計画的に工事を実施することで、機能の回復を図っています。 (原因)老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。 (余地)今後も交付金を活用し計画的に町道等の維持管理が必要だと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路維持整備事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本 事業	03 町道等の整備と維持管理	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

安全・安心かつ円滑な交通確保のため、道路パトロール及び地区要望等により維持修繕箇所を早期に把握し、維持管理及び修繕を行います。

令和4年度の事業については、次のとおりです。

・令和3年度繰越分	委託1件	935,000円
	工事4件	13,090,000円
・令和4年度分	委託16件他	17,546,713円
	工事84件	48,681,200円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	69	61
活動	活動	パトロール回数(回)	100	110	110
成果	成果	道路維持補修完了割合(%)	100	100	100
成果	成果	道路欠陥による事故件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,002	1,796	1,832
		オ 一般	99,928	115,945	78,421
		カ 事業費(ア~オ合計)	101,930	117,741	80,253

成果実績 評価	成果状況	(状況)道路等の破損箇所を修繕することにより機能の回復を図っています。 (原因)老朽化に伴う機能不全と考えます。 (余地)今後も町内パトロール、地区要望などにより危険箇所を把握し、計画的な 工事を実施する必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[487]

道路新設改良事業 (国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本 事業	03 町道等の整備と維持管理	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

中長期計画、過疎計画及び地区要望等で抽出された町道の拡幅や改良工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和4年度の事業の実施については次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分
47,279,000円 測量設計委託1件(路面性状調査)、道路改良2件(町道ノザコ線他1路線)
- ・令和4年度分
37,500,000円 道路改良5件前払金(町道金比羅線他4路線)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	5	6
活動	活動	工事延長(m)	658	482	108.2
成果	成果	道路新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	57,247	49,314	27,325
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	61,200	33,700	57,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,641	227	154
		カ 事業費(ア~オ合計)	121,088	83,241	84,779

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上が図られ、成果は維持されています。 (原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施することができていると考えます。 (余地)国からの補助金の内示額により事業の進捗状況が変わるため、随時計画の見直しが必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[488]

道路新設改良事業 (単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

地区等の改良要望がある町道について、測量設計、用地買収、分筆登記及び工事に至るまでの事業を実施します。

令和4年度の事業の実施については次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分
45,995,000円 道路改良3件(町道弓立越田線他2路線)
- ・令和4年度分
71,049,986円 道路改良2件(町道弓立越田線他1路線)、測量設計2件(町道太場3号線他1路線)、分筆測量7件、用地購入10件、支障物件補償6件

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	4	8
活動	活動	工事延長(m)	238	681.8	340.3
成果	成果	道路新設改良事業進捗率(単独)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	113,000	135,100	87,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,952	34,051	29,945
		カ 事業費(ア~オ合計)	123,952	169,151	117,045

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上を図ることができ、成果は維持されています。 (原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施することができると考えます。 (余地)用地取得を加速することで、事業の向上ができると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

橋梁新設改良事業 (国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

中長期計画、過疎計画及び地区要望で抽出された町道の拡幅や改良工事に伴い実施する橋梁架替等工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和4年度の事業の実績については次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分
10,700,000円 橋梁長寿命化修繕計画策定1件
- ・令和4年度分
55,048,943円 橋梁点検業務1件(67橋)、橋梁修繕4件(家串西ノ谷橋他3橋)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	2	0
活動	活動	工事延長(m)	11.5	0	45.7
成果	成果	橋梁新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	44,143	44,018	45,543
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	24,900	23,300	30,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,592	9,850	106
		カ 事業費(ア~オ合計)	71,635	77,168	75,749

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。 (原因) 事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。 (余地) 近接目視の点検が2周期目に入り、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

橋梁新設改良事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	02 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道等の整備と維持管理	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

現道の幅幅や改良工事に伴い実施する橋梁架替等工事を行い、地域住民の生活環境の向上を図るとともに、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和4年度の事業の実施については次のとおりです。

- ・令和3年度繰越分
2,058,000円 測量設計(河川占用資料作成)1件(坂本1号橋他1橋)
- ・令和4年度分
500,000円(前払金) 測量設計(河川占用資料作成)1件(石槌橋他2橋)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	1	0
活動	活動	工事延長(m)	56.0	0	0
成果	成果	橋梁新設改良事業進捗率(単独)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,905	1,211	2,558
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,905	1,211	2,558

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。 (原因)事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。 (余地)近接目視の点検が残り1年となっており、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[492]

河川維持整備事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	02 道路環境の充実	項	03 河川費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 河川維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

安心安全かつ円滑な生活環境を確保するため、法定外公共物の河川及び水路のパトロール及び地区要望により維持修繕箇所を早急に把握し、適切な補修を実施します。

令和4年度の事業については、次のとおりです。

・令和4年度分 委託1件他 6,303,670円
工事33件 15,644,800円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕ヶ所、修繕件数 (件)	23	24
活動		危険箇所のパトロールの実施 (回)	100	100	100
成果		河川維持整備完了割合 (%)	100	100	100
成果		河川、水路の不具合、トラブル件数 (件)	24	24	33
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	37,580	25,644	21,948
	カ 事業費 (ア～オ合計)		37,580	25,644	21,948

成果実績評価	成果状況	(状況) 河川及び水路等の破損箇所を修繕することで、機能回復を図っています。 (原因) 老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。 (余地) 今後も町内パトロール及び地区要望により、修繕箇所を把握し計画的に 工事を実施していく必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[94]

砂防事業 (県補助)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>がけ崩れにより人家等に重大な被害を及ぼす恐れがある急傾斜地を把握し、対策工を実施します。</p> <p>令和4年度の事業の実施については次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度繰越分 13,327,000円 対策工2件(大道B地区他1地区) ・令和4年度分 44,393,000円 対策工3件(片藪A地区他2地区) 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	6	5
活動	活動	工事延長(m)	163.2	121	88.2
成果	成果	砂防対策完了割合(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	46,728	35,413	32,546
		ウ 地方債	22,500	17,400	18,800
		エ その他	8,238	5,952	5,521
		オ 一般	416	257	853
		カ 事業費(ア~オ合計)	77,882	59,022	57,720

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)前年度から成果は横ばいですが、事業は順調に実施できています。</p> <p>(原因)個人分担金が事業費の約1/10となっておりますが、対象者からの申請事業であり、計画的に実施できている要因と考えます。</p> <p>(余地)県補助金の交付があることから、今後も引き続き継続したいと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

砂防事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本 事業	05 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

がけ崩れにより宅地内に流入した土砂を取除く事業です。事業実施においては1/4が個人負担となります。

令和4年度においては、崩土等取除4件(脇本地区他3地区)、測量設計1件、978,700円を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	5	19
活動	活動	工事延長(m)	50	190	40
成果	成果	砂防対策が終了した箇所数(件)	5	19	4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	144	1,063	0
		オ 一般	3,200	4,537	979
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,344	5,600	979

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)土砂が流出した世帯からの問い合わせに対し、早急な対応ができています。 (原因)個人負担は事業費の1/4となっていますが、対象者からの申請事業であり、円滑な実施を図ることができている要因と考えます。 (余地)がけ崩れの二次災害防止のため、今後も事業の継続が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[96]

南予レクリエーション都市公園維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	227
施策	04 観光 物産の振興	項	05 都市計画費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	02 都市公園費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町が有する施設「第5号南レク御荘公園」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。</p> <p>施設概要：テニスコート、多目的広場、ちびっこ広場、児童園</p> <p>指定管理者：南レク株式会社</p> <p>【指定管理者による主な業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（電気工作物、低木剪定、除草等） ・点検委託業務（遊具点検・高木剪定・トイレ浄化槽） <p>令和4年度指定管理委託料 2,649千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	4	4
活動		保守点検回数 (回)	12	12	12
成果		南レク御荘5号公園の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	16	16	16
		オ 一般	2,633	2,633	2,633
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,649	2,649	2,649

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)施設の維持管理や利用者の快適な利用を目的として指定管理者における営業を行いました。事故・不具合は発生していません。</p> <p>(原因)適切な維持管理が出来ていると思われます。</p> <p>(余地)イベントの積極的な活用を促すことにより利用増加が見込めますので、成果向上余地はあると考えます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

住宅改修事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	227
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>対象となる住宅に対して地域住宅計画に基づく改修工事(国庫補助事業)を実施します。</p> <p>令和4年度においては、中原住宅設備改修2,277,000円を支出しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	設計数(件)		1	1
活動	工事数(件)		1	1	1
成果	事業進捗率(%)		100	100	100
成果	整備率(給水設備等)(%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,089	1,182	990
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,287	1,458	1,287
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,376	2,640	2,277

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 昨年度と同様に、1件の国庫補助事業を実施したので、指標値は横ばいです。 (原因) 地域住宅計画に基づき計画的に実施しました。 (余地) 生活環境保全及び安全安心な町づくりを推進するため、財政的負担も考慮し、今後も当該事業を推進していく必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

505]

住宅改修事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	227
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>愛南町公営住宅等長寿命化計画に基づき、対象となる住宅に対して町単独の改修工事を実施します。</p> <p>令和4年度においては、外壁塗装等改修、室内改修等12件28,318,445円、修繕269件18,103,512円及び概算設計1件99,000円の合計46,520,957円を支出しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	設計数(件)		2	5
活動	工事数(件)		12	6	12
成果	事業進捗率(%)		100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	14,400	49,496	46,521
		オ 一般	10,562	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	24,962	49,496	46,521

成果実績 評価	成果状況	(状況)計画した改修工事は、全て早期発注ができています。 (原因)良質な住宅ストック形成を図っています。 (余地)今後も計画的に改修工事を実施し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与できると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

公営住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	227
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>対象となる公営住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施します。</p> <p>令和4年度においては、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検21箇所及び消防設備保守点検11箇所等の合計5,247,106円を支出しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		保守点検、検査実施回数 (回)	295	295
活動		修繕件数 (件)	5	10	24
成果		修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,231	5,231	5,247
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,231	5,231	5,247

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。 (原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。 (余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

特定公共賃貸住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	229
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	06 住宅費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>対象となる特定公共賃貸住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施します。</p> <p>令和4年度においては、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検5箇所及び消防設備保守点検3箇所の合計1,987,534円を支出しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		保守点検、検査実施回数(回)	71	71
活動		修繕件数(件)	3	3	8
成果		修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数(件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,965	1,965	1,988
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,965	1,965	1,988

成果実績 評価	成果状況	(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。 (原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。 (余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

508]

消防職員教育研修事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

消防職員が基礎教育、専科教育を継続して受講し、専門的技術及び高度な知識を身に付けたことで、消防力の向上を図ることができました。

令和4年度の教育実績は愛媛県消防学校に初任教育1名・警防科1名・救助科1名・火災調査科1名・予防査察科1名・初級幹部科1名・無線通信研修1名・救急科1名・実火災体験型訓練施設研修1名・通信指令員業務研修1名・大規模災害対策研修1名が入校しました。研修、講習としましては、酸素欠乏硫化水素危険作業主任者技能講習2名・大型免許取得2名・安全運転管理者講習1名が受講し資格を取得しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		教育研修件数 (件)	11	14
活動		研修受講者人数 (人)	18	20	16
成果		研修による資格習得者数 (人)	18	20	16
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,193	2,252	1,654
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,193	2,252	1,654

成果実績評価	成果状況	(状況) 今年度は16名が研修等を受講しました。高い技術や専門の知識を身に付けることにより、消防力の向上につながっており順調です。 (原因) 毎年研修計画を立てることにより、充実した研修を行えます。 (余地) 職員数の充足が図れば、さらに数名各研修等に派遣することができ、さらなる職員の資質の向上が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

通信指令システム運用管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託し、通信機器に異常が発生した場合は、24時間365日保守対応可能な状態を構築することにより、1件の不通電話もなく119番通報の受信を行いました。

- ・通信指令台情報系機器更新
- ・定期保守点検委託業務の内容
 - 緊急通信指令設備定期保守点検 年2回（前期・後期）
 - 消防無線機器設備定期保守点検 年2回（前期・後期）

【ふるさとづくり基金充当 11,315千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		119番着信件数 (件)	1,067	1,014
活動		通信指令システム定期点検回数 (回)	4	4	4
成果		緊急通信指令システムの不具合により 運用に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	41	33	33
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	11,315
		オ 一般	13,374	13,235	5,541
		カ 事業費 (ア～オ合計)	13,415	13,268	16,889

成果実績評価	成果状況	(状況) 通信指令システムの不具合もなく、運用に支障きたした件数もなく、町民の安心安全を確保出来ており順調ですが、導入から8年経過したデジタル機器の交換が必要になっています。 (原因) 通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託することにより、万全な態勢を維持しています。 (余地) 計画的に機器の更新を行い、現在の通信指令システム及び消防デジタル無線を保守管理していくことが最適であると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

救急救命士等教育訓練事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>救急救命処置に必要とされる知識及び技術を習得させるために、継続して各種講習会等へ救急救命士を派遣し、各個人のスキルアップを行い救命率の向上を図りました。また、計画的に救急救命士の育成を行いました。</p> <p>令和4年度の実績 救急救命東京研修所新規救急救命士養成課程1名、就業前病院実習1名、救急救命士による病院実習1名、気管挿管実習2名、ビデオ喉頭鏡による気管挿管実習3名、新生児蘇生法2名、救急オンラインセミナー9名</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		教育訓練件数 (件)	7	8
活動		訓練受講者人数 (人)	19	21	19
成果		救急救命士割合 (%)	30	36.6	40
成果		救急救命士の活動による救命率 (%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,947	3,085	3,288
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,947	3,085	3,288	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 救急救命士資格保有者は、13名在籍していますが、異動等により現場対応の救急救命士は10名しかいないのが現状です。</p> <p>(原因) 救命研修所に派遣し、新規救急救命士の養成を行っていますが、確保人員の都合上、毎年1名の養成しかできていないからです。</p> <p>(余地) 災害出場等により救急救命士が不在になった場合には、近隣の非番救急救命士を招集し救急対応していますが、救急体制の強化を図るためには新規救急救命士の養成が必須であると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

救急業務運用事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>救急車に積載してある感染防止用品、災害・外傷処置資材、呼吸管理資材、循環管理資材等の消耗品を購入して、1,223件の救急事案に対応しました。町民を対象とした普通救命講習を15回と救命基礎講習を43回開催し、1人でも多くの町民に応急手当の重要性を理解していただき、救命率の向上を目指しました。</p> <p>令和4年度新型コロナ臨時交付金 811千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	救命講習会開催数(回)	12	10
成果	成果	救命技能認定証が有効期間である町民割合または数(新規3年間+再受講者)(人)	343	243	177
成果	成果	町民による救命率(心拍再開率)(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	811
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,977	2,513	1,829
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,977	2,513	2,640

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)救急救命士等が年間15回の普通救命講習を実施して66名の町民の方が講習を受講し、救命の連鎖の重要性を認識してもらいました。 コロナ臨時交付金充当事業により救急車に感染対策用救急車除染システムを設置しました。その結果、安全に救急活動を行うことができました。 (原因)救急車を要請するだけでなく、その場にいた人の手当が重要であることを認識してもらう必要があると考えます。 (余地)1分1秒でも早く応急処置を実施することが、救命に対し最重要であることを、町ホームページまたは広報・ケーブルテレビ等を活用し積極的に周知することにより、講習受講者の増員を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団運営事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	233
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 火災や自然災害等に対応する消防団員を確保しました。
新入団員：29名（基本団員24名（うち女性1名）・機能別団員5名）
- 消防団員の安全装備品や災害対応力向上資機材等を配備しました。
活動服（30着）、編上靴（40足）、ヘルメット（100個）、キャップ（35個）ほか
- 各種会議や訓練等を実施し、消防団組織を強化しました。
会議：団本部（4回）、方面隊（20回）ほか
訓練：新入団員訓練（7回）、分団等訓練（35回）ほか
- 地域防災力の向上のため、防火・防災活動を実施しました。
防火啓発（7回）、地区消火設備点検等（9地区）、地区訓練等（5地区）ほか
- 消防団が火災・自然災害等へ出動しました。
火災（14件）、風水害（4件）

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	団員数（人）		939	944
活動	災害訓練出動手当額（円）		24,047,000	22,366,800	11,898,000
成果	消防団充足率（団員数/条例定数）（%）		91.2	91.7	97.2
成果	火災時消防団員出動率（出動人数/要請出動分団内団員数）（%）		33.3	42.3	28.1
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	48	48	47
		オ 一般	74,643	71,695	73,285
	カ 事業費（ア～オ合計）		74,691	71,743	73,332

成果実績 評価	成果状況	<p>（状況）令和4年度の充足率が97.2%と昨年度より5.5ポイント増加しましたが目標には届きませんでした。また、火災時の消防団出動率が28.1%と昨年度より14.2ポイント減少しました。</p> <p>（原因）条例改正により、定数を下げたことで増加しましたが、引き続き消防団員の確保は困難な状況です。また、団員の多くがサラリーマン化し、地区外での勤務者等が増加したことにより、出動率の減少につながっています。</p> <p>（余地）消防団活動の重要性を広く周知するとともに、現団員の勧誘等により新入団員を確保します。また、現団員が継続して活動を行えるようにするほか、新規入団を促進するため処遇等の改善を推進します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団設備維持管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	233
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>1. 施設の維持管理・修繕を行いました。 浄化槽保守点検(4施設)、詰所修繕(8施設)</p> <p>2. 車両の維持管理・修繕を行いました。 車両整備業者による定期点検(24ヶ月点検：16台、12ヶ月点検：17台) バッテリー交換(11台)、タイヤ交換(2台：4本)</p> <p>3. ポンプや資機材の維持管理・修繕を行いました。 バッテリー交換(1台)、ポンプ等修繕(10台)</p> <p>4. 車両事故に対応するため自動車損害保険に加入しました。 消防団車両54台、バイク隊員バイク5台</p> <p>5. 消防団員による車両やポンプ等の動作点検を各月に行いました。 39支部413月(実回数535回)</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		消防団詰所修繕件数(件)	17	5
活動		車両・可搬ポンプ点検回数 (各支部月1回)(%)	93.3	92.5	88.2
成果		消防団車両・機器の不具合により活動に支障をきたした件数(件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	11,219	11,096	9,024
	カ 事業費(ア～オ合計)	11,219	11,096	9,024	

成果実績 評価	成果状況	(状況)消防団設備が適切に維持管理できており、火災や災害等に迅速な対応ができています。消防団に配備している車両やポンプ機器等の点検は88.2%で前年より4.3ポイント低下しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)消防詰所の修繕が8件あったものの、早急に対応することで消防団活動に支障をきたすことはありませんでした。車両やポンプ等の点検回数はコロナの影響により一時的に活動を制限したため低下しましたが、消防団員により適切に点検管理が行われています。
	成果向上余地	(余地)今後も適切に維持管理し、各種災害時等に備えます。
	大	
	中	
	小	
	なし	

消防施設整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	235
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本 事業	01 消防力の強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

消防水利の点検時に、消火栓標識板の不良及びボールの腐食等による取替えの必要ある所を調査し、修繕または交換を実施しました。地区要望により、老朽化した消火栓付帯設備を更新しました。
令和4年度の実績
消火栓付帯設備を32箇所更新しました。更新した設備、器具は、消火栓用ホース格納箱20基、消火栓用65mmホース37本、消火栓用50mmホース7本、管鎗19本、消火栓開閉金具12本です。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	消火栓付帯設備更新要望件数 (件)	19	23	16
	活動	老朽化車両更新台数 (台)	0	1	0
	成果	消防施設更新率 (消火栓付帯機器更新数/更新要望数) (%)	94.7	100	100
	成果	老朽化車両更新実施率 (%)	0	100	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	13,951	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	8,000	0
		エ その他	168	114	83
		オ 一般	2,205	15,876	2,887
	カ 事業費 (ア~オ合計)		2,373	37,941	2,970

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 毎年度地区から要望のある事案に対して、順調に行っています。 (原因) 工期を分けて行っているため柔軟に対応することができました。 (余地) 年度により要望件数の多寡があり、老朽化の激しい物件を優先して更新を行っていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団設備整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	235
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>1. 消防団の消防力を維持・強化するため、活動拠点である消防詰所を新築しました。 一本松方面隊満倉消防詰所新築 20,790千円</p> <p>2. 多種多様な災害に対応できるよう、新規資機材を購入配備しました。 ジェットシューター 8台 299千円 排水ポンプ 2台 5,148千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		詰所新築件数 (件)	0	1
活動		車両及び可搬ポンプ購入台数 (台)	3	0	0
成果		築35年経過した詰所数 (棟)	21	23	24
成果		購入後20年経過した車両台数及び購入後20年経過した可搬ポンプ台数 (台)	3	5	12
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	1,566	0	1,716
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	6,100	18,500	21,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,118	2,246	5,290
	カ 事業費 (ア～オ合計)		10,784	20,746	28,106

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 築35年を超えた施設は24棟で、昨年より1棟増加しました。また、20年を経過した車両は12台で、昨年より7台増加しています。</p> <p>(原因) 令和4年度は詰所を1棟新築しましたが、築35年に到達した施設が増えたことによります。また、車両は適切に管理しており、不具合等が発生していないため継続して使用をしていることによります。</p> <p>(余地) 数値は悪化しているものの、適切な管理により不具合なく使用できています。このため、町の財政状況を見据え、効率的及び計画的に更新を行うことで成果の向上を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

教育委員会運営事務

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	01 教育委員会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>教育委員会開催を告示により周知しました。 会議、議事録の公開を必要に応じ行いました。</p> <p>教育委員会 定例会12回 臨時会 2回 審議議案 11議案、協議事項 4件、報告事項 15件</p> <p>愛媛県市町教育委員会連合会や南予管内市町等教育委員会連合会の開催する教育委員の自己研鑽のための研修会等の情報提供及び参加に係る事務を行い、積極的な情報収集や審議等による教育委員会の活性化に繋がりました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	委員会	委員会の開催回数(年間)(回)	14	14
成果	議案	議案件数(年間)(件)	22	24	30
成果	改善	改善を指示された割合(年間)(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,275	1,272	1,323
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,275	1,272	1,323

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 予定どおり定例教育委員会を開催し、必要な協議がされています。 (原因) 教育委員の意識が高く、積極的に出席をしています。 (余地) 仕事のある委員が出席しやすい日程や時間の設定を確認します。 積極的な情報収集や審議等による教育委員会の更なる活性化に繋げることできるような、研修等の情報提供を適切に行います。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

外国人英語指導助手設置事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・ A L Tを各中学校に配置し、授業だけでなく学校生活の中で生徒が英語に触れられる機会を作りました。
 ・ A L Tが週に1回程度各小学校を訪問し、外国語活動や外国語の授業に参加しました。
 休み時間や給食の時間を活用し、児童が英語に慣れ親しむ機会を作りました。

【ふるさとづくり基金充当 7,000千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		小学校の外国語指導助手年間勤務時間 (時間)	2,157	1,890
活動		中学校の外国語指導助手年間勤務時間 (時間)	2,673	2,940	2,860
成果		各校長によるALTの優良評価の割合 (%)	97.7	97.0	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	11,235	7,000
		オ 一般	11,247	590	4,584
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,247	11,825	11,584

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 小学校の英語の授業にはALTが参加しており、児童が英語に触れる機会が確保されています。中学校においても、ALTの授業参加により学習指導が効果的に実施されています。 (原因) ALTが積極的に児童生徒と関わりを持ち、交流することができています。 (余地) JETプログラムではALTの派遣年数は最長5年となっています。ALTの入れ替えが途切れなく行われることで、同様の成果が期待できます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校IT管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	02 ICTを活かした教育の推進	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・PC機器及びネットワーク整備を行い、ICT環境の向上を図りました。
- ・適正なネットワーク環境等を維持するために、修繕対応及び保守管理を委託しました。
- ・OA機器に係る消耗品の購入を行いました。
- ・ICT支援員による、研修会の開催、機器等の不具合対応を行いました。
- ・PC機器リース期限に伴う機器の更新について、計画的に実施しました。
- ・小中学校校務用PC機器等の入替えを行いました。

【ふるさとづくり基金充当 15,925千円】

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	ICT機器の設置台数 (台)	2,007	1,655	1,551
	活動	ICT機器の効果的な活用 操作研修会の開催回数 (回)	21	23	14
	成果	ICT機器整備率 (%)	100	100	100
	成果	ICT機器の活用状況 (%)	94.1	99.0	99
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	68,838	262	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	28,300	0	0
		エ その他	4,123	4,167	17,272
		オ 一般	154,809	62,813	19,596
	カ 事業費 (ア～オ合計)	256,070	67,242	36,868	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 教員のICT機器の活用については、引き続き高い割合で活用できているとの回答結果がでています。 (原因) GIGAスクールサポーターの配置及びICT支援員の活用により、教員のICTに関する知識及び技術を高められたと考えられます。 (余地) 校務用機器の老朽化による不具合が生じており、機器の更新をすることで、校務を快適に行うことができると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校施設防災機能強化事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和06年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>・災害時の避難所となっている学校施設（体育館）の防災機能強化を図るため、計画的に事業を進めました。</p> <p>・令和4年度新型コロナウイルス臨時交付金1,144千円を活用し、平城小学校と城辺小学校の体育館トイレの洋式化を行いました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		防災施設整備の件数 (件)	2	4
活動		運用計画書の活用回数 (回)	1	0	0
成果		防災施設整備率 (%)	20.0	40.0	60.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	1,144
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	946	1,452	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	946	1,452	1,144

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 計画通り年間2校の体育館トイレ洋式化を実施しました。</p> <p>(原因) 和式便器設置台数が多いためと考えられます。</p> <p>(余地) 体育館トイレの洋式化を進めることにより、更なる防災機能の向上を図ります。引き続き整備を行っていきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和高等学校魅力化推進事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 事務局費	計画 年度	開始：令和04年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

南宇和高等学校の魅力化推進事業として、南宇和高等学校に通う生徒が「夢を叶えるスタートをきる場所」として、自学自習の場である「南光叶夢センター」を南宇和高校記念館に設置しました。
地域おこし協力隊制度を活用して、3名のスタッフが着任しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・成果状況	活動 事業参加者数 (人)			46	
	活動 (人)				
	成果 南宇和高等学校の志願率 (%)			70	
	成果 (人)				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	10,554
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	10,554	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)南宇和高等学校の魅力化推進事業を実施しています。 (原因)少子化の中、南宇和高等学校の入学者が減少しています。愛媛県県立学校振興計画で再編整備基準が明示される中、南宇和高等学校への入学者の上昇につながるよう南宇和高等学校の魅力ある事業の発信や魅力ある事業の実施が必要となります。 (余地)特に町内の中学生及び保護者、小学生及び保護者に対し南宇和高等学校の魅力を発信することが重要となっています。また、保護者が必要と感じるニーズへの対応も同時に重要となります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

奨学金返済支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 教育総務費		
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

補助率 2 / 3 (上限20万円)
【補助対象者の主な要件】
奨学金の返済を遅滞なく行い、町税等の滞納がなく、町の他の移住定住促進、就業促進に係る補助事業等の給付を受けていない者であって、次のいずれかに該当するもの。
町内に就職し、1年以上継続して雇用されている者(公務員を除く。)
町内で起業し、1年以上継続して事業を行っている者
町内で第1次産業に従事し、1年以上継続して従事している者

令和4年度は5名の対象者へ計848,000円を補助しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額(円)		999,000	981,000
活動					
成果	延交付人数(人)		9	7	13
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	999	981	848
		カ 事業費(ア~オ合計)	999	981	848

成果実績 評価	成果状況	(状況)要件に合う申請は5名となっています。 (原因)補助対象者が限定されているため、申請者数は横ばい状態です。 (余地)移住・定住促進のため、支給条件の再検討が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

閉校施設等管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 教育総務費		
基本 事業	05 公共施設マネジメントの推進	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・閉校施設における不具合箇所の改修・修繕について、利用者及び点検業者からの報告に基づき、状況の把握・対策の検討を行い対応しました。
 ・閉校施設における保守点検の実施について、各種業務を委託しました。
 ・愛南町社会福祉協議会電気料金の負担金を徴収しました。
 ・「学校施設等個別施設計画」に基づき、計画的な施設の解体・改修等を行うために、旧赤水小学校解体の設計及び石綿含有調査を行いました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	管理している閉校数 (校)	10	9	10
	活動	修繕件数 (件)	8	5	9
	成果	閉校施設の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	1	3	1
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	75,263	613	967
		オ 一般	8,367	7,016	11,352
		カ 事業費 (ア～オ合計)	83,630	7,629	12,319

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 前年度に対し修繕件数は4件増加、トラブル件数が2件減少しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 老朽化に伴う経年劣化が原因と考えられます。
	成果向上余地	(余地) 修繕件数及び維持管理費を減らす方策として、適切な維持管理と施設設備の計画的な更新及び解体が考えられます。
	大 中 小 なし	

学校活動支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

スクールサポートスタッフ配置事業（県補助事業）を活用しました。
中学生の英語検定受験料を助成しました。
臨時的に町内での発表会や体育大会に出場する児童生徒の移送経費を負担しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		配置校数 (件)	15	17
活動		児童生徒の移送件数 (件)	3	3	1
成果		配置効果割合 (%)	100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	204	0	0
		イ 県	2,123	1,984	1,972
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,339	3,286	2,273
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,666	5,270	4,245

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 教員の負担軽減により教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備しています。また、授業等における児童生徒の移送が円滑に行われています。</p> <p>(原因) スクール・サポート・スタッフの配置及び学校共同事務室での調整によるものと考えます。</p> <p>(余地) 愛媛県の補助事業対象となる人材だけでなく、町単独でのスクール・サポート・スタッフの配置を行うなど教職員の負担軽減を実施しています。また、移送事業においては町のマイクロバスを利用するなど経費の削減を行っています。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和高等学校教育振興協議会補助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町、愛南町教育委員会及び県立南宇和高等学校等で構成する南宇和高等学校教育振興協議会が実施する事業に対して補助金を交付しました。

【南宇和高等学校教育振興協議会事業】

- ・地域を支える人材や産業技術者の育成
- ・グローバルな視野を持って行動できる人材を育成するための海外研修の実施
- ・地域に根ざした新しい産業教育に関する研究や情報交換・提言
- ・学校教育活動の充実に対する支援
- ・英語4技能外部検定(GTEC)の受験料の助成
- ・遠距離通学者への通学費の助成

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により海外研修の中止など事業が縮小される中、台湾中山大学との交流や、大学共通テスト受験旅費の助成等を新たに開始しました。

【ふるさとづくり基金充当 4,500千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額(千円)		966	2,021
活動					
成果	補助を受けた各種活動に参加した生徒の人数(人)		585	456	464
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	4,500
		オ 一般	966	2,021	270
		カ 事業費(ア～オ合計)	966	2,021	4,770

成果実績評価	成果状況	(状況)活動に参加した生徒の人数は、前年度からほぼ横ばいとなっています。 (原因)新型コロナウイルスの影響により、前年度から引き続き事業が縮小されたためです。 (余地)新型コロナウイルスの影響が少なくなれば、コロナ禍以前の活発な活動が実施できると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

心の教育推進事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	03 心の教育の充実	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・いじめ・不登校等相談員による電話相談や通所相談を行いました。
 ・スクールソーシャルワーカー等による相談・活動を行いました。
 ・センターでの相談及び利用を個別のニーズに添い行いました。
 ・学校を通じ家庭へチラシを配布し、一人で悩まず、先ず相談をするよう啓発しました。
 ・通級指導教室の利用を可能とし、学習面のサポートの選択肢を増やしました。
 ・不登校児童生徒支援事業は、平成30年度から宇和島圏域共生ビジョンに位置付け運営に係る必要経費を負担し、取り組む事業です。
 ・創意工夫を生かした道徳教育を推進するため、特色ある教育実践を行い、その成果の普及を図りました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	利用者数(人)		214	647
活動	相談員・ソーシャルワーカー等の設置人数(人)		7	7	4
成果	改善された割合(対相談件数)(%)		100	50	50
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	584	1,040	825
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,861	3,880	3,266
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,445	4,920	4,091

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)不登校傾向にある児童生徒数名が利用しており、心の居場所としての機能を発揮しました。 (原因)家庭環境など子供のおかれている状況が複雑化・多様化傾向にあります。 (余地)保護者との意思疎通と理解、学校、専門機関間との連携による対応がこれまで以上に重要となっています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

教員住宅管理運営事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	241
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 教員住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・入居申請書を受理し許可後、賃貸借契約及び入居説明等を行いました。 ・退去届を受理後、部屋（畳表替え、襖張替え等）、駐車場の検査を行いました。 ・家賃徴収について、納入状況を確認し、滞納者には連絡をとり早期完納を促しました。 ・住宅施設における不具合箇所の改修・修繕について、入居者からの連絡に基づき、状況の把握・対策の検討を行い対応しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	6	7	9
	活動				0
	成果	教員住宅の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	6	2	1
	成果	教員住宅入居率 (%)	34.3	31.4	34.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,756	1,298	1,484
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,756	1,298	1,484	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 維持管理上の不具合・トラブル件数は昨年度に対して減少しました。 (原因) 老朽化した箇所の修繕を行ったことにより減少したと考えられます。 (余地) 施設の老朽化が進んでおり、突発的な修繕等の発生が予測されます。入居者からの要望や連絡に耳を傾け、現状把握及び迅速な対応を心がけ、安全で良好な住宅環境を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

小学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	243
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本 事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・学校施設における不具合箇所の改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。
- ・学校施設における保守点検の実施について、各種保守業務を委託しました。
- ・学校運営に必要な各種備品について、学校の要望をもとに整備及び更新を行いました。
- ・城辺小学校及び平城小学校校舎のトイレ洋式化工事を実施しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕・工事件数 (件)	119	116	133
	活動	保守管理委託件数 (件)	16	16	16
	成果	授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数 (件)	0	0	0
	成果	小学校施設維持管理上の不具合による児童事故件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	16,299	4,509
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	29,000	0
		エ その他	2,017	2,092	2,130
		オ 一般	70,501	67,112	73,806
	カ 事業費 (ア～オ合計)	72,518	114,503	80,445	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度に対し17件増加しました。 (原因) 施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事を行ったためであると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 引き続き小学校の現地調査や情報交換を行い、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。

小学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	245
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>児童の教育活動について確かな学力向上を図りました。 校外学習等における運転手の雇用及び車の借上げを行いました。 講師を招き講座などを開講しました。 学校図書を購入しました。</p>

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	図書購入数 (冊)		1,566	1,711
活動	講座、校外活動等の実施回数 (回)		90	80	136
成果	学習意欲が向上している児童の割合 (%)		93.8	94.0	93.6
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	27,676	12,591	13,262
		カ 事業費 (ア～オ合計)	27,676	12,591	13,262

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 全国学力・学習状況調査の結果では、学習習慣等の肯定割合をみると、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) コロナ禍にあっても学びを止めないという各校の姿勢と丁寧な学習指導等によるところが大きいと言えます。 (余地) 家庭学習の習慣化とその内容の改善を検討する余地があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

f081j

要保護及び準要保護児童就学援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	247
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

経済的理由により就学困難な児童に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての児童に義務教育の円滑な実施を図りました。
 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定しました。
 審査結果を申請者へ通知しました。

令和4年度は84名に対し、2,282,580円を支給しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	支給件数 (件)		110	108
成果	適格者で就学援助を受けて義務教育を受けている割合 (%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	14
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,116	2,843	2,269
		カ 事業費 (ア~オ合計)	3,116	2,843	2,283

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 認定者数は前年度より減少しました。 (原因) 児童数の減少によるものと考えられます。 (余地) 法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	247
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本事業	05 安心安全な教育環境の整備	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>・学校施設における不具合箇所の改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。</p> <p>・学校施設における保守点検の実施について、各種保守業務を委託しました。</p> <p>・学校運営に必要な各種備品について、学校の要望をもとに整備・更新を行いました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕・工事件数 (件)	88	54
活動	活動	保守管理委託件数 (件)	16	16	16
成果	成果	授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数 (件)	0	0	0
成果	成果	中学校施設維持管理上の不具合による生徒事故件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	6,297	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	11,600	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	38,988	40,186	35,552
		カ 事業費 (ア~オ合計)	38,988	58,083	35,552

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 修繕件数は前年度に対して3件減少しました。</p> <p>(原因) 前年度に修繕箇所の洗い出しを行い、修繕を行ったため今年度減少したと考えられます。</p> <p>(余地) 施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事が予測されます。引き続き学校と密の連携し、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

要保護及び準要保護生徒就学援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	249
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>経済的理由により就学困難な生徒に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての生徒に義務教育の円滑な実施を図りました。 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定しました。 審査結果を申請者へ通知しました。</p> <p>令和4年度は67名に対し、5,534,762円を支給しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	援助費支給人数(人)	65	68
成果	成果	適格者で就学援助を受けて義務教育を受けている割合(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,940	4,352	5,535
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,940	4,352	5,535

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度よりも認定者数が1名減少しました。 (原因)生徒数の減少によるものと考えられます。 (余地)法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	249
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>生徒の教育活動について確かな学力向上を図りました。 校外学習等における運転手の雇用及び車の借上げを行いました。 講師を招き講座などを開講しました。 学校図書を購入しました。</p>

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	図書購入数 (冊)		735	831
活動	講座、校外活動等の実施回数 (回)		1	7	12
成果	学習意欲が向上している生徒の割合 (%)		93.6	93.0	89.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	8,957	14,027	10,858
		カ 事業費 (ア~オ合計)	8,957	14,027	10,858

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 全国学力・学習状況調査の結果では、学習習慣等の肯定割合をみると、ほぼ横ばいとなっています。 (原因) コロナ禍にあっても学びを止めないという各校の姿勢と丁寧な学習指導等によるところが大きいと言えます。 (余地) 家庭学習の習慣化とその内容の改善を検討する余地があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

預かり保育事業

教育委員会部局 あいなん幼稚園

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実	項	04 幼稚園費		
基本事業	02 保育サービス等の充実	目	01 幼稚園管理費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・子ども・子育て支援制度に基づき、保育の提供と子育て支援の充実を目的に、預かり保育サービスを行いました。

・預かり保育は、教育課程の活動を考慮しながらその内容や方法を工夫し、幼児にふさわしい無理のないものとして幼児の生活に変化と潤いをもたらす配慮をしました。

・適切な指導体制を整備し、教師の責任と指導の下に幼児自身が楽しめるように、教育的意義のある計画を作成しました。

・コロナ感染防止対策として基本的な感染防止策の実施や園内の衛生管理を行いました。

預かり保育サービス

・平日 14時30分～16時30分

・長期休業中 9時00分～16時00分(弁当持参)

【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町1/3】

【12月】燃料価格高騰のため電気料について補正しました。70千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		預かり保育年間利用者数(人)	2,278	1,514
活動		預かり保育年間実施日数(日)	202	191	203
成果		預かり保育サービス利用者満足度(%)	95	95	95
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	310	112	112
		イ 県	121	143	112
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	101	204	285
		オ 一般	0	0	46
		カ 事業費(ア～オ合計)	532	459	555

成果実績評価	成果状況	(状況) コロナ感染予防対策を行い、事業の成果としては順調です。 (原因) コロナ禍の中、安全に過ごせるよう園内の環境を見直すことで、充実した内容の保育が提供できたと思われます。 (余地) 幼稚園と家庭の連携により、取組みを進めることが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

あいなん幼稚園管理運営事業

教育委員会部局 あいなん幼稚園

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	01 学校教育の充実	項	04 幼稚園費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	01 幼稚園管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>・子ども・子育て支援新制度に基づき、質の高い幼児教育、保育の提供、地域の子ども子育て支援の充実に目的に保育サービスを行いました。</p> <p>・保育では、遊びを中心とした生活を通し幼児が様々な体験を重ね、健やかな成長を促す教育の基礎を培いました。また一人一人に応じた教育を進め総合的指導を行いました。</p> <p>・施設の維持管理や幼児の安全の為、園舎設備の保守点検・小破修理や警備監視を実施しました。また、コロナ感染防止対策として、基本的な感染防止策の実施や園内の衛生管理を行いました。【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町1/3】</p> <p><保育サービス事業></p> <p>・通常保育 平日8時30分～14時30分(月曜日～金曜日)学校給食有</p> <p>【12月】燃料価格高騰のため電気料について補正しました。150千円 水路側溝蓋修繕のため修繕料について補正しました。54千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開園日数(日)	210	193
活動	活動	利用述べ幼児数(人)	4,663	3,528	3,229
成果	成果	あいなん幼稚園の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	90	90	90
成果	成果	あいなん幼稚園 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	465	168	168
		イ 県	182	214	168
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	276	0	0
		オ 一般	1,426	1,642	1,969
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,349	2,024	2,305

成果実績 評価	成果状況	(状況) コロナ禍により行事等規模を縮小しましたが、事業の成果としては順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) コロナ感染予防対策を保護者と連携し、保護者のニーズに合わせて柔軟に対応することで、信頼関係が深まり園児の成長に安心・安全な場を提供できたと思われま。
	成果向上余地	(余地) 更にきめ細かい保育サービスを提供することが考えられます。
	大 中 小 なし	

花づくり推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	01 循環型社会の形成	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生活環境の保全	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>オレンジロード加盟団体が実施する国道傍花壇整備事業に対して活動支援を行いました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回(6月・11月)、花苗植替え作業を行うオレンジロード加盟団体に花苗を支給し、環境美化活動の活性化を図りました。 ・関連団体同士の連絡調整を行いました。 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	作業実施回数(回)	2	2
成果	成果	町民により管理されている花壇数(ヶ所)	19	19	19
	成果	花が植わっている期間(ヶ月)	8	8	8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,722	1,677	1,676
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,722	1,677	1,676

成果実績評価	成果状況	(状況)町民により管理されている花壇数に増減はありませんでした。 (原因)町民のボランティア活動により、引き続き良好な管理がなされています。 (余地)引き続き、団体を支援していくことで、成果の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

女性教育推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
愛南町連合婦人会が実施する女性教育推進事業に対して補助金を交付し、社会参加を促すための支援を行いました。	
【R04年度実績】 <補助金額>1,300千円	
<婦人会の活動内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい家庭を作り、青少年の健全育成に努めました。 ・資質向上を図るため、研修会を開催しました。 ・地域のきずなを深め、地域防災力の向上に貢献しました。 ・お遍路お接待などのボランティアを通じて、社会貢献に努めました。 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		研修会の実施回数 (回)	0	1
活動		ボランティアの実施回数 (回)	8	10	16
成果		研修会参加者数 (人)	0	5	15
成果		ボランティアへの参加会員数 (人)	69	100	175
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	740	740	1,320
		カ 事業費 (ア～オ合計)	740	740	1,320

成果実績評価	成果状況	(状況) 婦人会員の令和4年度のボランティアへの参加者数は175名と、前年度より75名増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、活動を再開している事業もあるため、参加者数の増加につながったと考えられます。 (余地) 新型コロナが5類に移行され収束の兆しがあり、通常どおり事業が実施できる状況にあるので、成果の向上が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

わが里づくり事業補助金事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>町民の地域づくりの気運を醸成するとともに、地域の特性を活かした個性豊かな魅力ある地域づくりを支援するため、地域の活性化に貢献すると認められる事業に補助金を交付しました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付団体 7 団体 ・補助金交付総額 1,153,200円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金支給額 (円)		312,000	28,800
活動					
成果	補助金支給団体数 (団体)		2	1	7
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	312	29	1,153
		カ 事業費 (ア～オ合計)	312	29	1,153

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 補助金支給団体数が前年度と比べ6件増加しました。 (原因) 団体が活用しやすいような事業内容の見直しや、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、各団体が事業の実施を行ったためです。 (余地) 事業周知を強化することで新規事業の増加が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

文化協会活動支援事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町文化協会に対して活動費の補助(220万円)を実施します。 愛南町文化協会の活動について、事務局として支援します。 愛南町文化祭の開催にかかる支援を行います。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止により事業を縮小したため、減額補助としました。(55万円) ・前年度と同様、文化祭を縮小開催としたため、参加及び入場者数は前年度並みとなりました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大や高齢化により、活動の実施が困難な状況にある団体が増加したため、会員数が減少しています。 ・加盟団体数 83団体 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		三役会 評議委員会等の開催数(回)	9	8
活動		補助金額(千円)	0	330	550
成果		文化協会加盟団体 会員数(人)	831	766	714
成果		文化協会が実施する事業の参加者数及び入場者数(人)	137	1,100	1,098
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	330	550
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	330	550

成果実績評価	成果状況	(状況)文化協会実施事業の参加及び入場者数は、前年度比2名減とほぼ横ばいです。文化協会加盟団体の会員数(純人数)は、6.7%の減少となっています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)前年度と同様、文化祭を縮小開催とし、参加及び入場者数は前年度並みとなりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響や高齢化により、活動が困難となった団体の退会や会員数の減少が進んでいます。
	成果向上余地	(余地)新型コロナの5類移行により、5年度以降は文化祭の通常開催や各団体の活動再開が見込まれます。
	大 中 小 なし	

放課後子ども教室事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
放課後や長期休暇中の児童の安全安心な居場所作りのため、子ども教室事業を実施しました。 【R04年度実績】 ・子ども塾は、公民館（内海・緑・長月・久良・家串）を利用して平日の放課後の時間帯に開設しました。 ・夏休み子ども教室は、夏休み期間中に御荘夢創造館で8時00分から18時30分まで開設しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開所日数(日)	588	622
成果	成果	放課後子ども教室待機児童数(人)	2	0	0
	成果	放課後子ども教室利用児童数(人)	84	93	109
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,237	1,410	1,461
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	75	160	226
		オ 一般	985	1,446	1,173
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,297	3,016	2,860

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和4年度の放課後子ども教室利用児童数は109名と、前年度より16名増加しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 利用児童数の増加は、家串子ども塾を新たに開設したことによるものです。
成果向上余地	大 中 小 なし	(余地) 柏子子ども塾・緑子ども塾・長月子ども塾・久良子ども塾・家串子ども塾については、随時入会を受け付けるとともに新規の子ども塾を開設することで成果の向上が見込めます。

子どもセンター運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>子どもに安全な遊び場を提供することを目的とし、愛南子どもセンターの運営を行いました。</p> <p>【R04年度実績】 <開所日> 毎週土曜日・日曜日（祝祭日・年末年始は除く） <開所時間> 9：00～17：00（12：00～13：00は閉所） <場所> 城の辺学習館2階 愛南子どもセンター</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	開所日(日)		80	70
成果	子どもセンター年間利用者数(人)		336	206	137
成果	子どもセンター運営 維持管理上の事故・トラブル件数(件)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	233	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	522	417	633
		カ 事業費(ア～オ合計)	522	650	633

成果実績評価	成果状況	(状況) 年間利用者数は137名と前年度に比べ69名(33.4%)減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛による訪問者の減少が原因だと考えられます。 (余地) 子どもの数は今後も減少することが予想されますが、新型コロナが5類に移行され収束の兆しがあるので、向上すると思われれます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

成人式開催事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>当該年度に二十歳の誕生日を迎える対象者の新たな門出を祝うため、成人式の企画運営を行いました。</p> <p>【R04年度実績】 <日 時> 令和5年1月3日 13:00~ <開催場所> 御荘文化センター <参加者数> 141人</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		式典への参加者数(人)	0	150
活動					
成果		式典の参加率(該当者に対する参加者の割合)(%)	0	73	73
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,667	1,524	1,588
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,667	1,524	1,588

成果実績評価	成果状況	(状況)式典の参加者は141名、参加率は73%でした。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で式典を開催したためです。 (余地)式典内容を工夫し、さらに対象者に関心を持ってもらうことによって、参加者数を増やす余地があるものと思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

人権啓発作品集作成事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	06 社会教育費		
基本事業	01 人権・同和教育の推進	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

児童・生徒が作成する人権作品（作文、みじかい手紙、書道、ポスター、人権標語）を募集し、作品集「えがお」への掲載作品としました。

2,200部発行し、保護者・学校・公民館等へ配布しました。その後、感想を保護者等から募集しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		作品配布数 (枚)	2,200	2,200
活動					
成果		作品集を読んで感想が寄せられた割合 (%)	64.1	64.8	64.7
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	356	356	356
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	309	350	361
		カ 事業費 (ア～オ合計)	665	706	717

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 小・中学校、高校の児童・生徒や保護者から、この作品集の作成継続を望む感想が多く寄せられています。 また、公民館における各種団体の人権教育に作品集を朗読するなどの活用が広がり始めています。 (原因) 小中学校においても活用機会が増え学習機会の増加が考えられます。 また普段、孫や地域の子供達の人権作品を見聞きすることのない高齢者や地域の方が、公民館事業を通して見聞きすることができ、感動を与えるようになっていきます。 (余地) 友達や家族等、より多くの人々に対する人権感覚の向上が期待できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

人権教育協議会補助事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 人権・同和教育の推進	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

あらゆる差別や偏見を解消する人権・同和教育の推進と「共生」社会の確立を目的とする
愛南町人権教育協議会に補助金を交付しました。

愛南町人権教育協議会の主な事業

- ・総会の開催（書面開催）【書面表決書返信者数186名】
- ・大会及び研修会参加事業【参加者55名】
- ・主催事業 『人権を考える町民の集い』【中止】
- ・後援事業 みつめてみよう人権コンサート/まちを元気に「げんき市」【中止】

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助金額 (千円)		500	400
活動					
成果	愛南町人権教育協議会が主催及び後援した行事への参加者数 (人)		205	248	241
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	500	400	650
		カ 事業費 (ア～オ合計)	500	400	650

成果実 績評 価	成果状況	(状況)参加者数を600人と見込んでいましたが、241人と大幅に低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会等の事業が中止になったためと考えられます。 (余地)研修会等の事業が再開できれば、参加者の増加が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

須川公園まつり事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>須ノ川公園まつりを主催する団体「うちうみまちづくり連合Y o m o s h i 連内海」に補助金を交付し、7月最終日曜日（7月31日）に規模縮小で須ノ川公園まつりを開催しました。</p> <p>事業内容としてランタン祭り、物産市、花火大会を実施しました。 主催団体に補助金（1,515千円）を交付しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		実行委員会等の協議会数 (回)	2	2
活動					
成果		来場者数 (人)	0	0	800
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,515
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	1,515

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 新型コロナウイルス感染防止策を講じ、規模縮小して3年ぶりに開催しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 新型コロナウイルスと共生し、以前の社会活動に戻していくという世の中の動きが徐々にみえてきたため開催に踏み切りました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 新型コロナウイルスは5類に引き下げられ、社会的活動やイベント等に制限がなくなったことにより、以前のような開催規模に戻すことは可能となりますが、各自治会や地域住民、各種団体の協力と理解が必要です。

内海公民館生涯学習事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 公民館事業	内海地域合同運動会(1回)、内海地域句会ライブ(1回)、内海中学校地域学習(1回)、パールイルミネーション(1回)、内海地域高齢者の集い(1回)、園児文化芸術体験(1回)、グラウンド・ゴルフ交流会(1回)、クロッケー交流会(1回)、劇団風の子公演(2回)、健康体操教室(10回)、料理教室(2回)、フラワーアレンジメント教室(11回)、子ども俳句教室(8回)、英会話教室(10回)、柏っこスキー教室(1回)、お灸教室(2回)、趣味の作品展(3回)、スマートフォン教室(1回)
2 公民館支援事業	柏老人クラブを支援しました。
3 地域活動支援事業	内海公民館区の地域活動(地区総会)を支援しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		内海公民館が実施・支援した事業数(件)	11	13
成果		内海公民館関連事業のべ参加者数(人)	298	375	1,032
成果		内海公民館関連事業に対する満足度(%)	92.3	86.4	91.8
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	264	451	1,130
	カ 事業費(ア~オ合計)		264	451	1,130

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 前年度比で、事業数は5件、参加者は657人増加しました。満足度も5.4ポイント上昇しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 新型コロナウイルス感染対策を行い、事業の中止もなく実施できました。
	成果向上余地	(余地) 地域住民のニーズに合った教室の開催や開催時間の検討が必要と考えます。
	大 中 小 なし	

平城公民館生涯学習事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1 公民館事業
 こども茶道教室(19回)、こども生花教室(18回)、英会話教室(15回)、ハモニカ教室(11回)、花植え(10回)、消火・避難訓練、人権・同和学習(2回)、健康ウォーク、健康づくり(ヨガ・お灸・ピラティス)(28回)、スマホ講座(7回)、地域づくり出前講座(5回)、ハトメイト教室(絵手紙・ハル・リウム・絵手紙体験)(4回)、アフェリー体験、平城貝塚再発見講座、成果発表会他6事業の合計21事業(131回)実施し、1,245人参加しました。中止した5事業(口説き、とろりや講習、ミハレポール大会、御荘中マルサスお接待、地域おこし協力隊コラボ)

2 公民館支援事業
 町文化祭協力(2回)、成果発表会打合せ、小学生の人権ポスター等展示の3事業(4回)支援し、362人参加しました。中止した1事業(ミハレポール大会説明会・抽選会)

3 地域活動支援事業：地区総会等4事業を支援しました。感染対策により中止した2事業(五常会盆踊り大会・敬老会)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		平城公民館が実施・支援した事業数(件)	21	21
成果		平城公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,593	1,531	1,607
成果		平城公民館関連事業に対する満足度(%)	95.2	97.5	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	102	58	94
		オ 一般	1,188	1,212	1,386
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,290	1,270	1,480

成果実績評価	成果状況	(状況)参加者数は目標値より低かったが年度と比べて76人(5%向上)増加し、満足度は100%となり順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)講師と打合せを密に行って実施内容を工夫したことや、タブレットを購入して平城公民館LINE公式アカウントの登録者へ各種講座の周知を行いました。また、令和2年度から公民館主事が専任となったことも大きな要因と思われます。
	成果向上余地	(余地)参加者や運営審議会委員等の意見を参考にして、事業内容等の見直しや他課や他公民館との合同事業を実施しています。また、高校生と中学生にもボランティア参加してもらえよう工夫します。
	大 中 小 なし	

城辺公民館生涯学習事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>1 公民館事業 / 陶芸教室(40回(昼の部・夜の部))、国際交流講座(14回)、城辺婦人連絡会(4回)、パソコン教室(20回(春夏コース・秋冬コース))、町並み環境美化活動(2回(夏(城辺商店街振興会)・冬(愛南町商工会女性部城辺地区)))、花いっぱい運動(7回(左谷、猿田(フラワーグループ青空)、豊田茶堂(豊田を元気にする会)、太場(山茶花クラブ)、鳥越(鳥越サロン)))、健康づくり教室(4回)、世代間交流ベタンク教室、世代間交流しめなわづくり教室、防災・減災教室(2回)、やきもの体験教室(2回)、学習成果発表会の12事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、城の辺笹まつり、城辺地区レクバレーボール大会、愛南町文化祭城の辺催しまつりの3事業を中止しました。</p> <p>2 公民館支援事業 / 城辺高齢者学級、城辺地区体育協会、城辺小学校餅つきの3事業を支援しました。</p> <p>3 地域活動支援事業 / 城辺公民館区の地域活動を支援しました。</p>	

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・成果状況	活動 城辺公民館が実施・支援した事業数(件)	7	9	15	
	活動				
	成果 城辺公民館関連事業のべ参加者数(人)	846	797	1,525	
	成果 城辺公民館関連事業に対する満足度(%)	89.8	84.5	87.0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,011	1,018	1,152
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,011	1,018	1,152	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)事業のべ参加者数が前年度比で728人増加し、事業に対する満足度も前年度比で2.5ポイント向上しました。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として中止していた事業の多くを、当該策を講じながら実施したためです。</p> <p>(余地)貸館及び事業が制限されず、また、事業効率性の改善が進めば、計画どおりの事業実施により、更なる成果向上が見込まれます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松公民館生涯学習事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>1 公民館実施事業 一本松コミュニティ講座(1)、救命基礎講習会(1)、スマホ教室(1)、フラワーアレンジメント教室(1)、押し花教室(1)、子ども体験講座(2)、子どもフラワー教室(1)、生け花教室(1)、人権・同和教育学習会(1)、一本松地域花壇管理(1)、壮年グループボランティア活動(1)、消火・避難訓練(1)、絵手紙展示(1)、書道展示(1)、スポーツ大会(4)合計19事業・856名の参加者で実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、民謡民舞講習会、壮年グループソフトバレー大会、一本松地域文化発表会、3事業を中止しました。</p> <p>2 公民館支援事業 あけぼのバレーボール大会、婦人会一本松支部、各地区壮年グループを支援しました。剣道大会は中止しました。</p> <p>3 地域活動支援事業 一本松公民館区の地域活動を支援しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		一本松公民館が実施・支援した事業数(件)	22	13
成果		一本松公民館関連事業のべ参加者数(人)	962	745	856
成果		一本松公民館関連事業に対する満足度(%)	96.7	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,378	2,160	2,347
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,378	2,160	2,347	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 事案件数9件増、参加者数199人増です。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業の中止もあったが、徐々に事業の再開を行い、参加者も増えたためです。</p> <p>(余地) 安心・安全に事業を展開するためにも、ウイルス感染症に対応した感染予防策を行いながら事業を行います。</p> <p>子ども達の公民館事業への参加に繋げるためには、家族の協力・理解も必要と思われま。親子で参加できる事業や、支援団体と一緒に取り組めるような事業を展開していく必要があると思います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

西海公民館生涯学習事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1 公民館事業 健康相談(1回)、フラワーアレンジメント教室(1回)、七夕飾り(1回)、スマホ教室(1回)、花いっぱい運動(4回)、パソコン教室(11回)、お正月体験教室(1回)、なつかしの成人式等写真展(1回) パッチワーク展示会(1回)、人権同和教育学習会(1回)、多肉植物寄せ植え体験教室(1回)、健康体操教室(週1回)及び卓球教室(週1回)、計15事業981人が参加のうえ実施しました。
2 公民館支援事業 シーパークふなこし夏祭り、船越小学校区運動会、ひなたぼっこ及び船越サロンを支援しました。
3 地域活動支援事業 地区総会及び地区役員会等を支援しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		西海公民館が実施した事業数(件)	14	12
成果		西海公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,330	1,117	981
成果		西海公民館関連事業に対する満足度(%)	94.9	92.6	97.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	770	671	617
		カ 事業費(ア～オ合計)	770	671	617

成果実績 評価	成果状況	(状況)参加者数は前年度比で136人減少しましたが、公民館アンケートによる事業に対する満足度は4.8ポイント増加しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により一部の事業を中止しましたが、住民ニーズにあった新規事業の開催が満足度向上の要因と考えます。 (余地)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続し、地域住民のニーズにあった事業の周知を行い利用者の増加を図る必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

677]

福浦公民館生涯学習事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1 公民館事業 福浦/お灸講座(3回)、料理教室(1回)、EM廃油石けん作り教室(1回)、お正月しめ縄作り教室(1回)、健康体操教室(10回)、椅子ヨガ教室(2回)、人権同和教育学習会(1回)、花いっぱい運動(3団体)、避難訓練(1回)、スマホ教室(1回)、音楽体操教室(9回)、福浦小・地区合同運動会(1回)、餅つき(1回)、フワ-ルン-メント教室(1回)及びなつかしの西海成人式等写真展(新規)、計15事業838名が参加しました。感染症拡大防止策として、自然鑑賞会(1回)、カラオケ教室(12回)、こども列強会(1回)の計3事業を中止しました。

武者泊/カラオケ教室・地域交流会(4回)、いけばな教室(6回)、健康体操教室(2回)、椅子ヨガ教室(2回)及び避難訓練(1回)、計5事業142名が参加しました。

2 公民館支援事業 ふれあいサロン及び自主防災会を支援しました。

3 公民館地域活動支援 敬老祝賀の品配布、秋祭り、老人クラブ、地区総会及び地区役員会等を支援しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 福浦公民館が実施した事業数(件)	14	18	20	
	活動				
	成果 福浦公民館関連事業のべ参加者数(人)	733	667	980	
	成果 福浦公民館関連事業に対する満足度(%)	96.6	98.1	98.4	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	545	492	596
		カ 事業費(ア~オ合計)	545	492	596

成果実績 評価	成果状況	(状況)参加者は前年度比で313人増加し、公民館アンケートによる事業に対する満足度は0.3ポイント微増しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大予防対策により一部の事業を中止しましたが、地域住民のニーズにあった1件の新規事業開催が満足度向上の要因と考えます。 (余地)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続し、地域住民のニーズにあった事業の周知を行い利用者の増加を図る必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

中央公民館生涯学習事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>各公民館の事業計画及び予算の取りまとめ、生涯学習事業の実施、公民館職員の研修調整等を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公民館連合会が主催する各種研修会への参加調整 ・公民館長、運営審議会委員等の委嘱、総合補償制度への加入手続き ・各公民館事業等の支援 ・館長・主事合同会や主事部会、主事研修会等の開催 <p>【R04年度実績】 新型コロナウイルスの影響による各種研修会等の内容変更により、謝礼、旅費及び実費弁償等を減額しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	公民館主事を対象とした研修の回数(回)	3	7
成果	成果	研修に参加した公民館主事の延べ人数(人)	25	63	89
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,124	2,316	2,312
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,124	2,316	2,312

成果実績評価	成果状況	(状況) 県公連、町主催の研修への参加者数は89名で前年から64名増加しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていた研修会等が4年度は開催されるなど、参加できる研修数が増加したためです。 (余地) 5年度以降、各種研修会等が通常方法での開催見込みのため、更なる成果の向上が見込めると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
- 2 運営 (1) 運営審議会(7人)を設置しました。
(2) 運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1) 年末年始を除く日を閉館しました。
(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止策として4月1日から同月24日までの24日間、貸館及び事業を中止しました。
- ・ 柏崎分館のフェンス取替工事を実施しました。110千円
 - ・ 須ノ川分館1階ホールの照明(2か所)をLED照明器具に取替えしました。73千円
 - ・ 柏崎分館の換気扇及びフードを2台取替修繕しました。90千円
 - ・ 須ノ川分館の2階玄関上部の金物を修繕しました。54千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		内海公民館管理運営関係者数(人)	7	7
活動		内海公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		内海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		内海公民館運営上の満足度(%)	95.7	95.7	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	222	198	222
		オ 一般	1,584	1,420	1,764
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,806	1,618	1,986

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 施設管理上の不具合・トラブルはありませんでした。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕などの対応を実施しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 良好な状態を維持するため、同じ建物内の内海支所と連携して修繕を行いました。

家串公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1 管理	(1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。 (2)非常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会を7名委嘱しました。 (2)運営審議会を3回/年開催しました。
3 共通	(1)年末年始を除く日を閉館しました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)新型コロナ感染症拡大防止策として4月1日から同月24日までの24日間、貸館及び事業を中止しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・平濤分館玄関ガラスを修繕しました。13千円。 ・平濤分館非常警報バッテリー交換修繕しました。5,720円。 ・平濤分館1階集会室の空調機器取替工事を実施しました。1,298千円。 令和4年度新型コロナ臨時交付金 1,298千円 	

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 家串公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7	
	活動 家串公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3	
	成果 家串公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 家串公民館運営上の満足度(%)	95.7	95.1	98.1	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	1,298
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2	1	1
		オ 一般	2,346	1,820	1,686
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,348	1,821	2,985	

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合、トラブルもなく運営できています。 (原因)施設は17年を経過しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕等の対応を実施しています。 (余地)良好な状態を維持するため、修繕を行いました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1) 保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。
(2) 非常勤管理人を1名置きました。
- 2 運営 (1) 運営審議会を7名委嘱しました。
(2) 運営審議会を3回/年開催しました。
- 3 共通 (1) 年末年始を除く日を閉館しました。
(2) 非常勤館主を1名置きました。
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、4月1日から同月24日までの24日間、貸館及び事業を中止しました。
- ・魚神山分館非常警報バッテリーを交換修繕しました。5,720円
 - ・魚神山分館ガス漏れ警報器を交換修繕しました。7,500円
 - ・魚神山分館1階トイレ温水洗浄便座設置工事を実施しました。180千円

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	魚神山公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7
	活動	魚神山公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
	成果	魚神山公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	魚神山公民館運営上の満足度(%)	96.4	96.4	92.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1	1	0
		オ 一般	1,480	1,093	1,068
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,481	1,094	1,068	

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合、トラブルもなく運営できています。 (原因)施設は老朽化しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕等の対応を実施しています。 (余地)地域住民が安心して利用できる施設整備の検討が必要と思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

菊川公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検等により適正な管理に努めました。
(2)非常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員6名)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)年未年始、祝祭日及び毎週木曜日を除く日を閉館しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、4月1日から同月24日までの24日間、貸館及び事業を中止しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 菊川公民館管理運営関係者数(人)	9	10	10	
	活動 菊川公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3	
	成果 菊川公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 菊川公民館運営上の満足度(%)	100	97.1	98	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2	0
		オ 一般	937	765	804
	カ 事業費(ア~オ合計)	937	767	804	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設管理上の不具合・トラブルもなく順調でした。満足度は98%で0.9ポイント向上しました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因)施設内外の環境美化に努めたことが要因と思われます。 (余地)高齢者が安全で快適に利用できる施設整備と経費削減に配慮した設備を行うことで、成果向上の余地があります。

平城公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検等により適正な施設管理に努めます。
(2)非常勤管理人を置きます。
- 2 運営 (1)運営審議会(8人)を設置します。
(2)運営審議会を3回開催します。
- 3 共通 (1)年末年始、祝祭日及び毎週金曜日を除く日を閉館します。
- ・公民館の機能強化を図るため、平城公民館運営審議会を年3回開催しました。
・効率的な事業運営と情報発信を図るため、タブレットを1台購入しました。
・新型コロナウイルス感染拡大防止策として令和4年4月1日から同月24日まで(24日間)貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		平城公民館管理運営関係者数(人)	11	11
活動		平城公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		平城公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		平城公民館運営上の満足度(%)	92.6	98.8	93.9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	63	58	78
		オ 一般	1,616	2,358	1,969
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,679	2,416	2,047	

成果実績評価	成果状況	(状況)管理上の修繕等の対応により、トラブルなく順調です。アンケート調査による満足度は、前年度より4.9ポイント下がりましたが、目標値を達成しており順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)施設維持管理は定期的に修繕等をその都度実施しています。令和2年度から公民館主事が専任で1人配置されたことも大きな要因と思われます。公民館利用の稼働率が上がり利用者等も増えたため、駐車場の混雑も増えています。
成果向上余地	大	(余地)計画的な施設整備を実施します。利用者の要望に可能な限り応えることにより成果向上に努めます。
	中	
	小	
	なし	

長月公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員9人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	年末年始、祝祭日及び毎週月曜日を除く日を閉館しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和4年4月1日から同月24日まで の24日間、貸館及び事業を中止しました。 (施設備品購入)長月公民館調理室に公民館事業に必要なオープンレンジを1台購入しまし た。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		長月公民館管理運営関係者数(人)	13	13
活動		長月公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		長月公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		長月公民館運営上の満足度(%)	91.1	98.1	96.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	889	1,344	1,076
		カ 事業費(ア~オ合計)	889	1,344	1,076

成果実 績評 価	成果状況	(状況)施設管理上のトラブルはなく運営できた。 (原因)利用者の要望により、調理室にオープンレンジを購入することができた。 (余地)公民館に対する利用者からの意見を十分精査して運営に反映させること で、満足度が向上すると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

赤水公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	267
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員7名)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)年未年始、祝祭日及び毎週水曜日を除く日を閉館しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止策として令和4年4月1日から同月24日まで(24日間)貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		赤水公民館管理運営関係者数(人)	10	11
活動		赤水公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		赤水公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		赤水公民館運営上の満足度(%)	90.7	90.7	90.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2	0	0
		オ 一般	1,387	1,393	1,382
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,389	1,393	1,382

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設管理上のトラブルもなく運営できています。 (原因)保守点検時や利用時に発見された不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

中浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	267
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8名)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)年未年始、祝祭日及び毎週火曜日を除く日を開館しました。 新型コロナウイルス感染拡大防止策として令和4年4月1日から同月24日まで(24日間)貸館及び事業を中止しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		中浦公民館管理運営関係者数(人)	11	12
活動		中浦公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		中浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		中浦公民館運営上の満足度(%)	91.5	91.7	90.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3	0	0
		オ 一般	3,628	3,934	5,399
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,631	3,934	5,399

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合もトラブルもなく運営できています。 (原因)保守点検時や利用時に発見された破損や不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

城辺公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	269
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員8人)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。
(2)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の間(24日間)の貸館及び事業を中止しました。
- 城辺公民館フリーWi-Fi整備工事を実施しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	城辺公民館管理運営関係者数(人)	11	11	11
	活動	城辺公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	3
	成果	城辺公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	城辺公民館運営上の満足度(%)	97.1	96.9	91.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	35,600	0
		エ その他	91	110	133
		オ 一般	7,153	7,350	4,971
	カ 事業費(ア~オ合計)	7,244	43,060	5,104	

成果実績 評価	成果状況	(状況)管理上の不都合・トラブルはありませんでした。しかし、運営上の満足度は、前年度比で5.5ポイント低下しました。 (原因)室内装飾品に対する不満及び貸館によらない自由スペース新設要望並びに図書増冊要望があります。 (余地)室内装飾品については、機能不全となったものから計画的に修繕等を実施します。自由スペース新設については、建物形状及び施設管理の観点から、今後の研究課題です。図書の増冊については、令和5年度から当該予算を増額しています。また、引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

僧都公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	269
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託料等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員8人)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)館主を置きました。
(2)火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を開館しました。
(3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の24日間、貸館及び事業を中止しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 僧都公民館管理運営関係者数(人)	12	12	12	
	活動 僧都公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	3	
	成果 僧都公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 僧都公民館運営上の満足度(%)	100	100	87.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2	0	0
		オ 一般	2,597	2,409	2,636
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,599	2,409	2,636	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。しかし、運営上の満足度は、前年度比で12.8ポイント低下しました。 (原因)図書増冊要望があります。また、利用の申請がわかりにくいとの不満がありました。 (余地)図書の増冊については、令和5年度から当該予算を増額しています。また、引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

東海公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

1 管理	(1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2) 常勤管理人を2人(東海公民館・中玉分館)置きました。
2 運営	(1) 運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1) 館主(東海公民館)兼分館長(中玉分館)を置きました。 (2) 第1、第3、第5日曜日及び第2、第4月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。 (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の間(24日間)の貸館及び事業を中止しました。

東海公民館施設改修工事(過疎対策事業債充当23,800千円)を実施しました。
東海公民館高圧気中開閉器取替工事外4工事を実施しました。
東海公民館中玉分館軒下等爆裂調査及び当該箇所劣化部剥がし修繕を実施しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		東海公民館管理運営関係者数(人)	13	13
活動		東海公民館運営審議会開催回数(回)	1	3	3
成果		東海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		東海公民館運営上の満足度(%)	97.0	88.3	98.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	23,800
		エ その他	10	1	0
		オ 一般	6,596	5,447	14,559
	カ 事業費(ア~オ合計)	6,606	5,448	38,359	

成果実績評価	成果状況	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で10.1ポイント向上しました。 (原因)施設改修工事において、トイレ洋式化及びロビー空調機設置等により、施設に関する満足度が増したためです。 (余地)引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

久良公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)第1、第3、第5日曜日及び第2、第4月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の間(24日間)の貸館及び事業を中止しました。
Wi-Fi用LANケーブル配線工事を実施しました。 久良ふるさとセンター空調設備改修工事(新型コロナ臨時交付金充当1,507千円)を実施しました。	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		久良公民館管理運営関係者数(人)	12	12
活動		久良公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	3
成果		久良公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		久良公民館運営上の満足度(%)	97.0	98.2	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	1,507
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2	0	0
		オ 一般	5,006	3,424	3,577
	カ 事業費(ア~オ合計)	5,008	3,424	5,084	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で1.8ポイント向上し最高状態となりました。 (原因)館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設の環境美化及び不具合箇所の早期発見に努めています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、引き続き、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

緑公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	273
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託料等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員8人)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)館主を置きました。
(2)月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。
(3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の24日間の貸館及び事業を中止しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	緑公民館管理運営関係者数(人)	12	12	12
	活動	緑公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
	成果	緑公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	緑公民館運営上の満足度(%)	97.9	92.0	96.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8	2	0
		オ 一般	4,024	3,886	6,013
	カ 事業費(ア~オ合計)	4,032	3,888	6,013	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で4.2ポイント向上しました。</p> <p>(原因)施設の老朽化に関する諸々の改善要望はありますが、運営上の満足度の向上については、館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設の環境美化及び不具合箇所の早期発見に努めているためです。</p> <p>(余地)令和5年度実施の施設改修工事により、施設に関する要望に応えることとしており、後年度の成果向上が見込まれます。また、引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

深浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員10人)を設置しました。
(2)運営審議会を3回開催しました。
- 3 共通 (1)館主を置きました。
(2)第1、第3、第5日曜日及び第2、第4火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を開館しました。
(3)新型コロナウイルス感染防止拡大対策として、令和4年4月1日(金)~24日(日)の間(24日間)の貸館及び事業を中止しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	深浦公民館管理運営関係者数(人)	14	14	14
	活動	深浦公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	3
	成果	深浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	深浦公民館運営上の満足度(%)	98.3	97.1	98.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12	8	80
		オ 一般	2,709	3,844	3,051
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,721	3,852	3,131	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で1.3ポイント向上しました。 (原因)館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設の環境美化及び不具合箇所の早期発見に努めています。 (余地)引き続き、公民館アンケート等から館区住民及び館利用者の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
- 2 運営 (1)運営審議会(正木・上大道公民館合同11名)を委嘱しました。
(2)運営審議会(正木・上大道公民館合同)を3回開催しました。
- 3 共通 (1)分館長、分館主事を置きました。
(2)年末年始及び祝祭日並びに毎週月曜日を除く日を閉館しました。
感染拡大防止のため、24日間貸館及び各種事業を中止しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 一本松公民館管理運営関係者数(人)	13	13	14	
	活動 一本松公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3	
	成果 一本松公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 一本松公民館運営上の満足度(%)	98.3	100	100	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	4	3
		オ 一般	8,841	5,011	6,175
	カ 事業費(ア~オ合計)	8,851	5,015	6,178	

成果実績 評価	成果状況	(状況)一本松公民館の2F老人室空調設備改修を行いました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)すべての分館施設において築年数が経過していますが、早期に不良個所のチェックができ対応できていることが要因です。
	成果向上余地	(余地)利用者や地区住民の生涯学習の場としてふさわしい機能を備えた施設が老朽化しています。改修範囲が拡大、突発的な損傷が想定されます。そのため施設点検が必要になっていると思われます。
	大 中 小 なし	

上大道公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 運営	(1)運営審議会（一本松・正木公民館合同11名）を委嘱しました。 (2)運営審議会（一本松・正木公民館合同）を3回開催しました。
2 共通	(1)兼任職員館長を1名置きました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)兼任職員主事を1名置きました。 (4)毎週木曜日午後を開館しました。 感染拡大防止のため、24日間貸館及び各種事業を中止しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		上大道公民館管理運営関係者数(人)	13	13
活動		上大道公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		上大道公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		上大道公民館運営上の満足度(%)	90.9	80.0	82.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	787	688	710
		カ 事業費(ア~オ合計)	787	688	710

成果実績 評価	成果状況	(状況)利用者とのトラブルはなく、事業の成果としては順調です。 令和4年度に実施したアンケート調査による満足度は82.6%で向上しました。 (原因)施設維持管理等を実施しており、修繕件数等が少なかったことが要因とな っています。しかし、施設の老朽化のため利用者からの満足度は横ばいと 思われます。 (余地)利用者の利便性を向上できるような、計画的な施設整備の検討が必要と思 われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

西海公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除き開館しました。 (2)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計24日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		西海公民館管理運営関係者数(人)	7	7
活動		西海公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		西海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		西海公民館運営上の満足度(%)	98.1	98.2	98.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	19	24	9
		オ 一般	4,596	4,623	4,689
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,615	4,647	4,698

成果実績評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合はありませんが、公民館アンケートによる運営上の満足度は0.1ポイント微減しました。 (原因)管理清掃に対する満足度は増加していますが、施設老朽化への不満が要因と考えます。 (余地)今後も住民アンケート等による住民の意見を汲みそれを反映した公民館管理が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

福浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を福浦公民館に1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会委員を5名に委嘱しました。 (2)運営審議会を3回開催しました。
3 共通	(1)福浦公民館主1名、武者泊分館長1名及び武者泊分館主事1名を置きました。 (2)福浦公民館は土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く日を閉館し、武者泊分館は事業実施の際閉館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計24日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		福浦公民館管理運営関係者人数(人)	10	10
活動		福浦公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3
成果		福浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		福浦公民館運営上の満足度(%)	96.6	98.3	98.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8	4	6
		オ 一般	6,196	3,590	5,483
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,204	3,594	5,489

成果 実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合もなく、公民館アンケートによる運営上の満足度は前年比0.2ポイント微増しました。 (原因)各種点検及び早期修繕を実施したことが要因と考えます。 (余地)今後も公民館アンケート等による住民の意見を汲み、それを反映した公民館管理が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

678]

西浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- 1 管理(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。
 2 運営(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。
 (2)運営審議会を3回開催しました。
 3 共通(1)館主を1名置きます。
 (2)土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く、月曜日及び金曜日の午前中開館
 しました。
 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計24日間、貸館及び事業を中
 止しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果状 況	活動 西浦公民館管理運営関係者数(人)	6	7	7	
	活動 西浦公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	3	
	成果 西浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 西浦公民館運営上の満足度(%)	87.5	94.3	95.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	753	659	707
	カ 事業費(ア~オ合計)	753	659	707	

成果実 績評 価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合もなく、公民館アンケートによる運営上の満足度は前年度比 0.9ポイント微増しました。 (原因)各種点検及び早期修繕を実施したことが要因と考えます。 (余地)今後も公民館アンケート等による住民の意見を汲み、それを反映した公民館 管理が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

トレッキング・ザ・空海開催事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	04 文化財の保護・活用	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

開催日：12月10日（土）、11日（日） 県知事選挙の影響により12月に実施。
 内容：（25周年記念）
 松尾坂へんろ道を歩こう（3コース）と柏坂へんろ道を歩こう（1コース）
 クリーン作戦を同時開催
 句会ライブ
 参加者等：（1日目）松尾坂（参加者178人、スタッフ43人、ボランティア94人）
 （2日目）柏坂（参加者193人、スタッフ45人、ボランティア67人）
 句会ライブ（参加者216人）
 参加費：500円（高校生以下無料）
 その他：トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会（22名事務局含）を4回/年、
 内海支部会（13名事務局含）を1回/年開催しました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果状 況	活動	実行委員会などの協議回数（回）	2	3	4
	活動				
	成果	ボランティア、トレッキング参加者数（人）	0	0	747
	成果				
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	280
		オ 一般	0	0	1,532
	カ 事業費（ア～オ合計）	0	0	1,812	

成果実績 評価	成果状況	(状況) 3年ぶりに、12月10日（土）、11日（日）の両日、新型コロナウイルス感 染対策を行い、実施しました。 (原因) 新型コロナウイルスとの共存・共生（ウィズコロナ）という社会の動き や、実行委員会の考えの元、3年ぶりの開催となりました。 (余地) 広く周知されているイベントであり、地域活性化につながっています。 例年並みの参加者が見込まれますが、感染対策や開催内容についても検討 していく必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

文化財保護啓発事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	04 文化財の保護・活用	目	04 文化財保護費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

町内に所在する文化財への理解を深めることを目的に、講座を開催します。
平城公民館平城貝塚展示室の展示物の公開に取り組みます。
町内校の教職員及び児童生徒に対して、社会科や総合的な学習の時間等において、文化財または町の歴史及び文化を中心とした郷土学習の機会を提供します。

【R04年度実績】

- ・令和4年10月2日に平城貝塚シンポジウムを開催しました。
- ・平城貝塚の普及啓発そして活用を目的としたイベントとして、「ドッキをつくろう！」と「貝塚モンスターを探せ！」を開催しました。
- ・平城貝塚剥ぎ取り貝層3点展示加工委託業務を実施しました。
- ・愛媛県歴史文化博物館講座で、平城貝塚について講義しました。
- ・平城小学校6学年PTA主催事業の、平城貝塚を中心とした地域の文化財学習と火起こし塩づくり体験に参画しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		講座・学習会の開催数(回)	5	3
活動		CATVにおける文化財等の放映数(回)	5	3	5
成果		講座・学習会の参加者数(人)	205	96	274
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	1,055
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	73	0	0
		オ 一般	0	221	1,079
	カ 事業費(ア~オ合計)	73	221	2,134	

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和3年度実績に比べ、講座・学習会の参加者数が185.4%増加しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 児童生徒をターゲットとした体験型の普及啓発及び活用事業を展開し、そこに保護者が加わったこと、そして町が平城貝塚の国史跡指定を目指す姿勢を見せたことが効果を上げたと思われます。
	成果向上余地	(余地) 継続して町内外で町の歴史文化を発信することで、町に関する興味と理解の促進に繋がることが期待されます。
	大 中 小 なし	

文化財等調査事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	04 文化財の保護・活用	目	04 文化財保護費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

文化財の調査研究を行い、その成果を周知することで、文化財の保護に取り組みます。埋蔵文化財包蔵地やその可能性のある土地について、確認調査や試掘調査を行うことで、開発行為や史跡指定に備えます。

【R04年度実績】

- ・平城貝塚の保護に係る文化庁調査官の現地指導を実施しました。
- ・平城貝塚調査指導委員会を2回実施しました。
- ・平城貝塚第8次発掘調査の自然科学分析を実施しました。
- ・札掛遺跡（広見）の確認調査を実施しました。
- ・柏坂遍路道地形測量等調査（前期）を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		新規の文化財指定及び指定替えにかかる調査 研究日数 (日)	4	365
活動		埋蔵文化財包蔵地の調査面積 (㎡)	10	1,000,000	15,000
成果		新規の文化財指定及び指定替え件数(累計) (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,760	2,530	1,435
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,036	2,590	1,762
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,796	5,120	3,197

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 新規の文化財指定及び指定替えはありません。しかし、平城貝塚の国史跡指定に向けての指定範囲が確定し、指定に係る地権者の同意取得も前向きな御意見をいただいています。また、柏坂遍路道の国史跡指定に向けての作業に着手しました。</p> <p>(原因) 文化庁国庫補助金を活用できたことと、大学教員等の学識経験者から協力が得られたことによります。</p> <p>(余地) 平城貝塚の国史跡指定については、令和6年10月の指定を目標に、調査研究並びに地元への説明と国史跡指定への理解促進に努めます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター図書室運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>図書館司書による、レファレンスサービスや企画展示を行いました。 多くの町民に図書室を利用してもらうため、図書の貸出・購入を行いました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 2,349人 ・貸出冊数 5,177冊 ・図書館司書の設置(1名)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	図書購入数(冊)	188	439
成果	成果	御荘文化センター図書室貸出冊数(冊)	4,304	4,239	5,177
	成果	御荘文化センター図書室貸出人数(人)	1,879	2,009	2,349
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	272	842	845
		カ 事業費(ア~オ合計)	272	842	845

成果実績評価	成果状況	(状況) 延べ貸出冊数は22.1%増、延べ貸出人数は16.9%増でした。 (原因) テーマに沿った図書の展示を行い、読書に関心を持ってもらう環境づくりに努めたことが、貸出人数の増加につながったものと考えられます。 (余地) 新刊図書の紹介や図書に関する展示を工夫するなど、さらに読書に関心を持ってもらうことによって、読書人口を増やす余地があるものと思われる。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター自主開催事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>町民が身近に舞台芸術や文化講演・イベント等を楽しむことができるよう、御荘文化センターホールを使用して自主事業を開催しました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よんでんアンサンブルコンサート 185名 ・青木さやか氏講演会 166名 ・水森かおりコンサート(2回公演) 660名 	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	開催件数(回)	0	0
成果	成果	御荘文化センター自主開催事業の年間入場者数(人)	0	0	1,011
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	5,693
		オ 一般	0	0	4,413
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	10,106

成果実績 評価	成果状況	(状況) 3事業で4回開催し、1,011人の入場者がありました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、事業を開催できたことが要因です。 (余地) 引き続き、積極的な事業周知を行い、入場者数の増加を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習施設の適正管理	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>施設維持管理 ・各種保守点検を実施しました。 ・老朽化、経年劣化等で修繕が必要な個所については、修繕を実施しました。</p> <p>運営 ・毎週火曜日及び年末年始を休館しました。</p> <p>ハロゲン化物消火設備修繕を行いました。修繕料 3,630千円 空調設備改修工事を行いました。工事請負費 67,050千円 会議机を購入しました。備品購入費 1,903千円</p> <p>【ふるさとづくり基金充当 5,000千円】</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	12	11
活動		貸館件数 (件)	598	551	583
成果		御荘文化センター施設維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0
成果		御荘文化センターの利用者数 (人)	15,712	23,680	14,287
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	18,800	19,200	68,400
		エ その他	850	6,202	6,507
		オ 一般	38,603	11,015	17,079
		カ 事業費 (ア～オ合計)	58,253	36,417	91,986

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)利用者とのトラブルはなく、事業の成果としてはほぼ順調でした。ただ新型コロナウイルスの影響があり利用者数は減少しました。 (原因)施設維持管理や修繕等を実施していることもあり、トラブルの発生は抑えられています。 (余地)上記原因から、環境の回復に伴い成果向上(回復)は十分見込まれると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

児童生徒教職員健康管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	04 健やかな体の育成	目	01 保健体育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施し、安心安全で健康的な環境づくりを行いました。

- ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱
- ・児童生徒定期健康診断
- ・学校環境衛生検査
- ・アレルギーのある児童生徒の給食対応
- ・フッ素洗口事業
- ・教職員の定期検診及びストレスチェック
- ・新型コロナウイルス臨時交付金(762千円)を活用し、CO2濃度測定器を各学校に配備しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		児童生徒定期健康診断及び学校環境検査受診人数(人)	1,132	1,088
活動		学校給食におけるアレルギー対応数(人)	28	29	28
成果		学校給食アレルギー対応児童生徒の事故等発生数(人)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	189	0	762
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,496	6,397	6,868
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,685	6,397	7,630

成果 実績 評価	成果状況	(状況)アレルギー対応児童生徒の事故はなく、事業成果は順調でした。 (原因)保護者、学校及び給食センターとの連携が図られ、アレルギー対応給食の 管理が適切に行われていたためと思われます。 (余地)今後も継続して、適切な指導・管理を実施していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

学校保健 体育会支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 保健体育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・学校保健研究会の開催に要する経費を負担しました。
- ・学校体育会の開催に要する経費を負担しました。
- ・学校体育会の要望する備品等について、予算の範囲内において購入し運営の促進を図りました。
- ・中学校部活動外部指導員謝礼を支払いしました。

【ふるさとづくり基金充当 1,600千円】

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	学校体育会等開催回数(回)	4	6	6
	活動	大会等の回数(回)	5	5	7
	成果	参加人数(人)	1,042	1,040	869
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,273	1,600
		オ 一般	1,649	952	394
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,649	2,225	1,994	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)団体競技では上位大会の活躍が難しくなっています。 (原因)児童生徒の減少で、団体競技の定数確保ができない場合などの事例がでてきています。 (余地)中学校における合同チームへの指導や外部指導者等の取り組みをする必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[702]

スポーツ少年団事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

団員の競技力、体力向上を推進するため町スポーツ少年大会を開催しました。
また、団員の競技力、体力向上並びに健全育成を推進するため各スポーツ少年団単位団に
対して補助金を交付しました。

【R04年度実績】

<開催競技> ミニバスケットボール・ソフトボール・サッカー・剣道・バレー

<中止競技> 相撲

新型コロナウイルス感染症の影響により、安全な大会運営が困難であつ
たため。

【ふるさとづくり基金充当 1,500千円】

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		スポーツ少年大会の開催回数(回)	4	2
活動		スポーツ少年団への加入数(人)	273	245	263
成果		スポーツ少年団への加入率(%)	39.3	35.5	38.4
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,400	1,500
		オ 一般	2,076	182	44
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,076	1,582	1,544

成果実 績評 価	成果状況	(状況)スポーツ少年団の加入率は前年度に比べ2.9%上昇しました。 (原因)補助金を交付する等の活動支援を行ったためです。 (余地)未加入の児童向けに、活動中のスポーツ少年団を紹介することにより、加 入率の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[704]

スポーツ推進委員事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>スポーツの推進のため、スポーツの実技指導を行ったり、組織の育成を図りました。委員相互の連携を保ち、事業の実施に係る連絡調整のため、スポーツ推進委員連絡会議を開催しました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会議：2回開催 ・研修事業：3事業 県協議会研修会(松山市)、宇和島地区研修会(鬼北町)、四国地区研修会(松山市) ・協力事業：5事業(うち、1事業は延期) トライアスロン大会(延期)、愛媛MP公式戦(7月)、体力・運動能力調査(10月)、スポーツフェスタ(10月)、マラソン大会(2月) 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	会議回数(回)		1	2
活動	協力事業計画数(回)		8	8	8
成果	会議 協力事業数の合計(回)		1	2	7
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	594	464	812
	カ 事業費(ア～オ合計)	594	464	812	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)当初の計画をほぼ実施することが出来ました。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症の感染者が減少傾向にある中、感染対策を講じることで実施が可能となりました。</p> <p>(余地)新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に感染症法上の位置づけが5類となったため、今後は計画されている事業が、計画通り実施できるものと見込んでいます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ協会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>スポーツ協会が主催する事業及び加盟種目団体と共催する事業を支援するために、補助金を交付しました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額 2,400千円 <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催 / 総会 1回、理事会 3回、常任理事会 1回 ・実施事業 / スポーツフェスタin愛南(10月) 7競技 8種目 参加者263名 ふれあい健康マラソン大会(2月) 4コース 5種別 参加者283名

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助団体数 (件)		14	15
活動	補助金額 (円)		1,200,000	1,680,000	2,400,000
成果	スポーツ協会主催大会数 (回)		1	1	2
成果	スポーツ協会主催大会参加者数 (人)		388	603	546
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,200	1,680	2,400
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,200	1,680	2,400

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 対前年度伸び率で、大会数は100%の向上、参加者数は9.5%(57人の減)の低下でした。</p> <p>(原因) コロナ禍のため参加者数では微減でありましたが、スポーツフェスタin愛南では、総合開会式は密を避けるため行わず、その他徹底した感染予防対策を講じた上での分散開催としたことで、前年度並みの参加者数が保てたと考えます。</p> <p>(余地) コロナ感染症は、令和5年5月に感染症法上の位置づけが5類となったことで、今後は予定通り事業が実施できる見込みであります。引き続き加盟種目団体と連携し事業の充実を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

スポーツ競技大会出場助成事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

スポーツ競技力向上推進を図るため、全国大会以上の競技会に出場する選手、監督又はコーチに対し、愛南町スポーツ競技大会出場助成金交付要綱に基づき、経費の一部を助成しました。

【R04年度実績】
・ソフトテニス、テニス、相撲、陸上、バレーボール、バスケットボール、野球、フェンシングの各競技において、15大会26名に対して助成金を支給しました。(支給額 735,000円)

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	全国大会等選手派遣助成金 交付申請数(個人・団体)(件)	3	4	26
	活動	助成金額(円)	75,000	155,000	735,000
	成果	全国大会等選手派遣助成金 交付決定数(個人・団体)(件)	3	4	26
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	75	320	1,052
	カ 事業費(ア～オ合計)	75	320	1,052	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 助成金交付決定数は、対前年度伸び率が550%(22件の増)で大幅に向上しています。 (原因) 新型コロナの感染者数が減少傾向にあり、コロナ禍で中止となった対象大会が再び開催されてきたことが原因として考えられます。 (余地) 今後も更なる成果を期待し、各種競技団体と連携し競技力の向上に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校社会体育等活動事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

各中学校生徒の積極的な社会体育活動等への取組を促進するため、補助金を交付しました。

【R04年度実績】

- ・対象校 町内中学校 5 校
- ・部活動数 31
- ・対象部員数 333名 (年間延べ活動人数 1,444名)
- ・補助金額 2,306千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	補助件数 (件)		5	5
活動	補助金額 (円)		2,724,000	2,194,000	2,306,000
成果	中学生の社会体育活動参加者数 (人)		732	1,041	1,444
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,724	2,194	2,306
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,724	2,194	2,306

成果実績評価	成果状況	(状況) 中学生の社会体育活動(文化部含む)参加者数が前年に比べ38.7%向上しました。 (原因) 前年度と比較して、より多くの大会が開催されたことによります。 (余地) 新型コロナウイルス感染症流行前と同様に各種大会等が開催されるようになれば、中学生の社会体育活動参加者数は増加すると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

愛南サッカーフェスティバル補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

小学生、中学生及び高校生等の競技力向上と心身の健全育成を図るため、愛南サッカーフェスティバル実行委員会に対して補助金を交付しました。

【R04年度実績】

補助金額 840千円

<開催>・ユースの部

<中止>・小学4年生以下の部

・小学6年生以下の部

・中学2年生以下の部

・U-18女子の部

・キッズ(保育園児)の部

新型コロナウイルス感染症の影響により、安全な大会運営が困難であったため。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		補助金額(円)	0	0
活動					
成果		愛南サッカーフェスティバル参加チーム数(件)	4	0	10
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	840
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	840

成果実績 評価	成果状況	(状況)ユースの部のみの開催となりました。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大により、大会が中止となったためです。 (余地)新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したため、大会が計画通り実施できれば成果の向上が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

愛南町いやしの郷トライアスロン大会実行委員会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>第10回トライアスロン大会の開催に向けて準備を行いました。</p> <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月に伯方島トライアスロン大会の視察を行いました。 ・ 11月に開催した実行委員会において令和5年6月3日(土)の開催を決定し、令和5年1月20日からエントリー受付を開始しました。 ・ 2月に関係者(県協会、JTU)と大会の事前協議を行いました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 大会参加者数(人)	0	0	0	
	活動 補助金額(円)	1,760,000	690,000	1,200,000	
	成果 愛南町いやしの郷トライアスロン大会エントリー人数(人)	346	0	0	
	成果 協賛金額(円)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,760	690	1,200
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,760	690	1,200	

成果実績 評価	成果状況	(状況)大会の再延期によりエントリーも協賛もありませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの感染拡大により大会が再延期となったためです。 (余地)会を重ねるたびに大会運営も洗練されており、コロナの収束により大会が開催できれば参加者は例年通り確保出来ると思われま。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海運動公園管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>利用者の利便性向上や安全性の確保のため施設の適正管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 7時から22時まで ・休業日 なし ・予約 内海公民館 <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 565人 ・修繕2件(照明安定器撤去、給水管) 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	1	0
成果	活動			0	0
	成果	内海運動公園の施設維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	成果	内海運動公園年間利用者数(人)	465	377	565
	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3	1	519
		オ 一般	682	666	183
	カ 事業費(ア～オ合計)	685	667	702	

成果実績 評価	成果状況	(状況)前年度から年間利用者数が49.9%増加しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用制限緩和による利用の増加 が要因であると考えます。 (余地)今後は新型コロナウイルスの5類感染症移行による利用者の増加が見込 めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

一本松体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和13年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>施設利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 8時30分から22時まで ・休館日 年末年始 ・予約 一本松公民館 <p>【R04年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 2,225人 ・修繕2件(トイレ漏水、防水補修)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	4	4
成果	成果	一本松体育館年間利用者数(人)	2,690	2,322	2,225
	成果	一本松体育館の運営 維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	100	1,269	8
		オ 一般	1,149	4,202	1,536
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,249	5,471	1,544

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)前年度から施設年間利用者数が4.2%低下しています。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、利用団体による活動自粛が要因であると考えます。</p> <p>(余地)今後の利用については、新型コロナウイルスの5類感染症移行により施設が通常通り使用できれば利用者の増加が見込めます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

西海体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。

・開館時間 8時30分から22時まで

・休館日 年末年始

・予約 西海公民館

【R04年度実績】

・年間利用人数 1,557人

・修繕2件(消火配管漏水、ガラスカムラッチ取替)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	2	3
成果	活動			0	
	成果	西海体育館年間利用者数(人)	2,151	1,916	1,557
成果	成果	西海体育館の運営・維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	95	81	99
		オ 一般	675	649	2,564
		カ 事業費(ア~オ合計)	770	730	2,663

成果実績 評価	成果状況	(状況)前年度から施設年間利用者数が18.7%減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用団体による活動自粛と定期利用団体の解散が要因であると考えます。 (余地)今後の利用については、新型コロナウイルスの5類感染症移行によって施設が通常通り使用できれば利用者の増加が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

学校開放施設管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。

- ・対象 体育館及びグラウンド
- ・開放日 日曜日・祝日・長期休業・時間外・平日
- ・開館時間 4月～10月 / 午前9時から午後5時まで、午後7時から午後10時まで
11月～3月 / 午前9時から午後5時まで、午後6時から午後10時まで
- ・予 約：各校区公民館

【R04年度実績】

- ・年間利用人数 21,801人
- ・修繕3件（東海小学校体育館誘導灯、平城小学校屋外照明、東海小学校体育館雨漏）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		修繕件数 (件)	5	3
活動			0	0	0
成果		学校開放施設年間利用者数 (人)	20,282	21,941	21,801
成果		学校開放施設の運営 維持管理上の事故・トラブル件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	505	397	0
		オ 一般	1,529	1,522	2,343
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,034	1,919	2,343

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度から年間利用者数が0.6%減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い昨年同様の利用人数になったと考えます。 (余地) 今後の利用については、新型コロナウイルスの5類感染症移行により利用の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[17]

水泳・エアロビクス教室運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
年間948回の教室を開催しました。	
水泳教室：825回、5,911名	
エアロビクス教室：80回、555名	
キッズダンス教室：43回、187名（特別教室：3回、11名）	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	水泳・エアロビクス教室の開催回数(回)	903	732
成果	成果	水泳・エアロビクス教室の受講者数(人)	8,256	6,081	6,653
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	446	622	462
		オ 一般	355	0	393
		カ 事業費(ア～オ合計)	801	622	855

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)キッズダンス会員数が8名増加したことで、教室受講者数は、昨年度より572名増加しておりますが、成果は横ばいです。目標の11,500名にはとどいていません。</p> <p>(原因)コロナウイルス感染症の影響により、4・9月の教室を中止したことや、全体的な教室在籍人数の減少が原因だと考えられます。</p> <p>(昨年度末：253名、令和4年度末：231名)</p> <p>(余地)各教室の事業周知を行い、会員数の増加を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘海洋センター管理運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	291
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進と適正管理	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>地域住民のスポーツ推進と健康づくりの拠点として安全かつ快適に利用できるよう設備の点検・整備、施設管理システムのバージョンアップ等、適切な施設の維持管理を行いました。</p> <p>歩行補助手すり設置工事を実施（142千円） 体育館空調機用コンセント増設工事を実施（1,034千円）</p> <p>施設管理システム用パソコン2台を購入（704千円） バレーボール用支柱1対を購入（599千円）</p>

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	施設維持管理上の修繕件数 (件)	11	20	16
	活動				
	成果	御荘海洋センター施設維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	1	0	1
	成果	御荘海洋センター施設利用者数 (人)	52,899	41,321	43,885
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	144	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,793	9,578	4,093
		オ 一般	13,074	13,087	22,501
	カ 事業費 (ア～オ合計)	18,011	22,665	26,594	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 施設の利用状況は昨年度より2,564名増の43,885名で成果としては上昇しましたが、目標には達していません。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延べ71日を休館したことが原因だと考えます。3月20日からプールろ過ポンプの故障により、5日間プール棟を休館としました。</p> <p>(余地) 新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したことで、例年並みの水準に戻ると考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

要保護及び準要保護児童生徒給食援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	293
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	05 学校給食費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

経済的理由により就学困難な生徒に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての生徒に義務教育の円滑な実施を図ります。
 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定します。
 審査結果を申請者へ通知します。
 援助の期間は1年間とし、毎年度申請を要します。
 令和4年度は、153人に対し6,722,060円を援助しました。

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	援助した生徒数(人)	175	176	153
	活動				
	成果	就学援助受給者で給食費助成を受けている割合(%)	100	100	100
	成果	就学援助受給者での給食費滞納額(円)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	482	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	8,526	8,109	6,722
	カ 事業費(ア~オ合計)	9,008	8,109	6,722	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 援助した人数は昨年度より23名減少しました。 (原因) 児童・生徒数の減少による影響が大きいと考えられます。 (余地) 法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校給食センター管理運営事業

教育委員会部局 学校給食センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	293
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	04 健やかな体の育成	目	05 学校給食費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

・平成25年稼働の統合学校給食センターで、「学校給食衛生管理基準」に基づくドライ方式を導入し、徹底した衛生管理により給食を提供しています。
 ・安心・安全な給食提供を最優先課題として、栄養教諭を中心に、地域に密着した食育に取り組んでいます。
 ・令和4年度は、園児18名、児童生徒1,024名、教職員272名の1,314名に提供しました。
 ・給食費は幼稚園・小学校が250円、中学校が300円（いずれも教職員同額）

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	給食提供日数 (日)	188	200	191
	活動	給食提供人数 (人)	252,663	254,106	224,249
	成果	残食割合 (食べ残しの割合) (%)	0.79	0.66	1.09
	成果	給食調理上の衛生事故件数 (件)	11	8	6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	130	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	70,580	70,541	62,647
		オ 一般	27,572	34,857	33,594
	カ 事業費 (ア～オ合計)	98,282	105,398	96,241	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 異物混入は、年間10～15件で推移していましたが、令和4年度は6件に抑えられています。 (原因) 主な混入物である髪の毛やビニール片など、調理場での目視による発見に努めています。 (余地) 下処理や調理中のチェックにより混入物の取り除きを行っていますが、ことあるごとに注意喚起を行い、調理中の混入もしないように注意していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

特 別 会 計

2 特別会計に関する報告

【国民健康保険特別会計】

(1) 総 括

愛媛県が市町とともに財政運営の責任主体として、安定的な財政運営や効率的な事業確保など、中心的な役割を担うことにより国民健康保険の安定化に努めています。市町は、資格管理、保険給付、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担います。

令和4年度国民健康保険特別会計の予算額は、当初予算で3,023,000千円を計上していましたが、医療費の動向等により予算補正の結果、104,902千円を増額し、3,127,902千円の予算総額となりました。

決算額は歳入が、3,083,502,330円、歳出が3,051,132,609円で収支差引32,369,721円の剰余金を生じました。前年度対比で歳入が1.97%の増、歳出が1.39%の増となりました。

また、保険税現年度分の収納率は、医療分が98.27%、後期分が98.26%、介護分が97.44%、合算した合計では98.21%で昨年度より0.29%の増となりました。

歳入については保険税が予算額に対して11,425,889円の増収、県支出金においては予算額に対し58,879,226円の減収となり、歳出については保険給付費と予備費において不用額72,629,942円を生じました。

(2) 歳 入

(ア) 国民健康保険税

令和4年度の国民健康保険税は平成26年度の税率を変更せずに据え置くこととしました。当初予算においては425,862千円を計上していましたが、最終調定額は457,903,234円、収入済額は435,787,889円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
	円	円	円	円	%	円
現年度分	432,138,600	424,397,801	0	7,756,499	98.21	15,700
医療分	306,567,000	301,286,356	0	5,292,566	98.27	11,922
後期分	91,939,000	90,339,502	0	1,603,102	98.26	3,604
介護分	33,632,600	32,771,943	0	860,831	97.44	174
滞納繰越分	25,764,634	11,390,088	966,686	13,407,860	44.21	0
医療分	17,260,868	7,693,198	626,194	8,941,476	44.57	0
後期分	5,231,345	2,331,460	189,223	2,710,662	44.57	0
介護分	3,272,421	1,365,430	151,269	1,755,722	41.73	0
合 計	457,903,234	435,787,889	966,686	21,164,359	95.17	15,700

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現 年 度 分 保 険 税 の 説 明)

区 分	金 額	備 考
1 世帯当たり調定額	108,387 円	世帯数 3,987 世帯 (年度平均)
1 人当たり調定額	71,511 円	被保険者数 6,043 人(年度平均)

(イ) 県支出金

予算額2,324,457千円に対して決算額2,265,577,774円で58,879,226円の減収となりました。主な要因として、保険給付費等交付金(普通交付金)が63,351,410円の減収、特別調整交付金分が2,899,000円の増収が上げられます。

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
保 険 給 付 費 等 交 付 金	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (普 通 交 付 金)	円 2,292,859,000	円 2,229,507,590	円 △ 63,351,410
	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (特 別 交 付 金)	31,176,000	35,743,184	4,567,184
	保 険 者 努 力 支 援 分	13,673,000	14,517,000	844,000
	特 別 調 整 交 付 金 分 (市 町 村 向 け)	3,233,000	6,132,000	2,899,000
	都道府県繰入金(2号分)	5,940,000	6,246,184	306,184
	特定健康診査等負担金	8,330,000	8,848,000	518,000
健康増進事業費県補助金		421,000	327,000	△ 94,000
財政安定化基金交付金		1,000	0	△ 1,000
合 計		2,324,457,000	2,265,577,774	△ 58,879,226

(3) 歳 出

予算額3,127,902千円に対して決算額は3,051,132,609円となりました。歳出の内73.32%を占める保険給付費の決算額は2,236,972,058円となり、62,629,942円の不用額を生じました。

令和4年度の療養諸費の保険者負担分は年間ベースで対前年比1.3%の増となりました。

(ア) 療養諸費の保険者負担分(一般、退職者分療養給付費及び療養費)の状況

区 分	本 年 度	前 年 度	増減率	備 考
(保険者負担) 町負担金	円 1,925,273,228	円 1,900,400,555	% 1.3	

(イ) 納付金

医療給付費分	510,339,041	円
後期高齢者支援金等分	157,967,533	円
介護納付金	55,043,307	円

(ウ) その他の給付費

高額療養費	11,537	件	298,697,591	円
出産育児一時金	12	件	5,016,000	円 (1件 420,000 円)
葬祭費	56	件	1,120,000	円 (1件 20,000 円)

(エ) 特定健康診査・特定保健指導 (補助対象分)

区分	対象者数	受診人数	受診率	補助対象事業費
特定健康診査	人 5,359	人 1,927	% 35.96	円 20,040,262
特定保健指導	255	139	54.51	198,758

(オ) 国保加入率の状況 (3月末日現在)

区分	本年度		前年度		比較増減	
	人員等	加入率	人員等	加入率	人員等	加入率
加入世帯	世帯 3,865	% 38.83	世帯 4,081	% 40.60	世帯 △216	ポイント △1.77
被保険者数	5,795	29.98	6,267	31.54	△472	△1.56

(カ) 決算収支1人当たり額 (3月末日現在加入者)

収入	532,097	円	(対前年度比	10.27	%)
支出	526,511	円	(対前年度比	9.65	%)
収支差引	5,586	円	(対前年度比	135.99	%)

主要な施策の成果については、次のとおりです。

国民健康保険税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	01 総務費	決算書 ページ	323
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 総務管理費		
基本事業	05 医療保険制度の健全運営	目	01 一般管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

- ・ 5月末までに課税に必要な国保資格異動、所得状況のチェックを行い、適正な課税を行いました。
- ・ 6月：課税決定をし、対象世帯に納税通知書を送付しました。
- ・ 毎月：1期～10期まで納付書（口座登録者以外）を送付しました。
- ・ 毎月：国保資格異動、所得の変更による更正通知を送付しました。
- ・ 毎月：納期限から20日経過した未納の方へ督促状を送付しました。
- ・ 収納率向上のため、口座振替の推進を行うとともにコンビニ収納を導入しました。
- ・ 未就学児の均等割額軽減措置導入に伴う国保事業システム改修を行いました。

区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 納税通知書及び納付書発送数 (件)	4,264	4,209	4,145	
	活動 未納者への督促状発送数 (件)	3,079	2,699	2,569	
	成果 行政の責のある国保税課税誤り件数 (件)	0	0	0	
	成果 国保税収納率 (現年度) (%)	97.22	97.93	98.21	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	1,546
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	345	340	340
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	345	340	1,886	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 算定誤り件数は0件で、収納率(現年度)は、昨年度と比較して0.28ポイント上昇した98.21%となっており、僅かながら昨年を上回り成果としては順調です。</p> <p>(原因) その原因としては、対象者への丁寧な制度説明や未納者に対する滞納処分の強化等と思われます。</p> <p>(余地) 引き続き、滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はあると考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[746]

特定健康診査事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	06 保健事業費	決算書 ページ	327
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 特定健康診査等事業費	計画 年度	
基本 事業	05 医療保険制度の健全運営	目	01 特定健康診査等事業費		開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>疾病疑いのある者等の早期発見と早期治療のため、特定健診を実施します。</p> <p>〔会場〕 ・集団健診...各地区の公民館・集会所等で実施(4月～11月) ・個別健診...委託医療機関で実施(町内では9医療機関)(5月～3月)</p> <p>〔回数〕 ・集団は年4～7回実施、個別は5月以降随時実施</p> <p>〔内容〕 ・全ての受診者が受診する項目(基本項目)と健診結果において基準に該当した者に対して実施する項目(詳細項目)からなります。</p>	

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	健診実施回数(回)	46	50	47
	活動				
	成果	特定健診受診率(%)	34.6	37.4	36.0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	12,362	12,850	13,026
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11,371	12,599	11,352
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	23,733	25,449	24,378

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)前年度と比べ、受診率は1.4ポイント減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、受診者が健診を控える動きがあったことが原因と考えられます。 (余地)今後も継続して新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、受診率の向上を目指していきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[74]

【後期高齢者医療特別会計】

(1) 総括

後期高齢者医療制度は、75歳以上及び65歳から74歳で一定の障がいがある方が被保険者となっており、制度の運営は愛媛県内全ての市町が加入する「愛媛県後期高齢者医療広域連合」と、市町とで役割分担をしています。

令和4年度後期高齢者医療特別会計の予算額は、当初予算で355,800千円を計上していましたが、後期高齢者医療広域連合に対する負担金の増額等による予算補正の結果、647千円を増額した356,447千円の予算総額となりました。

決算額は歳入が、357,364,983円、歳出が344,984,466円で収支差引12,380,517円の剰余金を生じました。

また、保険料現年度分の収納率は、特別徴収分が100.00%、普通徴収分が99.61%、現年度分と滞納繰越分の合計では99.73%となりました。

歳入については保険料が予算額に対して986,710円の増となりました。

歳出については広域連合納付金において不用額10,254,091円を生じました。

(2) 歳入

(ア) 後期高齢者医療保険料

令和4年度の後期高齢者医療保険料は、当初予算においては224,313千円を計上していましたが、最終調定額は222,091,950円、収入済額は221,562,210円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
	円	円	円	円	%	円
現年度分	221,625,510	221,318,240	0	369,770	99.83	62,500
特別徴収分	126,225,440	126,272,340	0	0	100.00	46,900
普通徴収分	95,400,070	95,045,900	0	369,770	99.61	15,600
滞納繰越	466,440	243,970	84,680	137,790	52.30	0
普通徴収分	466,440	243,970	84,680	137,790	52.30	0
合 計	222,091,950	221,562,210	84,680	507,560	99.73	62,500

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現年度保険料の説明)

区 分	金 額	備 考
1人当たり調定額	47,407円	被保険者数4,675人(年度平均)

(イ) 繰入金

予算額 122,966 千円に対して決算額 122,935,039 円となりました。

科 目	予算額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保険基盤安定繰入金	112,617,000	112,616,917	△83
広域連合事務費繰入金	9,159,000	9,158,122	△878
その他繰入金	1,190,000	1,160,000	△30,000
合 計	122,966,000	122,935,039	△30,961

(3) 歳 出

予算額 356,447 千円に対して決算額は 344,984,466 円となりました。歳出の内 99.67% を占める広域連合納付金の決算額は 343,829,909 円となり、10,254,091 円の不用額を生じました。

〈広域連合納付金内訳〉

科 目	予算額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保 険 料	232,278,000	222,052,770	△10,225,230
保険基盤安定	112,617,000	112,616,917	△83
事 務 費	9,159,000	9,158,122	△878
延 滞 金	30,000	2,100	△27,900
合 計	354,084,000	343,829,909	△10,254,091

【介護保険特別会計】

(1) 総括

予算総額は、3,201,612千円、決算額では歳入が3,180,910,489円、歳出が3,116,243,867円、収支差引64,666,622円の剰余金を生じました。剰余金のうち、介護給付費の精算により国庫負担金28,041,936円、支払基金交付金4,846,199円が、地域支援事業費の精算により国庫交付金1,109,033円、支払基金交付金1,714,767円及び県費交付金605,218円、総計で36,317,153円が次年度返還となっています。

介護給付費に係る財源の負担割合は、国庫負担金20.0%（施設分は15.0%）、調整交付金8.76%、支払基金交付金27.0%、県負担金12.5%（施設分は17.5%）、町負担金12.5%となっています。

地域支援事業費に係る財源の負担割合は、「介護予防・日常生活支援総合事業」と「包括的支援事業及び任意事業」で負担割合が異なります。介護予防・日常生活支援総合事業の負担割合は国庫補助金25.0%、支払基金交付金27.0%、県補助金12.5%、町負担金12.5%となっています。

介護給付費及び地域支援事業費に係る第1号被保険者保険料の割合は17.41%となっています。収納率は、現年度分99.65%で、滞納繰越分を含めると99.1%となっています。

介護認定審査会は、3合議体21人の委員で設置・運営をしており、認定に係る訪問調査は、在宅1,280件、施設250件の調査を行いました。

(2) 第1号被保険者数

令和5年3月末現在

区 分	人 数	備 考
65歳以上75歳未満	4,127人	
75歳以上	4,816人	
合 計	8,943人	

(3) 第1号被保険者所得段階別数

令和5年3月末現在

所得段階	保険料算出	被保険者数	構成率	保険料(年額)
第1段階	基準額×0.30	2,164人	24.20%	22,000円
第2段階	基準額×0.50	1,401人	15.67%	36,600円
第3段階	基準額×0.70	887人	9.92%	51,200円
第4段階	基準額×0.90	884人	9.88%	65,900円
第5段階	基準額×1.00	1,035人	11.57%	73,200円
第6段階	基準額×1.20	1,223人	13.68%	87,800円
第7段階	基準額×1.30	825人	9.22%	95,200円
第8段階	基準額×1.50	255人	2.85%	109,800円
第9段階	基準額×1.70	269人	3.01%	124,400円
合計	—	8,943人	100%	—

(4) 第1号被保険者介護保険料収納状況

(単位：円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
特別徴収	490,721,000	490,836,790	0	0	100%	115,790
普通徴収	33,482,100	31,635,144	0	1,851,556	94.47%	4,600
現年合計	524,203,100	522,471,934	0	1,851,556	99.65%	120,390
滞納繰越分	4,644,632	1,748,251	1,290,146	1,606,235	37.64%	0
合計	528,847,732	524,220,185	1,290,146	3,457,791	99.10%	120,390

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(5) 要介護(要支援)認定者数(第2号被保険者含む)

令和5年3月末現在

認定区分	要介護(要支援)認定者数	構成率	備考
要支援1	265人	14.29%	
要支援2	256人	13.80%	
要介護1	359人	19.35%	
要介護2	245人	13.21%	
要介護3	267人	14.39%	
要介護4	280人	15.09%	
要介護5	183人	9.87%	
合計	1,855人	100%	(うち2号被保険者認定者数21人)

認定率：20.69% (認定者数合計/(第1号被保険者数+第2号被保険者認定者数))

(6) 居宅介護(介護予防)サービス受給者数(第2号被保険者含む)

令和5年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
86人	144人	245人	173人	128人	106人	50人	932人

(7) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和5年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	109人	98人	77人	55人	28人	367人

(8) 施設介護サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和5年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	13人	10人	86人	139人	113人	361人

(9) 介護給付費の状況（介護給付・予防給付）

科目	累計件数	給付費（円）	備考
居宅（介護予防）サービス	31,118	933,314,587	
訪問介護	4,018	262,968,258	
訪問入浴介護	331	14,972,419	
訪問看護	2,271	71,038,590	
訪問リハビリテーション	3	194,769	
通所介護	1,103	66,623,357	
通所リハビリテーション	1,228	71,205,172	
福祉用具貸与	8,044	76,813,949	
短期入所	1,864	184,931,313	
居宅療養管理指導	447	2,518,907	
特定施設入居者生活介護	101	17,042,924	
介護予防支援・居宅介護支援計画	11,409	150,654,019	
福祉用具購入	150	3,809,734	
住宅改修	149	10,541,176	
地域密着型（介護予防）サービス	4,914	590,816,499	
認知症対応型共同生活（短期利用含）	1,210	311,247,972	
認知症対応型通所介護	339	23,224,428	
小規模多機能型居宅介護	135	28,974,996	
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	87	14,512,156	
複合型サービス	240	47,462,715	
地域密着型通所介護	2,903	165,394,232	
施設サービス	4,377	1,181,354,707	
介護老人福祉施設	3,166	817,567,256	
介護老人保健施設	1,190	357,034,445	
介護医療院	21	6,753,006	
介護療養型医療施設	0	0	
高額介護サービス	6,252	74,135,930	
高額医療合算介護サービス	359	8,408,544	
特定入所者介護（介護予防）サービス	4,036	125,883,954	
審査支払手数料	40,070	3,101,805	
合計	91,126	2,917,016,026	

(10) 地域支援事業費の状況

科目	事業費(円)	備考
1 介護予防・日常生活支援総合事業費	61,486,215	
(1) 訪問型サービス事業（第1号訪問事業）	21,925,075	
ア訪問介護相当サービス	4,456,391	
イ訪問型サービスA（緩和した基準によるサービス）	17,468,684	
(2) 通所型サービス事業（第1号通所事業）	30,547,617	
ア通所介護相当サービス	30,547,617	
(3) その他生活支援サービス（第1号生活支援事業）	136,336	
ア栄養改善を目的とした配食	136,336	
(4) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）	8,021,938	
(5) 審査支払手数料	351,900	
(6) 高額介護予防サービス費相当事業等	63,931	
(7) 一般介護予防事業	439,418	
ア介護予防普及啓発事業	249,418	
イ地域介護予防活動支援事業	190,000	
2 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）及び任意事業	26,056,660	
(1) 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	19,026,046	
(2) 任意事業	7,030,614	
ア介護給付等費用適正化事業	394,761	
イ家族介護支援事業	2,853,370	
ウその他事業	3,782,483	
(ア) 成年後見制度利用支援事業	569,286	
(イ) 福祉用具・住宅改修支援事業	22,588	
(ウ) 認知症サポーター等養成事業	28,899	
(エ) 地域自立生活支援事業	3,161,710	
3 小計（1+2）	87,542,875	
4 包括的支援事業（社会保障充実分事業計）	5,709,858	
(1) 在宅医療・介護連携推進事業	450,753	
(2) 生活支援体制整備事業	3,870,208	
(3) 認知症初期集中支援推進事業	205,826	
(4) 認知症地域支援・ケア向上事業	1,060,927	
(5) 地域ケア会議推進事業	122,144	
5 合計（3+4）	93,252,733	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

介護認定審査会事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	01 総務費	決算書 ページ	377
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護認定審査会費		
基本事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護認定審査会費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>要介護（要支援）認定申請のあった被保険者の要介護認定状態区分を国が定めた要介護認定審査会基準に基づき、合議体により要介護認定の審査・判定を行いました。</p> <p>介護認定審査会 3合議体（各合議体に介護認定審査会委員7名） 介護認定審査会委員 21名（保険・医療・福祉に関する学識経験者を有する者） 介護認定審査会開催数 57回 介護認定審査件数 1,565件</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		審査会実施件数 (件)	60	60
活動		審査し判定を行った件数 (件)	1,956	1,929	1,565
成果		不服申立件数 (件)	0	0	0
成果					0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,819	3,871	3,542
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,819	3,871	3,542

成果実績評価	成果状況	(状況)令和4年度の介護認定審査会による認定者件数は1,565件で、令和3年度と比べ364件の減となりました。県への不服申し立て件数は、0件でした。 (原因)令和3年度より更新申請における有効期間の上限を延長したことにより、更新申請の件数が減り、昨年度より364件少ない認定者数となっています。また不服申し立ては0件を維持しており、介護認定審査会の委員により、適正に審査されていると思われます。 (余地)介護認定審査会委員の研修会等への参加や全体会の開催により、適正に運営されていると思われます。今後もさらに公平・公正かつ迅速な対応を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 介護サービス等諸費	計画 年度	
基本 事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護サービス給付費		開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

【現物給付】
 ・要介護の認定を受けた利用者が、それぞれの状況に応じて自立に向けて作成されるケアプランに沿った介護サービス等を利用
 ・利用者は費用に対する自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を介護サービス事業所に支払
 ・残りの9割から7割の支払は介護保険給付により支払われ、事業所からの請求に基づき、審査支払機関である国民健康保険団体連合会を経由して支払しました。
 【償還払い】
 ・住宅改修や福祉用部の購入は、利用者が費用の全額を一旦支払い、後日、本人の申請に基づき、自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を除いた金額を保険給付により支払しました。

活動・成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	サービス利用件数 (件)	33,819	34,636
成果	成果	介護保険計画に基づく利用実績率 (%)	97	99	98
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	703,226	722,665	734,913
		イ 県	388,893	398,257	391,385
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,045,323	1,069,379	1,052,612
		オ 一般	500,781	509,713	475,705
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,638,223	2,700,014	2,654,615

成果実績 評価	成果状況	(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は横ばい状態です。 (原因) 給付費実績は新型コロナウイルス感染症による利用控えもあり横ばい状態です。 (余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護予防サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 介護予防サービス等諸費	計画 年度	
基本 事業	05 介護保険サービスの充実	目	01 介護予防サービス給付費		開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
【現物給付】	・要支援の認定を受けた利用者が、それぞれの状況に応じて自立に向けて作成されるケアプランに沿った介護サービス等を利用 ・利用者は費用に対する自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を介護サービス事業所に支払 ・残りの9割から7割の支払は介護保険給付により支払われ、事業所からの請求に基づき、審査支払機関である国民健康保険団体連合会を経由して支払しました。
【償還払い】	・住宅改修や福祉用部の購入は、利用者が費用の全額を一旦支払い、後日、本人の申請に基づき、自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を除いた金額を保険給付により支払しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	サービス利用件数 (件)	5,338	5,847
成果	成果	介護保険計画に基づく利用実績率 (%)	94	105	99
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	12,927	14,425	14,083
		イ 県	7,149	7,950	7,500
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	19,215	21,346	20,171
		オ 一般	9,205	10,174	9,117
		カ 事業費 (ア～オ合計)	48,496	53,895	50,871

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は横ばい状態です。 (原因) 給付実績は新型コロナウイルス感染症による利用控えもあり横ばい状態です。 (余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者総合相談事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	381
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	01 安心と尊厳のある暮らしの保持	目	02 総合相談事業費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)
<p>高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、介護保険サービスにとどまらず、地域における適切な保健・医療・福祉サービス等の機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。</p> <p>【随時相談】 本人・家族・地域等を通じた様々な相談を地域包括支援センター職員が受けました。 相談件数：実人数1,024人、延べ人数1,546人</p> <p>【こころの健康相談】 認知症やうつ、精神障害などが疑われる人、及びその家族や支援者からの申出により、精神科医による個別相談を行いました。 実施回数：22回 相談件数：実人数35人、延べ人数125人</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		総合相談件数 (件)	1,298	1,612
活動		こころの健康相談件数 (件)	125	141	125
成果		必要な医療機関やサービス機関へつながった割合 (%)	86.3	75.0	67.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	232	335	274
		イ 県	116	167	137
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	116	201	163
		オ 一般	140	167	137
		カ 事業費 (ア~オ合計)	604	870	711

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 相談受付件数は、前年度と比較して77件減少していますが、1人1人に手厚く対応ができていると考えており、事業の成果としては順調です。必要なサービス等につながった割合については、低下傾向にあります。</p> <p>(原因) 県立南宇和病院との連携により、早い段階で相談窓口につながるケースも多く、相談窓口として機能を果たしていると考えます。必要なサービス等につながった割合は、予約枠の増加に伴い新規相談者も増加したことにより低下傾向にあります。</p> <p>(余地) 各関係機関の連携体制の向上やアウトリーチの通じた掘り起こしといった余地があると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護用品支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

申請書を提出してもらい、審査して決定（却下）通知を送付します。
新規対象者を業者に連絡して、業者から直接対象者宅へ訪問し、1か月7,000円相当の介護用品（紙おむつ、尿とりパッド等）を現物支給しました。

【R04年度】申請者数は73件でした。支給件数は1月平均約36件でした。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		介護用品申請者数（人）	51	70
成果		介護用品支給者数（人）	29	34	36
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	887	1,056	1,085
		イ 県	444	528	543
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	444	630	648
		オ 一般	529	528	543
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,304	2,742	2,819

成果 実績 評価	成果状況	（状況）更新、新規申請を合わせると申請件数は例年に比べると多くなっています。 （原因）新規申請者もいますが、施設入所者や死亡者もあり、申請者の増加に比べると月の平均支給数は、ほぼ一定です。 （余地）在宅で要介護4及び要介護5と認定された高齢者への支給で、ケアマネジャーからの申請が多く、制度は周知されています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

高齢者共同住宅生活支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

H27年度より城辺高齢者共同住宅の生活支援業務を社会福祉協議会に委託していましたが、継続委託を行わないとの申し出によりR2年度から町で支援員を直接雇用し業務を行っています。
業務内容は食材等の買い物、調理、共有部分の清掃、入居者の健康及び悩み事等の対応、その他共同住宅に関する業務です。
契約期間のうち1月1日を除く1年度、午前7時30分から午後6時30分のうち8時間を業務とし、報告書に基づいて予算の範囲内で支払います。

【R04年度】支援員3名が生活支援業務を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	支援日数(日)	364	364
成果	成果	入居者からの苦情件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,061	1,060	1,053
		イ 県	531	530	526
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	531	632	629
		オ 一般	634	530	527
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,757	2,752	2,735

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)現在のところ、苦情等もなくスムーズに支援できています。入居者の高齢化や日常生活に支援が必要な人が増えています。 (原因)支援に対する要望の相談打ち合わせ時間をとり、支援内容の充実を図りました。入居期間が長い入居者は、ADL低下してくることが考えられます。 (余地)支援員の相談に対応しながら事業を継続する必要があります。入居者の体調によっては、他の施設への転居も考えていく必要が出てきています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

認知症地域支援 ケア向上事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	385
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	03 地域における支えあい 連携の強化	目	06 認知症総合支援事業費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

認知症地域支援推進員を配置し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関との連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談・支援業務を行いました。

- ・8名の認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談・支援、認知症カフェの企画・運営を行いました。
- ・認知症カフェは、感染状況が落ち着いた6月から感染防止対策を行ったうえで実施しました。(毎週火曜日 計37回実施)
- ・医療・介護関係者を対象に、認知症地域支援・ケア向上研修会をオンラインで開催しました。(1回開催、参加者79名)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		認知症カフェの開催回数(回)	29	21
活動		認知症ケア向上研修会の開催回数(回)	0	2	1
成果		認知症カフェを利用する認知症の人やその家族の割合(%)	16	15	8
成果		認知症ケアへの理解が深まった人の割合(%)	-	95	97
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	332	326	396
		イ 県	166	163	198
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	166	217	237
		オ 一般	221	163	230
		カ 事業費(ア~オ合計)	885	869	1,061

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)認知症カフェは人が集う場のため、新型コロナウイルス感染症の影響で休止の期間があり、予定より実施回数と利用者数は少ない状況です。認知症の人や家族の利用も減少しています。研修会は予定どおり開催し、アンケート結果では認知症の理解が深まったと答えた人の割合は97%で、目的を達成しています。</p> <p>(原因)認知症カフェは新型コロナウイルス感染症の影響で開催休止を余儀なくされたため、利用者も減少しています。研修会はオンラインで参加がしやすく、関心の高い内容だったと考えられます。</p> <p>(余地)認知症カフェは認知症への理解を促進し、その取り組みについて周知を図ることで、新規利用者の増加が見込まれます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

1056

生活支援体制整備事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	385
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	03 地域における支えあい連携の強化	目	07 生活支援体制整備事業費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>高齢者への多様な日常生活上の支援体制の充実・強化に向けて、町が主体となって「協議体」及び「生活支援コーディネーター」を設置し、生活支援サービスを担う事業主体や、地域活動の担い手等とのネットワークの構築や連携強化を図りました。定期的に町全体での第1層協議体会議を開催し、町内での支援体制づくりの推進について協議したり、情報共有したりしました。また、生活圏域(旧町村単位)での第2層協議体を一本松地域に設置し、生活支援コーディネーターが中心となり、地域の特性に合わせた地域づくりの支援を行いました。</p> <p>【第1層協議体会議】3回開催(内1回書面開催)、延べ参加人数33名 生活支援コーディネーター2名</p> <p>【第2層協議体会議】2回開催 延べ参加人数15名 生活支援コーディネーター2名</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	地区での会議開催回数(回)	10	12
成果	成果	地区での担い手数(町内全体)(人数)	4	4	4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,365	1,365	1,490
		イ 県	682	683	745
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	682	815	890
		オ 一般	815	683	745
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,544	3,546	3,870

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)高齢者に関する生活の困り事や地域の課題を掘り下げ、課題解決に向けた取組について検討することができました。生活支援コーディネーターが行う地域活動支援についても「地区懇話会」等を開催し、地域住民の方と共に考えながら自主活動に繋がっていくように支援を行いました。活動支援により集いの活動の再開や、サロン交流会の実施等に繋がっています。</p> <p>(原因)コロナ感染症に配慮し、タイミングを見ながら支援活動を続けていったことで、地域の住民参加が得られたものと考えられます。</p> <p>(余地)生活圏域を対象とした第2層の協議体やコーディネーターを設置することで、よりきめ細やかな地域に合わせた活動が継続できるようになると思われます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

訪問介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費	計画 年度	
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進	目	01 訪問型サービス事業費		開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防訪問介護に相当するサービス（訪問介護員等によるサービス）の実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。

サービス実施件数 189件（16件/月、負担額23,579円/件）

	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
活動・ 成果 状況	活動	訪問介護相当サービス実施件数 (件)	357	299	189
	活動				
	成果	訪問介護相当 サービス利用割合 (%)	100	100	100
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,966	1,681	1,261
		イ 県	983	840	557
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,105	3,363	2,081
		オ 一般	1,808	840	557
	カ 事業費 (ア～オ合計)	7,862	6,724	4,456	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 利用割合は100%で、訪問介護相当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

042]

訪問介護基準緩和サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいの推進	目	01 訪問型サービス事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防訪問介護に係る基準よりも緩和した基準によるサービスの実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。

サービス実施件数 1,407件 (117件/月、負担額12,416円/件)

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	訪問介護基準緩和型サービス実施件数 (件)	1,693	1,581
成果	成果	訪問介護基準緩和型サービス利用割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,630	5,167	4,944
		イ 県	2,815	2,583	2,183
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,895	10,333	8,159
		オ 一般	5,180	2,583	2,183
		カ 事業費 (ア~オ合計)	22,520	20,666	17,469

成果実績評価	成果状況	(状況) 利用割合は100%で、訪問介護基準緩和サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

通所介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費	計画 年度	
基本 事業	02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推 進	目	02 通所型サービス事業費		開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施しました。旧介護予防通所介護に相当するサービスの実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支出しました。</p> <p>サービス実施件数 1542件 (129件/月、負担額19,810円/件)</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		通所介護相当サービス利用件数 (件)	1,730	1,737
成果		通所介護相当サービス利用割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8,715	9,024	8,645
		イ 県	4,358	4,512	3,818
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,770	18,048	14,267
		オ 一般	8,017	4,512	3,818
		カ 事業費 (ア～オ合計)	34,860	36,096	30,548

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 利用割合は100%で、訪問介護担当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できていると思われまます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

総合事業介護予防ケアマネジメント事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費	計画 年度	
基本 事業	02 介護予防・健康づくり生きがいづくりの推 進	目	04 介護予防ケアマネジメント事業費		開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

要支援1・2認定者及び事業対象者のうち、総合事業のみの利用者に対し、専門的な視点でのケアマネジメントを行いました。また、利用者の居宅を訪問し、アセスメント ケアプランの作成 サービス等の利用調整 モニタリング 評価等一連のケアマネジメントを行うことにより、自立支援を行いました。

- ・サービス実施に係る負担金を愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。
- ・町内4事業所に介護予防ケアマネジメント業務を委託し、委託料を支払いました。
- ・サービス実施件数 1,428件 初回加算45件 委託連携加算6件
(うち委託分 実施件数286件、初回加算6件、委託連携加算6件)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		利用者の状態等に応じて行ったケアマネジメントA、B、Cの件数(件)	1,886	1,649
成果		目標達成割合(%)	76	83	88
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	686	566	457
		イ 県	343	283	202
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,084	1,415	7,161
		オ 一般	8,918	7,351	202
		カ 事業費(ア~オ合計)	11,031	9,615	8,022

成果 実績 評価	成果状況	(状況)目標達成割合は令和4年度は約88%であり、令和3年度の約83%から約5ポイント増えており、目標値は達成されました。委託率は約24%から約20%と約4ポイント減っています。地域包括支援センターの担当件数割合は増えています。 (原因)高齢者の自立支援に向けて、丁寧なアセスメントやサービス事業所等関係機関との連携等が行えたと思われます。 (余地)アセスメント等ケアマネジメントの質の向上のため、担当者の指導や教育を行うことにより、若干の成果向上余地は見込まれると思います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

【小規模下水道特別会計】

(1) 総括

令和4年度小規模下水道特別会計の予算総額は237,900,000円、決算額は歳入が137,781,393円、歳出が135,726,128円、歳入歳出差引額2,055,265円となりました。

なお、漁業集落排水施設機能保全工事他100,000,000円を令和5年度に繰越し、繰越事業に充当する県補助金60,000,000円、町債40,000,000円が収入未済となっています。

収支の内訳は、歳入が使用料及び手数料23,836,600円、一般会計繰入金95,500,000円、前年度繰越金2,052,193円、消費税及び地方消費税還付金192,600円、町債16,200,000円、歳出が総務費18,521,842円、小規模下水道費42,708,302円、公債費74,495,984円であり、事業収支の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 処理施設稼働状況(令和5年3月末日現在)

	処理施設名	対象 戸数	接続 戸数	接続率 (%)	供用開始年月日
農集	広見クリーンセンター	549	481	87.6	平成13年4月1日
	御在所クリーンセンター	31	26	83.9	平成7年4月1日
	和口クリーンセンター	45	35	77.8	平成16年7月1日
漁集	油袋クリーンセンター	45	27	60.0	平成14年4月1日
	家串クリーンセンター	83	59	71.1	平成14年8月1日
	平簪クリーンセンター	84	69	82.1	平成11年4月1日
	網代クリーンセンター	84	68	81.0	平成17年8月1日
合計		921	765	83.1	

(3) 令和4年度下水道使用料徴収実績

下水道使用料	調定額(円)	徴収額(円)	徴収率(%)	令和3年度 徴収率(%)	増減率 (ポイント)
現年度分	23,817,820	23,704,110	99.52	99.64	△0.12
過年度分	123,440	112,450	91.10	66.74	24.36
合計	23,941,260	23,816,560	99.48	99.49	△0.01

(4) 維持管理経費

(ア) 歳出額内訳

(単位：円)

科 目		歳出額	備 考
総 務 費	需 用 費	46,200	印刷製本費
	役 務 費	250,642	浄化槽法定検査手数料、振込手数料
	委 託 料	18,205,000	公営企業会計適用移行、料金改定支援業務委託料
	負担金補助及び交付金	20,000	地域環境資源センター負担金
	合 計	18,521,842	
小 規 模 下 水 道 費	需 用 費	17,325,936	消耗品費 他
	役 務 費	8,340,986	通信運搬費、浄化槽清掃手数料
	委 託 料	16,026,780	浄化槽保守点検委託料 他
	使用料及び賃借料	2,600	土地借上料
	工事請負費	1,012,000	和ロクリーンセンターNo.1 送風機更新工事
	合 計	42,708,302	

(イ) 料金表

区分	用途	基本料金(1 か月につき)		超過料金 1 立方メートル につき	超過水量の上限
		排水量	金額		
専用	一般	10 立方メートル	1,430 円	96 円	50 立方メートル
	事業所等				—

備考 使用料の額は、基本料金及び超過料金との合計額に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額とする。この場合において、当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。

主要な施策の成果については、次のとおりです。

小規模下水道維持管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 小規模下水道費	決算書 ページ	411
施策	01 循環型社会の形成	項	01 小規模下水道費		
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	01 小規模下水道管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>農業集落排水処理施設3施設及び漁業集落排水処理施設4施設の計7施設について、適切な運営を行うため、専門業者へ管理を委託し、健全な機能を維持しながら、効率的な運営を行いました。処理施設やマンホールポンプ施設等で不具合が発生した場合は、速やかに修繕を実施し、適正な維持管理に努めました。</p> <p>使用料は、上水道の使用量を基準としているため、水道課及び宇和島市水道局より毎月、使用水量の報告を受け、算定及び徴収を行いました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>需用費 17,325千円 (うち修繕料3,782千円 (22件))</p> <p>役務費 8,341千円</p> <p>委託料 16,027千円</p> <p>使用料及び賃借料 3千円</p> <p>工事請負費 1,012千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	32	23
活動		保守点検委託件数 (件)	10	10	10
成果		集落排水施設の維持管理上の不具合件数 (件)	32	23	22
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	5,700	31,500	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	24,549	24,118	23,836
		オ 一般	28,214	53,270	18,872
		カ 事業費 (ア~オ合計)	58,463	108,888	42,708

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和4年度の施設不具合件数は22件で、令和3年度と比較して1件減少しました。</p> <p>(原因) 管理委託業者における機器類の日常的なメンテナンスにより、突発的な故障が防げたためと考えられます。</p> <p>(余地) 漁業集落排水施設において、令和4年度から4か年計画で機能保全工事を実施し、不具合件数の削減及び施設の長寿命化を図ります。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

【浄化槽整備事業特別会計】

(1) 総括

令和4年度浄化槽整備事業特別会計の予算総額は165,600,000円、決算額は歳入が164,175,892円、歳出が162,946,028円、歳入歳出差引額1,229,864円となりました。

収支の内訳は、歳入が分担金及び負担金5,342,900円、使用料及び手数料50,014,400円、国庫補助金29,933,000円、県補助金6,113,000円、一般会計繰入金54,300,000円、前年度繰越金1,156,135円、諸収入116,457円、町債17,200,000円、歳出が一般管理費5,287,861円、施設整備費63,515,000円、維持管理費66,356,075円、公債費27,787,092円であり、事業収支の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 令和4年度人槽別浄化槽設置実績

(単位：基)

区分	設置数	設置前の内訳			
		単独処理 浄化槽	くみ取り槽	新築	その他
5人槽	47	3	24	18	2
7人槽	13	3	7	2	1
10人槽	1				1
14人槽	1	1			
合計	62	7	31	20	4

(3) 令和4年度浄化槽使用料徴収実績

浄化槽使用料	調定額 (円)	徴収額 (円)	令和4年度 徴収率 (%)	令和3年度 徴収率 (%)	増減率 (%)
現年度分	50,014,400	50,014,400	100.00	100.00	0

(4) 施設整備費 63,515,000円

(ア) 浄化槽施設購入費

(単位：円)

区分	設置数	単価	金額
5人槽	47	794,000	37,318,000
7人槽	13	990,000	12,870,000
10人槽	1	1,305,000	1,305,000
14人槽	1	1,936,000	1,936,000
合計	62		53,429,000

(イ) 排水設備工事費補助金 (単位：円)

件数	金額
60	8,956,000

(ウ) 単独処理浄化槽・くみ取り槽撤去費補助金 (単位：円)

件数	金額
12	1,130,000

(5) 維持管理費 66,356,075 円

(ア) 浄化槽維持管理業務委託料 (単位：円)

期間	件数	金額
第1四半期(4月～6月)	1,001	7,937,471
第2四半期(7月～9月)	1,015	8,024,524
第3四半期(10月～12月)	1,035	8,180,388
第4四半期(1月～3月)	1,055	8,267,532
合計	4,106	32,409,915

(イ) 浄化槽使用料徴収業務委託料 (単位：円)

期間	件数	金額
第1四半期(4月～6月)	2,991	448,650
第2四半期(7月～9月)	3,026	453,900
第3四半期(10月～12月)	3,087	463,050
第4四半期(1月～3月)	3,143	471,450
合計	12,247	1,837,050

(ウ) 浄化槽清掃手数料 (単位：円)

人槽区分	単価	件数	合計金額
～5人槽	26,400	747	19,720,800
6～7人槽	37,400	172	6,432,800
8～10人槽	46,200	60	2,772,000
11～15人槽	75,900	9	683,100
16～20人槽	101,200	5	506,000
21～25人槽	119,900	2	239,800
26～30人槽	151,800	2	303,600
31～40人槽	176,000	3	528,000
41～50人槽	240,900	2	481,800
合計		1,002	31,667,900

(エ) 修繕料 (単位：円)

件 数	金 額
6	441,210

主要な施策の成果については、次のとおりです。

浄化槽整備事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 施設整備費	決算書 ページ	435
施策	01 循環型社会の形成	項	01 施設整備費		
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	01 施設整備費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>< 町営浄化槽整備推進事業による浄化槽買取 > ・事業者が設置した合併処理浄化槽について、年度末に一括買取りを行いました。 ・排水設備設置及び単独処理浄化槽・汲取り式便槽撤去に対する補助金を交付 > ・補助金交付要綱に沿って事務処理を行いました。 交付申請 交付決定通知 実績報告書 補助金交付 【令和4年度実績】 浄化槽購入費 53,429千円 排水設備工事費補助金 8,956千円 単独槽・汲取り槽撤去費補助金 1,130千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動		浄化槽買取件数 (件)	51	63
活動		補助件数 (件)	51	62	60
成果		単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換数 (件)	11	9	7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	27,633	29,417	29,918
		イ 県	3,731	5,233	6,113
		ウ 地方債	19,000	17,000	17,200
		エ その他	5,577	5,548	5,343
		オ 一般	7,024	5,723	4,941
		カ 事業費 (ア~オ合計)	62,965	62,921	63,515

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和4年度の単独処理浄化槽からの転換件数は、令和3年度の9件から2件減少して7件でした。 (原因) 合併処理浄化槽への転換が伸び悩んでいるのは、既にトイレを水洗化しており、合併処理浄化槽への転換の必要性を感じていないことが考えられます。 (余地) 単独処理浄化槽では合併処理浄化槽と比べて処理能力が落ち、水環境に影響を与えるため、合併処理浄化槽への転換を実施してもらえよう、補助金制度と併せて周知していく必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

浄化槽維持管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	03 施設管理費	決算書ページ	435
施策	01 循環型社会の形成	項	01 施設管理費	計画年度	
基本事業	03 生活排水の適正処理	目	01 施設管理費		

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>< 町営浄化槽清掃業務 > 町営浄化槽の汚泥引抜及び清掃を行いました。 委託料は年度末に清掃件数の報告を受け、人槽別単価を適用し算定 (年1回)。 < 町営浄化槽維持管理業務 > 町営浄化槽の保守点検及び軽微な修繕等を行いました。 委託料は法定検査の結果に基づき、人槽別単価を適用し算定 (四半期毎)。 < 町営浄化槽使用料徴収業務 > 月ごとに徴収金額の調定伝票を作成しました。 委託料は収納率別単価を適用し算定 (四半期毎)。 < プロウ交換等 (修繕) > 不具合の発生したプロウ等の簡易修繕を適宜行いました。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>需用費 (プロウ交換等の修繕料) 441,210円 役務費 (浄化槽清掃手数料) 31,667,900円 浄化槽維持管理業務委託料 32,409,915円 浄化槽使用料徴収業務委託料 1,837,050円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	清掃基数 (基)		887	941
成果	町営浄化槽の施設のトラブル・不具合件数 (件)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	43,938	47,170	50,014
		オ 一般	13,892	14,931	16,342
		カ 事業費 (ア~オ合計)	57,830	62,101	66,356

成果実績評価	成果状況	(状況) 町営浄化槽の清掃は適切に行われており、昨年度同様、施設のトラブル・不具合件数はありませんでした。 (原因) 担当課と委託業者との情報共有、連絡体制の構築により、迅速かつ丁寧な対応ができていないのではないかと考えます。 (余地) 町営浄化槽の適切な維持管理が行われており、トラブル・不具合はなく順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

【温泉事業等特別会計】

(1) 総括

温泉事業等特別会計の令和4年度決算収支は、歳入総額 88,032,584 円で、歳出総額 82,235,900 円、歳入歳出差引額 5,796,684 円となりました。

収支の内訳は、歳入が営業収入 53,537,561 円、一般会計繰入金 27,800,000 円、前年度繰越金が 6,614,423 円、消費税確定申告還付金の諸収入 80,600 円で、歳出は一般管理費 8,369,706 円、事業費 73,866,194 円となっており、5,796,684 円の剰余金が生じました。

(2) 入浴者・施設利用者の状況

(営業日数/357日)

入浴者(人)		施設利用者(人)	
大人	15,138	大ホール	567
高齢者・中学生	13,248	老人室	0
身体障害者	1,820	その他室	44
小学生	953	宿泊	3,381
大人回数券	7,042	テニス	4,328
高齢者回数券	20,839	食堂	9,614
家族風呂	46	整体	197
		その他	193
合計	59,086	合計	18,324
1日平均入浴者数	165.5	1日平均利用者数	51.3

(3) 収入の状況

(ア) 営業収入

区分	金額(円)	備考
1) 使用料		
入浴料	24,254,267	
各施設	14,434,131	
2) 事業収入		
レストラン収入	14,538,185	
物販収入	310,978	
営業収入合計	53,537,561	

(イ) 一般会計繰入金

区 分	金 額 (円)	備 考
一般会計繰入金	27,800,000	

(ウ) 繰越金

区 分	金 額 (円)	備 考
前年度繰越金	6,614,423	

(エ) 諸 収 入

区 分	金 額 (円)	備 考
雑 入	80,600	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

あけぼの荘管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 事業費	決算書 ページ	457
施策	04 観光 物産の振興	項	03 一本松温泉あけぼの荘事業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 観光資源の充実	目	01 一本松温泉あけぼの荘事業費		

手段 (R04年度の取り組み)
あけぼの荘運営維持管理に伴う人件費、維持管理修繕、点検整備委託ほか 利用料金 入浴大人550円、中学生・高齢者・障害者400円、小学生300円 家族風呂2,050円(1時間) テニス 2時間720円(昼)、930円(夜) 宿泊 大人3,080円～、小人2,570円～ 利用時間11:00～21:00 年中無休
【3月補正】 燃料費及び電気料金等の高騰のため、増額しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	48	39
成果	活動			0	
	成果	施設の不具合、災害等による臨時休業日数(件)	109	129	5
事業費 (千円)	成果	あけぼの荘年間利用者数(人)	45,822	44,368	77,410
	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12,869	14,663	39,371
		オ 一般	83,761	62,908	34,495
	カ 事業費(ア～オ合計)	96,630	77,571	73,866	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 全国旅行支援等の誘客効果によって、施設利用者数が増加したことにより、営業収益の浴場使用料及び年間施設利用者が77,410人(昨年度比74.5%増)となりました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症に伴う休業日数が減少し、全国旅行支援や飲食利用の割引制度等の誘客効果により、施設利用者が増加し、収益が向上したためです。 (余地) 今年度においても、旅行関連の好調な状況が続いており、利用者の増加が見込めるものと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

【旅客船特別会計】

(1) 総括

令和4年度 旅客船特別会計の予算総額は22,020,000円で、決算額は歳入22,003,374円、歳出21,856,404円、歳入歳出差引額は146,970円となりました。

収支の内訳は、歳入が繰入金21,794,000円、繰越金22,642円、諸収入186,732円で、歳出は総務費280,522円、施設経営費21,575,882円となっており、事業収入の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 観光船利用客数の状況

船種		利用客数(人)	
水中展望船	ユメカイナ	3,315	4,881
	ガイヤナ2	1,566	
定期船	ガイヤナ2	1,535	1,535
合計			6,416

営業日数 209日

欠航日数 156日

1日平均利用客数 30.7人

(3) 収支の状況

(ア) 歳入

科目		金額(円)	備考
繰入金	一般会計繰入金	21,794,000	
繰越金	前年度繰越金	22,642	
諸収入	雑入	186,732	保険料
合計		22,003,374	

(イ) 歳出

科目		金額(円)	備考
総務費	役務費	186,732	保険料
	負担金補助及び交付金	93,790	負担金
	計	280,522	
施設経営費	需用費	3,218,770	修繕料
	役務費	31,900	検査手数料
	委託料	18,000,000	指定管理料
	使用料及び賃借料	325,212	土地借上料・AED
	計	21,575,882	
合計		21,856,404	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

旅客船維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>旅客船事業の指定管理費用を管理受託者へ支出します。 令和4年度においては、18,000千円支出しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	0	15
成果	成果	旅客船の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0
成果	成果	旅客船年間利用者数 (人)	2,604	2,928	6,416
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	19,009	21,125	18,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,009	21,125	18,000

成果実績評価	成果状況	(状況) 前年度と比較し旅客船利用者数は3,488人向上しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染症に伴う休業がなかったことが主な要因と考えます。 (余地) 指定管理者は安全管理規定等を遵守し日々の安定した運航に努めており、今後も指定管理による管理運営は適切と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

瀬ノ浜施設維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)	
<p>愛南町旅客船等指定管理者基本協定書により、修繕が当該年度100万円を超え1件につき10万円を超える場合、愛南町が修繕を行います。</p> <p>令和4年度においては、修繕及び土地借上料等、合計1,707千円を支出しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	6	4
成果	成果	瀬ノ浜施設の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,466	1,591	1,707
		カ 事業費 (ア~オ合計)	2,466	1,591	1,707

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 前年度と比較し修繕が2件、事業費も116千円増加しました。</p> <p>(原因) 指定管理者は施設の適切な維持管理に努めていますが、施設の経年劣化が主な要因と考えます。</p> <p>(余地) 指定管理者は施設の適切な維持管理に努めており、今後も指定管理による管理運営は適切と考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

旅客船修繕事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R04年度の取り組み)

愛南町旅客船等指定管理者基本協定書により、修繕が当該年度100万円を超え1件につき10万円を超える場合、愛南町が修繕を行います。

令和4年度においては、修繕及び船舶検査手数料、合計1,869千円を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R02年度実績	R03年度実績	R04年度実績
	活動	旅客船修繕件数 (件)		1	2
成果	旅客船の故障による欠航回数 (回)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,600	7,919	1,869
		カ 事業費 (ア~オ合計)	6,600	7,919	1,869

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比較し修繕が2件増加しましたが、事業費は6,050千円低下しました。 (原因) 高額な修繕がなかったことが要因です。 (余地) 指定管理者は安全運航に繋がる船体の維持管理に努めており、今後も指定管理による管理運営は適切と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

【公共用地先行取得事業特別会計】

(1) 総括

令和4年度 公共用地先行取得事業特別会計の予算総額は40,285千円で、決算額は歳入歳出とも同額の40,284,010円です。

本会計における収支の内訳は、歳入の受託事業収入が40,284,010円で、歳出の内訳は、一般会計繰出金40,284,010円で同額となっております。

(2) 公共用地先行取得事業の目的及び手段

国土交通省が施行する一般国道56号津島道路工事に必要な事業用地を国庫債務負担行為に基づく用地先行取得制度(以下「用地国債」という。)により、町があらかじめ取得することにより事業の早期完成を目指します。なお、国土交通事務次官の「国庫債務負担行為により直轄事業又は補助事業の用に供する土地を先行取得する場合の取扱いについて」の通知による地方公共団体が先行取得を行う場合においては、その経費を明確にするため特別会計を設ける旨の通知を受けて特別会計により実施しています。この制度により平成27年度から平成29年9月までの一般国道56号津島道路(柏地区)工事用地事務委託契約と異なり、町が代行して用地の取得を行いました。

(3) 事業実施期間とその進捗

事業区分	一般国道 56 号津島道路（柏地区）工事用地事務委託契約		
年度	H27 年度 (H27. 8. 6~H28. 3. 31)	H28 年度 (H28. 4. 13~H29. 3. 31)	H29 年度 (H29. 6. 1~H29. 9. 29)
年度用地買収面積（㎡）	20,912.22	77,070.32	18,779.79
年度用地買収進捗率（%）	14.68	54.11	13.18
総事業面積取得率（%）	14.68	68.79	81.97

事業区分	用 地 国 債		
年度	H29 年度 (H29. 10. 2~H31. 3. 31)	H30 年度 (H30. 4. 9~H31. 3. 31)	R 元年度 (H31. 4. 1~R2. 3. 31)
年度用地買収面積（㎡）	5,956.93	8,795.70	—
年度用地買収進捗率（%）	4.19	6.17	—
総事業面積取得率（%）	86.16	92.33	92.33

事業区分	用 地 国 債		
年度	R2 年度 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)	R3 年度 (R3. 4. 1~R4. 3. 31)	R4 年度 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)
年度用地買収面積（㎡）	—	—	—
年度用地買収進捗率（%）	—	—	—
総事業面積取得率（%）	92.6	92.6	94.03